

中山公園野球場整備工事（建築）

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
(建築)		A- 047	展開図－１	A- 91	外構配置図	(構造)		SH- 01	構造特記仕様書－１
A- 001	特記仕様書－１	A- 048	展開図－２	A- 92	舗装範囲図	S- 001	特記事項	SH- 02	構造特記仕様書－２
A- 002	特記仕様書－２	A- 049	展開図－３	A- 93	駐車区画図	S- 101	一塁側 基礎伏図	SH- 03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図－１
A- 003	特記仕様書－３	A- 050	雑詳細平面図	A- 94	外構詳細図－１	S- 102	一塁側 M２階・２階梁伏図	SH- 04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図－２
A- 004	特記仕様書－４	A- 051	雑詳細図－１	A- 95	外構詳細図－２	S- 103	一塁側 軸組図－１	SH- 05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図－３
A- 005	特記仕様書－５	A- 052	雑詳細図－２	A- 96	外構詳細図－３	S- 104	一塁側 軸組図－２	SH- 06	鉄骨構造標準図－１
A- 006	特記仕様書－６	A- 053	雑詳細図－３	A- 97	外構詳細図－４	S- 105	一塁側 基礎・擁壁詳細図	SH- 07	鉄骨構造標準図－２
A- 007	特記仕様書－７	A- 054	サイン配置図	A- 98	造成計画平面図	S- 106	一塁側 地中梁・大梁リスト	SH- 08	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図－１
A- 008	特記仕様書－８	A- 055	サイン平面図	A- 99	造成計画断面図－１	S- 107	一塁側 スタンド 柱リスト	SH- 09	壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図－２
A- 009	特記仕様書－９・工事区分表	A- 056	サイン姿図－１	A- 100	造成計画断面図－２	S- 108	一塁側 部材リスト・スリット詳細図	SH- 10	鉄筋コンクリート貫通孔補強標準図（参考図）
A- 010	案内図	A- 057	サイン姿図－２	A- 101	排水施設計画平面図	S- 109	一塁側 X22通り ラーメン配筋図・鉄骨詳細図	SH- 11	鉄骨貫通孔補強標準図（参考図）
A- 011	敷地求積図	A- 058	サイン姿図－３	A- 102	P U側溝工標準図	S- 110	一塁側 トラクター置場伏図・軸組図	SH- 12	鉄骨梁継手リスト－１ F10T
A- 012	求積図・面積表－１	A- 059	サイン姿図－４	A- 103	樹工標準図	S- 111	一塁側 トラクター置場部材リスト	SH- 13	鉄骨梁継手リスト－２ F8T
A- 013	求積図・面積表－２	A- 060	スコアボード 平面図・断面図	A- 104	排水施設構造図	S- 201	本部棟 基礎伏図	SH- 14	柱脚既製品標準図（参考図）
A- 014	各室求積図・面積表	A- 061	スコアボード 立面図	A- 105	現場打土留め壁工構造図	S- 202	本部棟 M２階梁伏図	SH- 15	ボーリングデーター－１
A- 015	建物位置図（座標）	A- 062	スコアボード 雑詳細図	A- 106	間知石等練積擁壁標準図	S- 203	本部棟 ２階梁伏図	SH- 16	ボーリングデーター－２
A- 016	１階平面芯出し図	A- 063	スコアボード 特記仕様書－１	A- 107	間知石等練積擁壁平面図	S- 204	本部棟 屋根鉄骨部伏図	SH- 17	ボーリングデーター－３
A- 017	設計概要書・外部仕上げ表	A- 064	スコアボード 特記仕様書－２	A- 108	間知石等練積擁壁展開図	S- 205	本部棟 軸組図－１	SH- 18	地形説明図
A- 018	内部仕上げ表	A- 065	スコアボード 表示パターン	A- 109	コンクリート擁壁詳細図	S- 206	本部棟 軸組図－２	SH- 19	スコアボード プレース標準図
A- 019	法チェック図	A- 066	スコアボード システム系統図	A- 110	道路縦断面図	S- 207	本部棟 軸組図－３	SH- 20	柱状改良工法標準図
A- 020	（現況）配置図	A- 067	スコアボード 機器姿図－１	A- 111	道路横断面図－１	S- 208	本部棟 基礎詳細図		構造 66枚
A- 021	【計画】配置図	A- 068	スコアボード 機器姿図－２	A- 112	道路横断面図－２	S- 209	本部棟 地中梁リスト		
A- 022	１階平面図	A- 069	スコアボード 機器姿図－３	A- 113	取壊し平面図	S- 210	本部棟 柱リスト		
A- 023	２階平面図・屋根伏図	A- 070	スコアボード 立面図・放送室レイアウト図	A- 114	植栽平面図	S- 211	本部棟 大梁リスト	B- 001	全景パース－１（参考図）
A- 024	本部棟 １階平面図	A- 071	スコアボード 表示外観図	A- 115	植栽図	S- 212	本部棟 部材リスト・スリット詳細図	B- 002	全景パース－２（参考図）
A- 025	本部棟 M２階平面図	A- 072	バックネット 詳細図－１	A- 116	平均地盤高算定図－１（建築）	S- 213	本部棟 X15通り ラーメン配筋図・鉄骨詳細図	B- 003	スタンド全景パース－１（参考図）
A- 026	本部棟 ２階平面図	A- 073	バックネット 詳細図－２	A- 117	平均地盤高算定図－２（日影）	S- 301	三塁側 基礎伏図	B- 004	スタンド全景パース－２（参考図）
A- 027	本部棟 屋根伏図	A- 074	防球ネット 平面図	A- 118	平均地盤高算定図－３（構造）	S- 302	三塁側 M２階・２階梁伏図	B- 005	スタンド外観パース（参考図）
A- 028	一塁側 １階・M２階・２階平面図	A- 075	防球ネット 展開図	A- 119	平均地盤高算定図－４（構造）	S- 303	三塁側 軸組図－１	B- 006	ロッカー室イメージパース（参考図）
A- 029	三塁側 １階・M２階・２階平面図	A- 076	防球ネット 支柱詳細図－１	A- 120	日影図－１（時刻）	S- 304	三塁側 軸組図－２		
A- 030	ブルペン 平面図・屋根伏図	A- 077	防球ネット 支柱詳細図－２	A- 121	日影図－２（等時間）	S- 305	三塁側 軸組図－３		
A- 031	立面展開図－１（グラウンド側）	A- 078	防球ネット 部分詳細図	A- 122	仮設計画平面図（参考図）	S- 306	三塁側 基礎・擁壁詳細図		
A- 032	立面展開図－２（外周部）	A- 079	擁壁・フェンス 配置図	A- 123	工事計画図	S- 307	三塁側 地中梁・大梁リスト		
A- 033	立面展開図－３（バックスタンド側）	A- 080	メッシュフェンス 詳細図－１	A- 124	工事計画工程表	S- 308	三塁側 スタンド 柱リスト		
A- 034	断面図－１	A- 081	メッシュフェンス 詳細図－２			S- 309	三塁側 部材リスト・スリット詳細図		
A- 035	断面図－２	A- 082	緩衝マット 立面展開図－１		建築 124枚	S- 310	三塁側 X5通り ラーメン配筋図・鉄骨詳細図		
A- 036	断面図－３	A- 083	緩衝マット 立面展開図－２			S- 401	P C段床版 P C・P c a部材・工事特記仕様書		
A- 037	天井伏図	A- 084	緩衝マット 詳細図－１			S- 402	P C段床版 平面・断面割付図		
A- 038	矩計図－１	A- 085	緩衝マット 詳細図－２			S- 403	P C段床版 R C階段版リスト・詳細図		
A- 039	矩計図－２	A- 086	緩衝マット 詳細図－３			S- 404	P C段床版 納まり詳細図		
A- 040	矩計図－３	A- 087	緩衝マット 詳細図－４			S- 405	P C段床版 配筋図		
A- 041	階段詳細図－１	A- 088	観客席ベンチ 詳細図－１			S- 501	バックスタンド 基礎伏図		
A- 042	階段詳細図－２	A- 089	観客席ベンチ 詳細図－２			S- 502	バックスタンド 基礎・擁壁詳細図		
A- 043	階段詳細図－３	A- 090	観客席ベンチ 詳細図－３			S- 601	スコアボード 梁伏図		
A- 044	建具配置図					S- 602	スコアボード 軸組図－１		
A- 045	建具表－１					S- 603	スコアボード 軸組図－２		
A- 046	建具表－２					S- 604	スコアボード 部材リスト・鉄骨詳細図		

※図面の縮尺はA２版サイズによるものとする
全 190 枚

建築工事特記仕様書 No. 1/8

I 工事概要

1. 工事名称	中山公園野球場整備工事（建築）
2. 工事場所	岐阜県高山市山田町 地内
3. 用途地域	—
4. 防火地域	— ・ 防火地域 ・ 準防火地域 ○ 指定なし ・
5. 工事種別	○ 新 築 ・ 増 築 ・ 改 修 ・ 耐震改修 ・
6. 敷地面積	32,422.23 m ²
7. 建物概要	
1) 構 造	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造
2) 面 積	建築面積 : 1,042.65 m ² 延べ面積 : 1,783.79 m ²
3) 工事内容	本体工事、造成工事、外構工事、植栽工事

8. 別途工事 ⊙電氣設備工事 ⊙機械設備工事 ⊙人工芝工事

※本工事の工期は設備工事の工期と工事検査期間としての14日を含んでいる。
 ※契約締結後 14 日以内に実施工程表を提出する。

9. 消防法に基づく防火対象物 消防法施行令別表一 (7) 項

Ⅱ 建築工事仕様

1. 共通仕様

- (1) この特記仕様書、図面及び現場説明書（質疑応答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（最新版）（以下「標仕」という）、公共建築改修工事標準仕様書（最新版）（以下「改標仕」という）、公共建築木造工事標準仕様書（最新版）による。
- 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- (2) 設計図書間に相違がある場合の優先順位は次による。
- 1) 質疑回答書
 - 2) 現場説明書
 - 3) 特記仕様書
 - 4) 標準特記仕様書（添付された場合に限り）
 - 5) 図面
 - 6) 標仕
 - 7) 改標仕

2. 特記仕様

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- ◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。
- (3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- (4) 特記事項に記載の(別)は(5.3.7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
- (5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。
- (6) ◎印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

	項	特記事項	項
① 一般共通事項	① 適用基準等	○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官庁官庁営繕部建築課監修 最新版） ○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修） ○建築物解体工事共通仕様書、同解説（最新版）	
	② 工事実績データ作成	工事実績データの作成、登録（請負金額500万円以上の場合をいう）受注時又は変更時において、工事実績情報サービス(CORINS)入力システム（(財)日本建設情報総合センター）に基づき、受注、変更、完成後１０日以内に、訂正時は適宜、登録機関に登録申請しなければならない。（ただし、工事請負金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が１０日に満たない場合は変更時の提出を省略できる。	
	③ 概成工事	総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。	(1.2.1)
	④ 適用区分	○建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 ※風速（V ₀ = 30 ） ※地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ） ○積雪区分 告示第1455号 別表（ ）1.2m	
	⑤ 施工計画書 施工図等	※次に該当する工事の施工計画書、施工図等を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。 ○仮設工事 ・ 鉄骨ブレース工事 ・ 増設RC壁設置工事 ・ 柱打増し工事 ・ スリット設置工事 ・ 撤去工事 ○土工事 ○地業土工事（地盤改良含む）○鉄筋工事 ○コンクリート工事 ○鉄骨工事 ・ ALCA® 掃土工事 ○防水工事 ○石、タイル左官工事 ○木工事 ○屋根及びいど工事 ○金属工事 ○建具工事 ○塗装工事 ○内外装工事 ○ユニット工事 ○外構工事 ○解体工事 ・ 耐震工事 ・ 7ms/s処理 ○造成工事 ○その他監督員の指示するもの	
	⑥ 施工管理技術者	※ 適用する ・ 適用しない	(1.3.2)
	⑦ 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。	(1.3.3)
	⑧ 条件明示項目	○要 ・ 不要	(1.3.5)

章

項

特 記 事 項

章

項

特 記 事 項

①	⑨	施工中の安全確保 及び環境保全
一般		
⑩		発生材の処理等

※次の工種の工事の施工する場合は、工事車両の通行する各所に保安員を配置して (1.3.7)
 通行者の安全確保を図る。

○仮設工事 ○コンクリート工事 ○鉄骨工事

○主要資材の搬入搬出が頻繁に行われる時 ○その他必要と認められる時

産業廃棄物の適正処理について

受注者は、産業廃棄物が搬出される事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現場確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分場に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。

※引き渡しを要するもの (・金属類 ・PCB含有物)

○特別管理産業廃棄物 (※廃石綿)

・現場にて再利用を図るもの ()

・再生資材の活用を図るもの ()

○アスベスト成型板としての処理を要するもの ○アスベスト含有分析調査を要する建材

※解体特記による ※解体特記による

・PCB含有シーリング材の分析調査

○PCB事前調査報告書（結果：含有なし）は着工前に発注者より提供する

・第一次調査

現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う

採取箇所数（計 箇所）

採取場所 （※図示 ）

・第二次調査

専門分析機関にてPCB含有の分析を行う

分析個数 （計 個）

・除去処理工事

撤去工法 「標準施工要領書（日本シーリング工業共同組合連合会/日本日本シーリング材工業会）」による。

除去範囲 （※図示 ）

※建設副産物情報交換システム

本工事は、建設副産物情報交換システム（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、請負者は、施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。監督職員への報告（提出）はシステムにより作成した「再資源利用計画書（実施書）」及び「再資源利用促進計画書（実施書）」により行うものとする。

本工事の施工にあたっては「建築工事における建設副産物管理マニュアル」を参考に適切な処理に努めるものとする。

※特定建設資材の再資源化等

本工事が、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104条（以下「建設リサイクル法」という。）施行令及び、都道府県が条例で定める建設工事等であって、その規模に関する基準以上の工事（以下「対象工事」という。）である場合は、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずるものとする。

また、分別解体・再資源化の完了時に、再資源化等完了した年月日、再資源化をたしとせの名称及び所在地、再資源化に要した費用を書面に「監督職員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン」（平成14年5月）に定めた様式 1（再生資源利用計画書（実施書））及び様式 2（再生資源利用促進計画書（実施書））を兼ねるものとする。

本工事が、「建設リサイクル法」の対象工事外である場合においても前記に準じ適切な措置を講ずるものとする。

工事の施工に伴い、既存築造物部分、工事目的物の施工済み部分等に汚染又は損傷を与えた場合は、請負者の責任において精造及び仕上げを原型に復旧する。

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。

- (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
- (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
- (3) 安定的な供給が可能であること
- (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
- (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
- (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。

ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

仕様資材（木材）について
本工事において使用する木材は、岐阜県証明材推進制度実施要領（平成19年1月24日付県流第463号林政部長通知。以下「要領」）の第12条により証明された木材を使用すること。
ただし、岐阜県証明材推進制度による証明運用開始（平成19年4月1日）前に出荷等されている木材で、岐阜県産材認証制度要領（平成18年7月1日森第351号農山村整備局長通知。平成19年3月31日付で廃止。）第8条による認証を受けたものについては、要領第12条より証明されたものとみなす。

使用木材は県産材とし、可能な限り高山市産材を使用すること。

本工事に際して、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は、高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は高山市内での生産品（高山市内での生産のなにもものにあつては、岐阜県産）を選定するよう努めること。

室内に使用する合板、接着剤等は揮発性有機化合物（VOC）の放出量の少ない材料とし、監督員の承認を受けること。

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。

- １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- ２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- ３）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

① 一般共通事項

特別な材料の工法

技能士

⑩ 施工の検査等

⑪ 施工の立会等

⑮ 施工調査

① ）、 ３ ） 及び ４ ） の 建 築 材 料 等 を 使 用 し て 作 ら れ た 家 具 、 書 架 、 実 験 台 、 そ の 他 の 什 器 等 は 、
ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

規制対象外

- ① J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ ☆ 規格品
- ② 建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品
- ③ 下記表示のあるJAS規格品
 - a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
 - b. 接着剤等不使用
 - c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
 - d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
 - e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
 - f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

第三種

- ① J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ ☆ 規格品
- ② 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
- ③ 旧 J I S の E ○ 規格品
- ④ 旧 J A S の F ○ ○ 規格品

県仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

適用工事種別	技能検定の職種	(1.5.2)
仮設工事	◎とび作業	
鉄筋工事	◎鉄筋施工（鉄筋組立て作業）	
コンクリート工事	◎型枠施工	
鉄骨工事	◎とび ◎ガス溶接作業 ◎組立	
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工	
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ◎合成ゴム系シート防水工事作業 ◎塗膜防水工事作業 ◎シーリング防水工事作業	
石工事	・石材施工（石張り施工）	
タイル工事	◎タイル張り	
木工事	◎建築大工	
屋根及びとい工事	◎建築板金（内外装板金作業）	
金属工事	◎内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）	
左官工事	◎左官	
建具工事	◎サッシ施工 ◎ガラス施工 ・自動ドア施工	
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工	
塗装工事	◎塗装（建築塗装作業）	
内装工事	◎プラスチック床仕上げ工事作業 ◎ボード仕上げ工事作業 ・表装（壁装作業）	
植栽工事	◎造園	

監督員の指示による (1.5.5)

監督員の指示による (1.5.7)

施工計画調査

本工事当該部位及び関連部位について既存施設(埋設配管等を含む)について事前調査、情報収集を行う。

埋設配管の試験 ※行わない ・行う (範囲、復旧方法 ・図示 ・)

外壁改修施工数量調査

調査範囲 ・全面 ・図示

調査項目 ・ひび割れ部

(幅 0.2mm未満、0.2～0.3mm未満、0.3～0.5mm未満、0.5～1.0mm未満、1.0mm以上)

・はがれ及び剥落部、浮き部

・シーリング剝離等

・

調査方法 目視及びミリスケール等

足場 ※「2章仮設工事1足場」による

防水改修施工数量調査

調査範囲 ・全面 ・図示

調査項目 ・図示

調査方法 ・図示

報告書 監督職員に3部提出する(立面図等に記載、必要に応じ写真を添付)

調査業者 外壁、防水については、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	特記仕様書－１		
縮 尺	—	番 号	124 枚の内 A001 号
設 計 日 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

建築工事特記仕様書 No. 2/8

章

項

特記事項

①

①9

化学物質の濃度測定

下記化学物質について厚生労働省の指針値以下であることを指定検査センターにて検査確認し、工期内に報告すること。

又、濃度が基準値以上だった場合は、請負業者が直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要した費用は全て請負者の負担とする。

測定対象化学物質	厚生省の指針値(25℃の場合)
ホルムアルデヒド	100 μg/m3 (0.08ppm) 以下
トルエン	260 μg/m3 (0.07ppm) 以下
キシレン	200 μg/m3 (0.05ppm) 以下
ステレン	220 μg/m3 (0.05ppm) 以下
エチルベンゼン	3800 μg/m3 (0.88ppm) 以下

検査確認場所

測定箇所数 ・図示 ○計3ヶ所(計4点)
○本部1点、医務室1点、ロカ室(1室)2点

測定回数 ・着工前 ・着工後 1回以上

測定方法 ※バツプ採取による蒸気拡散式分析法 ・厚生労働省の標準法

換気 測定対象室を30分間換気した後、すべて窓及び扉を5時間閉鎖する。
ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は開放したままとする。

測定 測定は、次のイからロによる。

イ) 測定は、「閉鎖」の状態のままで行う。

ロ) 測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定(10時30分～18時30分)とする。

測定位置は、室中央付近の床から1.2m～1.5mの高さとする。

②0

完成時の提出書類

○高山市ホームページに指定する。

○完成図(施工図、施工計画書を除く) ※新規に作成 ・既存完成図を修正
記載内容について、監督職員と協議する。
完成図CADデータ(CD-R)

○保全に関する資料(提出部数 ※2部 ・各部)

○施工図

本工事に係る施工図の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。
提出部数は、施工図の原因及びその隔画複写図(1部)とする。ただし、製作図で原因図として提出ができないものは、原因にかわるものとしてよい。

②1

完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)
○カラー ※キャビネ版 ※べた焼	外部()内部()	※2 ・6	※100×125以上
(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)			
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部()内部(各室2) その他監督職員の指示による	※2	
○電子データ	外部()内部()	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

②2

設備工事との取合い

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

②3

設計GL

※図示 ・設計GL=現状GL

②4

工事写真

・「営繕工事電子納品要領(令和3年改訂版)」による。

②

仮設工事

①

工事現場仮囲い

②

監督員事務所(2.3.1)

③

受注者事務所等

④

工事用水(2.3.1)

⑤

工事用電力

⑥

引渡しまでの光熱水費

⑦

安全対策

⑧

足場その他(2.2.4)

⑨

現況確認

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

現場仮囲い ・ナイロンロープ張り ・木製仮囲い ○鋼製仮囲い ・しない

監督員事務所の概要
・設ける(m程度) ○設けない
・備品等(・冷房 ・暖房 ・冷暖房 ・机、椅子 ・WiFi通信 ・)

受注者事務所等 ○敷地内へ建てることできる。 ・できない

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない(副メーター設置等)

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない

光熱水費
○本引込みより引渡しまでの基本料金 ※受注者負担 ・別途
○本引込みより引渡しまでの使用料金 ※受注者負担 ・別途

工事中は施設利用者の安全確保に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。
敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

※組足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
足場盛替え2回程度

工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

③

土工事

①

埋戻し及び盛土(3.2.3)(表3.2.1)

②

建設発生土の処理(3.2.5)

③

建設発生土処分先(3.2.5)

種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種
・リサイクルプラントが販売する処理土
D種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化工材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」により、監督員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う。

○場内発生良質土1,500m3程度を仮置きし、埋戻し土に転用する

※構外搬出適切処理(再資源化処理施設へ搬入する) ・構内指示の場所に敷きならし
・構内指示の場所に堆積

○当該工事により発生する建設発生土は、次の公の関与する埋立地に搬出するものとする。
搬出場所 関係法令等に従い、適切に処理する公の関与する埋立地に搬出するものとする。
搬出先は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を報告書にまとめて監督員に提出する。

○残土処分地：高山市前原町363番地 大山土木(株)所有地

④

地業工事

①

※構造図優先基礎

②

試験及び報告書(4.2.2～4.2.4)

3

既製コンクリート(4.3.2)(4.3.6)

基礎の種類 ・ベタ基礎 ○布基礎 ○独立基礎 ・構造設計標準仕様書 4章(1)直接基礎による
※直接基礎(○地盤改良(○表層改良 ・鋼管改良 ○柱状改良 ・))
支持地盤の位置及び種類(ラッブルコンクリートの底面位置含む)
※構造図による
支持地盤の設計地耐力 300 KN/m²
・杭基礎 ・構造設計標準仕様書 4章(2)杭基礎による
支持地盤の位置及び種類(基礎ぐいの先端位置含む)
※構造図による(試験杭位置含む)

試験杭 位置、本数及び寸法 ○最初の1本 ・図示による
杭の載荷試験 ※行わない ・図示による
地盤の載荷試験 ※行わない ・図示による

設計支持力 KN/本(φ)
杭地業
支持力の算定方法 ※平成13年国土交通省告示第1113号による。
支持地盤の位置及び種類 ※図示による ・
杭の水平方向への位置ずれの精度 ※図示による ・

杭の種類	記号	・PHC杭		
杭の種類		適心力高強度プレストレストコンクリート杭		
規格・材質など		・JIS規格品 ・評価品 ・A種 ・B種 ・C種		
長さ(m)				
断面寸法(mm)				
長期設計支持力(KN/本)				
継手	・なし	・あり(箇所)		
工法	・アーク溶接	・無溶接継手()		
先端部形式及び形状	・開放形	・閉そく平たん形		

杭頭処理 ※行わない ・行う

工法
・セメントミルク工法
支持地盤への掘削深さ m 根入れ深さ m

・特定埋込杭工法 定められた条件に基づく責任施工とする。
・プレボーリング拡大根固め工法
・中掘り拡大根固め工法
・回転根固め工法

⑤

砂利及び砂地業(4.6.3)(4.6.2)

厚さ(mm) ※60 ○100 ・50 ・構造設計標準仕様書 4章(4)各部の地業による
材料
・直接基礎
・その他
・構造設計標準仕様書 4章(4)各部の地業による

⑥

捨コンクリート地業(4.6.4)

厚さ(mm) ※50 ・30 ・構造設計標準仕様書 4章(4)各部の地業による

⑦

床下防湿層

材料
○ポリエチレンフィルム 厚さ(mm) ※0.15 mm ・

⑧

断熱材

断熱材 押出法ポリスチレンフォーム3種b t50
※19章「内装工事」9項「断熱材」による。

9

試掘

⑤

鉄筋工事

①

※構造図優先鉄筋の種類(表5.2.1)

②

溶接金網(5.2.2)

※JIS G 3112 のJIS表示認証製品
鉄筋の種類 ○下記による ・構造設計標準仕様書 2章(3)鉄筋の表による

類別	種別	径(mm)
異形鉄筋	○SD295	D16以下
	○SD345	D19以上
	・SR235	
丸鋼		

※JIS G 3551 のJIS表示認証製品
溶接金網 ○下記による ・構造設計標準仕様書 2章(3)鉄筋の表による
網目の形状、寸法及び径(mm) ○100x100x6

⑤

鉄筋工事

③

柱・梁の鉄筋の継手(5.3.4)

④

梁貫通孔補強

⑤

圧接完了後の検査(5.4.9)

⑥

柱の帯筋

鉄筋の継手
○ガス圧接(SD295は不可) ○重ね継手 ・機械式継手 ・溶接継手
継手位置 ※鉄筋工事仕様書による。 ・各部配筋参考図 ・

貫通孔補強 ※鉄筋工事仕様書による。 ・各部配筋参考図 ・

検査方法 ※超音波深傷試験 ・引張試験

柱の帯筋
・構造設計標準仕様書 5章(2)柱の帯筋(H00P)の加工方法による
・組み立ての形はSP形とする。(鉄筋工事仕様書による)
・H型(タ方型) ・W型(溶接型) ・I形 ・II形 ・III形 ・丸形
○構造図による

⑥

コンクリート工事

①

※構造図優先コンクリートの強度(6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)

②

コンクリートの類別(6.2.1)(表6.2.1)

③

水セメント比(6.3.2)

④

コンクリート中の塩化物量(6.3.2)

⑤

コンクリートのアルカリ総量(6.5.4)

⑥

コンクリートの仕上り(6.2.5)(表6.2.3)(6.9.6)

⑦

コンクリートの材料(6.3.1)

⑧

コンクリート製造工場の選定(6.4.1)

⑨

強度(6.3.2)(表6.3.2)

10

暑中コンクリート(6.12.1～6.12.4)

11

寒中コンクリート(6.11.1～6.11.6)

設計基準強度 Fc(N/mm²) スランブ(cm) 適用箇所
※21 18
・21 15

※軽量コンクリート

設計基準強度 Fc(N/mm ²)	種類	スランブ(cm)	適用箇所
	・1種 ・2種		

※構造体コンクリートの強度は、材令91日において設計基準強度以上とする。
※屋根床版のスランブは15cmとする。

※I類 ・II類

※最大値は65%とする(低熱ポルトランドセメント及び混合セメントB種の場合は60%)

※0.30kg/m³以下

・アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、
コンクリート中の総アルカリ量を3.0kg/m³以下とする。

打放し仕上りの種別
※合板せき板を使用する場合

種別	せき板の種類	表面・せき板の程度	適用箇所
・A種	JAS(表面加工品)	表6.2.4	※図示 ・
※B種	JAS B-C	表6.2.4	・
・C種	JAS B-C	表6.2.4	・

セメント ○普通ポルトランドセメント ・混合セメントA種
混和材料 ※AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤(JIS A 6204)
※フライアッシュ(JIS A 6201)I種、II種若しくはIV種
※高炉スラグ微粉末(JIS A 6206)
※シリカフューム(JIS A 6207)又は膨張材(JIS A 6202)

※コンクリート製造工場の選定は、監督員の承諾を受ける。

構造体強度補正值 S(N/mm²)

		4～10月	11月	12月	1月	2月	3月
		全て	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
普通ポルトランドセメント	一般地域	3.0					3.0
早強ポルトランドセメント	北部地域	3.0			6.0		3.0
	その他	3.0			6.0		3.0

・一般地域：
・北部地域：
・その他：
○飛驒地域基準による
※日平均気温の平年値が25度を超える期間にコンクリートを打ち込む場合
構造体強度補正值 S(N/mm²) 6.0 N/mm²

⑧

足場その他(2.2.4)

※組足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
足場盛替え2回程度

工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

⑨

現況確認

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

⑧

仮設工事

①

工事現場仮囲い

②

監督員事務所(2.3.1)

③

受注者事務所等

④

工事用水(2.3.1)

⑤

工事用電力

⑥

引渡しまでの光熱水費

⑦

安全対策

⑧

足場その他(2.2.4)

⑨

現況確認

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

現場仮囲い ・ナイロンロープ張り ・木製仮囲い ○鋼製仮囲い ・しない

監督員事務所の概要
・設ける(m程度) ○設けない
・備品等(・冷房 ・暖房 ・冷暖房 ・机、椅子 ・WiFi通信 ・)

受注者事務所等 ○敷地内へ建てることできる。 ・できない

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない(副メーター設置等)

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない

光熱水費
○本引込みより引渡しまでの基本料金 ※受注者負担 ・別途
○本引込みより引渡しまでの使用料金 ※受注者負担 ・別途

工事中は施設利用者の安全確保に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。
敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

※組足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
足場盛替え2回程度

工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

⑧

仮設工事

①

工事現場仮囲い

②

監督員事務所(2.3.1)

③

受注者事務所等

④

工事用水(2.3.1)

⑤

工事用電力

⑥

引渡しまでの光熱水費

⑦

安全対策

⑧

足場その他(2.2.4)

⑨

現況確認

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

現場仮囲い ・ナイロンロープ張り ・木製仮囲い ○鋼製仮囲い ・しない

監督員事務所の概要
・設ける(m程度) ○設けない
・備品等(・冷房 ・暖房 ・冷暖房 ・机、椅子 ・WiFi通信 ・)

受注者事務所等 ○敷地内へ建てることできる。 ・できない

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない(副メーター設置等)

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない

光熱水費
○本引込みより引渡しまでの基本料金 ※受注者負担 ・別途
○本引込みより引渡しまでの使用料金 ※受注者負担 ・別途

工事中は施設利用者の安全確保に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。
敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

※組足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
足場盛替え2回程度

工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

⑧

仮設工事

①

工事現場仮囲い

②

監督員事務所(2.3.1)

③

受注者事務所等

④

工事用水(2.3.1)

⑤

工事用電力

⑥

引渡しまでの光熱水費

⑦

安全対策

⑧

足場その他(2.2.4)

⑨

現況確認

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

現場仮囲い ・ナイロンロープ張り ・木製仮囲い ○鋼製仮囲い ・しない

監督員事務所の概要
・設ける(m程度) ○設けない
・備品等(・冷房 ・暖房 ・冷暖房 ・机、椅子 ・WiFi通信 ・)

受注者事務所等 ○敷地内へ建てることできる。 ・できない

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない(副メーター設置等)

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない

光熱水費
○本引込みより引渡しまでの基本料金 ※受注者負担 ・別途
○本引込みより引渡しまでの使用料金 ※受注者負担 ・別途

工事中は施設利用者の安全確保に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。
敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

※組足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
足場盛替え2回程度

工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

⑧

仮設工事

①

工事現場仮囲い

②

監督員事務所(2.3.1)

③

受注者事務所等

④

工事用水(2.3.1)

⑤

工事用電力

⑥

引渡しまでの光熱水費

⑦

安全対策

⑧

足場その他(2.2.4)

⑨

現況確認

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

現場仮囲い ・ナイロンロープ張り ・木製仮囲い ○鋼製仮囲い ・しない

監督員事務所の概要
・設ける(m程度) ○設けない
・備品等(・冷房 ・暖房 ・冷暖房 ・机、椅子 ・WiFi通信 ・)

受注者事務所等 ○敷地内へ建てることできる。 ・できない

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない(副メーター設置等)

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない

光熱水費
○本引込みより引渡しまでの基本料金 ※受注者負担 ・別途
○本引込みより引渡しまでの使用料金 ※受注者負担 ・別途

工事中は施設利用者の安全確保に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。
敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

※組足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
足場盛替え2回程度

工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

⑧

仮設工事

①

工事現場仮囲い

②

監督員事務所(2.3.1)

③

受注者事務所等

④

工事用水(2.3.1)

⑤

工事用電力

⑥

引渡しまでの光熱水費

⑦

安全対策

⑧

足場その他(2.2.4)

⑨

現況確認

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

現場仮囲い ・ナイロンロープ張り ・木製仮囲い ○鋼製仮囲い ・しない

監督員事務所の概要
・設ける(m程度) ○設けない
・備品等(・冷房 ・暖房 ・冷暖房 ・机、椅子 ・WiFi通信 ・)

受注者事務所等 ○敷地内へ建てることできる。 ・できない

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない(副メーター設置等)

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない

光熱水費
○本引込みより引渡しまでの基本料金 ※受注者負担 ・別途
○本引込みより引渡しまでの使用料金 ※受注者負担 ・別途

工事中は施設利用者の安全確保に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。
敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

※組足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
足場盛替え2回程度

工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

⑧

仮設工事

①

工事現場仮囲い

②

監督員事務所(2.3.1)

③

受注者事務所等

④

工事用水(2.3.1)

⑤

工事用電力

⑥

引渡しまでの光熱水費

⑦

安全対策

⑧

足場その他(2.2.4)

⑨

現況確認

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

現場仮囲い ・ナイロンロープ張り ・木製仮囲い ○鋼製仮囲い ・しない

監督員事務所の概要
・設ける(m程度) ○設けない
・備品等(・冷房 ・暖房 ・冷暖房 ・机、椅子 ・WiFi通信 ・)

受注者事務所等 ○敷地内へ建てることできる。 ・できない

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない(副メーター設置等)

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない

光熱水費
○本引込みより引渡しまでの基本料金 ※受注者負担 ・別途
○本引込みより引渡しまでの使用料金 ※受注者負担 ・別途

工事中は施設利用者の安全確保に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。
敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

※組足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
足場盛替え2回程度

工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

⑧

仮設工事

①

工事現場仮囲い

②

監督員事務所(2.3.1)

③

受注者事務所等

④

工事用水(2.3.1)

⑤

工事用電力

⑥

引渡しまでの光熱水費

⑦

安全対策

⑧

足場その他(2.2.4)

⑨

現況確認

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

現場仮囲い ・ナイロンロープ張り ・木製仮囲い ○鋼製仮囲い ・しない

監督員事務所の概要
・設ける(m程度) ○設けない
・備品等(・冷房 ・暖房 ・冷暖房 ・机、椅子 ・WiFi通信 ・)

受注者事務所等 ○敷地内へ建てることできる。 ・できない

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない(副メーター設置等)

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない

光熱水費
○本引込みより引渡しまでの基本料金 ※受注者負担 ・別途
○本引込みより引渡しまでの使用料金 ※受注者負担 ・別途

工事中は施設利用者の安全確保に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。
敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

※組足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
足場盛替え2回程度

工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

⑧

仮設工事

①

工事現場仮囲い

②

監督員事務所(2.3.1)

③

受注者事務所等

④

工事用水(2.3.1)

⑤

工事用電力

⑥

引渡しまでの光熱水費

⑦

安全対策

⑧

足場その他(2.2.4)

⑨

現況確認

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

現場仮囲い ・ナイロンロープ張り ・木製仮囲い ○鋼製仮囲い ・しない

監督員事務所の概要
・設ける(m程度) ○設けない
・備品等(・冷房 ・暖房 ・冷暖房 ・机、椅子 ・WiFi通信 ・)

受注者事務所等 ○敷地内へ建てることできる。 ・できない

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない(副メーター設置等)

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない

光熱水費
○本引込みより引渡しまでの基本料金 ※受注者負担 ・別途
○本引込みより引渡しまでの使用料金 ※受注者負担 ・別途

工事中は施設利用者の安全確保に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。
敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

※組足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
足場盛替え2回程度

工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成予想パース

⑧

仮設工事

①

工事現場仮囲い

②

監督員事務所(2.3.1)

③

受注者事務所等

④

工事用水(2.3.1)

⑤

工事用電力

⑥

引渡しまでの光熱水費

⑦

安全対策

⑧

足場その他(2.2.4)

⑨

現況確認

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

現場仮囲い ・ナイロンロープ張り ・木製仮囲い ○鋼製仮囲い ・しない

監督員事務所の概要
・設ける(m程度) ○設けない
・備品等(・冷房 ・暖房 ・冷暖房 ・机、椅子 ・WiFi通信 ・)

受注者事務所等 ○敷地内へ建てることできる。 ・できない

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない(副メーター設置等)

構内既存の施設
・有償で利用できる ・無償で利用できる ○利用できない

光熱水費
○本引込みより引渡しまでの基本料金 ※受注者負担 ・別途
○本引込みより引渡しまでの使用料金 ※受注者負担 ・別途

工事中は施設利用者の安全確保に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。
敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

※組足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
足場盛替え2回程度

工事の着手に先立ち、関係者立会いのうえ図面に基づいて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(1200mm×900mm以上)を設置する。
○工事名称、発注者等を示す表示板 ○工事概要等の説明看板
○発注者が提供する完成

建築工事特記仕様書 No. 3/8

章

⑥

コンクリート工事

※構造図優先

⑫

コンクリートの強度試験
(6.9.1～6.9.5)

⑬

外部に面する
コンクリート
打放し仕上

⑭

型枠のせき板
(6.8.3)

15

マスコンクリート
(6.13.2)

16

水密コンクリート

17

打継部

18

無筋コンクリート
(6.14.1～6.14.3)

19

流動化コンクリート
(6.15.1～6.15.3)

特記事項

※「建築標準仕様書」表 6.9.2 による。

※打増厚さ (mm) ※20 ○図示による

せき板の材料 ※合板 (12mm) ・合板 (15mm) ・
・床型枠用鋼製デッキプレート (実績等の資料を提出)
・メッシュ型枠 (25mm以下かつ熱抵抗値 1m²/Kcal 以上)
・断熱材兼用型枠 ()
・MCR工法用シート (気泡発泡ポリエチレンシート)

セメントの種類 ()
適用箇所 ()

水セメント比 (/wt)	スランプ (cm)	適用箇所
※ 50 ・	※ 15 ・	

止水板 止水ゴムの製造所 ()
適用箇所 ()
打継ぎ目地 ※図示 ・幅 20mm以上 深さ 10mm以上 ・

適用箇所 ・図示 ※「建築標準仕様書」6.14.1 による
粗骨の最大寸法 (捨コンクリート及び防水保護コンクリートの場合) ※25mm ・
コンクリートの品質

種類	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所
普通コンクリート	18	・ 15 ・ 18	・捨コン ・配管埋設用コンクリート
		・ ・	

・適用 ()

⑦

鉄骨工事

※構造図優先

①

鉄骨製作工場及び
施工管理技術者
(7.1.3～7.1.4)

②

鋼材
(7.2.1)(表7.2.1)

③

高力ボルト
(7.2.2)

④

普通ボルト
(7.2.3)

鉄骨製作工場
・構造設計標準仕様書 6章 (2)製作工場による
○次表による加工能力のある工場 ・監督員の承諾する工場

製作工場の 加工能力	建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鉄鋼工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「Rグレード」以上として国土交通大臣から認定を受けた工場又工事現場対象地域の都道府県の鉄構工業会会員企業の工場
---------------	--

施工管理技術者 ※適用する ・適用しない

鋼材の種類
○次表による鋼材 ・構造設計標準仕様書 2章 (4)鉄骨鋼材表による

材質	規格	使用箇所
○SS 400 ・ SM 400	※ J I S規格品 ・ J I S規格品以外	○図示 ・
○SSC 400 ・	※ J I S規格品 ・ J I S規格品以外	○図示 ・
○STK 400 ○STKR 400	※ J I S規格品 ・ J I S規格品以外	○図示 ・
○BCR 295 ・ BCP 325	・ J I S規格品 ※ J I S規格品以外	○図示 ・
○SN490C	・ J I S規格品 ・ J I S規格品以外	○図示 ・
・ SN490B	・ J I S規格品 ・ J I S規格品以外	・図示 ・
	・ J I S規格品 ・ J I S規格品以外	・図示 ・
	・ J I S規格品 ・ J I S規格品以外	・図示 ・
	・ J I S規格品 ・ J I S規格品以外	・図示 ・

J I S規格品以外の場合 ※試験を行う ・試験を行わない
※BCR 295 及び BCP 325 は 一般社団法人日本鉄鋼連盟の製品規定で大臣認定品とする
BCR295: 「建築構造用冷間ロール成形角形鋼管」BCRは、200mm×6mm～550mm×25mm
BCP235、325: 「建築構造用冷間プレス成形角形鋼管」BCPは、350mm×12mm～1000mm×40mm
※BCR 295 及び BCP 325 は 監督員の承諾のもと大臣認定品の証明書類一式とメーカーのミルシートにより上記の試験を省略することができる。

高力ボルトの種類
・下記による高力ボルト ・構造設計標準仕様書 2章 (5)ボルトによる
○トルシア形高力ボルト (セットの種類 ※ 2種 (S10T) ・)
・ J I Sの高力ボルト (セットの種類 ※ 2種 (F10T) ・)
・溶融亜鉛めっき高力ボルト (セットの種類 ※ 1種 (P8T相当) ・)
ボルト径 ※図示による。 ・

普通ボルトの種類
○下記による普通ボルト ・構造設計標準仕様書 2章 (5)ボルトによる
ボルト及びナットの材料等 ※「建築標準仕様書」表7.2.3 による
・
ボルト径 ※図示による。 ・

章

⑦鉄骨工事

項

※構造図優先

5アンカーボルトの材質及び設置
(7.2.4)(7.10.3)

(表7.10.1)

⑥ターンバックル
(7.2.6)

⑦デッキプレート
(7.2.7)

⑧柱底均しモルタル
(表7.2.6)(7.2.9)
(表7.10.2)

⑨溶接部の試験
(7.6.11)
(表7.6.2～7.6.4)

⑩錆止め塗装
(7.8.1～7.8.4)

⑪耐火被覆
(7.9.1～7.9.9)

12亜鉛めつき
(7.12.3)

13熔融亜鉛めつき
高力ボルト接合
(7.12.4)

特記事項

アンカーボルトの種類
・下記によるアンカーボルト
アンカーボルトの材質
構造用アンカーボルト
建方用アンカーボルト
構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法
※図示による。
建方用保持及び埋込み方法
・A種
※B種
・C種
・その他
胴の種類
※割枠式
ボルトの種類
※羽子板ボルト
デッキプレートの種類
○次表による鋼材
構造設計標準仕様書 2章 (6)デッキプレートによる

形 式	材質・形状・寸法	備 考
・構造床		
○合成スラブ		
・		
・		

柱底均しモルタル
材 料
・モルタル
○無収縮モルタル
工 法
※A種
・B種
Jロート試験
○実施する
溶接部の試験及び検査概要
○次表による試験
構造設計標準仕様書 6章 (5)接合部の検査による

試験の種類	適 用	備 考
※ 超音波深傷試験	・	
・ 浸透探傷試験	・	
・	・	

鉄面
※J I S K5674 工場 回塗り 現場 回塗り
・構造設計標準仕様書 6章 (6)防錆塗装による
・その他 「建築標準仕様書」表18.7.1鉄鋼面耐候性塗料塗りによる
亜鉛めつき面
※「建築標準仕様書」18.3.2表による。
耐火被覆材の接着面
・行う
・行わない
耐火被覆の種類
・構造設計標準仕様書 6章 (7)耐火被覆の材料による
・耐火材吹付け
・耐火板張り
・耐火材巻付け
・ラス張りモルタル塗り
○耐火塗料 屋根鉄骨柱 SXライコト 柱1時間耐火
種類
※「建築標準仕様書」表14.2.2のA種(軽量鋼筋は板厚によりB種・C種とする。)
摩擦面の処理
・リン酸塩処理
・プラスチック処理

8CB・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1コンクリートブロック
(8.2.2)(8.3.2)
(8.3.3)

2ALCパネル
(8.4.2～7)
(表8.4.2～4)

3押出成形セメント板(ＥＣＰ)
(8.5.2～5)
(表8.5.1～2)

特記事項

ブロックの種類及び厚さ
・次記の種類及び厚さによる
構造設計標準仕様書 2章 (2)コンクリートブロック (CB)による
※空洞ブロック16
・
空洞ブロック16-W
・空洞ブロック08

種類・厚さ	適 用 箇 所	備 考

各部の配筋
※図示による。
・
ALCパネルの種類等
・次表の種類及び厚さ等による
構造設計標準仕様書 2章 (6)屋根、床材、壁による

種 類	厚さ(mm)	単位荷重(N／㎡)	耐火性能	工 法 種 別
・外壁用				・A種 ・B種
・間仕切用				・C種 ・D種 ・E種
・屋根用			30分	「建築標準仕様書」表8.4.4
・床用				「建築標準仕様書」表8.4.4

外壁用、屋根用の建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※図示による。
製造所
押出成形セメント板の種類等

種 類	表 面 形 状	厚さ(mm)	耐火性能	取付工法の種別
・外壁	※フラットパネル			・A種 ・B種
	・デザインパネル(図示)			
・間仕切壁	※フラットパネル			・B種 ・C種
	・デザインパネル(図示)			

外壁用の建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※図示による。
製造所

③

防水工事

1

アスファルト防水
(9.2.2)
(表9.2.1～表9.2.10)

防水層の種別及び工程

種 別	施 工 場 所	備 考

・ 屋根保護防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの）
・ 材質 ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材保温板2種1号（JIS A9511）
 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材保温板2種2号（JIS A9511）

・ 厚さ ・ 10mm
防水立上り部の保護 ・
 ※乾式保護材

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	特記仕様書－3		
縮 尺	—	番 号	124 枚の内 A003 号
設 計 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

建築工事特記仕様書 No. 4/8

章

項

特記事項

防水工事

⑧

⑨

シーリング材の試験
(9.7.5)

保証年限

10

石工事

1

2

3

天然石
(10.2.1)(10.2.2)

取付け金物
(10.2.2)(表10.2.4)

その他の材料
(10.2.3)

・石材の品質

床

※2等品

・

その他

※1等品

・

・石材の種類及び表面仕上げ

施工箇所	種類・産地・名称	厚さ	仕上げの種類	工 法
・				
・				
・				
・				

建築基準法に基づき定められた風速（V0）及び建築基準法に基づき定められた地表面粗度区分
※図示による

乾式工法用金物式

・スライド方式

・ロッキング方式

・石表面処理材

（

）

・裏打ち処理材

（

）

・ドレンパイプの材質

（

）

・金物固定充填材料

（

）

・

（

）

・

（

）

⑪

タイル工事

1

2

③

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
(11.1.3)

施工後の確認及び試験
(11.1.5)

陶磁器質タイル張り
(11.2.2～11.4.2)

・外壁の伸縮目地

・図示による

※「建築標準仕様書」表11.1.1による。

※下地ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地、構造スリットの位置及び他部材との取合い部には、誘発目地を設ける。

※打診による確認

※屋外のタイル張り及び吹抜け部分

・

・接着力試験

試験体の位置（

）

タイルの種類

※標準色

・特注色

役物使用箇所

※各部の形状は図示による

内 装	出隅	天端	（標準一体成型品以外は接着成型品とする）
外 装	出隅、窓台、マグサ		

タイルの試験張り

※行わない

・行う（

）

タイルの見本焼き

※行わない

・行う（

）

・下地コンクリート素地面

適用タイル	躯体表面	下地モルタル塗り	工 法
・小口タイル	・MCR工法	※ポリマーセメント	※密着工法
・二丁掛タイル	・目荒し工法 （高圧水洗）	・モルタル下塗り ・行わない	・改良圧着張り ・接着剤張り

MCR工法

MCR工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。

施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。

目荒し工法

高圧水洗による目荒しは、50N／㎡の水圧で2.5分／㎡とし、仕上り面の程度は監督員の承諾を受ける。

施工箇所の躯体の増打ちは、図示による。

ポリマーセメントモルタルの調合は、「建築標準仕様書」15.2.3(b)による。

11

タイル工事

4

5

セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
(表11.2.2)

接着材による陶磁器質タイル張り
(11.3.1)(11.3.2)

(11.3.3)

⑥

目地

⑫

木工事

①

②

③

④

⑤

適用基準等

寸法

表面仕上げ
(12.1.4)(表12.1.1)

木材の含水率
(12.2.1.i)
(表12.2.1)

製材

・構造設計標準仕様書（令和元年版）7章 木造工事による

・「建築標準仕様書」12.1.1：内装の木下地、木造作及び木仕上りの工事

・木造建築工事標準仕様書（官庁営繕関係統一基準）：軸組工法等の木造建築工事に適用

・住宅金融支援機構【フラット35】対応 木造住宅工事仕様書（最新版）の木造躯体工事

・2017年 木造軸組工法住宅の許容応力度設計：（財）日本住宅・木材技術センター

・木造建築工事標準仕様書（官庁営繕関係統一基準）：枠組壁工法の木造建築工事に適用

・住宅金融支援機構【フラット35】対応 枠組壁工法住宅工事仕様書（最新版）の木造躯体工事

・2018年 枠組壁工法建築物設計の手引き：（社）日本ツーバイフォー建築協会

・木造建築工事標準仕様書（官庁営繕関係統一基準）：丸太組構法工事の木造建築工事に適用

・図示（関連図名：

・枠組壁工法の構造耐力上主要な特記仕様書（平成29年版）

・枠組壁工法1階床枠組特例標準図（平成29年版）

・枠組壁工法構造詳細標準図（平成29年版）

・枠組壁工法技術基準図（平成29年版）

○使用する木材は高山市産材を優先し、確保が困難な場合等、岐阜県産材を用いるものとする。

図面上の寸法は構造材はひき立て寸法、造作材は仕上り寸法とする。

見え掛り面の表面仕上げ

・A種

※B種

・C種

・D種

木材の含水率の概要

下地材

※A種

・B種

造作材

※A種

・B種

「製材の日本農林規格」による製材

・下地用針葉樹製材

樹種、寸法、等級、形状(板類耳付・押角)

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状(板類耳付・押角等)
			・1級	※2級
			・1級	・2級
			・1級	・2級
			・1級	・2級

○造作用針葉樹製材

樹種、寸法、等級、形状(板類・角類)

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状(板類・押角等)
天井	スギ	t20x100	・無節	※上小節
天井	スギ	t9x100	・無節	・上小節
格子	ヒノキ	図示	・無節	○上小節
			・無節	・上小節
			・無節	・上小節

・広葉樹製材

樹種、寸法、等級、形状(耳付材の有無)

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状(耳付材の有無)
			・特等	※1等
			・特等	・1等
			・特等	・1等
			・特等	・1等
			・特等	・1等

「製材の日本農林規格」以外による製材

・下地、造作及び仕上りに用いる製材

樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理

施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	難燃処理

・造作材の材面の品質

※A種

・B種

12

木工事

6

⑦

8

造作用集成材
(12.2.1.c)

造作用単板積層材
(12.2.1.d)

床張り用合板等

ホルムアルデヒドの放散量

※F☆☆☆☆（※1）

・F☆☆☆

※1：F☆☆☆☆又はホルムアルデヒド放散量表示がない場合は、塗装していないものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」塗装したものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用」

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

・造作用集成材

単材の樹種及び厚さ

施工箇所	樹種	単材の厚さ（mm）	施工箇所	樹種	単材の厚さ（mm）

・化粧ばり造作用集成材

施工箇所	見付け材面の品質	心材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板の厚さ（mm）
柱	JAS1等		杉	※1.0以上
かも居、なげし、廻縁	JAS1等		杉	※0.6以上
天井板	JAS1等		杉	※0.2以上
敷居	JAS1等		サクラ	※1.5以上
カウンター	－		メラミン樹脂化粧板	※1.0以上

・化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	見付け材面の品質	心材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板の厚さ（mm）

・化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	見付け材面の品質	心材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板の厚さ（mm）

ホルムアルデヒドの放散量

※F☆☆☆☆（※1）

・F☆☆☆

※1：F☆☆☆☆又はホルムアルデヒド放散量表示がない場合は、塗装していないものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」塗装したものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用」

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

・単板積層材

施工箇所	表面の品質	防虫処理

「単板積層材の日本農林規格」以外による造作用単板積層材

・単板積層材

施工箇所	表面の品質	防虫処理

ホルムアルデヒドの放散量

※F☆☆☆☆（※1）

・F☆☆☆

※1：F☆☆☆☆又はホルムアルデヒド放散量表示がない場合は、塗装していないものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」塗装したものにあつては「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用」

・普通合板

厚さ（mm）	接着の程度	表面の品質
※5.5	※1類	・2類
・		・1等
		※2等

工事名

中山公園野球場整備工事（建築）

図 名

特記仕様書－4

縮 尺

—

番 号

124 枚の内 A004号

設 計 年 月 日

令和7年11月

設 計

(有)斐太プランニング一級建築士事務所
一級建築士 第266975号 門 秀樹

高 山 市

建築工事特記仕様書 No. 5/8

章

12

木
工
事

項

特記事項

・構造用合板

厚さ（mm）	接着の程度	表面の品質又は等級
※12	・特類 ※1類	・1等 ※2等 ・1級 ※2級
・		
・		

・パーティクルボード

厚さ（mm）	接着の程度	曲げ強さ
※12	・Mタイプ ・Pタイプ	・18タイプ ※13タイプ ・8タイプ
・		

・構造用パネル

厚さ（mm）	等級	備考
・	・	・
・		

9

接合具等
(12.2.2.a)

接合具等
釘
・表面処理された鉄
・ステンレス鋼
・

(12.2.2.b)

木ねじ
※ステンレス
・

(12.2.2.C)

接着剤
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシンノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆
・F☆☆☆

10

防腐処理

・行う（
）
・行わない

11

防蟻処理 (12.3.1)

・行う（
）
・行わない

12

防虫処理 (12.3.2)

・行う（
）
・行わない

13

鉄筋コンクリート造等の
内部間仕切軸組
及び床組
(12.4.1)

内部間仕切軸組及び床組に用いる木材
・特記がなければ、杉又は松とする。ただし、土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引及び転ばし根太は、ひのき又は保存処理木材とする。
・間仕切軸組に用いる木材（
）
・床組に用いる木材（
）

14

窓、出入口その他
(12.5.1)

窓、出入口その他に用いる木材
・特記がなければ、吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉とする。
・窓、出入口その他に用いる木材（
）

15

床板張り
(12.6.1)

床板張りに用いる木材
・特記がなければ、ひのきとする。なお、フローリングは、19章5節【フローリング張り】による。
・縁甲板及び上がりがまちに用いる木材（
）

16

壁及び天井下地
(12.7.1)

壁及び天井下地に用いる木材
・特記がなければ、杉又は松とする。
・壁下地に用いる木材（
）
・天井下地に用いる木材（
）

⑬

屋根
及び
とい
工事

①

長尺金属板葺
(13.2.2～3)
(表13.2.1)

長尺金属板の種類

形式
・横葺
・瓦棒葺
・平葺
○立ハゼ葺（防水工法）
種類
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CGCCR-20-Z25）
・ポリ塩化ビニル被覆金属板（A種、SG）
・塗装溶融亜鉛－5％アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ZACCR-20）
※溶融55％アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CGLCCR-20-AZ）JIS G 3322
○カラーガルバリウム連熱鋼板

鋼板の厚さ（mm）

一般部
※0.4
・
・
谷部
※0.4
・
・

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※図示による
・
下葺材料
・アスファルトルーフィング940
○改質アスファルトルーフィング下葺材
耐風圧検査
○行う
・行わない

2

折板葺
(表13.2.1)

長尺金属板の種類

材種
※塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（CGCCR-20-Z25）
・ポリ塩化ビニル被覆金属板（A種、SG）
・塗装溶融亜鉛－5％アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ZACCR-20）
・

(13.3.2)

種類
山高
mm
山のピッチ
mm
厚さ
mm
形による区分
※重ね形
・はぜ締め形
・かん合形

(13.3.3)

タイトフレーム、けらは納めは屋根ふき工法に応じた専門業者の仕様による。
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※図示による
・

⑬

屋根及びびとい工事

③

とい (13.5.2)

とい材種等
軒どい
たてどい
とい受け金物
足金物

○ 図示
・VPカラー75φ
※垂鉛めっき
※溶融垂鉛めっき

○ 7φ既製品
・ステンレス (SUS304)
・ステンレス (SUS304)

④

ルーフトレン (13.5.3)

ルーフトレンの種類
型式 ()

⊗ 打込み
ステンレス鋼板 (SUS304, 厚さ0.2mm) で被覆する。

・後付け

5

鋼管製といの防露
巻工法部等の処理 (13.5.2.C)
(表13.5.4)

防露部
高さ (mm)
天井
防露材
防露材のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆
防露を行わない場合
※ステンレス製シーリングプレートを取り付ける (床、天井共)
・ステンレス鋼板巾木 (厚0.2mm) , 天井取合い部廻り縁

※150
※30
・F☆☆☆

6

保証 (13.5.3)

○ 製品及び施工の保証期間は10年間とし、竣工時に保証書を発行する事

⑭

金属工事

1

あと施工アンカー (14.1.3)

引抜き耐力の確認試験
設計用引強度
kgf/本

※引張試験機による試験
・

②

ステンレス (14.2.1)

ステンレスの表面仕上げ

種類	表面仕上げの種類	施工箇所
○ SUS304	HL (JIS)	手摺、見切り
・ SUS304	鏡面仕上げ	
・		

③

アルミニウム及びアルミニウム合金 (14.2.2)
(表14.2.1)

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

表面処理の種類	施工箇所
・	
・	
・	

皮膜の品質試験
・行う
※行わない (試験成績書の提出)

4

鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)
(表14.2.2)

鉄鋼の亜鉛めっきの種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・		・	
・		・	

⑤

軽量鉄骨天井下地 (14.4.2)
(表14.4.1)
(14.4.4.h)

野縁などの種類 (JIS A 6517) 建築用鋼製下地材 (天井)
屋外
・19形
※25形
屋内
※19形
・25形
※木下地用吊りボルト支持具について、木材種毎に引張強度試験を行うこと
・天井のふところが1.5m以上の補強

適用箇所	仕様	適用箇所	仕様
・		・	
・		・	

・耐震性を考慮した補強 (特定天井)

適用箇所	仕様	適用箇所	仕様
・		・	
・		・	

・屋外における耐風圧を考慮した補強

適用箇所	仕様	適用箇所	仕様
・		・	
・		・	

⑥

軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)
(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類 (JIS A 6517) 建築用鋼製下地材 (壁)
・50形 (H=2.7m以下)
・65形 (H=4.0m以下)
・90形 (H=4.5m以下)
・100形 (H=5.0m以下)
※スタッド 50 形は、ボード片面張りの場合に適用する。
※ランナー、振れ止め等の種類は、「建築標準仕様書」表 14.5.1 によるスタッドの種類に準じる。
※出入口及びこれに準ずる開口部の補強材の種類は、「建築標準仕様書」表 14.5.1 によるスタッドの種類に準じる。
※補強材取付け用金物の種類は、「建築標準仕様書」表 14.5.1 によるスタッドの種類に準じる。

⑦

金属成形板張り (14.6.2~3)

金属成形板張りの種類
○ カラーガルバリウム鋼板 (金属サイディング)

種別	アルミスパンデル (既製品)	施工箇所
製法	・押出し形材 ・板曲げ	
寸法 (mm)	板幅 板厚	
形状		
表面処理		
伸縮継手	※設けない ・設ける (場所は図示)	

⑧

アルミニウム製笠木 (14.7.2~3)
(表14.7.1)

アルミニウム製笠木の種類
※押出形材
・曲げ材
部材の種類
○250 形 (呼称肉厚は 1.6以上)

章

14

金属工事

項

特記事項

・ 300 形 (呼称肉厚は 1.8 以上)

・ 350 形 (呼称肉厚は 2.0 以上)

・ (呼称肉厚は 以上) 「建築標準仕様書」表 14.7.1 以外の既製品

・ (呼称肉厚は 以上) 「建築標準仕様書」表 14.7.1 以外の既製品

表面処理 ※ A－1 種又は B－1 種

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔、固定方法等

※図示による

15

左官工事

①

モルタル塗り (15.3.2)

材料
吸水調整材の品質 ※「建築標準仕様書」表15.3.2による
既製目地材 ○使用しない ・使用する
形状、寸法 ()

2

防水モルタル塗り

防水剤 ※実績等の資料を監督員に提出する

3

セルフレベリング材塗り (15.4.2) (表15.4.1)

セルフレベリング材の種類

種類	厚さ (mm)	施工箇所
・ セメント系	※ 10	・
・ 石こう系	※ 10	・

④

仕上塗材仕上げ (15.6.2.a)

仕上塗材材料
内装仕上に用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
防火材料：屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく、基材同等の認定表示のあるものとする。

(15.6.2) (表15.6.1)
・ 薄付け仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法
・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・	・ 吹付け
・ 内装薄塗材 E	・ 砂壁状じゅらく	・ 吹付け
・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状	・ 吹付け
・	・	・

(15.6.2) (表15.6.1)
・ 厚付け仕上塗材 ・ 内装珪藻土珪仕上

種類	仕上げの形状	工法	上塗材
・ 外装薄塗材 E	・ 吹放し ・ 凸部処理	・ 吹付け	・ 行う ・ 行わない

(15.6.2) (表15.6.1)
・ 複層仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法	上塗材		
※複層塗材 E ・ 複層塗材 C E ・ 可とう形複層塗材 C E ・ 複層塗材 S i ○複層塗材 R E ・ ・ ・	※凹凸模様 ・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ ゆず肌状 ・ ・ ・ ・	※吹付け ・ 吹付け ・ ローラー	※水系 ・ 水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系	※アクリル系 ・ アクリル系 ・ ポリウレタン系 ・ アクリルシリコン系 ・ ふっ素系 ・ シリカ系	※つやあり ・ つやあり ・ つやなし ・ メタリック

(15.6.2) (表15.6.1)
・ 軽量骨材仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法
・ 吹付け軽量塗材	・ 砂壁状	・ 吹付け
・ こて塗用軽量塗材 装飾仕上塗材珪仕上	・ 平たん状 骨材混入	・ こて塗り

(15.5.4)
(15.5.7) (表15.5.4)
下地処理
A L C パネル内壁目 地部の形状 ※V 型目地付き
所要量等の確認 ※「建築標準仕様書」表15.5.4による

16

建具工事

1

防火戸の指定 (16.1.3)

※図示による
※防火戸は、建築基準法第2条第九号の二のロの規定に基づき定められたもの又は認定を受けたものと
する。

2

見本の製作等 (16.1.4)

建具見本の製作 ・製作する (図示) ※製作しない
特殊な建具の仮組 ・行う (図示) ※行わない
建具の製作所 ※監督員の承諾する製作所

③

アルミニウム製建具 (16.2.2～16.2.4) (表16.2.1)

性能及び構造 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級

性能項目 種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法
・ A 種	※S－4	※A－3	※W－4	70mm (注)
○B 種	※S－5			
・ C 種	※S－6	※A－4	※W－5	100mm

(注) 引違い・片引き・上げ下げ窓で、複層ガラスを使用する場合は、100mm とする
耐風圧性は取付高さに適応したものととする。

表面処理	○外部	○B－1 種	・
	○内部	○C－1 種	・

4

アルミ樹脂複合サッシ

工事名	中山公園野球場整備工事 (建築)		
図 名	特記仕様書－5		
縮 尺	—	番 号	124 枚の内 A005 号

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	特記仕様書－５		
縮 尺	—	番 号	124 枚の内 A005号
設 計 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

建築工事特記仕様書 No. 6/8

⑬

建具工事

④

網戸

(16.2.3)

5

樹脂製建具

(16.2.2～16.2.4)
(表16.2.1)

⑥

鋼製建具

(16.4.2)

⑦

鋼製軽量建具

(16.5.2)

8

ステンレス製建具

(16.6.2)

⑨

木製建具

(16.7.2)
(表16.7.1)
(表16.7.2)
(表16.7.3)

⑩

建具金物

(16.8.1～4)
(表16.8.1～4)

11

自動ドア開閉装置

(表16.9.1)
(表16.9.2)
(表16.9.3)

⑫

自閉式上吊り引戸装置

⑬

その他

着色の色合

・アンバー

・ブロンズ

・ブラック系

・ステンカラー

○監督員の指示による

・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・

・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・

・耐震ドアセット、面内変形追従性の等級

※図示による

・

(メーカー仕様)

防虫網及び防鳥網

防虫網

・ガラス繊維入り合成樹脂

○合成樹脂

・ステンレス製

防鳥網

・ステンレス製

径1.5mm

ピッチ15mm

性能及び構造

外部に面する樹脂製建具の性能等級

種 別	性能項目	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法
・A種		S-4	A-4	W-4	
・B種		S-5		W-5	
・C種		S-6			

着色の色合

・アンバー系

・ブロンズ系

・ブラック系

・シルバー系

・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・

・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・

鋼製建具の性能値

・簡易気密型ドアセット

気密性、水密性の等級

・適用する (「建築標準仕様書」表16.4.1)

○適用しない (「建築標準仕様書」表16.2.1)

外部に面する建具の耐風圧性

※S-4

・S-5

・S-6

・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・

・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・

・耐震ドアセット、面内変形追従性の等級

※図示による

・

鋼板類の厚さ (W) 以下の場合

※「建築標準仕様書」表16.4.2による

・

(W) を超える場合

※図示による

・

(W) は、片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が 950 mm 又は有効高さが 2,400mm

鋼製軽量建具の性能値

○簡易気密型ドアセット

気密性の等級

○適用する (気密性 A-3)

・適用しない

・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・

・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・

(16.5.3) 戸の鋼板

・鋼板 (「建築標準仕様書」16.5.3(a)(1))

・ビニル皮膜鋼板

・カラー鋼板

召合せ、縦小口包み押、押縁

(16.5.4) ・鋼板 (「建築標準仕様書」16.5.3(a)(1))

○ステンレス鋼板

・アルミニウム押出形材

鋼板類の厚さ (W) 以下の場合

※「建築標準仕様書」表16.5.1による

・

(W) を超える場合

※図示による

・

(W) は、片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が 950 mm 又は有効高さが 2,400mm

ステンレス製建具の性能値

・簡易気密型ドアセット

気密性、水密性の等級

・適用する (「建築標準仕様書」表16.4.1)

・適用しない

(16.6.2) 外部に面する建具の耐風圧性

※S-4

・S-5

・S-6

・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・

・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・

・耐震ドアセット、面内変形追従性の等級

※図示による

・

(16.6.3) ステンレス鋼板

・SUS304

・

(16.6.4) 表面の仕上げ

※H仕上げ

・

木製建具材の加工材料及び組立時の含水率

建具材の含水率

○A種

※B種

・C種

フラッシュ戸の心材

○中骨式

・ベーパーコア式

・

ふすまの材料種別

・I型

・II型

上張り紙

・ビニル紙

・新鳥の子

縁

押入れ等の裏紙

・雲花紙

・

・図示による

・

○本工程木製建具工事については、高山市内の製作所で製作された木製建具とすること。

建具金物の材質、形状及び寸法

建具表による

見本提出のうえ監督員の承諾を受ける。

鍵箱

○設ける (個用)

・設けない

・鍵札

マスターキー

○製作する (組)

・製作しない

・既存マスター合わせ

煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。

※扉にラッチ受座用切込開口補強

・枠に解錠機構用切込開口補強

製作所

※監督員の承諾する製作所

スライディングドア用の性能値

片引き

・SSLD-1

・SSLD-2

・図示による

引分け

・DSL D-1

・DSL D-2

(表16.9.2) スイングドア用の性能値

・図示による

片引き

・SWD-1

・SWD-2

(表16.9.3) センサーの種類

・マットスイッチ

・光線スイッチ

・熱線スイッチ

・音波スイッチ

・光電スイッチ

・電波スイッチ

・タッチスイッチ

・押しボタンスイッチ

・ペダルスイッチ

・多機能便所スイッチ

・

・

※多機能便所スイッチには大型 (開・閉) 押しボタンスイッチ又は非接触スイッチ、使用中表示灯、外部側キースイッチ (緊急時対応) を含む。

開閉方式

※手動開方式

指詰め防止措置をおこなう。

章

16
建
具
工
事

項

13 重量シャッター
(16. 11. 2)

(表16. 11. 1)

14 軽量シャッター
(16. 12. 1)
(表16. 12. 1)
(16. 12. 4)

15 施工区分

16 ガラス (16. 14. 2)
(表16. 14. 1)
(表9. 7. 1)

特記事項

シャッターの種類
・一般重量シャッター
・屋内用防火シャッター
・外壁用防火シャッター
・防煙シャッター

耐風圧強度
・ 500Pa
・ 750Pa
・ 1000Pa
・ 1250Pa
開閉機能による種別
※上部電動式（手動併用）
・上部手動式
・設ける
・設けない
シャッターケース（防火、防煙以外の場合）

開閉装置による種別
○上部電動式（手動併用）
※上部手動式
耐風圧強度
・ 500Pa
・

シャッターケース
スラットの形状
※設ける
・設けない
○インターロッキング形
・オーバーラッピング形

※電動シャッター
自動扉の施工範囲は、電源端子台一次側配線までを電気設備工事とし、以降を本工事とする。

板ガラスの品質及び厚さ等
※図示による
・
ガラス留め材

建具の種類	材 種
鋼製	※シーリング材 ・
アルミニウム製	・ガスケット（注） ○シーリング材 ・
ステンレス製	※シーリング材 ・
木製	※シーリング材 ・

防火戸のガラス留め材は認定を受けた条件による。
（注）外部に面する複層ガラス、合わせガラス、網入り板ガラス、線入り板ガラスを除く
ガラス溝の大きさ
※強化ガラス、倍強度ガラス、熱線反射ガラス（映像調整を行う場合は(a)に2mmを加算する。

17
カ
ー
テン
ウ
ォ
ール
工
事

1 カーテンウォール
(17. 1. 3)
(17. 2. 2～6)
(17. 3. 2～6)

カーテンウォールの性能

耐風圧性	※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全を確認したもの ・正圧 N/㎡以上、負圧 N/㎡以上に対して安全なもの	
耐震性	水平方向に対する地震力係数	※1.0
	鉛直方向に対する地震力係数	※0.5
	S 造	※1/200 以上
	R C, S R C 造	※1/300 以上
・水密性 ・ W-4 ・ W-5 ・		
・気密性 ・ A-3 ・ A-4 ・		
・耐火性		
・耐温度差性 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4 ・		
・遮音性		
・断熱性		

その他の性能
種類
・図示による
・メタルカーテンウォール
金属材料その他の材料
※図示による
製作所
・P Cカーテンウォール

18
塗
装
工
事

① 材料 (18. 1. 3)

② 塗装面の確認等

③ 素地ごしらえ
(18. 2. 2)
(18. 2. 3)
(18. 2. 4)

④ 錆止め塗料塗り
(18. 3. 2～3)

⑤ 塗料の種類
(18. 4. 2)

防火材料

屋内の壁及び天井の塗装仕上げは建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする

材料

塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・

工事現場塗装
※使用量から単位面積当たり塗付量を推定

工場塗装
※適切な測定器具により膜厚を確認

素地ごしらえ

木部	不透明塗料塗り	※A種	・B種
	透明塗料塗り	・A種	※B種
鉄鋼面		・A種（注）	・B種（注） ※C種
亜鉛めっき面	鋼製建具	※A種（注）	・B種 ・C種
	鋼製建具以外	・A種（注）	※B種 ・C種

鉄鋼面
（注）：製作工場で行う。

	塗料の種類別	適 用	塗料塗りの種別
（注1）以外	※A種 ・表18. 7. 1鉄鋼面耐候性塗料塗りによる	JIS K5674 1種 屋内、屋外	見え掛け ※A種 ・B種
（注1）	※B種 JASS 18 M-111 JIS K5674 2種	屋内	見え掛け ・A種 ※B種

（注）：つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（E-P-G）

亜鉛めっき鋼面

	塗料の種類別	適 用	塗料塗りの種別
（注1）以外	※A種 ・B種	JIS K5629 JASS 18 M-109	屋内、屋外 鋼製建具 ※A種
（注1）	※C種	JASS 18 M-111	屋内 その他 ※C種

（注）：つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（E-P-G）

合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類
※1種
・2種
塗料の種類
（「建築標準仕様書」18章4節～13節）

	S O P	E P - G	E P	W P	D P
木部	※B種（注1）	「建築標準仕様書」 (表18. 8. 2)	—	※B種	—
鉄鋼面	※B種	※B種	—	—	—
亜鉛めっき面	「建築標準仕様書」 (表18. 4. 3)	「建築標準仕様書」 (表18. 8. 4)	—	—	○A種(1級)
ボード等（注2）		※B種	※B種	—	—

（注1）： 屋外はA種とする（多孔質広葉樹を除く）
（注2）： コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面等
（「建築標準仕様書」18章8節）

章

⑬内装工事

項

①接着剤（19.2.2）
②ビニル床シート
ビニル床タイル

特記事項

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆・

○ビニル床シート

種類	記号	色柄	厚さ（mm）	特殊機能	工法
※発泡層のないもの・	※FS・	●ブレーン ○マープル ○特殊柄	●2.0 ・2.5	・帯電防止 ・耐動荷重 ○防滑性	・突付け ○熱溶接

○ビニル床タイル ○ダグアウト床：ダグアウトタイプ9（ノスリッパ仕様）

記号	色柄	厚さ（mm）	特殊機能	備考
・HT	※標準柄 ・特殊柄	※2.0・3.0	・帯電防止 ・耐動荷重	
・CT ・CTS	※標準柄 ・特殊柄	※2.0・	・帯電防止 ・耐動荷重	

○特殊機能床材

種類	厚さ（mm）	形状、寸法、性能等
・視覚障害者用床タイル		

○ビニル幅木

厚さ（mm）	高さ（mm）	色柄
※1.5以上・	・60・75○100○300	※標準柄

3カーベット敷き（19.3.2～4）（表19.3.2）

・タイプカーベット

種別	バイル形状	寸法（mm）	総厚さ（mm）	色柄	敷き込み
※一種・	※ルーブパイル ・カットパイル	※500×500・	※6.5・	・無地 ・柄物	※全面接着工法・

製造所及び製品名

・厚膜型塗床材

塗床の種類	仕上げるの種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床	※平滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・防滑仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床	・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ ・防滑仕上げ

・薄膜型塗床材

塗床の種類	仕上げるの種類
※エポキシ樹脂系塗床	※平滑仕上げ

※塗床に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆・

・単層フローリング

品名	樹種	厚（mm）	形状・寸法（mm）
・フローリングボード	・	・	
・フローリングブロック	・	・	
・モザイクパーケット	・	・	

・圧縮杉無垢フローリング（UV塗装品） クッション材（カルプ）付き 50%圧縮厚さ15mm

・複合フローリング

品名	樹種	表面厚（mm）	厚（mm）	形状・寸法（mm）
※複合1種	※なら	※2.0	・15	
・複合2種	・	・	・12	
・複合3種	・	・	・	

フローリングのホルムアルデヒド放散量等
※F☆☆☆☆。接着剤等不使用（単層フローリングに限る）。ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用（単層フローリングに限る）、非ホルムアルデヒド系接着剤使用並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用とする。

製造所及び製品名

・工法

工法形式	取付け及び下地の工法
・乾式工法	・釘留め工法 ・根太張り工法 ・直張り工法
	・接着工法
・湿式工法	・モルタル埋込み工法

・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り
・生地のままワックス塗り
・オイルステイン塗り

図名

中山公園野球場整備工事（建築）

縮尺

—

番号

124枚の内 A006号

設計年月日

令和7年11月

設計

(有)斐太プランニング一級建築士事務所
一級建築士 第266975号 門秀樹

高山市

建築工事特記仕様書 No.7/8

[illegible]

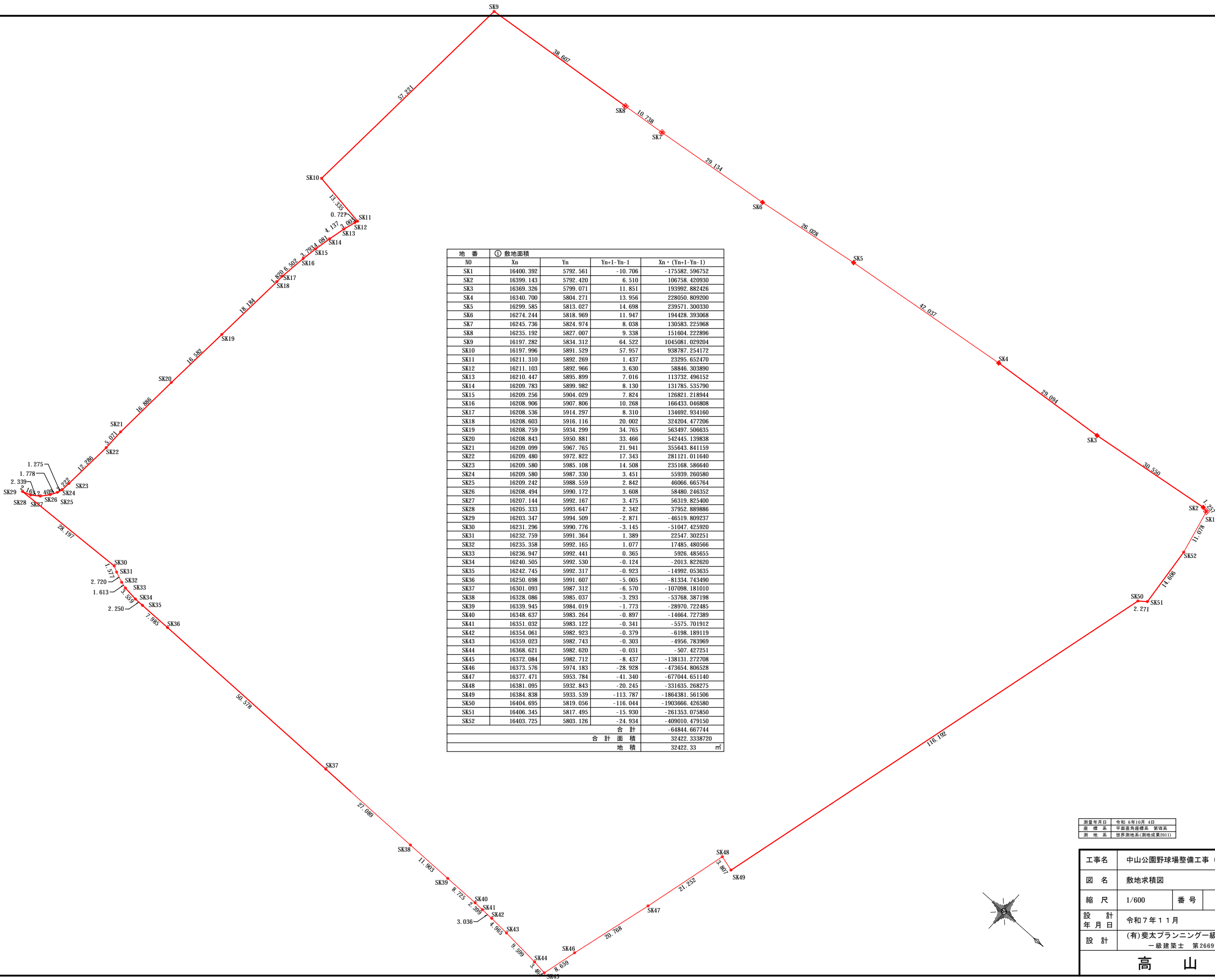
建築工事特記仕様書 No. 8/8			章	項	特記事項	章	項	特記事項
23	排水工事	① 排水管 (21. 2. 1)	23	植栽	① 植栽地の確認 (23. 1. 3)	23	① 建設機械	1) 本工事においては、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成16年9月24日国土交通省告示第1151号)に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 2) 本工事においては、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日建設省経機発第249号、最終改正 平成14年4月1日国総施第225号)」に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」又はこれと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。
		② 排水樹 (21. 2. 2)						
24	舗装工事	3 埋戻しに用いる材料 (表3. 2. 1) (21. 2. 3)	24	植栽工事	② 植栽基盤 (23. 2. 2) (表23. 2. 1)	24	② 追記事項	2) 現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法等の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合の請負金額の変更は行わない
		④ 樹蓋						
25	舗装工事	⑤ 溝蓋	25	植栽工事	③ 支柱材	25	③ 下請契約	本工事において、下請契約を締結する場合には、「高山市公契約条例」(平成30年4月1日施行)に基づき、当該契約の相手方を高山市内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所含む。)を有する者の中から選定するよう努めること。 下請け業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。
		⑥ 路床 (22. 2. 2)						
26	舗装工事	⑦ 路壁 (22. 3. 2)	26	植栽工事	④ 芝	26	④ 事故報告	工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。
		⑧ 区画線						
27	舗装工事	⑨ 区画線	27	植栽工事	⑤ 新樹木、芝	27	⑤ 重点監督対象工事	当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いによるものとする。
		⑩ 区画線						
28	舗装工事	⑪ 区画線	28	植栽工事	⑥ 移植樹木の枯損処理	28	⑥ 経年検査	建築竣工引渡後1年が経過した時点において係員立合のもとで1年検査を行い、工事不良の為生じたと認められる損害等についても、係員の指示に従い改修しなければならない。 なお、その費用については請負者の負担とする。
		⑫ 区画線						
29	舗装工事	⑬ 区画線	29	植栽工事	⑦ 既存樹木の伐採	29	⑦ 損害保険	工事中出来高部分と工事現場に搬入した工事材料・建築設備の機器などに火災保険または建設工事保険を付し、その証券の写しを監督職員に提出する。 1) 損害の補填条件 a. 火災、落雷、爆発又は破裂 b. 台風、旋風、暴風、暴風雨の風災 2) 保険金 原則として請負金額とする。 3) 保険の期間 保険の加入の時期は、原則として工事着工のときとし、終期は工事完成後14日までとする。 4) 協議 この取扱いにより難しい事項については、必要に応じて請負者は、監督職員と協議するものとする。
		⑭ 区画線						
30	舗装工事	⑮ 区画線	30	植栽工事	⑧ 既存樹木の再利用	30	⑧ 実施状況の提出について	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、事前に計画書を提出し監督職員の確認を得た上で実施し、実施後に実施報告を提出することができる。
		⑯ 区画線						
31	舗装工事	⑰ 区画線	31	植栽工事	⑨ 既存樹木の伐採	31	⑨ 工事着手協議について	1) 本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手協議を行うこと。 2) 協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。 3) 協議に当たって、発注者側は監督員及び担当係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。 4) 協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答(その他)欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人(主任技術者)が受け取ること。
		⑱ 区画線						
32	舗装工事	⑲ 区画線	32	植栽工事	⑩ 既存樹木の再利用	32	⑩ 電子メールの利用	本工事の施工中における受発注者間の情報共有は、電子メールを利用すること。運用にあたっては、「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。
		⑳ 区画線						
33	舗装工事	㉑ 区画線	33	植栽工事	⑪ 既存樹木の伐採	33	㉑ ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について	1) ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。 2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。
		㉒ 区画線						
34	舗装工事	㉓ 区画線	34	植栽工事	⑫ 既存樹木の伐採	34	㉓ 工事書類の簡素化	1) 実施にあたっては「工事書類簡素化要領」(技191号平成22年6月30日改正)に基づいて実施すること。
		㉔ 区画線						
35	舗装工事	㉕ 区画線	35	植栽工事	⑬ 既存樹木の伐採	35	㉕ 提出書類等	高山市ホームページ上に示された書類とし、監督員協議によりその一部を省略することができる。
		㉖ 区画線						
36	舗装工事	㉗ 区画線	36	植栽工事	⑭ 既存樹木の伐採	36	㉗ 施工中の安全確保	1) 「建築基準法」「労働安全衛生法」その他関係法令等に定めるところによるほか、「建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編」に従うとともに「建築工事安全施工技術基準指針」を参考に施工に伴う災害及び事故の防止に努める。 2) 安全委員会の組織を構成するとともに、「日常活動(安全朝礼・ミーティング・KY活動 工事打合せ等)」及び「月例行事(安全パトロール・安全協議会・安全大会等)」の実施と記録を行う。
		㉘ 区画線						
37	舗装工事	㉙ 区画線	37	植栽工事	⑮ 既存樹木の伐採	37	㉙ 別途工事	工事期間中に電気設備工事、機械設備工事、人工芝工事等の別途工事を伴うため、各施工業者と綿密に調整を行うこと。
		㉚ 区画線						
38	舗装工事	㉛ 区画線	38	植栽工事	⑯ 既存樹木の伐採	38	㉛ 週休2日制の導入	本工事は、完全週休2日制を原則とした、週休2日制工事(現場閉所)とする。 詳細は、「高山市発注の建設工事に係る週休2日制工事実施要領」に従う。
		㉜ 区画線						
39	舗装工事	㉝ 区画線	39	植栽工事	⑰ 既存樹木の伐採	39	㉝ 工事名	中山公園野球場整備工事(建築)
		㉞ 区画線						
40	舗装工事	㉟ 区画線	40	植栽工事	⑱ 既存樹木の伐採	40	㉟ 図名	特記仕様書-8
		㊱ 区画線						
41	舗装工事	㊲ 区画線	41	植栽工事	㉑ 既存樹木の伐採	41	㊲ 縮尺	— 番号 124 枚の内 A008 号
		㊳ 区画線						
42	舗装工事	㊴ 区画線	42	植栽工事	㉒ 既存樹木の伐採	42	㊴ 設計年月日	令和7年11月
		㊵ 区画線						
43	舗装工事	㊶ 区画線	43	植栽工事	㉓ 既存樹木の伐採	43	㊶ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊷ 区画線						
44	舗装工事	㊸ 区画線	44	植栽工事	㉔ 既存樹木の伐採	44	㊸ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊹ 区画線						
45	舗装工事	㊺ 区画線	45	植栽工事	㉕ 既存樹木の伐採	45	㊺ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊻ 区画線						
46	舗装工事	㊼ 区画線	46	植栽工事	㉖ 既存樹木の伐採	46	㊼ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊽ 区画線						
47	舗装工事	㊾ 区画線	47	植栽工事	㉗ 既存樹木の伐採	47	㊾ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
48	舗装工事	㊿ 区画線	48	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	48	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
49	舗装工事	㊿ 区画線	49	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	49	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
50	舗装工事	㊿ 区画線	50	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	50	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
51	舗装工事	㊿ 区画線	51	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	51	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
52	舗装工事	㊿ 区画線	52	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	52	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
53	舗装工事	㊿ 区画線	53	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	53	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
54	舗装工事	㊿ 区画線	54	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	54	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
55	舗装工事	㊿ 区画線	55	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	55	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
56	舗装工事	㊿ 区画線	56	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	56	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
57	舗装工事	㊿ 区画線	57	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	57	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
58	舗装工事	㊿ 区画線	58	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	58	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
59	舗装工事	㊿ 区画線	59	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	59	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
60	舗装工事	㊿ 区画線	60	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	60	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
61	舗装工事	㊿ 区画線	61	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	61	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
62	舗装工事	㊿ 区画線	62	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	62	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
63	舗装工事	㊿ 区画線	63	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	63	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						
64	舗装工事	㊿ 区画線	64	植栽工事	㊱ 既存樹木の伐採	64	㊿ 設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹
		㊿ 区画線						

工 事 区 分 表									
発注別による各工事は、着工に先立ち、構造・仕上・工程等を十分に検討調整した後に、それぞれの工事内容を把握し下記に○印を付したものを適用して施工する。									
番号	項 目	本工事 建築・外構	電気	機械	人工 芝	別途	備 考		
1	ｶﾞﾗｯﾄ・配管・配線等の躯体貫通ｼｰﾌﾞ工事		○	○					
2	同上開口補強工事	○							
3	同上穴補修工事			○	○				
4	設備機器取付け箇所の壁穴あけ			○	○				
5	設備機器取付け箇所の天井穴あけ			○	○				
6	同上の補強	○							
7	一般天井、壁の開口及び補強工事	○							
8	天井、床、ＰＳの点検口	○					補強共（使用目的標示ラベル貼付）		
9	設備機械用コンクリート基礎	○					取付金具は、各機器設置工事		
10	煙感知器連動防火扉								
11	同上のレリーズ以外の設備機器類のすべて								
12	同上の電源供給配線配管								
13	防火区画貫通の防火処理			○	○				
14	ルーフドレン	○							
15	縦樋	○					排水管継手は専門職施工		
16	同上の排水工事			○					
17	軒どい	○							
18	構内雨水側溝までの雨水排水管				○				
19	陶器製掃除流し				○		附属品一式		
20	キッチンユニット・ミニキッチン				○		図面に示す一式		
21	同上の設備配管配線工事			○	○				
22	汚物・掃除用流し				○				
23	深型及び浅型ステンレス製流し	○					配管との接続は機械工事		
24	シャワーユニット				○				
25	同上の設備配管配線工事				○				
26	階段及び外部手摺	○							
27	洗濯機パン								
28	製氷機、洗濯機、乾燥機、冷蔵庫等家電製品								
29	大型・特殊鏡	○							
30	鏡				○		一般品		
31	小屋裏等の換気ｶﾞﾗｼ	○							
32	ｼｬｰｳﾆｯﾄ・ｾｯﾄを除く天井換気扇及びﾊﾞｲﾌﾞｰﾄﾞ				○				
33	冷暖房用電気エアコン				○				
34	ガス漏れ感知器本体及び遮断弁						認定品		
35	同上のコンセント及び配管配線								
36	屋内消火栓ボックス（消火器スペース共）						認定品		
37	同上設置の表示灯、発信機								
38	消火器ボックス・置台	○							
39	消火器本体				○				
40	洗面器本体、洗面化粧台				○				
41	洗面器用カウンター				○		建築図の範囲		
42	小便器、洗面器の電源送り			○					
43	小便器、大便器、手洗い器用手摺				○				
44	外構工事一式及び舗装工事		○				建築図の範囲		
45	同上以外の設備配管埋設に伴う舗装改修工事				○				
46	雨水コンクリート水槽、雑排水ポンプ水槽工事								
47	雨水利用給排水機械（減菌装置・ポンプ）設備工事								
48	同上への電源供給								
49	エレベーター・ダムウェーター工事								
50	同上への電源供給								
51	木製建具・家具※塗装、付随するｶﾞﾗｽ、金物を含む	○					木製建具・家具図に記載の範囲		
52	グラントマスターキー作成	○							
53	造作家具以外の、机、椅子等什器					○			
54	カーテン、ブラインド	○							
55	付帯備品等の移設・設置、ｳﾃｲﾘﾃﾞｻﾞ接続工事	○							
56	同上の給排水配管工事				○				
57	雨樋の凍結防止ヒーター			○					
58	配管の凍結防止ヒーター				○				
59	ﾌﾞﾛｯｸﾞﾗﾝﾄﾞ格納庫						ﾌﾞﾛｯｸﾞﾗﾝﾄﾞ格納庫は建築工事		
60	同上 基礎								
61	室外機基礎						M2F躯体上に架台設置		
62	電話用配管及び配線工事			○					
63	電話機・FAX等の機器工事					○	建物までの空配管は電気工事		
64	LAN用配管工事及びLAN配線			○					
65	HUB・サーバー等LAN機器工事					○	建物までの空配管は電気工事		
66	電話引込工事					○	建物までの空配管は電気工事		
67	CATV引込工事					○			
68	CATV加入金					○			
69	警備保障用配管、配線及び機器工事					○			
70	太陽光発電設備								
71	インターホン設備			○					
72	同上配線工事			○					
73	消防機関へ通報する火災放置設備			○			回線契約は発注者		
74	人工芝工事				○				

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	特記仕様書－9・工事区分表		
縮 尺	—	番 号	124 枚の内 A009 号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



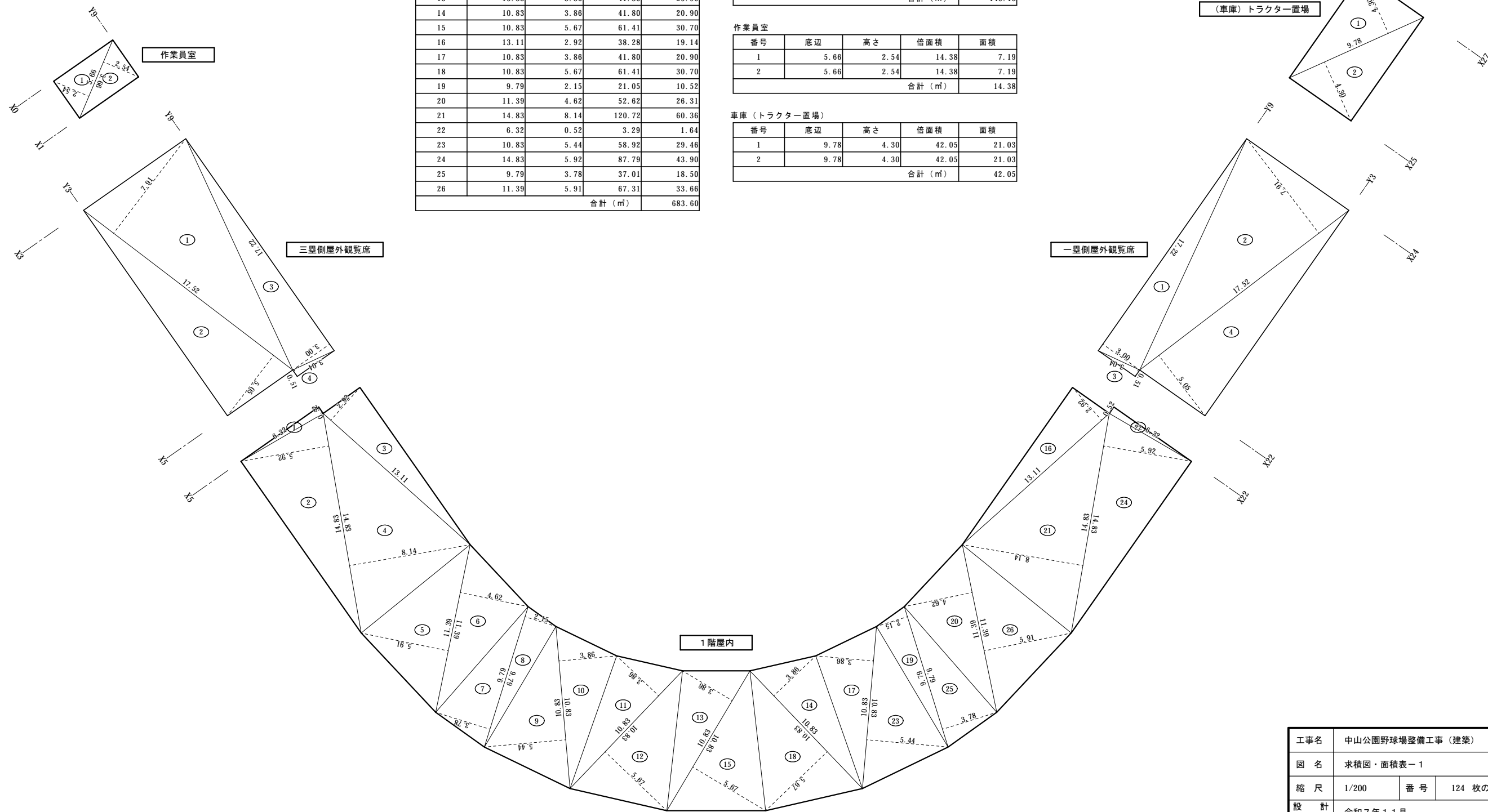
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	案内図		
縮 尺	1/10,000	番 号	124 枚の内 A010 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀 樹		
高 山 市			



地番	①敷地面積			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
SK1	16400.392	5792.561	-10.706	-175582.596752
SK2	16399.143	5792.420	6.510	106758.420930
SK3	16369.326	5799.071	11.851	193992.882426
SK4	16340.700	5804.271	13.956	228050.809200
SK5	16299.585	5813.027	14.698	239571.300330
SK6	16274.244	5818.969	11.947	194428.393068
SK7	16245.736	5824.974	8.038	130583.225968
SK8	16235.192	5827.007	9.338	151604.222896
SK9	16197.282	5834.312	64.522	1045081.029204
SK10	16197.996	5891.529	57.957	938787.254172
SK11	16211.310	5892.269	1.437	23295.652470
SK12	16211.103	5892.966	3.630	58846.303890
SK13	16210.447	5895.899	7.016	113732.496152
SK14	16209.783	5899.982	8.130	131785.535790
SK15	16209.256	5904.029	7.824	126821.218944
SK16	16208.906	5907.806	10.268	166433.046808
SK17	16208.536	5914.297	8.310	134692.934160
SK18	16208.603	5916.116	20.002	324204.477206
SK19	16208.759	5934.299	34.765	563497.506635
SK20	16208.843	5950.881	33.466	542445.139838
SK21	16209.099	5967.765	21.941	355643.841159
SK22	16209.480	5972.822	17.343	281121.011640
SK23	16209.580	5985.108	14.508	235168.586640
SK24	16209.580	5987.330	3.451	55939.260580
SK25	16209.242	5988.559	2.842	46066.665764
SK26	16208.494	5990.172	3.608	58480.246352
SK27	16207.144	5992.167	3.475	56319.825400
SK28	16205.333	5993.647	2.342	37952.889886
SK29	16203.347	5994.509	-2.871	-46519.809237
SK30	16231.296	5990.776	-3.145	-51047.425920
SK31	16232.759	5991.364	1.389	22547.302251
SK32	16235.358	5992.165	1.077	17485.480566
SK33	16236.947	5992.441	0.365	5926.485655
SK34	16240.505	5992.530	-0.124	-2013.822620
SK35	16242.745	5992.317	-0.923	-14992.053635
SK36	16250.698	5991.607	-5.005	-81334.743490
SK37	16301.093	5987.312	-6.570	-107098.181010
SK38	16328.086	5985.037	-3.293	-53768.387198
SK39	16339.945	5984.019	-1.773	-28970.722485
SK40	16348.637	5983.264	-0.897	-14664.727389
SK41	16351.032	5983.122	-0.341	-5575.701912
SK42	16354.061	5982.923	-0.379	-6198.189119
SK43	16359.023	5982.743	-0.303	-4956.783969
SK44	16368.621	5982.620	-0.031	-507.427251
SK45	16372.084	5982.712	-8.437	-138131.272708
SK46	16373.576	5974.183	-28.928	-473654.806528
SK47	16377.471	5953.784	-41.340	-677044.651140
SK48	16381.095	5932.843	-20.245	-331635.268275
SK49	16384.838	5933.539	-113.787	-1864381.561506
SK50	16404.695	5819.056	-116.044	-1903666.426580
SK51	16406.345	5817.495	-15.930	-261353.075850
SK52	16403.725	5803.126	-24.934	-409010.479150
合 計				-64844.667744
合 計 面 積				32422.338720
地 積				32422.33㎡

測量年月日	令和 6年10月 4日
座 標 系	平面直角座標系 第四系
測 地 系	世界測地系(測地成果2011)

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	敷地求積図		
縮 尺	1/600	番 号	124 枚の内 A011号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



1階屋内				
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	6.32	0.52	3.29	1.64
2	14.83	5.92	87.79	43.90
3	13.11	2.92	38.28	19.14
4	14.83	8.14	120.72	60.36
5	11.39	5.91	67.31	33.66
6	11.39	4.62	52.62	26.31
7	9.79	3.78	37.01	18.50
8	9.79	2.15	21.05	10.52
9	10.83	5.44	58.92	29.46
10	10.83	3.86	41.80	20.90
11	10.83	3.86	41.80	20.90
12	10.83	5.67	61.41	30.70
13	10.83	3.86	41.80	20.90
14	10.83	3.86	41.80	20.90
15	10.83	5.67	61.41	30.70
16	13.11	2.92	38.28	19.14
17	10.83	3.86	41.80	20.90
18	10.83	5.67	61.41	30.70
19	9.79	2.15	21.05	10.52
20	11.39	4.62	52.62	26.31
21	14.83	8.14	120.72	60.36
22	6.32	0.52	3.29	1.64
23	10.83	5.44	58.92	29.46
24	14.83	5.92	87.79	43.90
25	9.79	3.78	37.01	18.50
26	11.39	5.91	67.31	33.66
合計 (㎡)				683.60

三塁側屋外観覧席				
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	17.52	7.91	138.58	69.29
2	17.52	5.05	88.48	44.24
3	17.22	3.00	51.66	25.83
4	3.04	0.51	1.55	0.78
合計 (㎡)				140.13

一塁側屋外観覧席				
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	17.22	3.00	51.66	25.83
2	17.52	7.91	138.58	69.29
3	3.04	0.51	1.55	0.78
4	17.52	5.05	88.48	44.24
合計 (㎡)				140.13

作業員室				
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	5.66	2.54	14.38	7.19
2	5.66	2.54	14.38	7.19
合計 (㎡)				14.38

車庫 (トラクター置場)				
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	9.78	4.30	42.05	21.03
2	9.78	4.30	42.05	21.03
合計 (㎡)				42.05

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	求積図・面積表－１		
縮 尺	1/200	番 号	124 枚の内 A012 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

屋根付き観覧席面積

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	7.08	1.39	9.84	4.92
2	7.56	3.65	27.59	13.80
3	7.56	3.20	24.19	12.10
4	9.18	4.08	37.45	18.73
5	9.18	5.13	47.09	23.55
6	9.20	3.94	36.25	18.12
7	9.20	5.14	47.29	23.64
8	9.20	3.94	36.25	18.12
9	9.20	5.14	47.29	23.64
10	9.20	3.94	36.25	18.12
11	9.31	4.02	37.43	18.71
12	9.20	5.14	47.29	23.64
13	8.34	3.31	27.61	13.80
14	9.31	5.06	47.11	23.55
15	8.34	2.88	24.02	12.01
16	7.09	1.42	10.07	5.03
合計 (㎡)				271.51

建築面積算定用 底部分面積

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	1.58	0.74	1.17	0.58
2	5.00	0.50	2.50	1.25
3	3.54	0.49	1.73	0.87
4	6.80	0.50	3.40	1.70
5	6.83	0.50	3.42	1.71
6	6.83	0.49	3.35	1.67
7	6.87	0.50	3.44	1.72
8	6.83	0.49	3.35	1.67
9	6.87	0.50	3.44	1.72
10	6.83	0.49	3.35	1.67
11	6.87	0.50	3.44	1.72
12	6.81	0.49	3.34	1.67
13	6.83	0.50	3.42	1.71
14	3.51	0.49	1.72	0.86
15	5.00	0.50	2.50	1.25
16	1.61	0.74	1.19	0.60
合計 (㎡)				22.36

2階観覧席

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	5.46	1.70	9.28	4.64
2	5.46	1.70	9.28	4.64
3	14.58	4.57	66.63	33.32
4	14.24	4.80	68.35	34.18
5	14.58	9.28	135.30	67.65
6	11.96	4.71	56.33	28.17
7	11.96	6.69	80.01	40.01
8	10.44	2.18	22.76	11.38
9	10.44	3.28	34.24	17.12
10	11.47	3.92	44.96	22.48
11	11.47	5.89	67.56	33.78
12	11.47	3.92	44.96	22.48
13	11.47	5.89	67.56	33.78
14	11.47	3.92	44.96	22.48
15	11.47	3.92	44.96	22.48
16	11.47	5.89	67.56	33.78
17	5.46	1.70	9.28	4.64
18	14.24	4.80	68.35	34.18
19	11.47	3.92	44.96	22.48
20	10.44	2.18	22.76	11.38
21	5.46	1.70	9.28	4.64
22	12.22	4.61	56.33	28.17
23	11.47	5.89	67.56	33.78
24	14.58	9.28	135.30	67.65
25	11.47	5.87	67.33	33.66
26	10.44	3.30	34.45	17.23
27	12.22	6.55	80.04	40.02
28	14.58	4.57	66.63	33.32
合計 (㎡)				763.50

■面積計算

	名称		合計
1	1階屋内	=	683.60
2	三塁側屋外観覧席	=	140.13
3	一塁側屋外観覧席	=	140.13
4	作業員室	=	14.38
5	車庫（トラクター置場）	=	42.05
6	2階観覧席	=	763.50
7	屋根付き観覧席	=	271.51

A	建築面積算定用 底部分	=	22.36
---	-------------	---	-------

■敷地面積 = 32,422.33 ㎡

■建築面積

本体	1～5+A	1,042.65 ㎡	315.40 坪
----	-------	------------	----------

■延べ面積

1階 屋内	1+4+5	=	740.03 ㎡	223.86 坪
1階 屋外観覧席	2～3	=	280.26 ㎡	84.78 坪
小計		=	1,020.29 ㎡	308.64 坪

2階 屋外観覧席	6-7	=	491.99 ㎡	148.83 坪
2階 屋根下部分	7	=	271.51 ㎡	82.13 坪
小計		=	763.50 ㎡	230.96 坪

延べ面積合計		=	1,783.79 ㎡	539.60 坪
--------	--	---	------------	----------

車庫（トラクター置場）5		=	42.05 ㎡	12.72 坪
--------------	--	---	---------	---------

■建ぺい率 1,042.65 ÷ 32,422.33 = 3.22%
< 70.00%○K

■容積率 1,741.74 ÷ 32,422.33 = 5.37%
< 400.00%○K

■消防用算定面積

1階 屋内	1	=	683.60 ㎡	206.79 坪
2階 屋外観覧席	6-7	=	491.99 ㎡	148.83 坪
2階 屋根下部分	7	=	271.51 ㎡	82.13 坪
合計		=	1,447.10 ㎡	437.75 坪

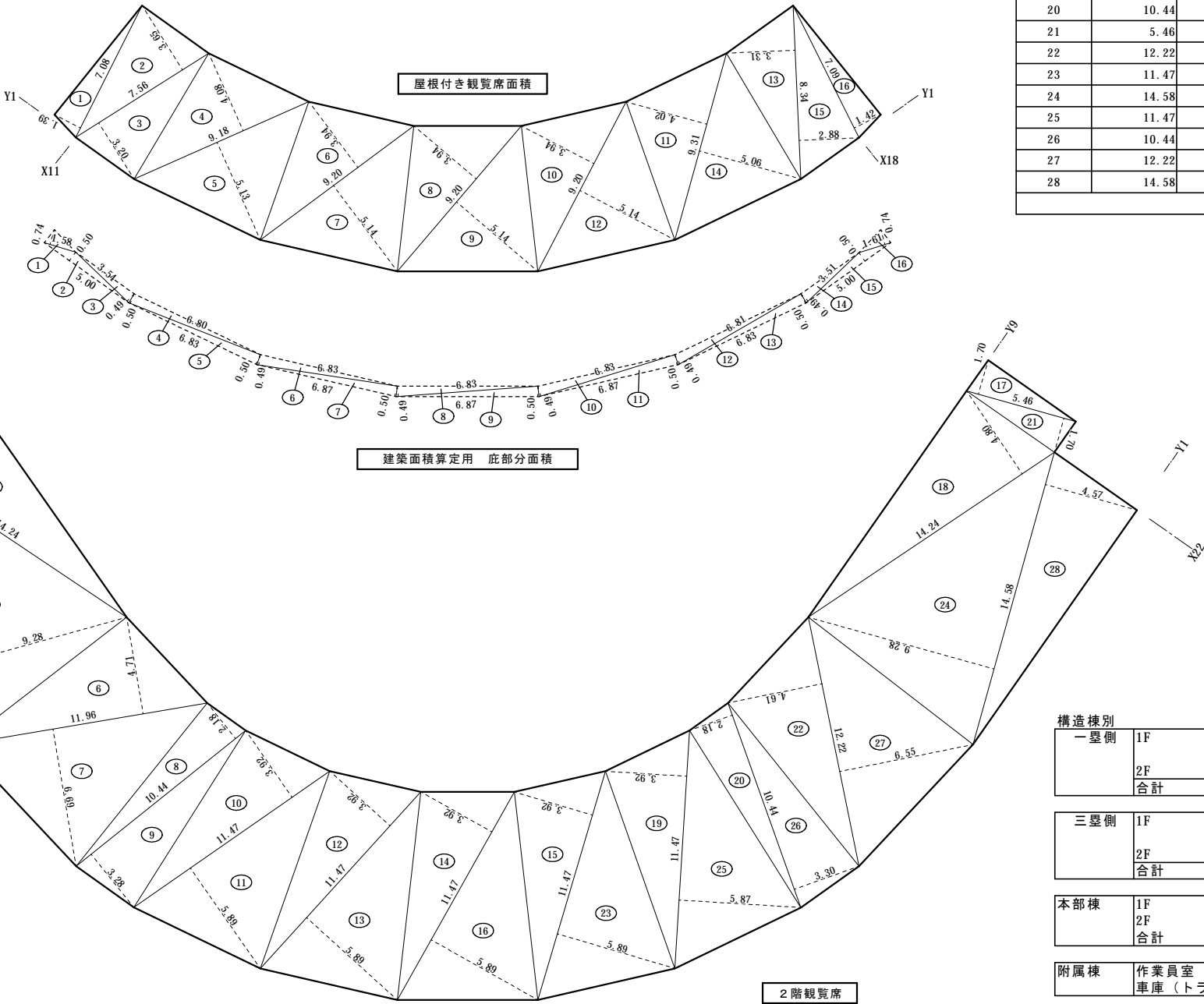
中山公園建築面積及び施設面積

平成11年6月3日付 本部席増築の確認申請資料からの更新

①中山公園現況の建築面積		(中山公園全体面積 129,113.26 ㎡)			
ゾーン	番号	施設の名称	建築物 (㎡)	その他 (㎡)	増築後 (㎡) 整備後(㎡)
管 理 棟	1	管理棟	53.78		53.78 0.00
陸上競技場	1	本部席（更衣室を含む）	150.00		150.00 150.00
	2	器具庫	50.00		50.00 50.00
	3	器具庫	7.36		7.36 7.36
	4	器具庫	15.30		15.30 15.30
	5	器具庫	17.42		17.42 17.42
	6	便 所	21.44		21.44 21.44
	7	スタンド（観覧席）	560.00		560.00 560.00
野 球 場	1	本部席（バックネット裏）	38.90		59.87 ↓
	2	ベンチ（1塁側）	24.31		24.31 ↓
	3	ベンチ（3塁側）	24.31		24.31 ↓
	4	倉 庫	13.00		13.00 ↓
	5	器具庫	8.10		8.10 ↓
	6	便 所	19.87		19.87 ↓
	7	便 所	19.92		19.92 ↓
テニスコート	8	スタンド（観覧席）	1,120.00		1,120.00 1,783.79
	1	管理棟	40.33		40.33 40.33
	2	倉 庫	20.35		20.35 20.35
	3	器具庫	7.29		7.29 7.29
相 撲 場	4	便 所	12.46		12.46 12.46
	1	相撲場	193.06		193.06 193.06
アスレチック場	1	便 所	19.92		19.92 19.92
	1	体育館	7,230.00		7,230.00 8,372.43
面 積 合 計			9,667.12		9,688.09 11,271.15
全体面積に占める割合			7.49%		7.50% 8.73%

都市公団法第4条、同施行令6条2項により 建ぺい率 10%以下 OK

工 事 名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	求積図・面積表－2		
縮 尺	1/200	番 号	124 枚の内 A013号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



構造棟別

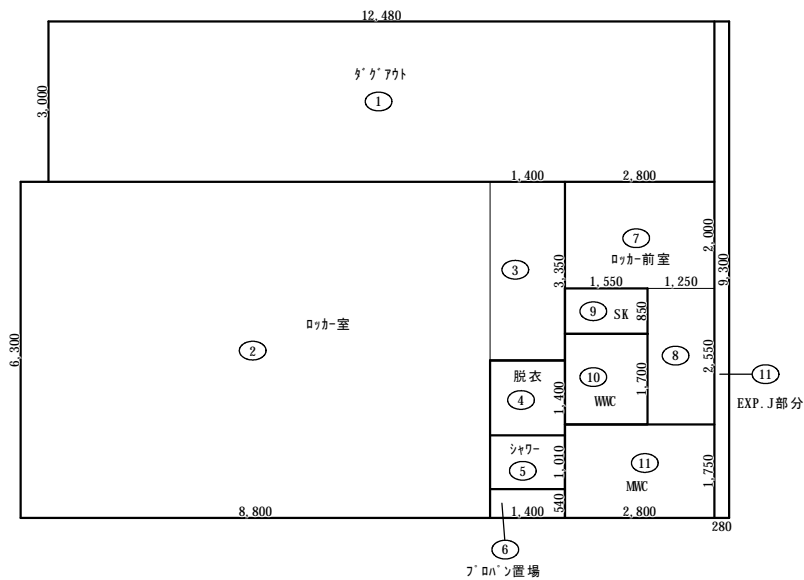
一塁側	1F	16+21+22+24	=	125.04
		屋外観覧席	=	140.13
	2F	17+18+21+24+28	=	144.43
	合計		=	409.60

三塁側	1F	1～4	=	125.04
		屋外観覧席	=	140.13
	2F	1～5	=	144.43
合計			=	409.60

本部棟	1F	全体－一塁-三塁	=	433.52
	2F	全体－一塁-三塁	=	474.64
	合計		=	908.16

附属棟	作業員室	=	14.38
	車庫（トラクター置場）	=	42.05

延べ面積	1,783.79
------	----------



一塁側、三塁側 共通

室名	番号	底辺	高さ	面積	合計
ダグアウト	1	3.00	12.48	37.44	37.44
ロッカールーム	2	6.30	8.80	55.44	
	3	1.40	3.35	4.69	60.13
脱衣	4	1.40	1.40	1.96	1.96
シャワー	5	1.40	1.01	1.41	1.41
フロン置場	6	1.40	0.54	0.76	0.76
ロッカールーム前室	7	2.80	2.00	5.60	
	8	1.25	2.55	3.19	8.79
SK	9	1.55	0.85	1.32	1.32
WVC	10	1.55	1.70	2.64	2.64
MVC	11	2.80	1.75	4.90	4.90
EXP. J部分	12	0.28	9.30	2.60	2.60

審判員	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	2.95	0.27	0.80	0.40
	2	2.95	0.15	0.44	0.22
	3	3.87	1.70	6.58	3.29
	4	3.87	2.10	8.13	4.07
	5	4.33	1.99	8.62	4.31
	6	4.33	2.15	9.31	4.66
	合計 (㎡)				16.95

放送室	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	3.44	1.56	5.37	2.69
	2	3.44	1.28	4.40	2.20
	3	3.78	2.11	7.98	3.99
	4	3.78	1.86	7.03	3.52
	合計 (㎡)				12.40

本部・来賓	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	3.76	1.85	6.96	3.48
	2	3.76	1.60	6.02	3.01
	3	5.63	2.65	14.92	7.46
	4	5.63	2.32	13.06	6.53
	5	5.63	2.65	14.92	7.46
	6	5.63	2.32	13.06	6.53
	合計 (㎡)				34.47

医務室	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	4.60	0.30	1.38	0.69
	2	4.60	0.50	2.30	1.15
	3	5.84	3.09	18.05	9.03
	4	5.84	2.85	16.64	8.32
	合計 (㎡)				19.19

会議室	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	4.91	1.72	8.45	4.23
	2	4.91	2.20	10.80	5.40
	3	7.60	3.95	30.02	15.01
	4	7.60	3.34	25.38	12.69
	合計 (㎡)				37.33

廊下	1階屋内	各室合計	一塁側	三塁側	差引
	683.60	389.40	121.95	121.95	50.30

内部WVC	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	2.63	1.02	2.68	1.34
	2	4.58	2.48	11.36	5.68
	3	3.44	0.41	1.41	0.71
	4	4.47	2.52	11.26	5.63
	合計 (㎡)				13.36

内部MVC	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	2.39	1.00	2.39	1.20
	2	3.48	0.67	2.33	1.17
	3	4.58	2.21	10.12	5.06
	4	4.30	2.62	11.27	5.64
	合計 (㎡)				13.07

外部WVC	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	5.23	2.25	11.77	5.89
	2	5.23	2.70	14.12	7.06
	合計 (㎡)				12.95

外部MVC	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	3.45	2.44	8.42	4.21
	2	4.58	2.29	10.49	5.25
	3	2.99	0.94	2.81	1.41
	4	3.04	1.42	4.32	2.16
	合計 (㎡)				13.03

外部車椅子WC	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	4.19	1.78	7.46	3.73
	2	4.19	1.92	8.04	4.02
	合計 (㎡)				7.75

内部車椅子WC	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	3.94	1.70	6.70	3.35
	2	3.94	1.85	7.29	3.65
	合計 (㎡)				7.00

SK①	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	1.58	0.79	1.25	0.63
	2	1.58	0.79	1.25	0.63
	合計 (㎡)				1.26

SK②	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	2.00	0.87	1.74	0.87
	2	2.00	0.87	1.74	0.87
	合計 (㎡)				1.74

器具庫	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	5.56	2.35	13.07	6.54
	2	5.56	2.64	14.68	7.34
	3	3.87	1.70	6.58	3.29
	4	2.93	0.28	0.82	0.41
	5	3.87	2.10	8.13	4.07
	6	2.91	0.15	0.44	0.22
	合計 (㎡)				21.87

倉庫①	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	4.69	1.98	9.29	4.65
	2	4.69	2.35	11.02	5.51
	合計 (㎡)				10.16

倉庫②	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	4.69	1.98	9.29	4.65
	2	4.69	2.35	11.02	5.51
	合計 (㎡)				10.16

倉庫③	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	3.39	1.68	5.70	2.85
	2	2.32	0.30	0.70	0.35
	3	3.39	2.06	6.98	3.49
	合計 (㎡)				6.69

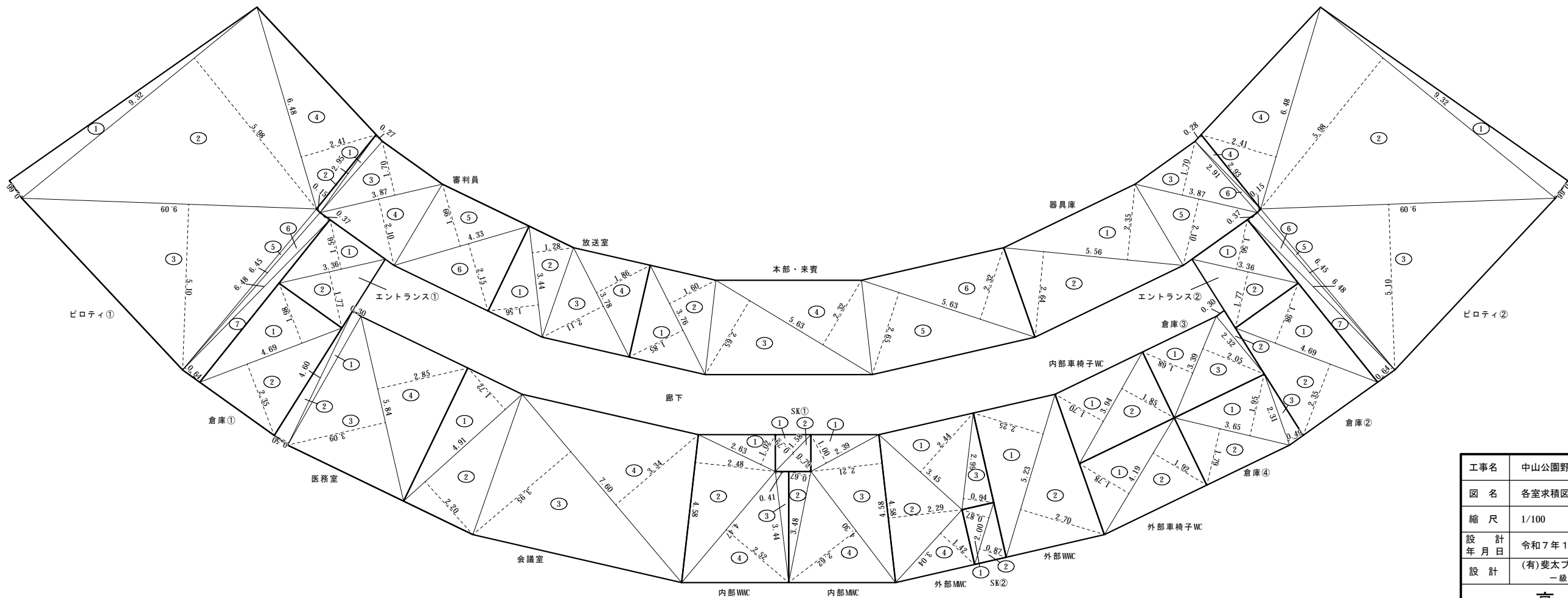
倉庫④	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	3.65	1.95	7.12	3.56
	2	3.65	1.79	6.53	3.27
	3	2.31	0.49	1.13	0.57
	合計 (㎡)				7.40

エントランス①	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	3.36	1.56	5.24	2.62
	2	3.36	1.77	5.95	2.98
	合計 (㎡)				5.60

エントランス②	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	3.36	1.56	5.24	2.62
	2	3.36	1.77	5.95	2.98
	合計 (㎡)				5.60

ピロティ①	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	9.32	0.66	6.15	3.08
	2	9.32	5.98	55.73	27.87
	3	9.09	5.10	46.36	23.18
	4	6.48	2.41	15.62	7.81
	5	6.45	0.15	0.97	0.49
	6	6.48	0.37	2.40	1.20
	7	6.48	0.64	4.15	2.08
	合計 (㎡)				65.71

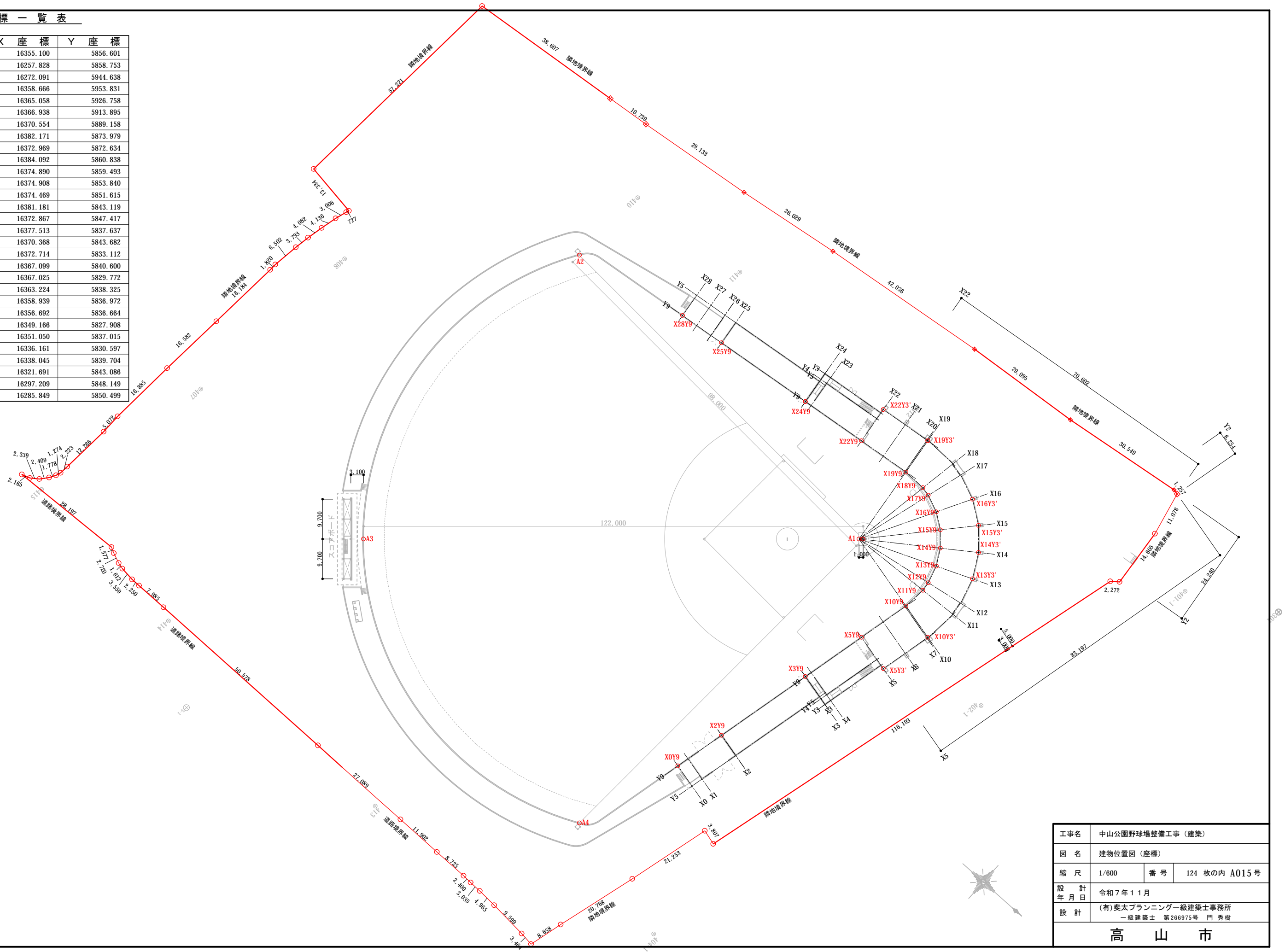
ピロティ②	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
	1	9.32	0.66	6.15	3.08
	2	9.32	5.98	55.73	27.87
	3	9.09	5.10	46.36	23.18
	4	6.48	2.41	15.62	7.81
	5	6.45	0.15	0.97	0.49
	6	6.48	0.37	2.40	1.20
	7	6.48	0.64	4.15	2.08
	合計 (㎡)				65.71



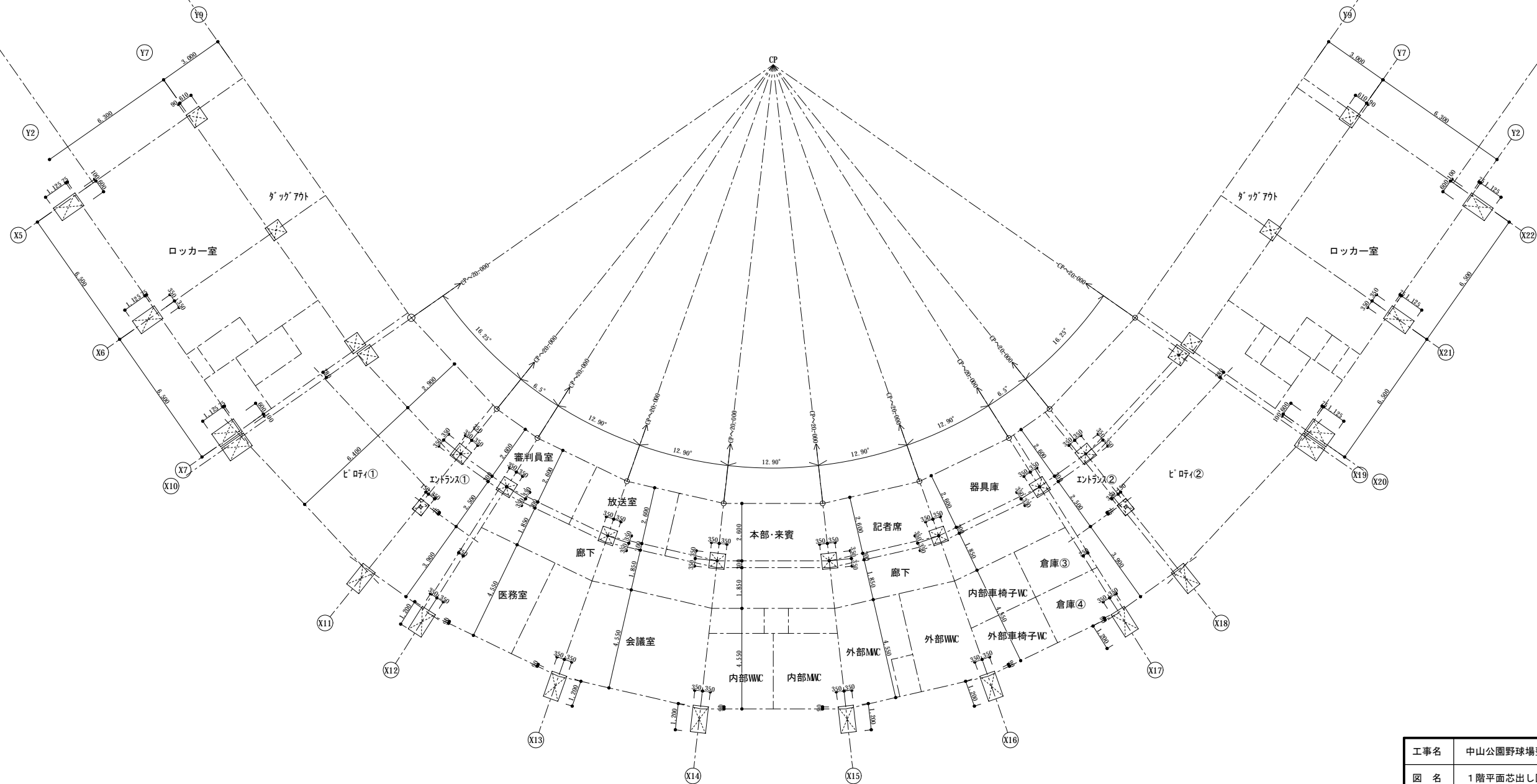
工 事 名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	各室求積図・面積表		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A014 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第 266975 号 門 秀 樹		
高 山 市			

座 標 一 覧 表

測 点 名	X 座 標	Y 座 標
A1	16355.100	5856.601
A2	16257.828	5858.753
A3	16272.091	5944.638
A4	16358.666	5953.831
X0Y9	16365.058	5926.758
X2Y9	16366.938	5913.895
X3Y9	16370.554	5889.158
X5Y3'	16382.171	5873.979
X5Y9	16372.969	5872.634
X10Y3'	16384.092	5860.838
X10Y9	16374.890	5859.493
X11Y9	16374.908	5853.840
X12Y9	16374.469	5851.615
X13Y3'	16381.181	5843.119
X13Y9	16372.867	5847.417
X14Y3'	16377.513	5837.637
X14Y9	16370.368	5843.682
X15Y3'	16372.714	5833.112
X15Y9	16367.099	5840.600
X16Y3'	16367.025	5829.772
X16Y9	16363.224	5838.325
X17Y9	16358.939	5836.972
X18Y9	16356.692	5836.664
X19Y3'	16349.166	5827.908
X19Y9	16351.050	5837.015
X22Y3'	16336.161	5830.597
X22Y9	16338.045	5839.704
X24Y9	16321.691	5843.086
X25Y9	16297.209	5848.149
X28Y9	16285.849	5850.499



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	建物位置図（座標）		
縮 尺	1/600	番 号	124 枚の内 A015号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	1階平面芯出し図		
縮 尺	1/150	番 号	124 枚の内 A016号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀 樹		
高 山 市			

【建物概要】	
工事名称	中山公園野球場整備工事（建築）
工事場所	岐阜県高山市山田町 地内
用途地域	都市計画公園
防火地域	無し
その他	下水処理区域
敷地面積	32,422.33 m ²
建築面積	1,042.65 m ²
延べ面積	1,783.79 m ²
主要用途	野球場（屋外観覧席）
耐火建築物等	耐火建築物
◆主要構造	
【部位】	【仕様】
基礎	RC独立基礎、地盤改良柱
床	RC造
柱	RC造・鉄骨造
梁	RC造・鉄骨造
外壁	RC造
軒裏	軒天用サイディング
屋根	鉄骨造、耐火野地板
階段	RC造
設備工事	電気設備 給排水設備 消防設備 空調設備 換気設備
備考	別途工事 什器備品、電話機器、ネット環境

【 断熱仕様 】		
地域	3 地域	高山市
等級	—	
計算モデル	事務所モデル	
【 部位 】	【 材料 】	【 熱伝導率 】 (W/m・K)
屋根	現場発泡ウレタン吹付A種1H t100	0.026以下
天井	—	—
外壁	現場発泡ウレタン吹付A種1H t50	0.026以下
床(外気に接する)	—	—
床(その他)	押出法 ^a リステル ^b ボード ^c 3種b t50	0.028以下
外周部(外気に接する土間床)	—	—
外周部(その他の土間床)	—	—
開口部		備考
窓	● アルミサッシ	
	アルミ樹脂複合サッシ	
	樹脂製サッシ	
ドア	アルミドア	
	● スチールドア	
	アルミ断熱ドア	
	スチール断熱ドア	
	● 木製	
ガラス	【種類】	【中空層】 【日射】
	ガス入りLow-E複層ガラス12mm	取得型
	ガス入りLow-E複層ガラス12mm	遮蔽型
	Low-E複層ガラス 12mm	取得型
	● Low-E複層ガラス 12mm	遮蔽型
	複層ガラス 12mm	—
	複層ガラス 12mm	—
	● 単板ガラス	—
グランド	建具表による	

【 耐火・防火仕様凡例 】		●は本工事の適用を示す
床	● RC造、SRC造	H12建告1399号
	合成ﾎﾞｰｸﾞｷｽﾗﾌﾞ t50+C0N80	1時間耐火 FP060FL-9095、FP060FL-9101
	合成ﾎﾞｰｸﾞｷｽﾗﾌﾞ t50+C0N90	2時間耐火 FP120FL-9107、FP120FL-9113
	A L Ct100	1時間耐火 FP060FL-9119
	A L Ct120	2時間耐火 FP120FL-9120
柱	● RC造、SRC造	H12建告1399号
	鉄骨造 乾式ﾛｯｸｰﾙ吹付t25	1時間耐火 FP060CN-9460
	鉄骨造 乾式ﾛｯｸｰﾙ吹付t45	2時間耐火 FP120CN-9463
	鉄骨造 ALCt50巻き	1時間耐火 FP060CN-9405
	● 鉄骨造 耐火塗料塗り	1時間耐火 FP060CN-9472
梁	● RC造、SRC造	H12建告1399号
	鉄骨造 乾式ﾛｯｸｰﾙ吹付t25	1時間耐火 FP060BM-9408
	鉄骨造 乾式ﾛｯｸｰﾙ吹付t45	2時間耐火 FP120BM-9411
	鉄骨造 ALCt50巻き	1時間耐火 FP060BM-9352
	● 鉄骨造 耐火塗料塗り	1時間耐火 FP060CN-9419
外壁	● RC造	H12建告1399号
	A L Ct100	1時間耐火 H12建告1399号
	A L Ct50	1時間耐火 FP060NE-9293
間仕切壁	木・鉄骨下地 両面GB-Rt15	45分準耐火 H12建告1358号
	木・鉄骨下地 両面GB-Rt12.5+GB-Rt9.5	45分準耐火 H12建告1358号
	木・鉄骨下地 両面GB-Ft12.5	45分準耐火 QF045BP-9071
屋根	● RC造、SRC造	H12建告1399号
	● 硬質木片ﾍﾞｰﾄﾞ板t18	30分耐火 FP030RF-9082
	木毛ﾍﾞｰﾄﾞ板t25+亜鉛鉄板t0.4	30分耐火 FP030RF-9092
	A L Ct100	30分耐火 H12建告1399号
	金属板折板 t 0.6以上+ﾍﾞｰﾄﾞ裏張り	30分耐火 FP030RF-9326
軒裏	硬質木片ﾍﾞｰﾄﾞ板t18	1時間準耐火/準不燃 H12建告1358号、QM-0796
	繊維強化ﾍﾞｰﾄﾞ板t16(ｷﾞｰﾙ板t8+8)	1時間準耐火/不燃 H12建告1358号、NM-3522
	せっこうボード t12+金属板	45分準耐火 H12建告1358号
	ﾊﾞﾙﾌﾞ 繊維混入ﾍﾞｰﾄﾞ板t14(軒天ｼﾞｬﾝｸﾞ)	45分準耐火/不燃 QF045RS-9122、NM-3011
	ﾊﾞﾙﾌﾞ 繊維混入ﾍﾞｰﾄﾞ板t12(軒天ｼﾞｬﾝｸﾞ)	30分準耐火/不燃 QF030RS-0154、NM-3010
	繊維混入けい酸カルシウム板 t10、12	30分準耐火 QF030RS-0192

※大臣認定について認定書別添の仕様の通りに施工すること

【 外部仕上表 】				
部位	下地	仕上げ	防耐火要求	告示・認定番号
屋根（鉄骨）	硬質木片t18、改質アスファルトルーフィング	ガル鋼板t0.4 立ハレ防水工法（遮熱鋼板）	耐火	FP030RF-9082
屋根（RC）	RCスラブ	観客席部分：超速硬質ウレタン塗膜防水 加硫ゴム系シート防水t1.5(立上りt1.2) シルバー塗装	耐火 耐火	H12建告1399号 H12建告1399号
破風・鼻隠	鉄骨	アルミバネt2.0 フッ素樹脂焼付塗装		
軒天	LGS	軒天用サザンキングt12木調塗装品、ケイカル板 t 6+EP-G		
外壁（鉄骨）	－			
外壁（RC）	RC打放し	複層塗材RE吹付、緩衝マット	耐火	H12建告1399号
巾木	RC打放し	撥水剤塗布		
ポーチ床	－			

【 外部仕様 】	
笠木	7㍓笠木、塗膜防水
雪止	L40x40 溶融亜鉛メッキ
軒樋	板金加工 内吊金物
堅樋	7㍓既製品φ100
犬走り	土間コンクリート金罫
機械基礎	土間コンクリート金罫
フェンス	メッシュフェンス
手摺	SUSφ30H/L

【 参考仕様（同等品） 】 ※参考とし同等品を選定する	
部位	仕様等
EXP. J金物 外壁、屋根	7M耐火仕様 令第107条2号及又は3号
耐火塗料	SKタココート 柱1時間耐火 FP060CN-9472
超速硬質ウレタン塗膜防水	カートップ SR
軒天サイディング t12	軒天12(ニチハ) 不燃 NM-3010
床タイルA	バサティル900x150 (INAX)
床タイルB	ビアツタ200x200 (INAX)
多孔質タイル	ストーンII 異形状セット (INAX)
SUS注意喚起点銀	ガイドステップ (カ工業)
7Mスルハーク 木調	ブリンカス150x20 フッ素焼付 木目調 (ABC商會)
天然木調スルハーク	グービールハーク-UB (DAIKEN) NM-1333

【 共通仕上け記号 】		
GB-Rt12.5～25	せっこうボードt12.5～25（不燃）	NM-8619
GB-NCt9.5	せっこうボードt9.5（不燃）	NM-0441
GB-Rt9.5	せっこうボードt9.5（準不燃）	QM-9828
GB-St9.5～12.5	シーリングせっこうボードt9.5～12.5（準不燃）	QM-9826
GB-St12.5	シーリングせっこうボードt12.5（不燃）	NM-9639
GB-Dt9.5（壁用）	化粧せっこうボードt9.5（準不燃）	QM-9824
GB-Dt12.5（壁用）	化粧せっこうボードt12.5（不燃）	NM-0128
GB-Dt9.5（和天井用）	化粧せっこうボードt9.5（準不燃）	QM-9824
GB-Dt12.5（和天井用）	化粧せっこうボードt12.5（不燃）	NM-0127
GB-Dt9.5（洋天井用）	化粧せっこうボードt9.5（準不燃）	QM-0524
GB-Dt9.5（洋天井用）	化粧せっこうボードt9.5（不燃）	NM-1864
GB-Dt9.5（吸音）	化粧せっこうボードt9.5（不燃）	NM-0879
GB-Lt7	せっこうラスボードt7（不燃）	NM-8617
GB-Lt9.5	せっこうラスボードt9.5（不燃）	NM-8618
GB-Ft12.5～25	強化せっこうボードt12.5～25（不燃）	NM-8615
DR t9	岩綿吸音板t9（不燃）	MN-8599
ビニルクロス	準不燃	QM-9409
ビニルクロス	不燃	NM-0680
不燃構造用合板	t 12	MN-1596
不燃OSB	不燃配向性ストランドボード t 6.3	NM-3851-2
ケイカル板t6	無石綿セメントケイ酸カルシウム板 t=6 SUSビス用	NM-8618
化粧ケイカルt5	不燃	NM-0393
折板	カラーガルバリウム鋼板t0.6、0.8 不燃	NM-8697
カラーガルバリウム鋼板	不燃	NM-8697
防火サイディングt15	窯業系サイディング 準不燃	QM-0629
防火サイディングt16	窯業系サイディング 不燃	NM-9744
練り付け合板	モアウッド（アイカ）不燃	NM-1739
メラミン化粧板	アイカセラル	NM-2183
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り（木部、鉄部8種亜鉛メッキ面 各2面）	
EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	
EP-G	有光沢合成樹脂エマルジョンペイント塗り	
OS	油性ステイン（ステイン1回）	
UV	ウレタン樹脂 ワニス塗り（2回）	
CL	クリアラッカー塗り	
1-UC	1液型油変性ポリウレタン樹脂ワニス塗り	
2-UC	2液型ポリウレタン樹脂ワニス塗り	
DP	耐候性性色塗料塗り	
WP	木材保護塗料塗り	

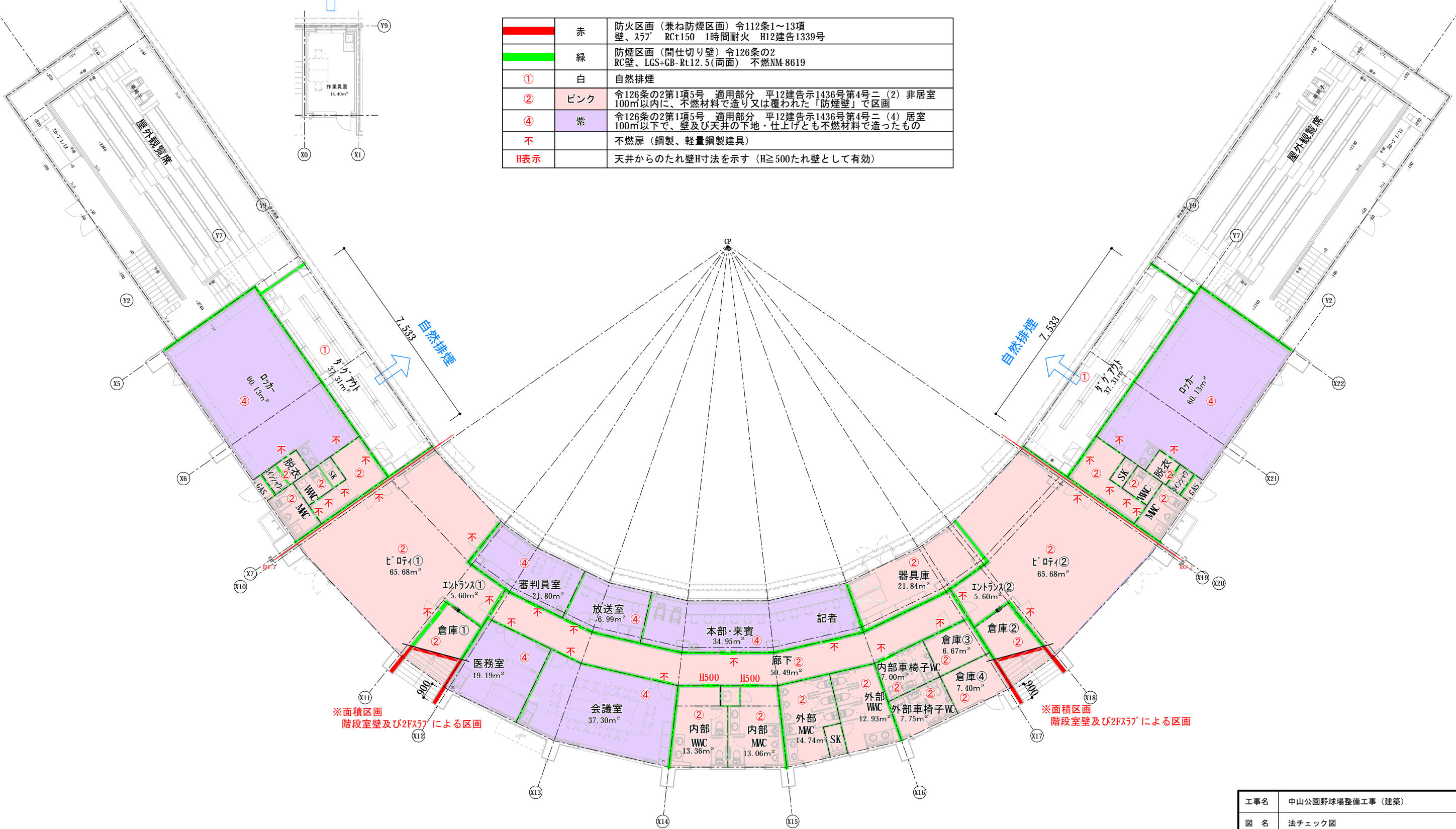
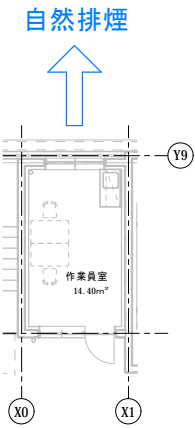
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	設計概要書・外部仕上げ表		
縮 尺	－	番 号	124 枚の内 A017 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

■内部仕上表

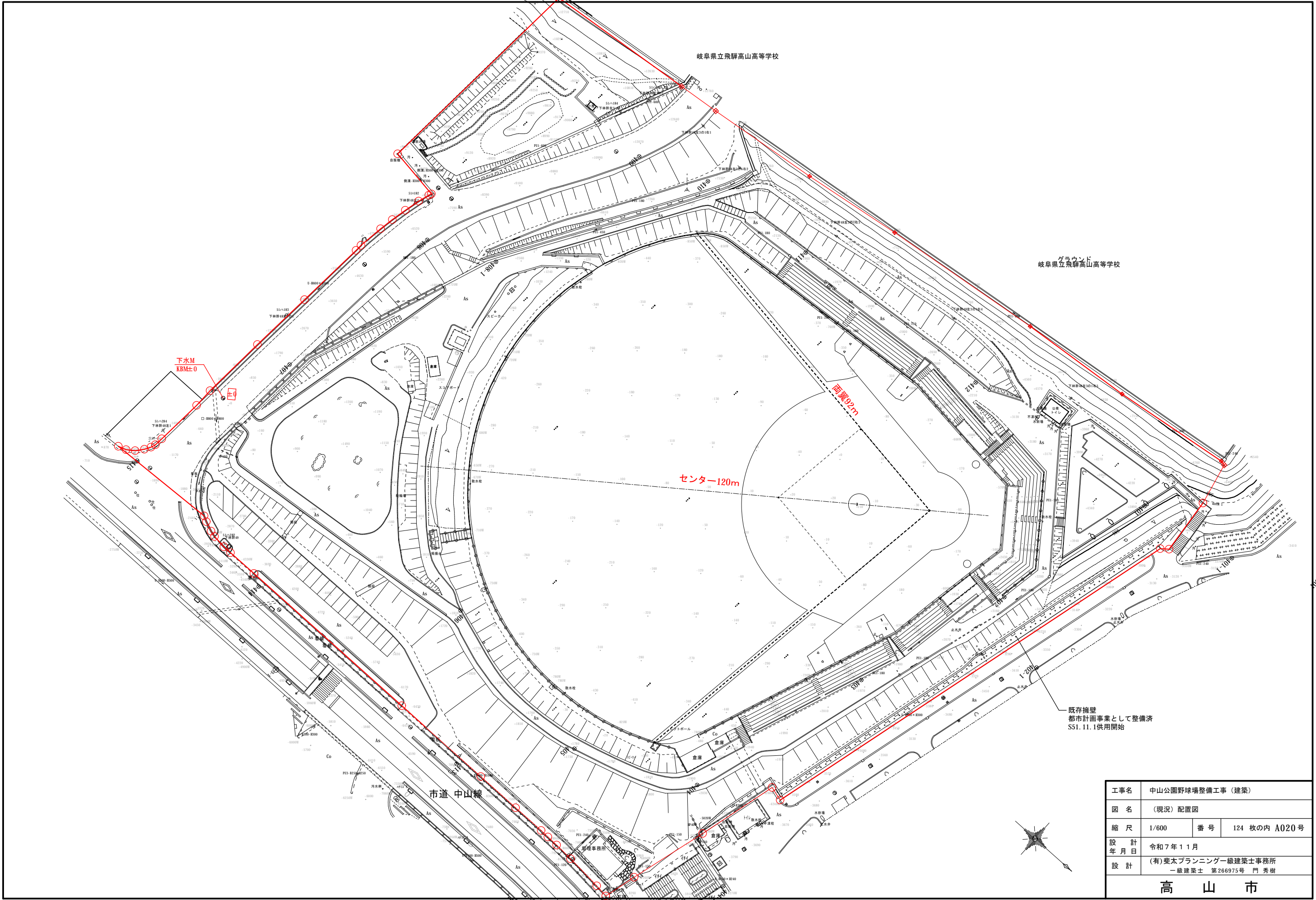
室名	床		巾木	壁		室名	廻り縁	天井		天井高	内装制限	備考
	下地	仕上げ		下地	仕上げ			下地	仕上げ			
本部・来賓、他	コンクリート直均し	ビニル床シート	ソフト巾木 H60	GB-Rt12.5GL LGS+GB-Rt12.5 コンクリート打放	EP-G	本部・来賓、他	塩ビ	GB-Rt12.5	岩綿吸音板t9	2,500	不燃	カウンターデスク、手洗
審判員室	コンクリート直均し	ビニル床シート	ソフト巾木 H60	GB-Rt12.5GL LGS+GB-Rt12.5 コンクリート打放	EP-G	審判員室	塩ビ	GB-Rt12.5	岩綿吸音板t9	2,500	不燃	カウンターデスク、手洗、棚
放送室	コンクリート直均し	ビニル床シート	ソフト巾木 H60	GB-Rt12.5GL LGS+GB-Rt12.5 コンクリート打放	EP-G	放送室	塩ビ	GB-Rt12.5	岩綿吸音板t9	2,500	不燃	カウンターデスク、放送卓等
会議室	コンクリート直均し	ビニル床シート	ソフト巾木 H60	GB-Rt12.5GL LGS+GB-Rt12.5 コンクリート打放	EP-G	会議室	塩ビ	—	GB-Dt9.5	2,500	不燃	流し台、吊戸棚
医務室	コンクリート直均し	ビニル床シート	ソフト巾木 H60	GB-Rt12.5GL LGS+GB-Rt12.5 コンクリート打放	EP-G	医務室	塩ビ	—	GB-Dt9.5	2,500	不燃	流し台、仕切りカーテン 総合盤
廊下	コンクリート直均し	ビニル床シート	ソフト巾木 H60	コンクリート打放	EP-G	廊下	アルミ 塩ビ	GB-Rt12.5+12.5	EP-G	2,500	準不燃	消火器ボックス(埋込式)
エントランス ①、②	タイル下モルタル	床タイル貼りA	—	コンクリート打放	珪藻土塗り EP-G	エントランス ①、②	塩ビ	ケイカル板t6 (一部)ケイカル板t6	スギ板張りt9 木材保護塗装 EP-G	2,600	たれ壁H500 不燃	正方枠格子 消火器ボックス(屋外式)
ビロティ ①、②	コンクリート直均し	防塵塗床(防滑)	—	コンクリート打放	EP-G	ビロティ ①、②	塩ビ	LGS	スギ板張りt20 木材保護塗装	2,700		足拭きマット
内部WVC	コンクリート直均し	ビニル床シート	ソフト巾木 H60	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5 コンクリート打放	珪藻土化粧板 多孔質タイル貼り	内部WVC	塩ビ	GB-Rt9.5	EP-G スギ板張りt9 木材保護塗装	2,500	たれ壁H500 不燃	面台、トイレパーテーション 男女間LGS間仕切りGW24K t50充填
内部MVC	コンクリート直均し	ビニル床シート	ソフト巾木 H60	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5 コンクリート打放	珪藻土化粧板 多孔質タイル貼り	内部MVC	塩ビ	GB-Rt9.5	EP-G スギ板張りt9 木材保護塗装	2,500	たれ壁H500 不燃	面台、トイレパーテーション 男女間LGS間仕切りGW24K t50充填
内部車椅子WC	コンクリート直均し	ビニル床シート	ソフト巾木 H60	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5 コンクリート打放	珪藻土化粧板 多孔質タイル貼り	内部マルチWC	塩ビ	GB-Rt9.5	EP-G スギ板張りt9 木材保護塗装	2,500	たれ壁H500 不燃	面台 男女間LGS間仕切りGW24K t50充填
内部SK	コンクリート直均し	ビニル床シート	ソフト巾木 H60	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5	珪藻土化粧板	内部SK	塩ビ	—	GB-Dt9.5	2,500	たれ壁H500 不燃	面台
外部WVC	タイル下モルタル	床タイル貼りB 200X200	タイル立上げ H200	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5 コンクリート打放	珪藻土化粧板 多孔質タイル貼り	外部WVC	塩ビ	GB-Rt9.5	EP-G スギ板張りt9 木材保護塗装	2,500	たれ壁H500 不燃	面台、トイレパーテーション 男女間LGS間仕切りGW24K t50充填
外部MVC	タイル下モルタル	床タイル貼りB 200X200	タイル立上げ H200	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5 コンクリート打放	珪藻土化粧板 多孔質タイル貼り	外部MVC	塩ビ	GB-Rt9.5	EP-G スギ板張りt9 木材保護塗装	2,500	たれ壁H500 不燃	面台、トイレパーテーション 男女間LGS間仕切りGW24K t50充填
外部車椅子WC	タイル下モルタル	床タイル貼りB 200X200	タイル立上げ H200	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5 コンクリート打放	珪藻土化粧板 多孔質タイル貼り	外部マルチWC	塩ビ	GB-Rt9.5	EP-G スギ板張りt9 木材保護塗装	2,500	たれ壁H500 不燃	面台 男女間LGS間仕切りGW24K t50充填
外部SK	コンクリート直均し	床タイル貼りB 200X200	タイル立上げ H200	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5	珪藻土化粧板	外部SK	塩ビ	—	GB-Dt9.5	2,500	たれ壁H500 不燃	面台
ロッカールーム	コンクリート直均し	ゴムタイルt9	ソフト巾木 H60	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5	EP-G	ロッカールーム	塩ビ	GB-Rt12.5	EP-G 不燃木調ルーバー	2,500	不燃	選手用ベンチ、手洗
タテグサコート	コンクリート直均し	ゴムタイルt9	—	コンクリート打放	EP-G	タテグサコート	—	ケイカル板t6	EP-G	2,700	難燃	ベンチ、収納棚、上部棚、フック 足拭きマット
選手WC	コンクリート直均し	ゴムタイルt9	ソフト巾木 H60	GB-St12.5GL LGS+GB-St12.5	珪藻土化粧板 珪藻土塗り	選手WC	塩ビ	—	GB-Dt9.5	2,500	たれ壁H500 不燃	面台、トイレパーテーション
器具庫	コンクリート直均し	防塵塗床(防滑)	—	コンクリート打放	—	器具庫	—	コンクリート打放	—	現し	たれ壁H500 不燃	鋼製棚
観覧席 (一部屋外屋根)	PC段床 コンクリート直均し	— 防塵塗床(防滑)	—	—	—	観覧席 (一部屋外屋根)	—	LGS	軒天サイディングt12	4,000 ～		消火器ボックス(屋外式)
倉庫①～④	コンクリート直均し	防塵塗床(防滑)	—	コンクリート打放 LGS+GB-Rt12.5	— —	倉庫①～④	—	コンクリート打放	—	現し	たれ壁H500 不燃	
作業員室	コンクリート直均し	防塵塗床(防滑)	CB+モルタル 防塵塗床 H100	GB-Rt12.5GL	EP-G	作業員室	塩ビ	—	GB-Dt9.5	2,500	不燃	流し台
車庫	コンクリート直均し	—	—	コンクリート打放	—	車庫	—	コンクリート打放	—	2,820 ～ 2,740	不燃	

工 事 名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	内部仕上げ表		
縮 尺	－	番 号	124 枚の内 A018 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

	赤	防火区画（兼ね防煙区画）令112条1～13項 壁、スラフ RCt150 1時間耐火 H12建告1339号
	緑	防煙区画（間仕切り壁）令126条の2 RC壁、LGS+GB-Rt12.5(両面) 不燃NM-8619
①	白	自然排煙
②	ピンク	令126条の2第1項5号 適用部分 平12建告示1436号第4号ニ（2）非居室 100m以内に、不燃材料で造り又は覆われた「防煙壁」で区画
④	紫	令126条の2第1項5号 適用部分 平12建告示1436号第4号ニ（4）居室 100m以下で、壁及び天井の地下・仕上げとも不燃材料で造ったもの 不燃扉（鋼製、軽量鋼製建具）
H表示		天井からのたれ壁H寸法を示す（H≧500たれ壁として有効）

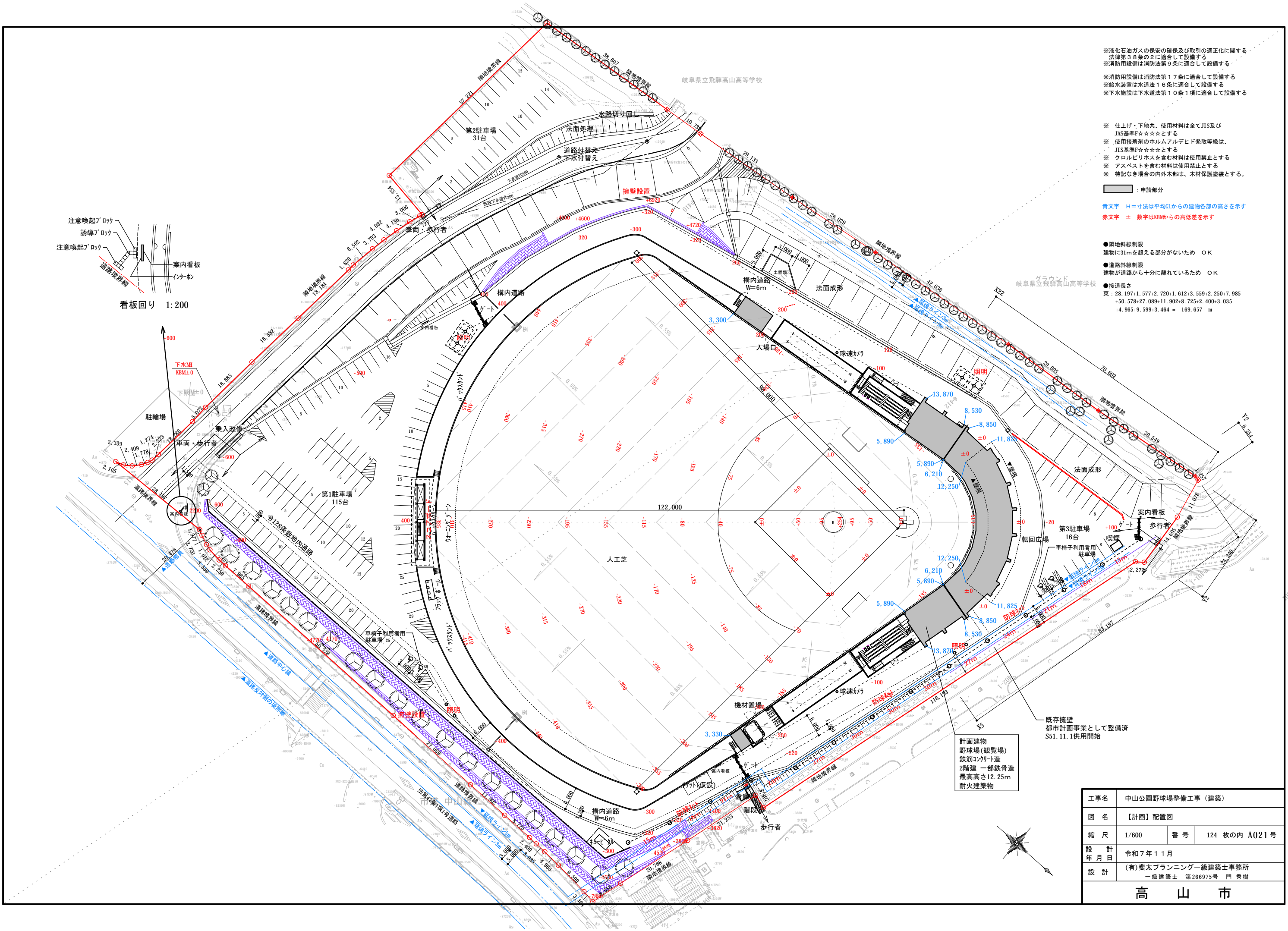


工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	法チェック図		
縮 尺	1/150	番 号	124 枚の内 A019 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



既存擁壁
都市計画事業として整備済
S51.11.1供用開始

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	（現況）配置図		
縮 尺	1/600	番 号	124 枚の内 A020 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第 266975号 門 秀樹		
高 山 市			



※液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の2に適合して設備する
※消防用設備は消防法第9条に適合して設備する
※消防用設備は消防法第17条に適合して設備する
※給水装置は水道法16条に適合して設備する
※下水施設は下水道法第10条1項に適合して設備する

※ 仕上げ・下地共、使用材料は全てJIS及びJAS基準F☆☆☆☆とする
※ 使用接着剤のホルムアルデヒド発散等級は、JIS基準F☆☆☆☆とする
※ クロロビリスを含む材料は使用禁止とする
※ アスベストを含む材料は使用禁止とする
※ 特記なき場合の内外木部は、木材保護塗装とする。

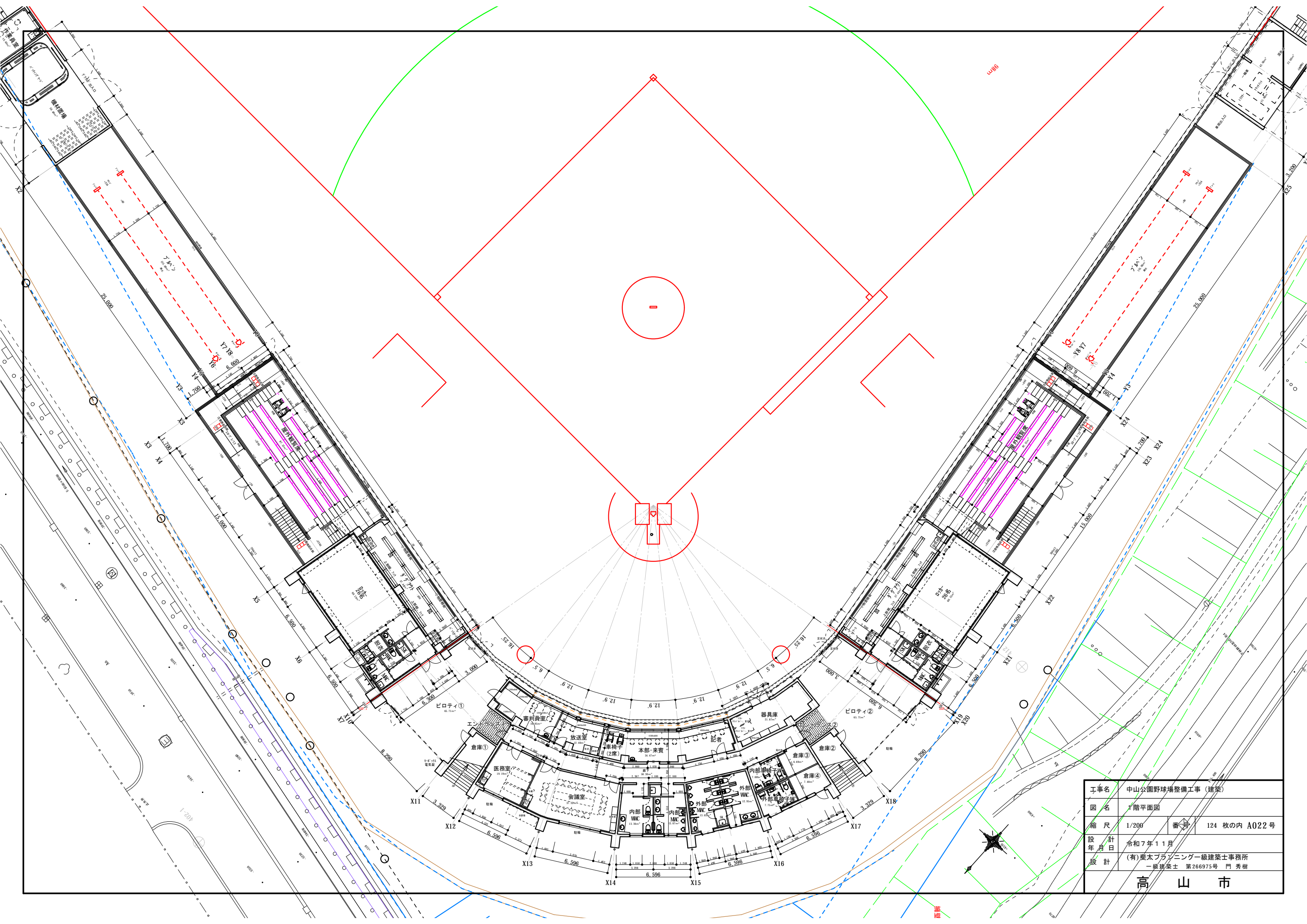
申請部分
青文字 H=寸法は平均GLからの建物各部の高さを示す
赤文字 ± 数字はKBMからの高低差を示す

●隣地斜線制限
建物に31mを超える部分がないため OK
●道路斜線制限
建物が道路から十分に離れているため OK
●接道長さ
東: 28.197+1.577+2.720+1.612+3.559+2.250+7.985
+50.578+27.089+11.902+8.725+2.400+3.035
+4.965+9.599+3.464 = 169.657 m

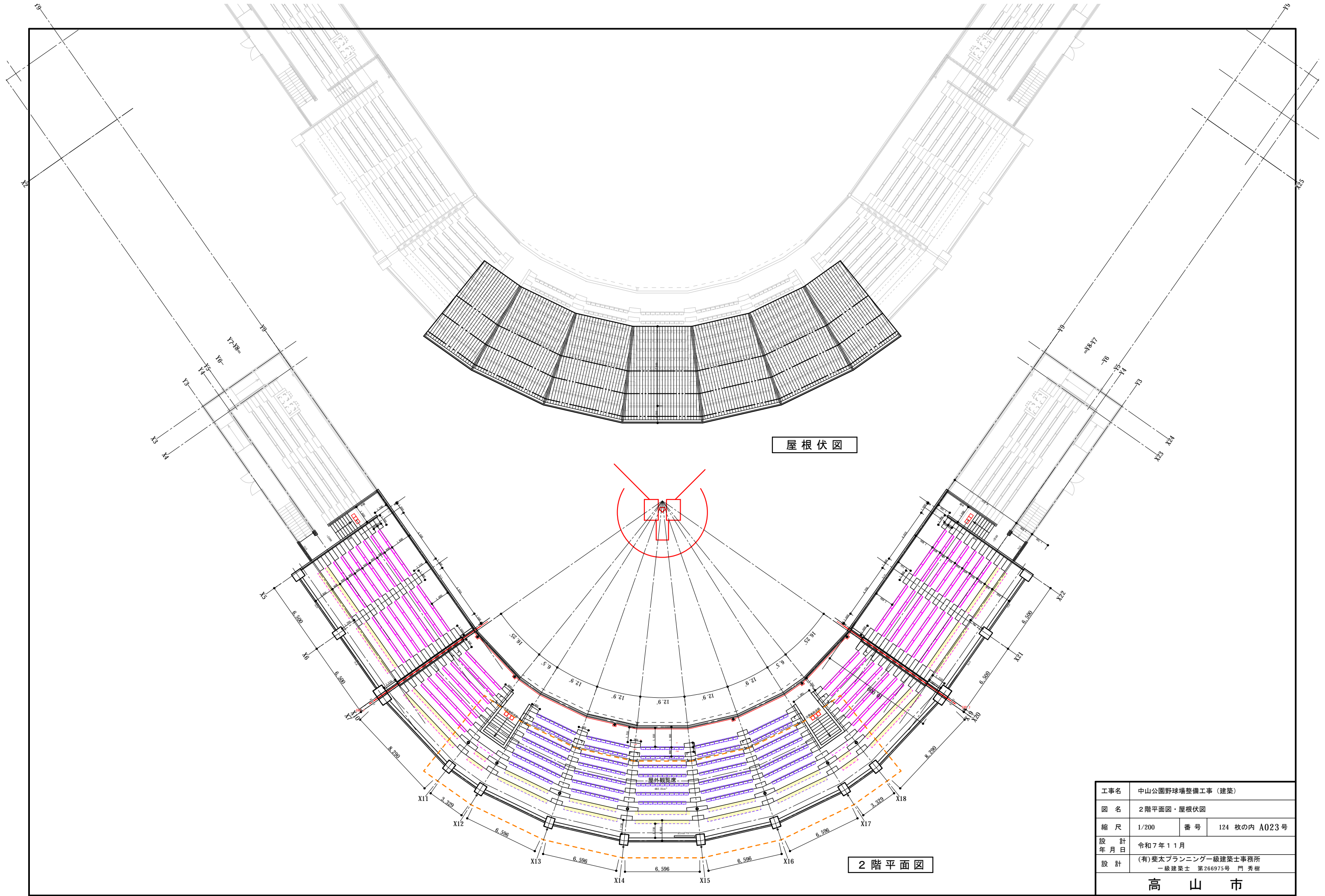
計画建物
野球場(観覧場)
鉄筋コンクリート造
2階建 一部鉄骨造
最高高さ12.25m
耐火建築物

既存擁壁
都市計画事業として整備済
S51.11.1供用開始

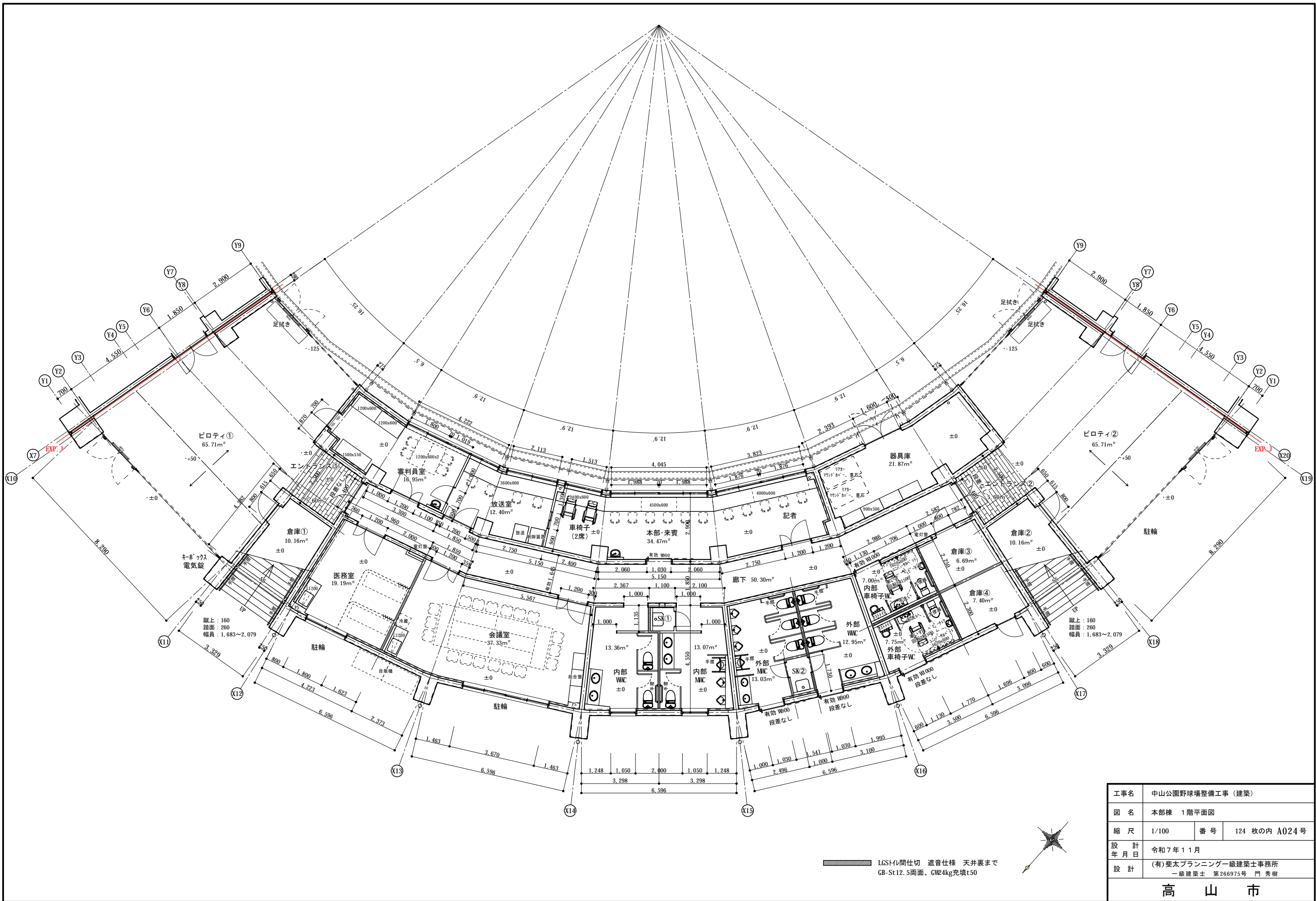
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	【計画】配置図		
縮 尺	1/600	番 号	124 枚の内 A021号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



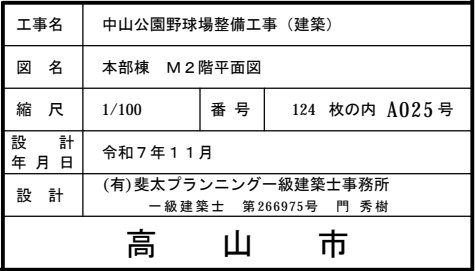
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	1階平面図		
縮 尺	1/200	番 号	124 枚の内 A022 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第 266975 号 門 秀 樹		
高 山 市			

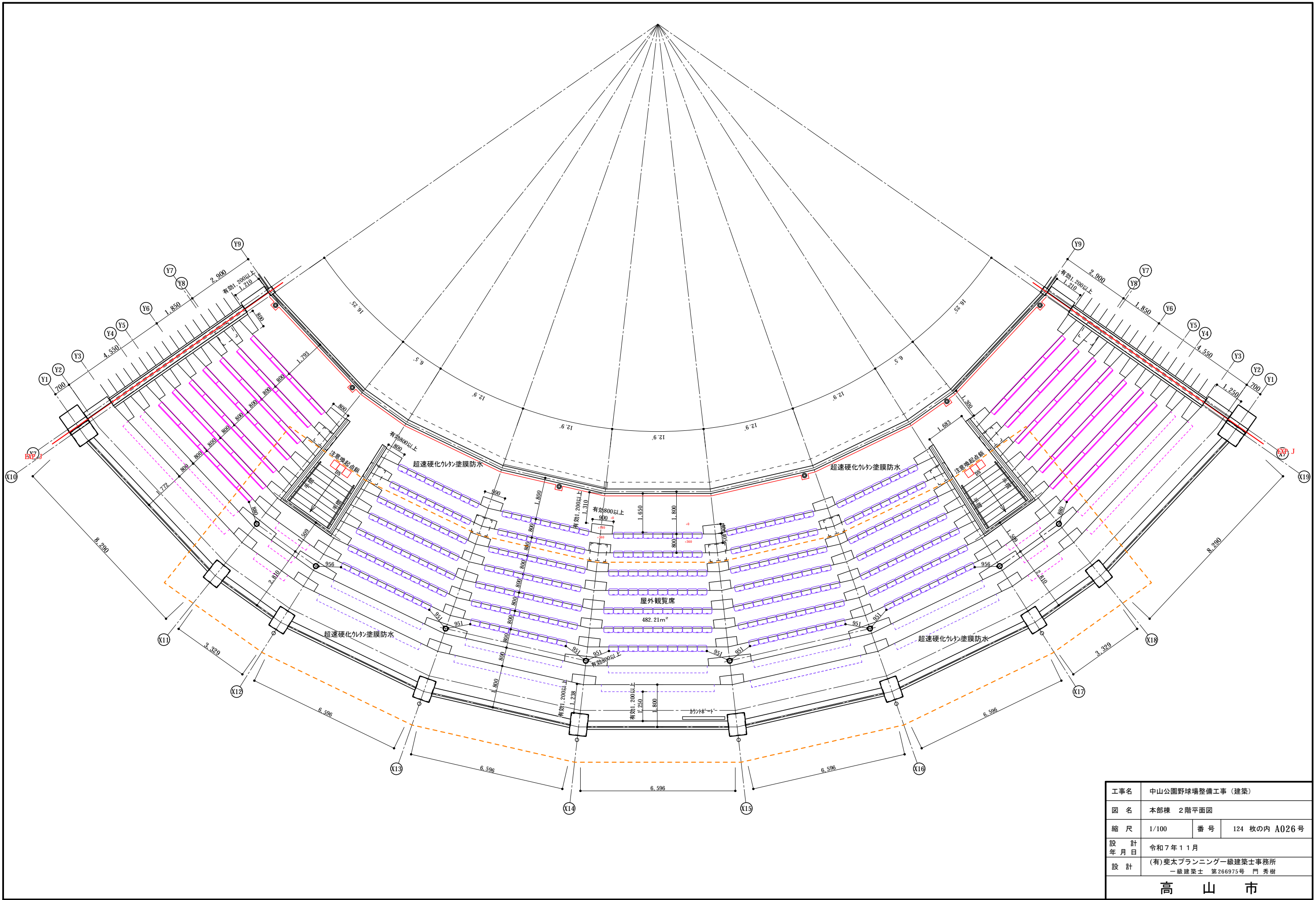


工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	2階平面図・屋根伏図		
縮 尺	1/200	番 号	124 枚の内 A023号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

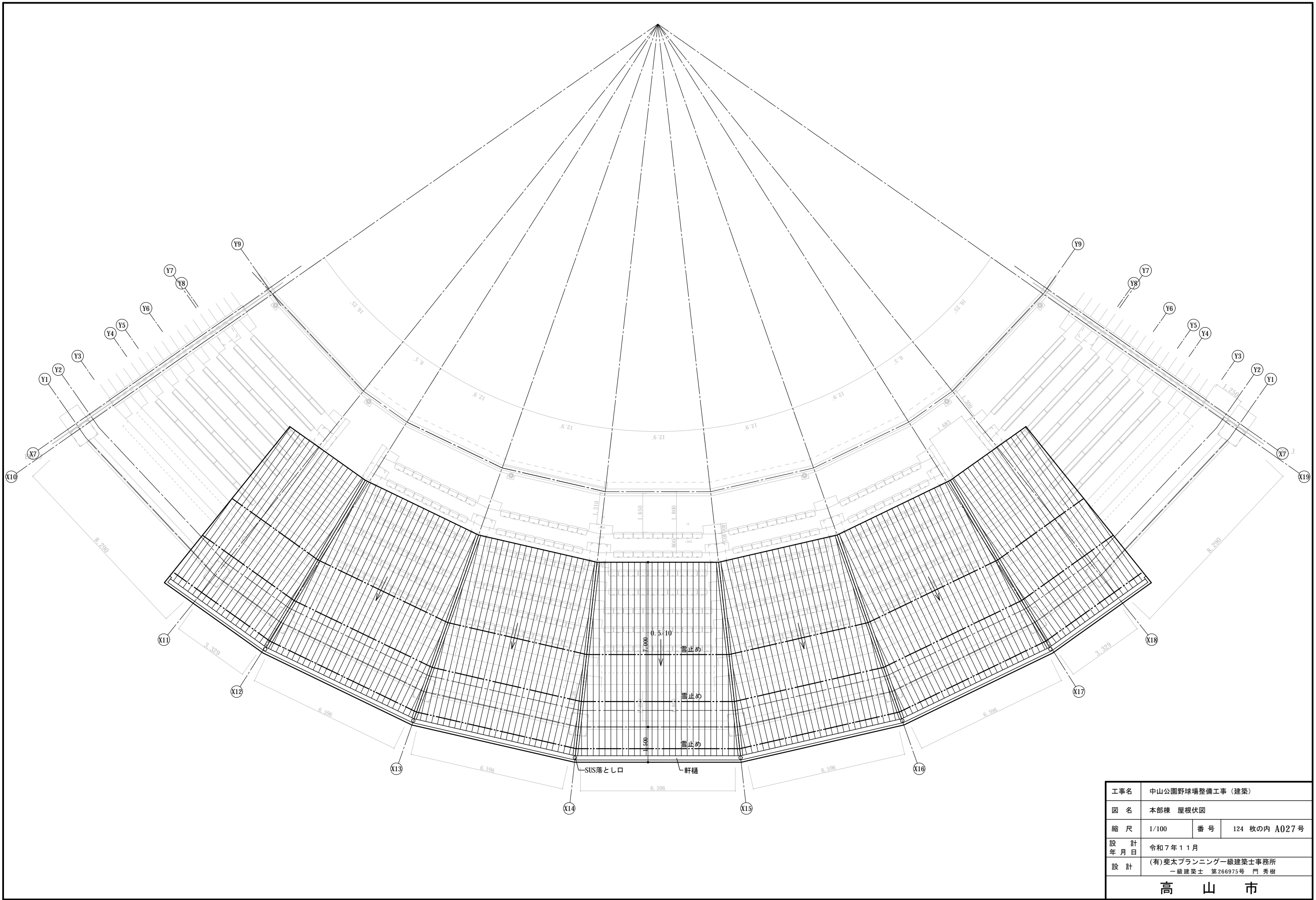


工 事 名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	本部棟 1階平面図		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A024号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

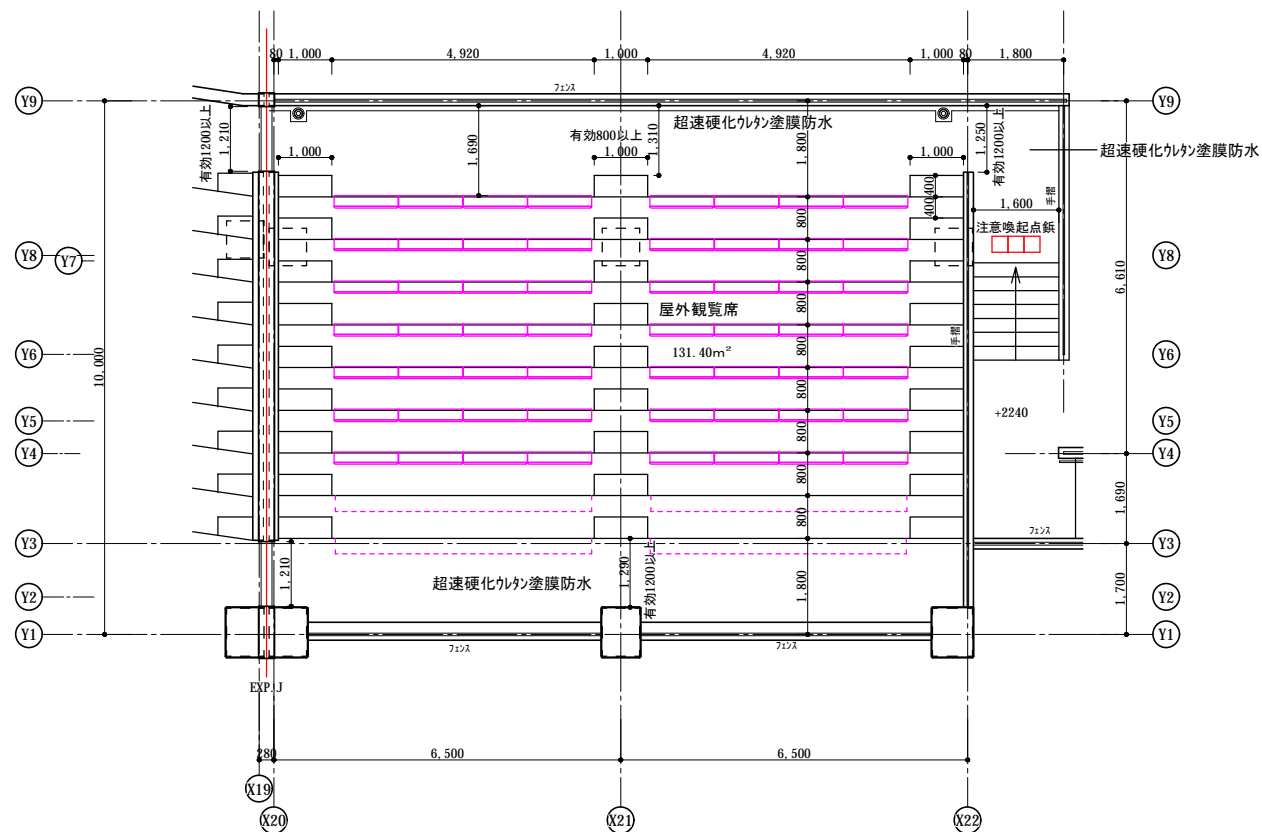




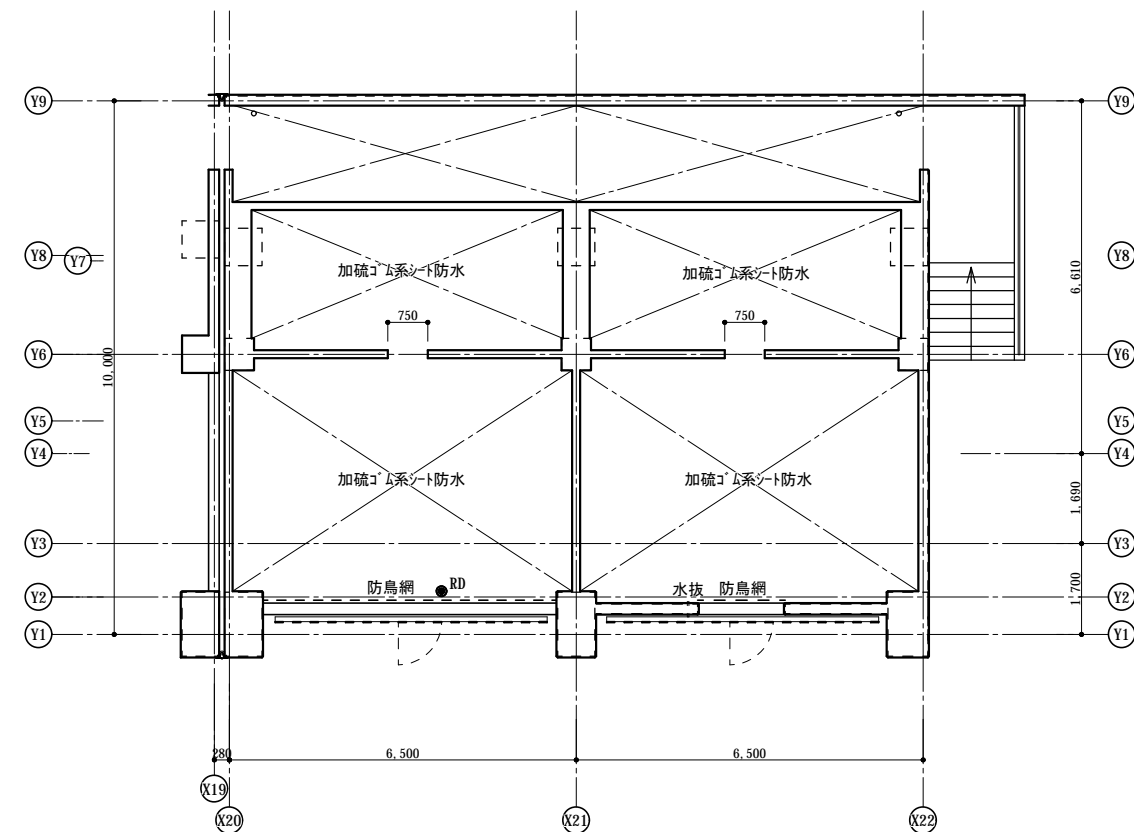
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	本部棟 2 階平面図		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A026 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



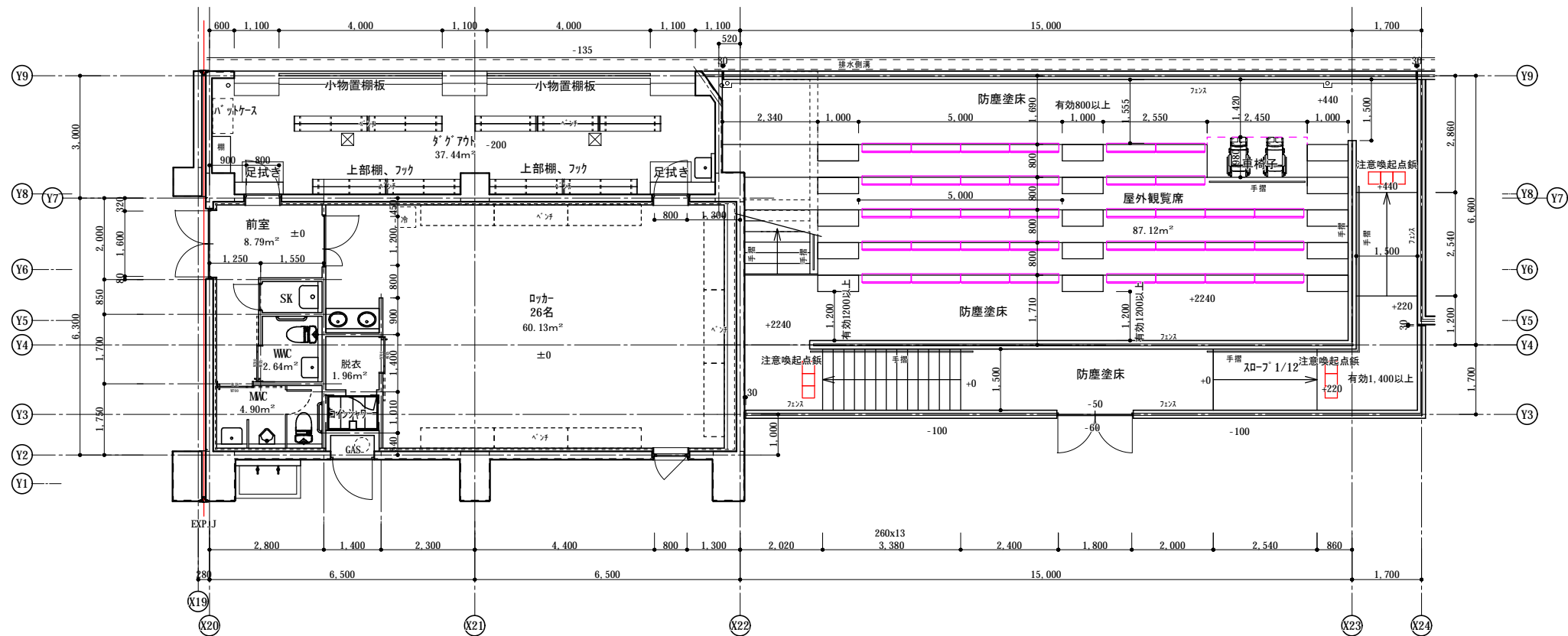
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	本部棟 屋根伏図		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A027 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀 樹		
高 山 市			



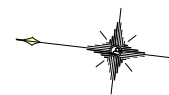
2 階平面図



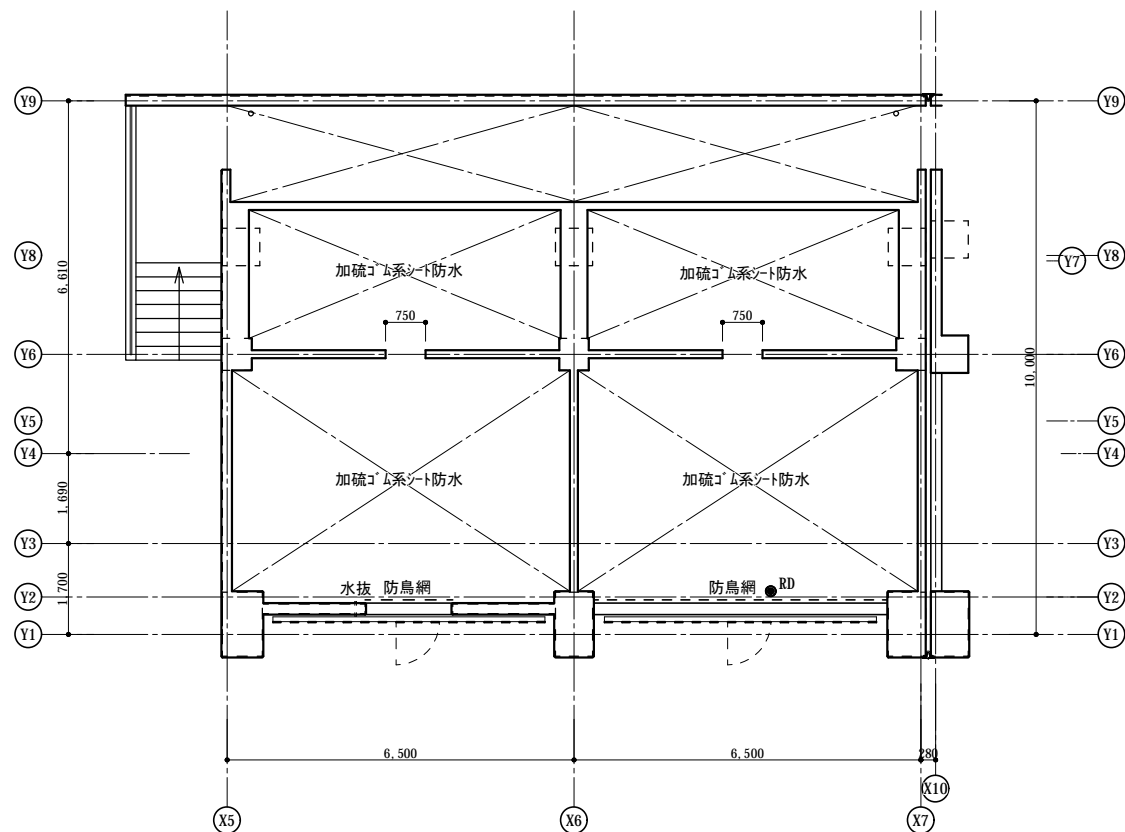
M 2 階平面図



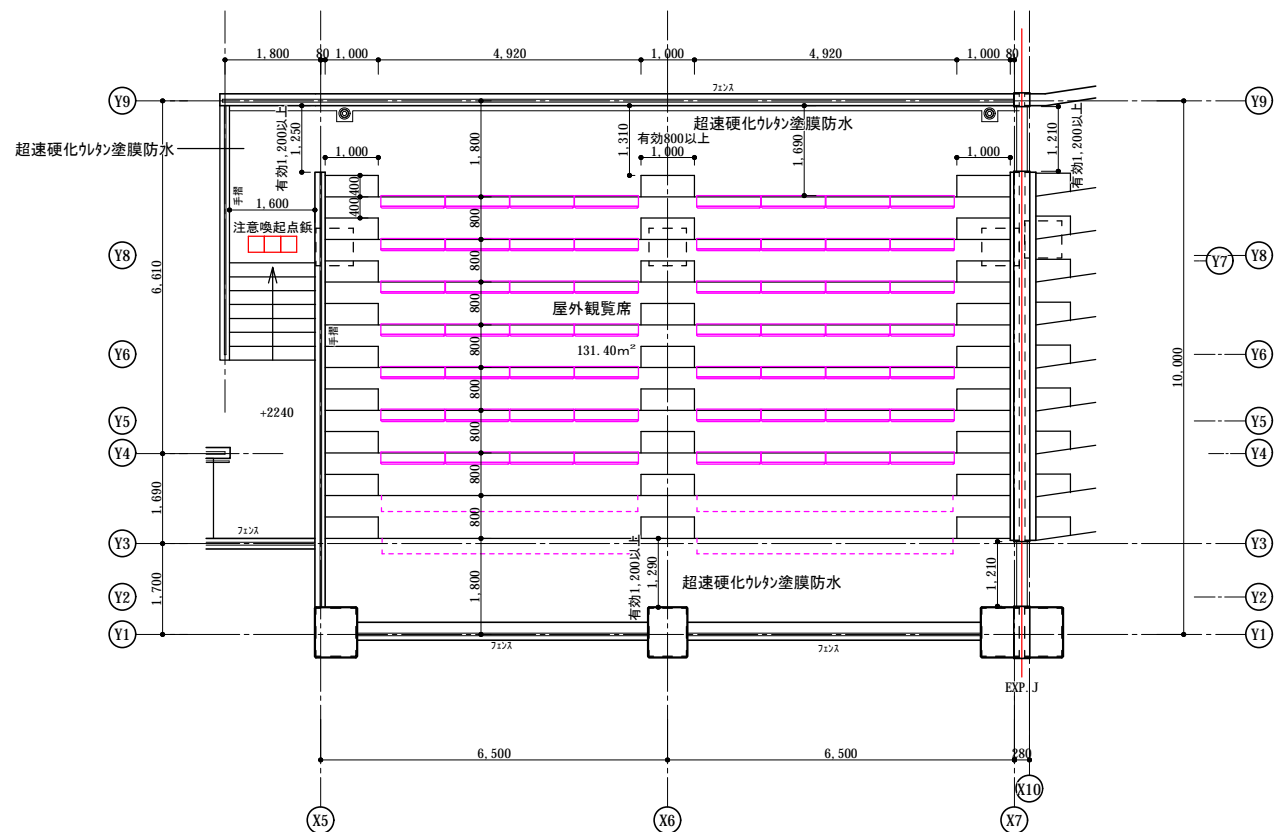
1 階平面図



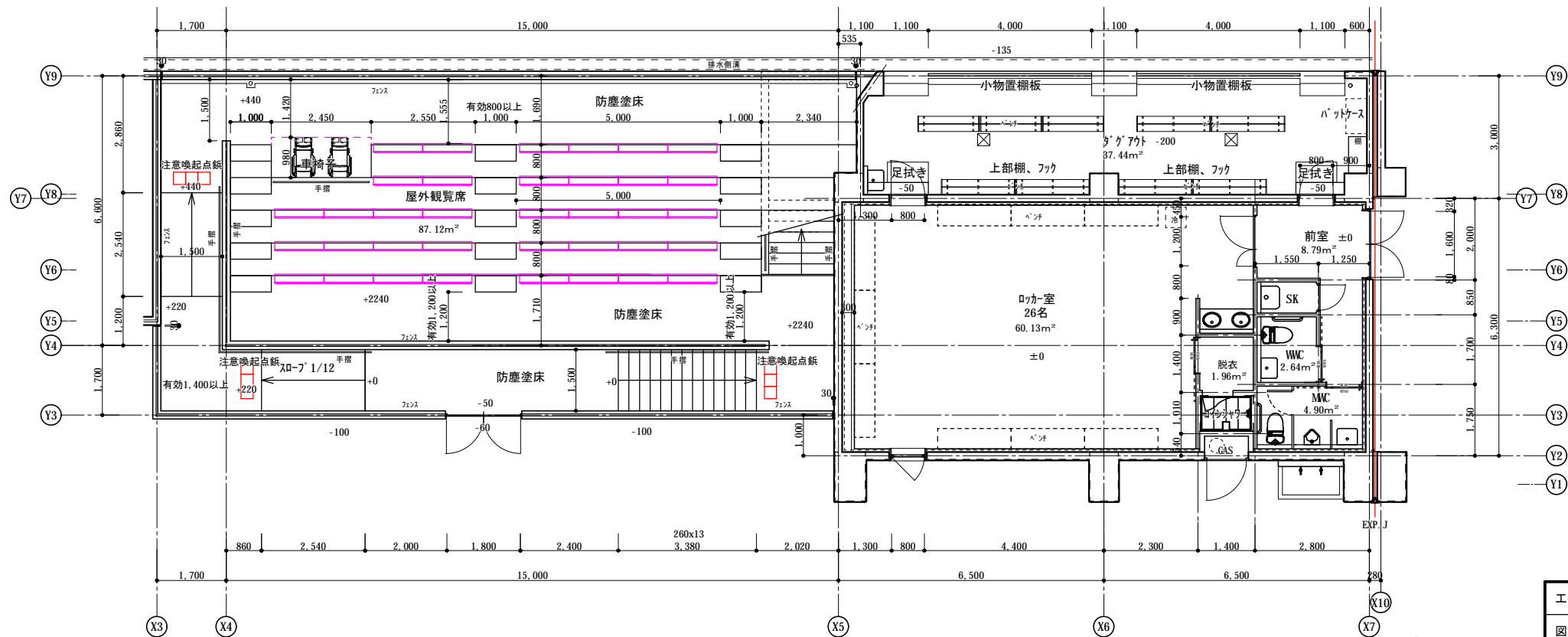
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	一塁側 1 階・M 2 階・2 階平面図		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A028 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



M 2階平面図



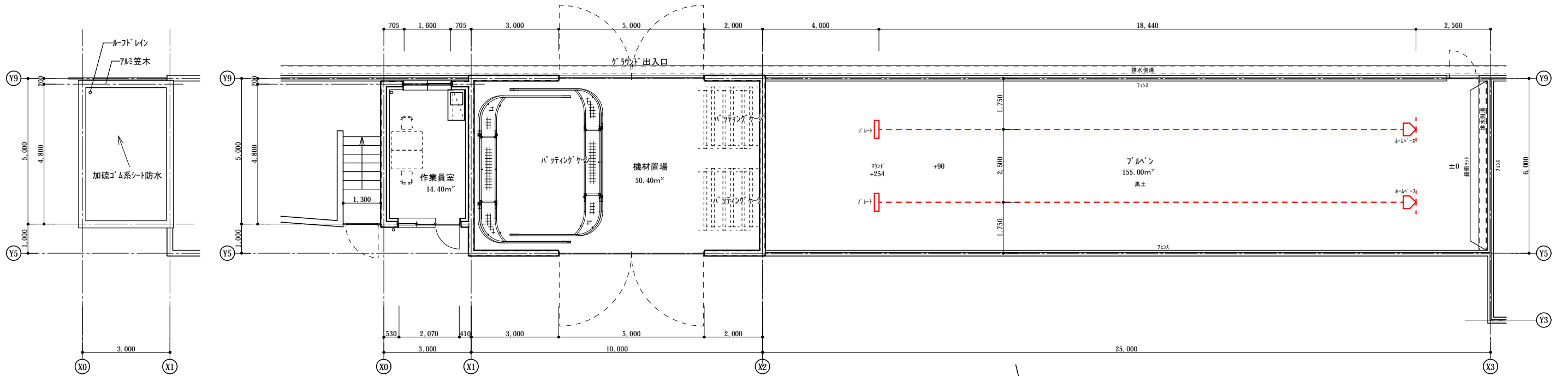
2階平面図



1階平面図

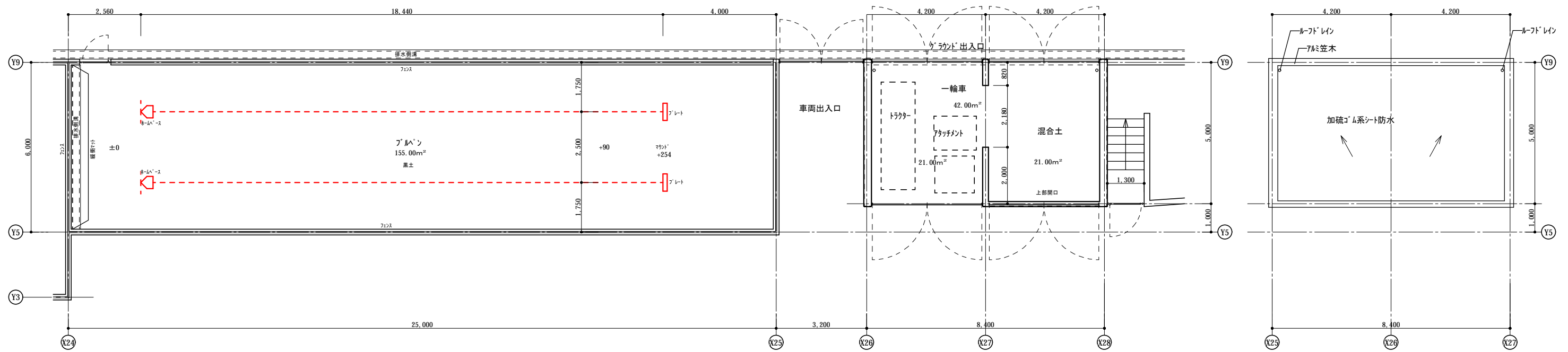


工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	三塁側 1 階・M 2 階・2 階平面図		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A029 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第 266975 号 門 秀 樹		
高 山 市			



三疊側 屋根伏図

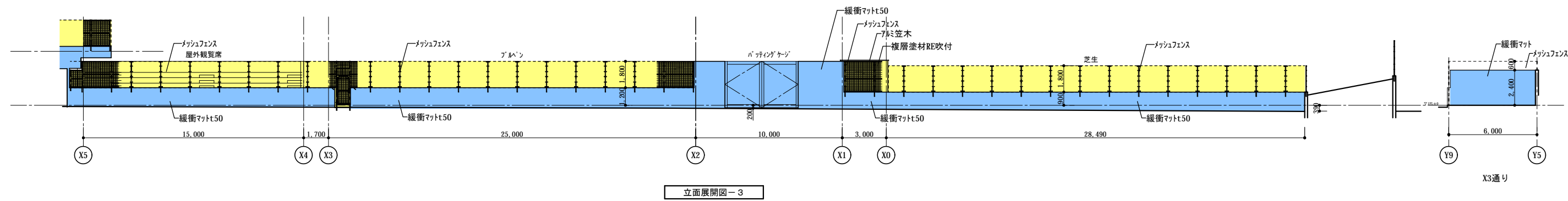
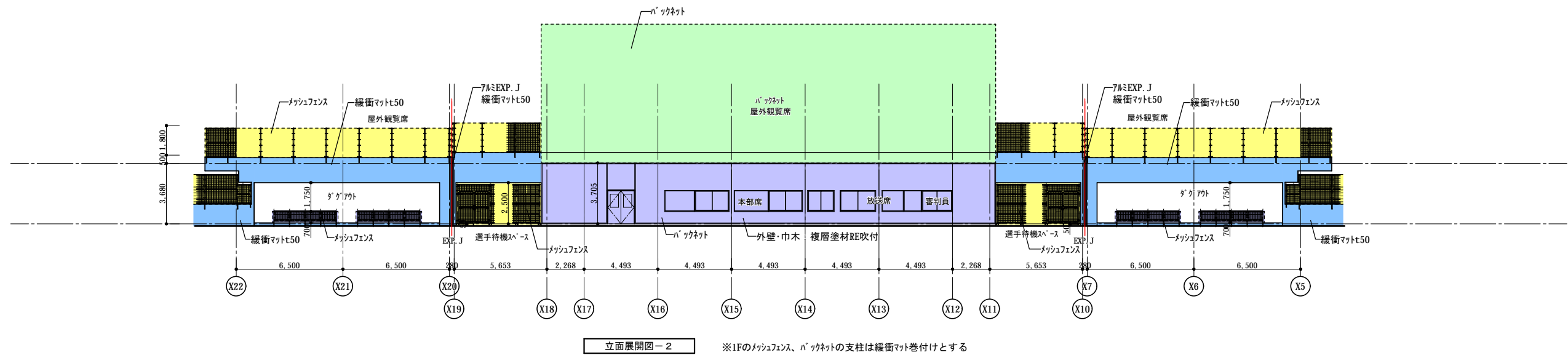
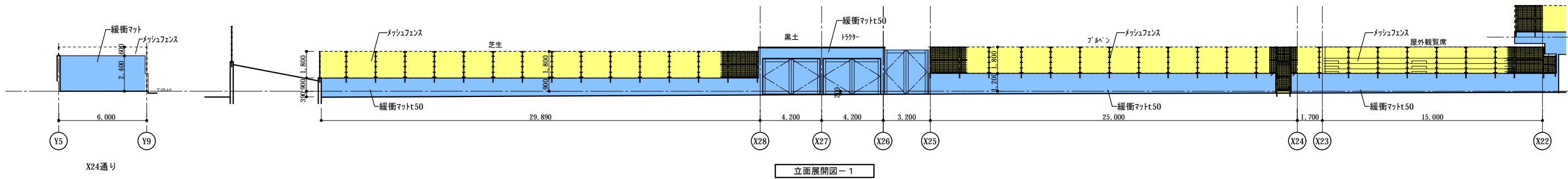
三疊側 平面図



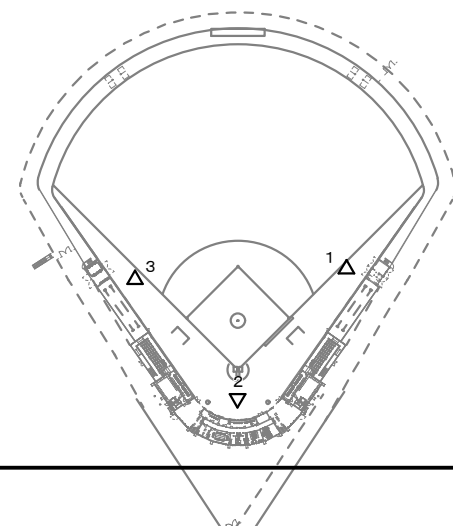
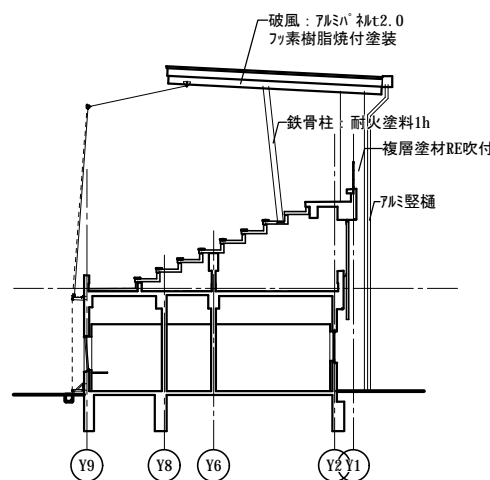
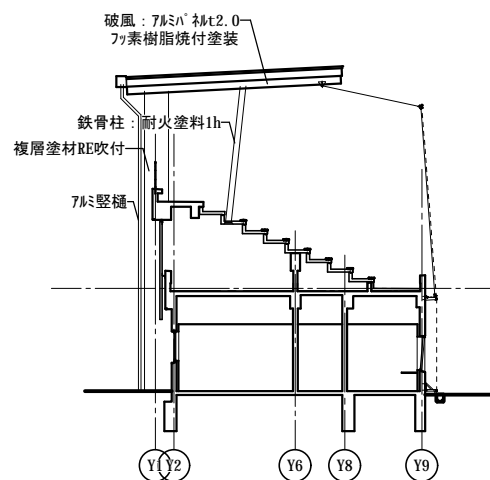
一疊側 平面図

一疊側 屋根伏図

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	ブルベン 平面図・屋根伏図		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A030 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有) 斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

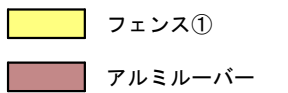
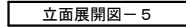


- 隣地斜線制限
建物に31mを超える部分がないため ○K
- 道路斜線制限
建物が道路から十分に離れているため ○K
- 延焼の恐れのある部分
延焼ラインが建物に掛からないため、該当部分なし

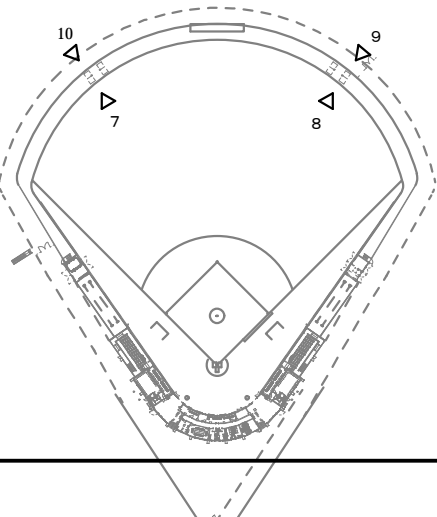
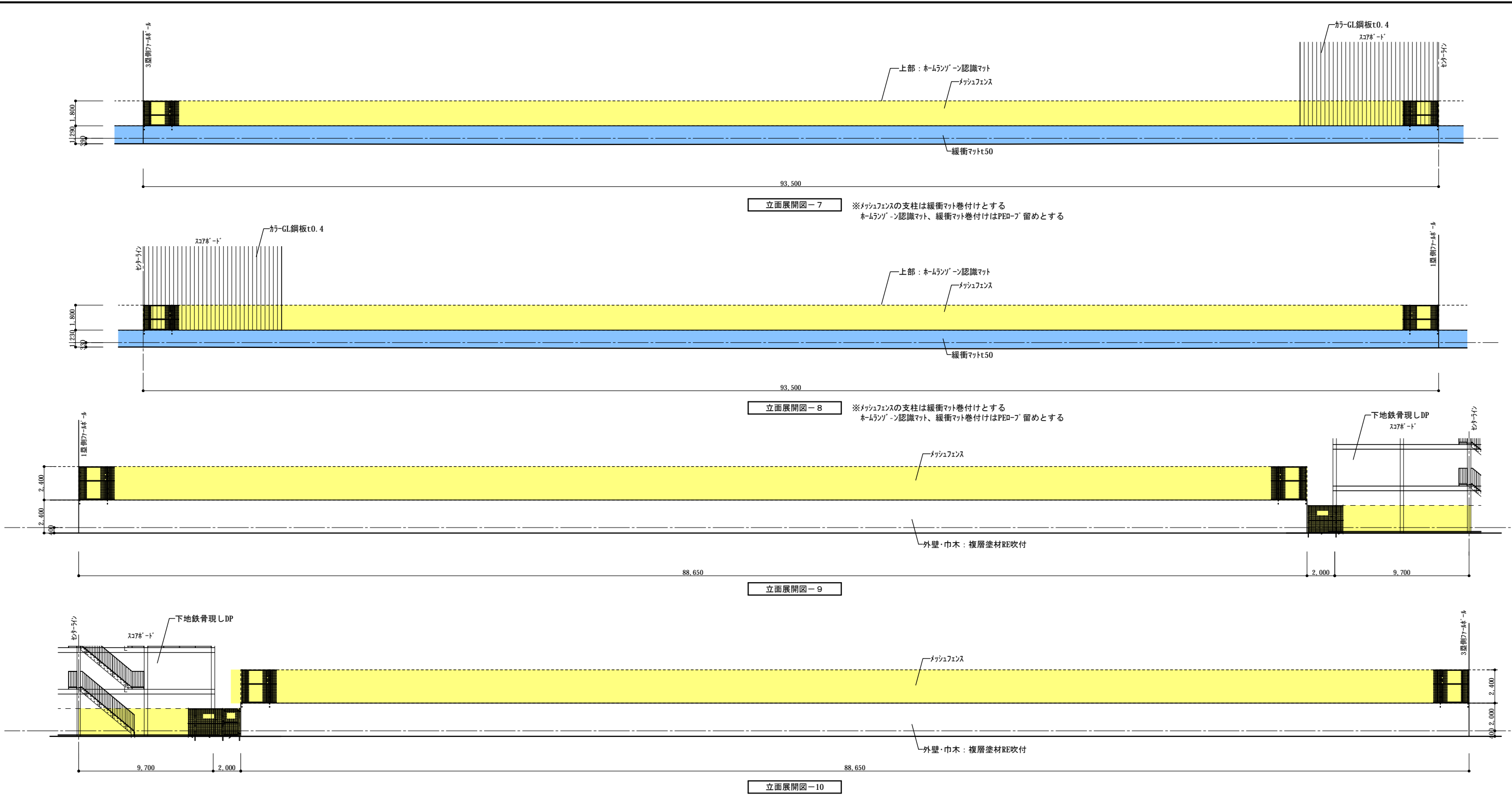


- フェンス①
- バックネット①
- バックネット②
- 緩衝マット

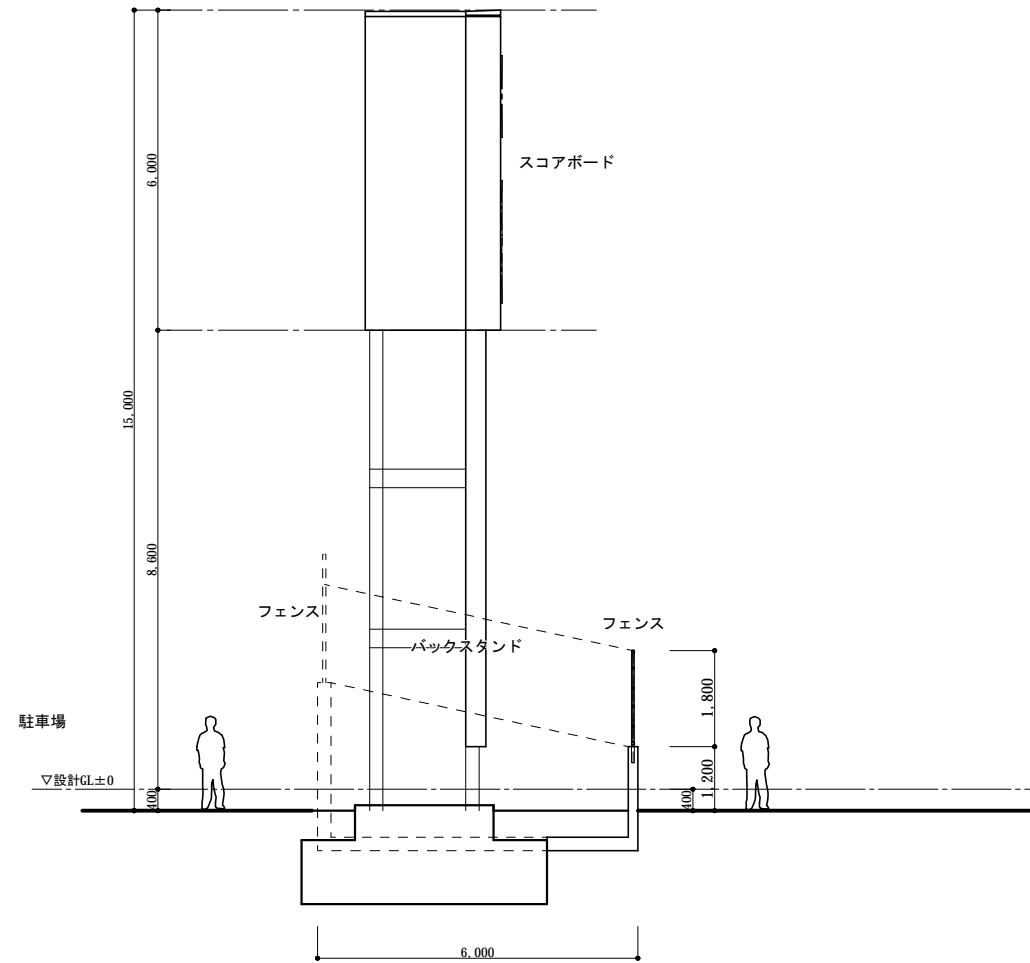
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	立面展開図－１（グラウンド側）		
縮 尺	1/200	番 号	124 枚の内 A031号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



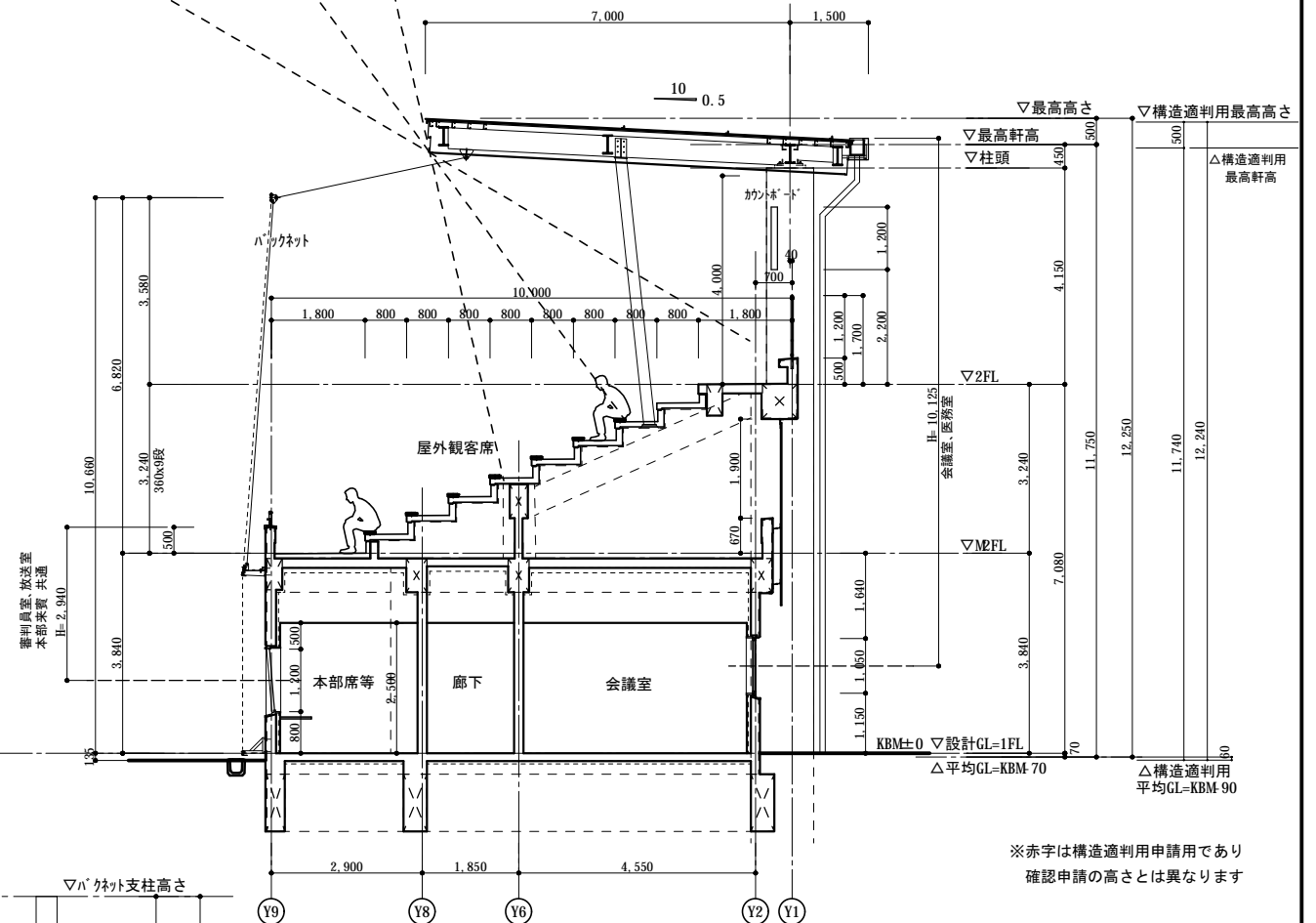
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	立面展開図－２（外周部）		
縮 尺	1/200	番 号	124 枚の内 A032号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有) 斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



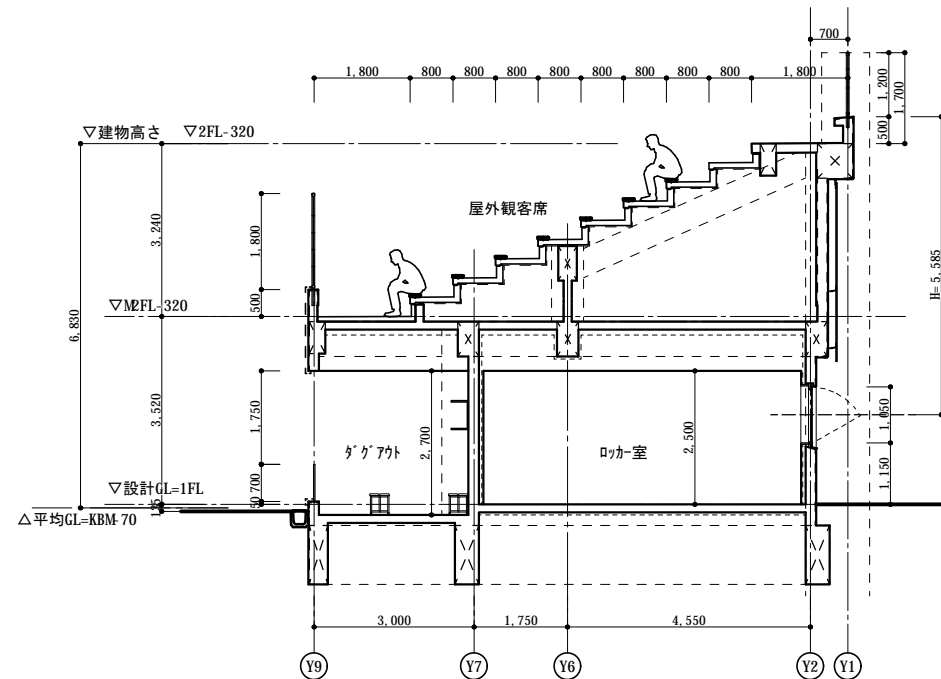
工 事 名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	立面展開図－３（バックスタンド側）		
縮 尺	1/200	番 号	124 枚の内 A033 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第 266975 号 門 秀 樹		
高 山 市			



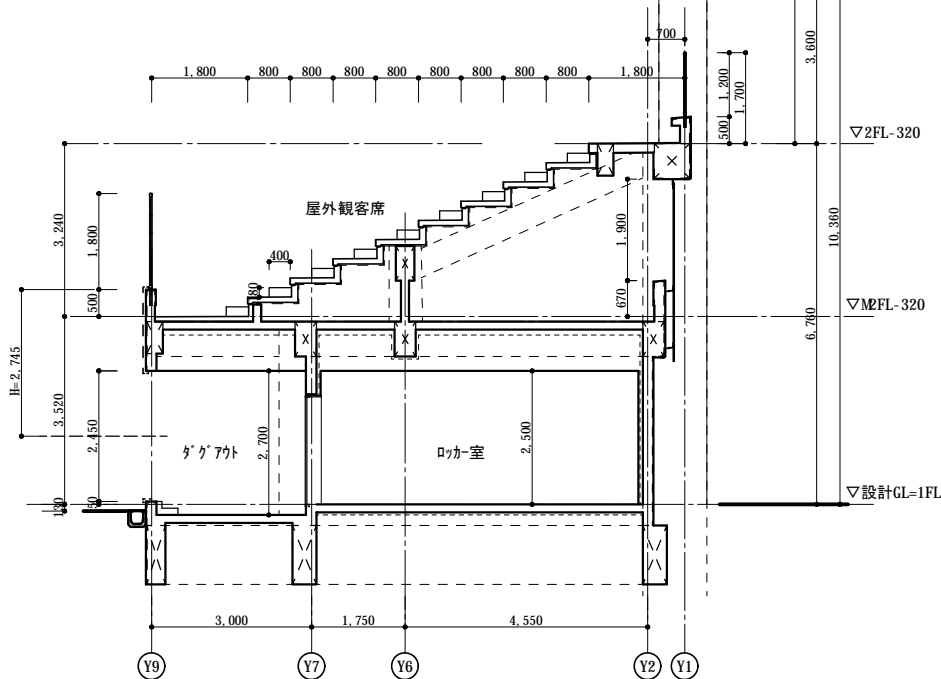
A断面図



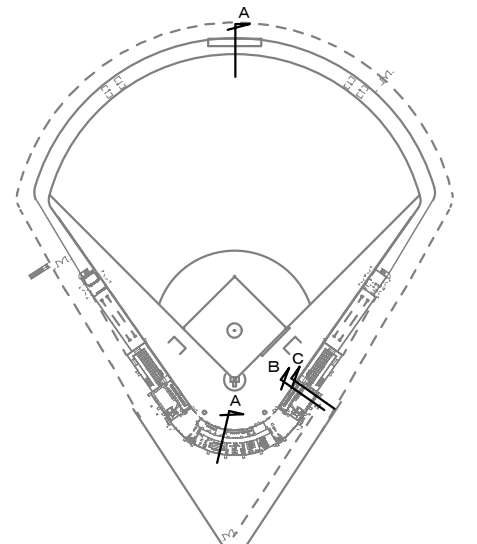
※赤字は構造適用申請用であり
確認申請の高さとは異なります



B断面図

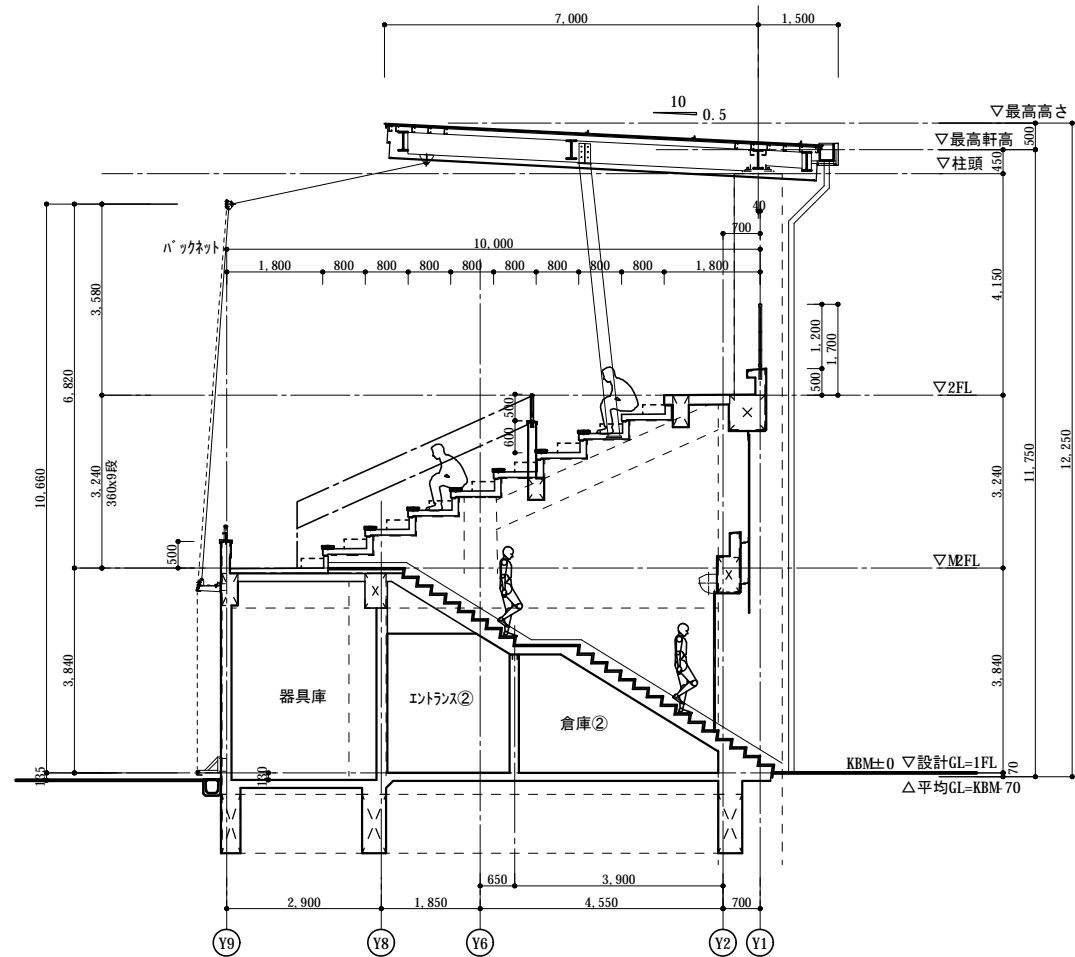


C断面図

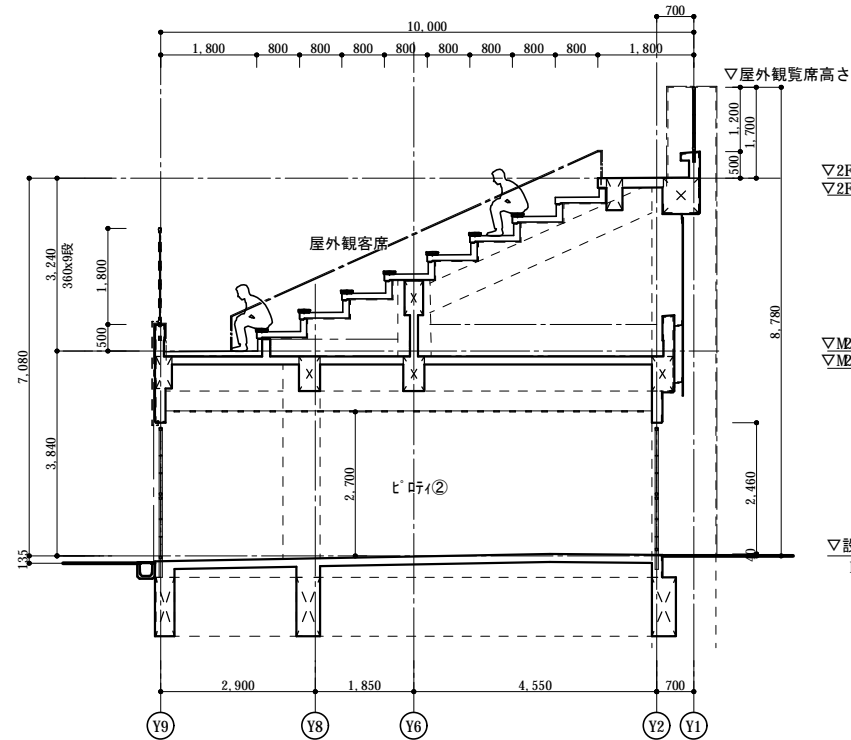


H=** 採光補正係数算定用寸法

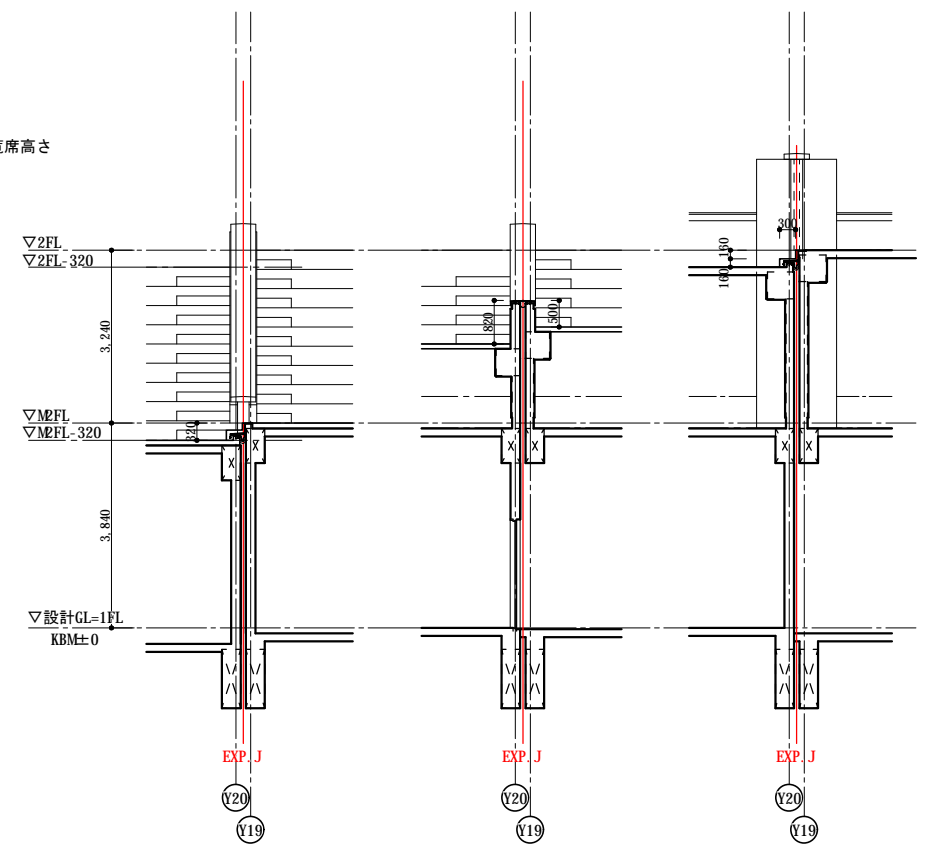
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	断面図－1		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A034 号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



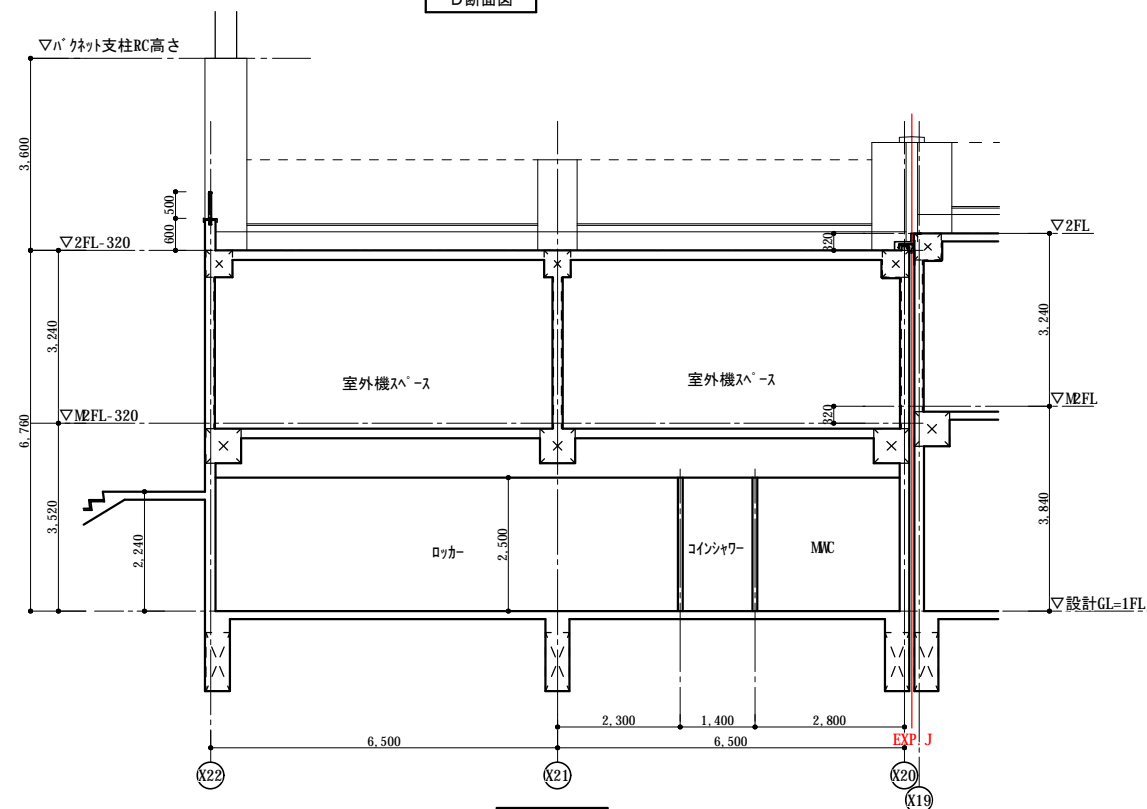
D断面図



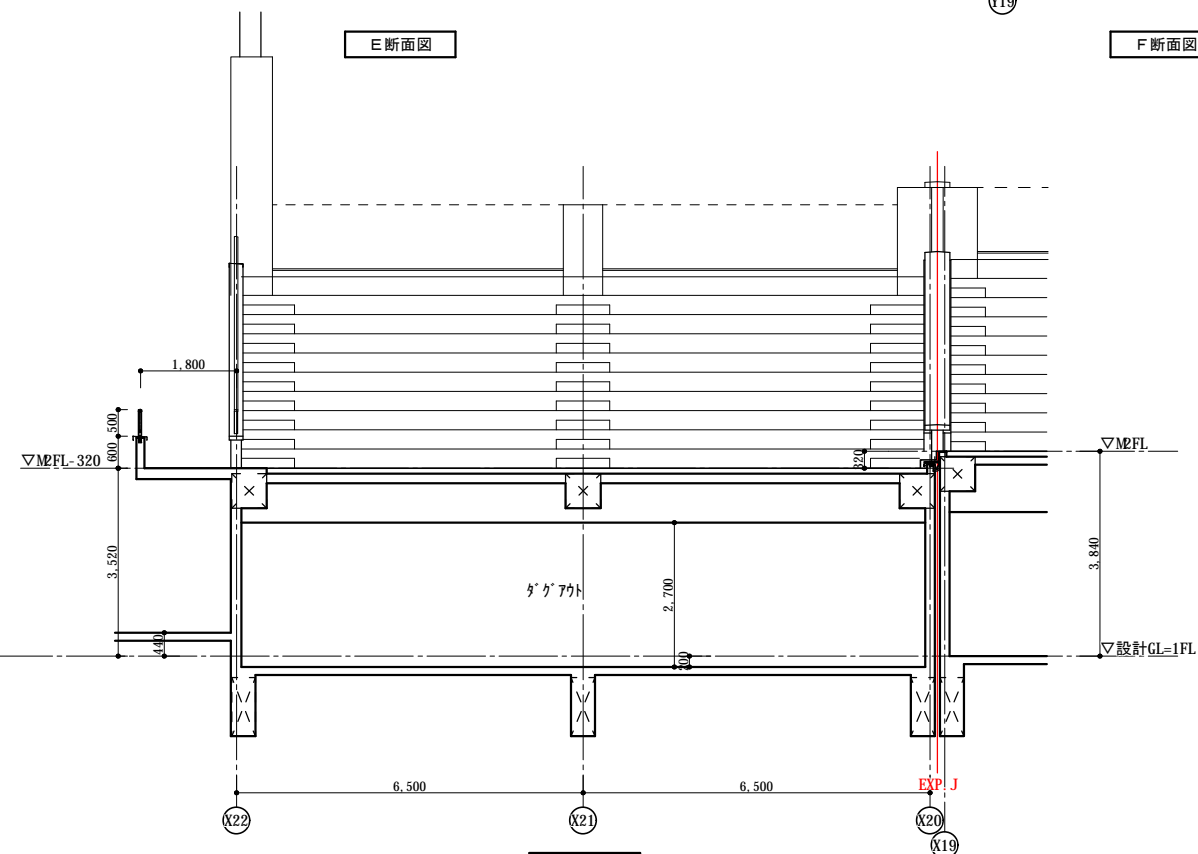
E断面図



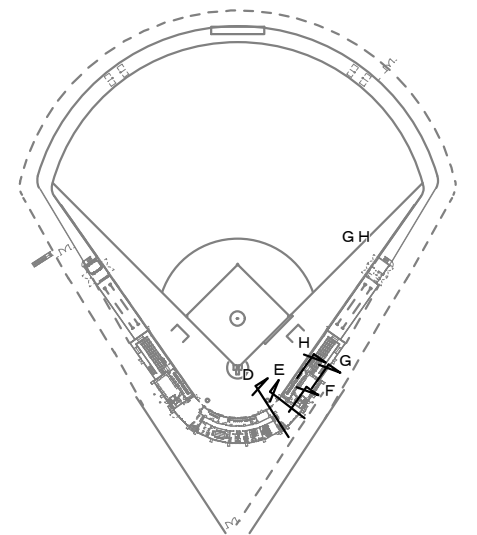
F断面図



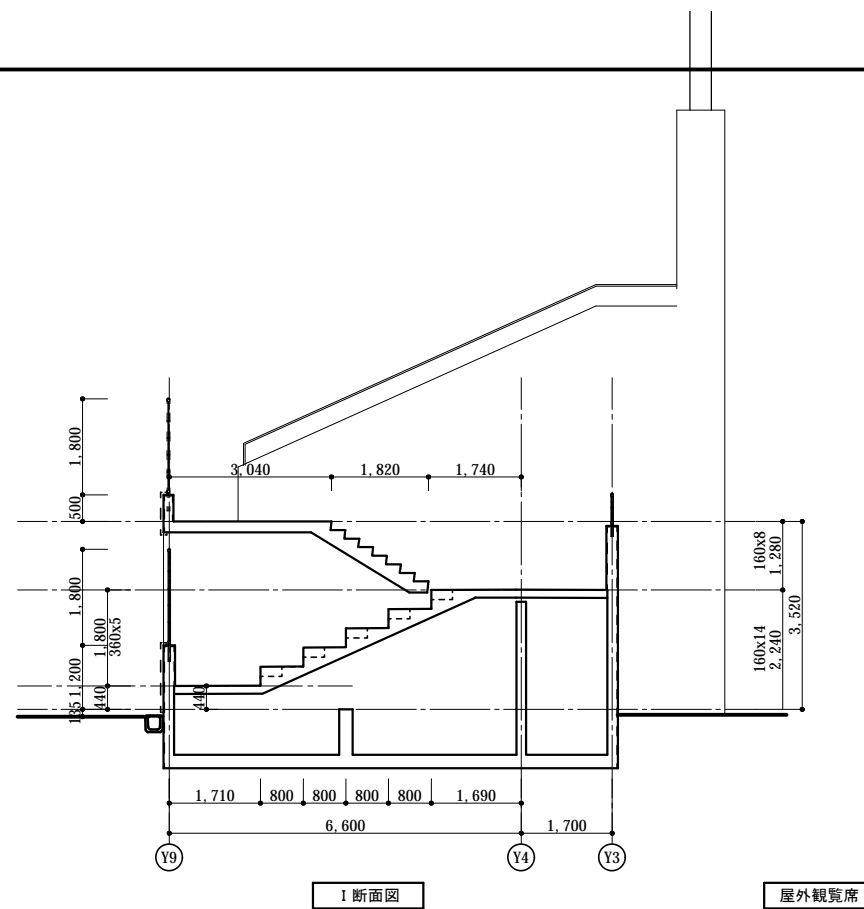
G断面図



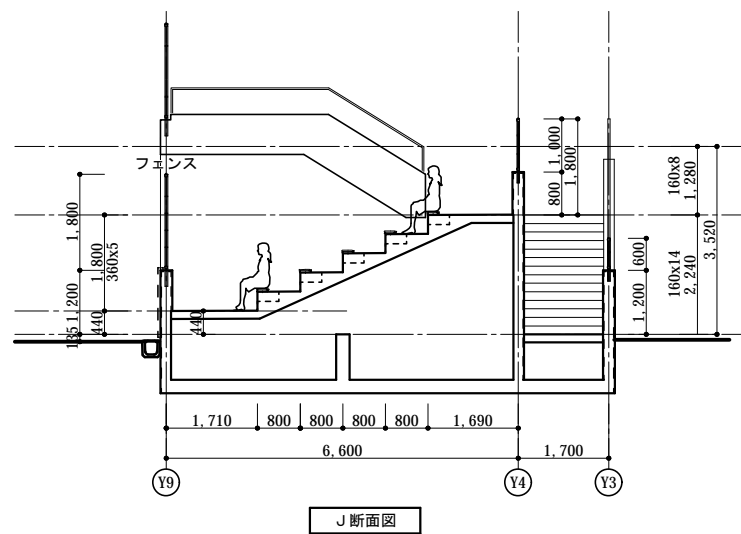
H断面図



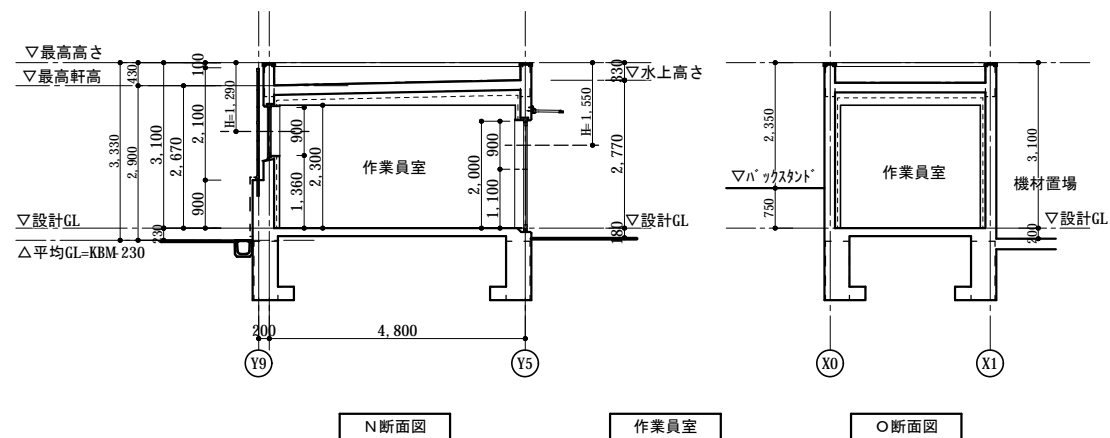
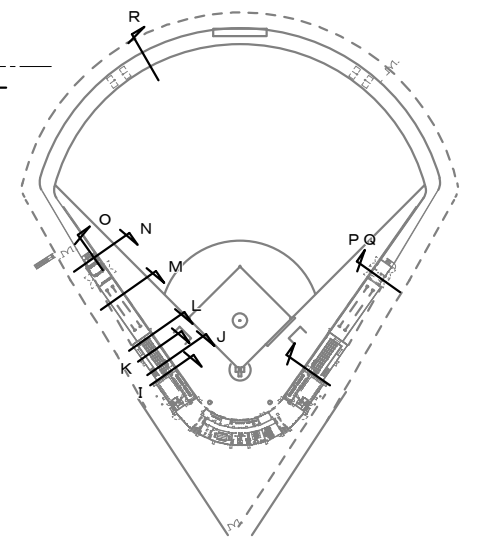
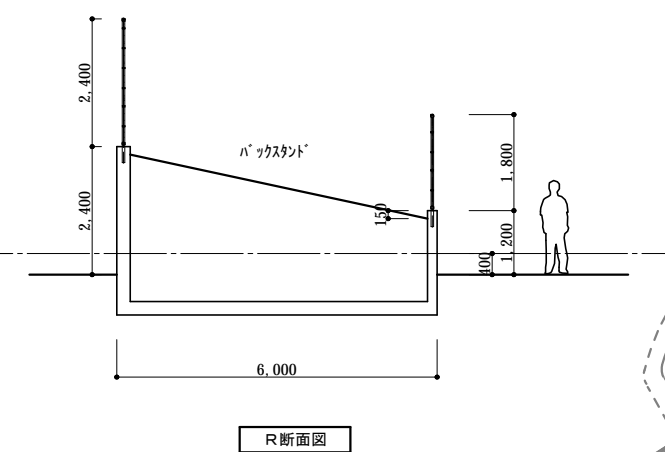
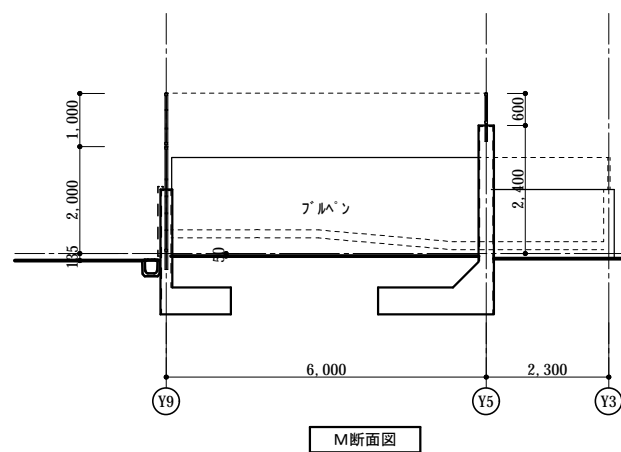
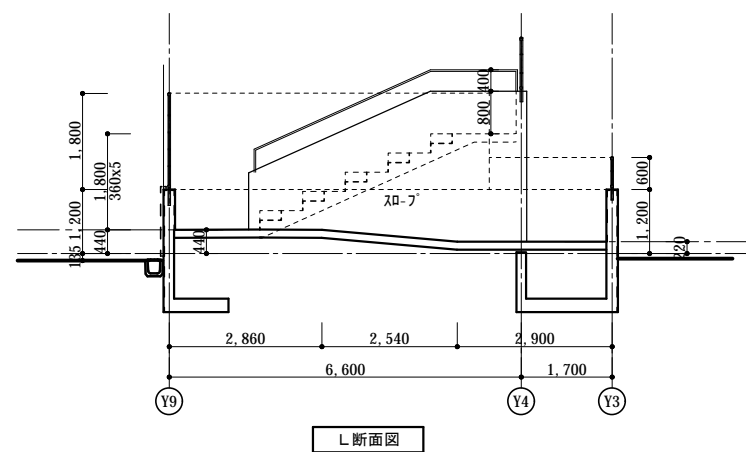
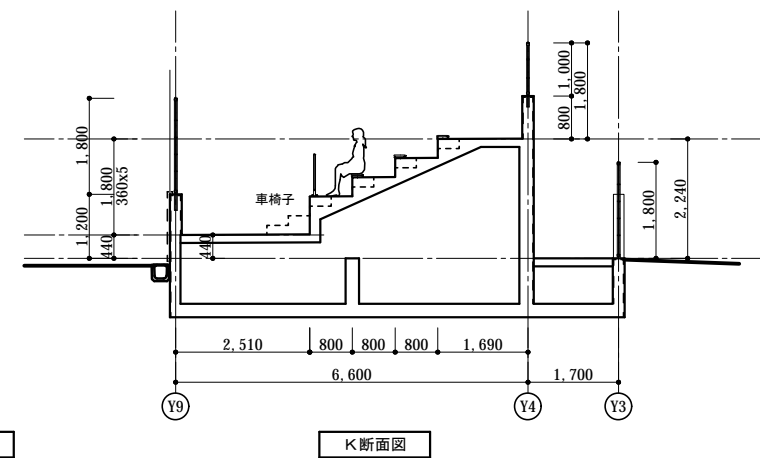
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	断面図－2		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A035 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



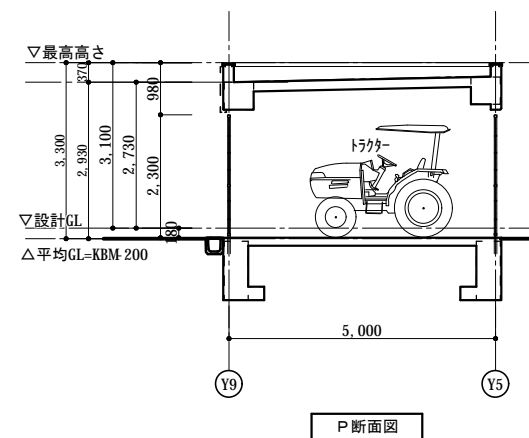
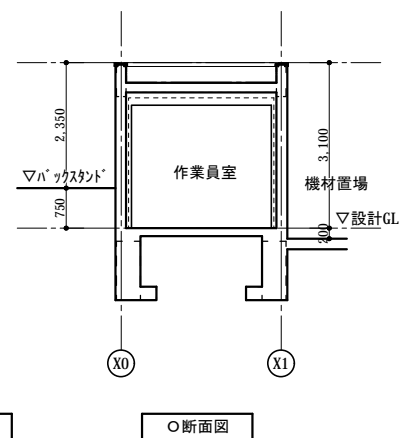
屋外觀覽席



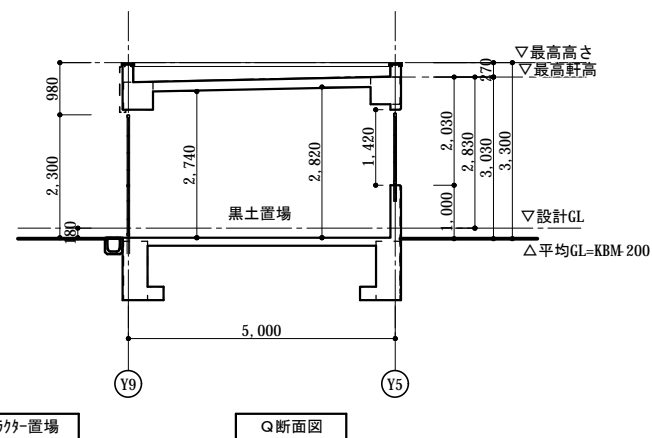
屋外觀覽席



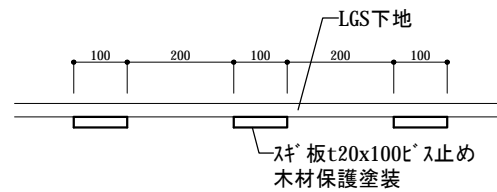
作業員室



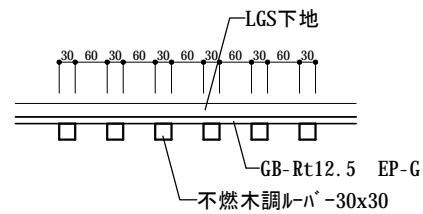
トラクター置場



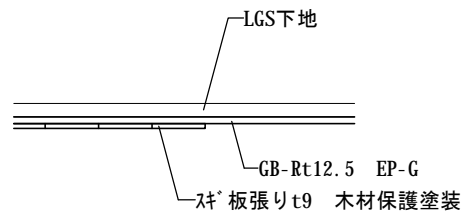
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	断面図－３		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A036 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有) 斐太プランニング級建築士事務所 一級建築士 第 266975 号 門 秀 樹		
高 山 市			



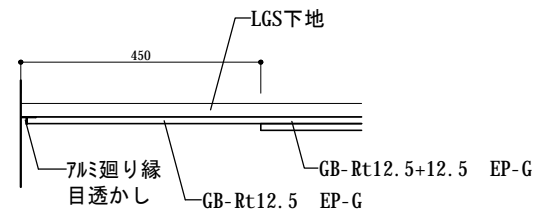
A詳細図 S=1:10



B詳細図 S=1:10



C詳細図 S=1:10



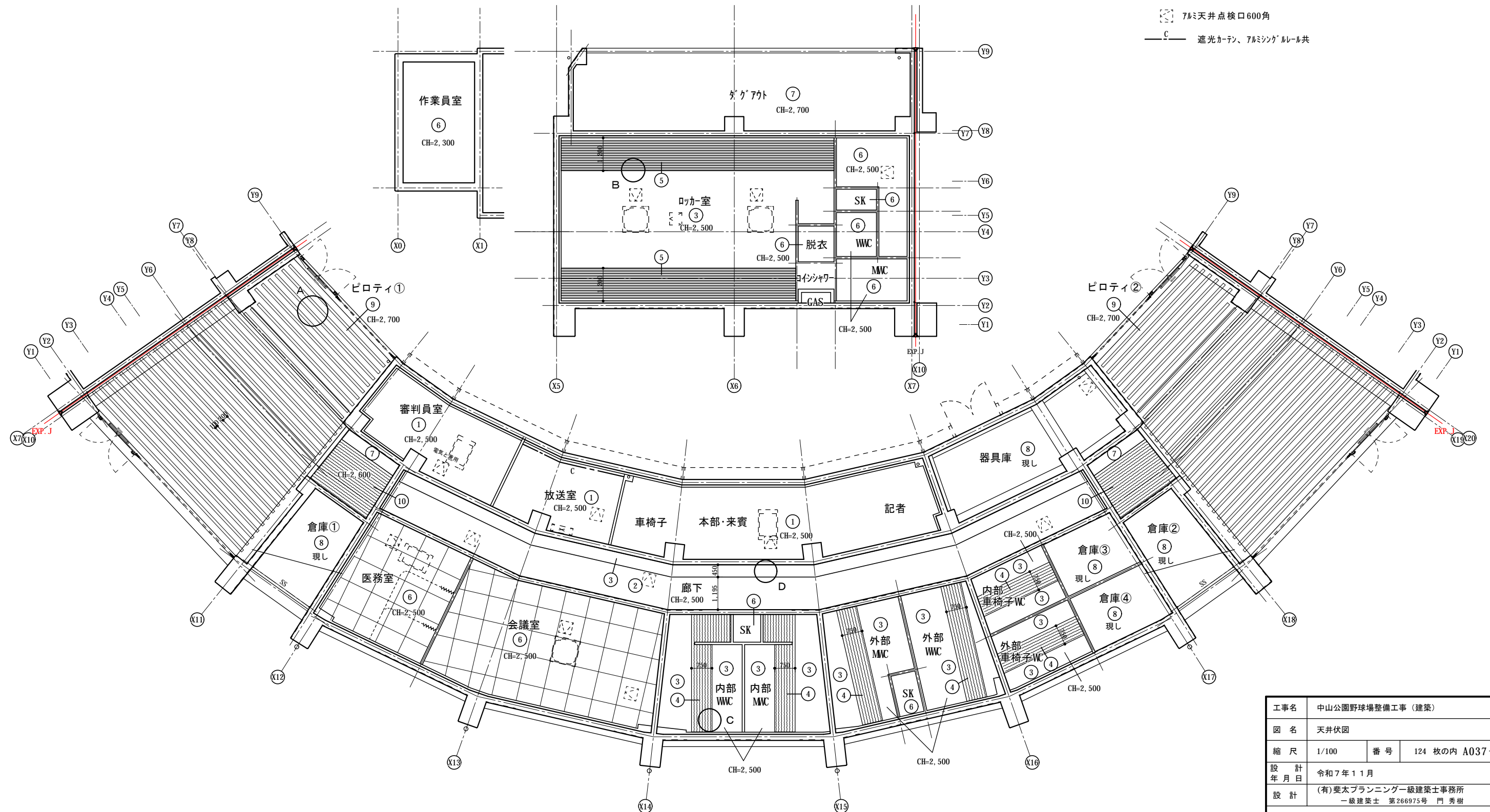
D詳細図 S=1:10

天井仕上げ

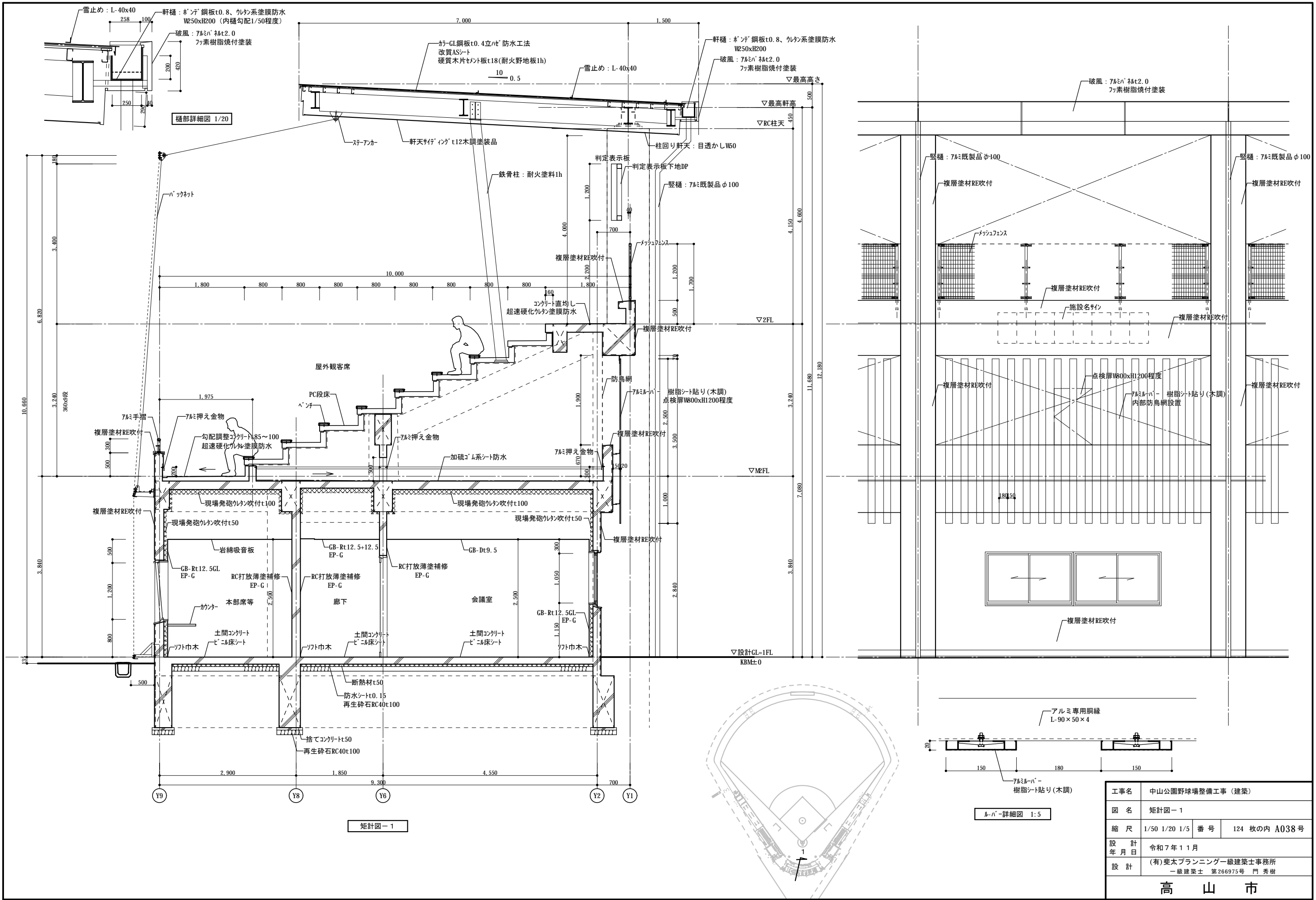
①	GB-Rt12.5 岩綿吸音板t9	不燃
②	GB-Rt12.5+12.5 EP-G	不燃
③	GB-Rt12.5 EP-G	不燃
④	GB-Rt12.5 スキ板張りt9 木材保護塗装	—
⑤	GB-Rt12.5 EP-G、不燃木調 μ -ハ \sim 30x30	不燃
⑥	GB-Dt9.5	不燃
⑦	ケイカル板t6 EP-G	不燃
⑧	コンクリート打放し	不燃
⑨	スキ板張りt20 木材保護塗装 目透かし貼り	—
⑩	ケイカル板t6 スキ板張りt9 木材保護塗装	—

7mm天井点検口600角

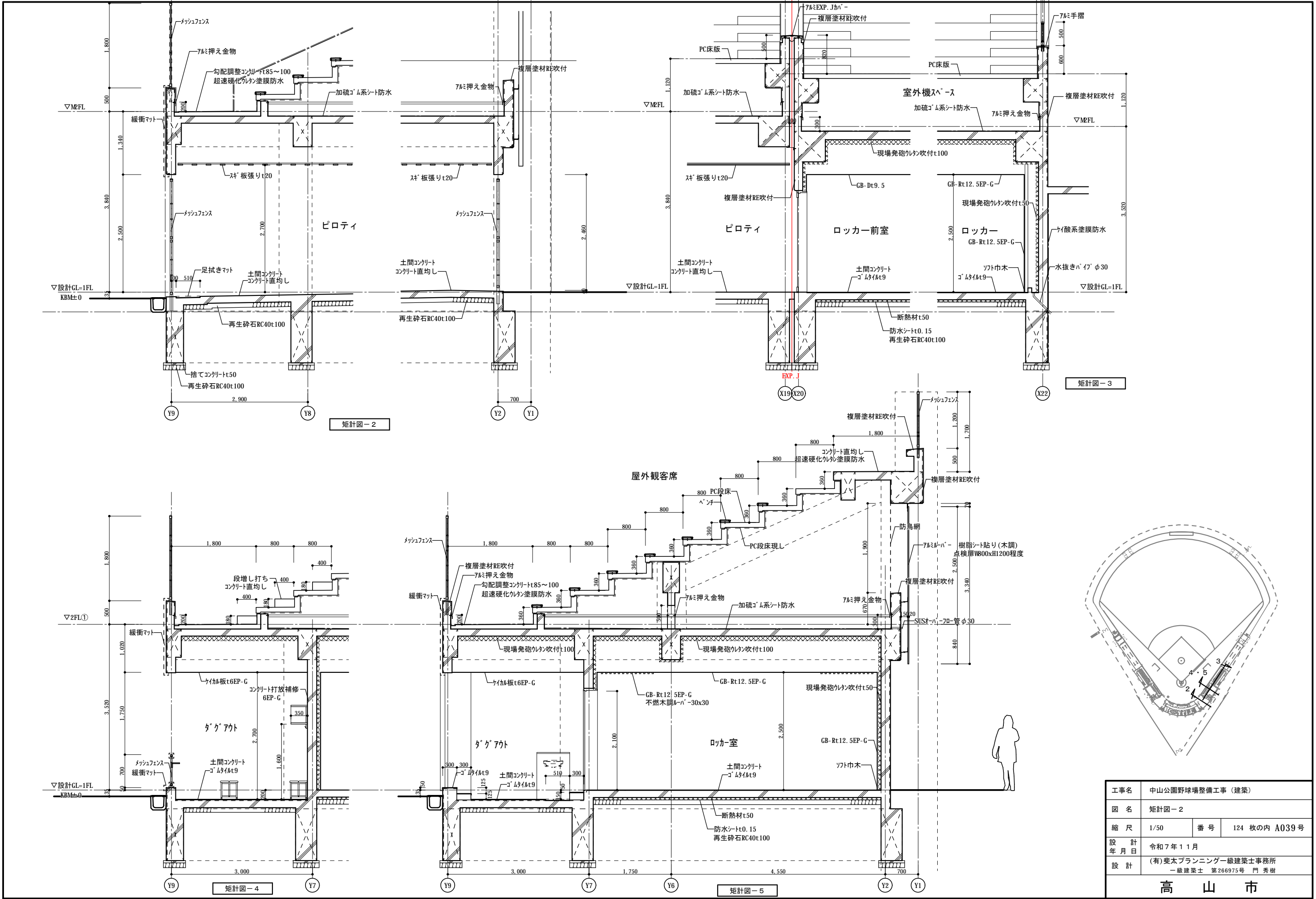
遮光カーテン、7mmシンク μ レベル共



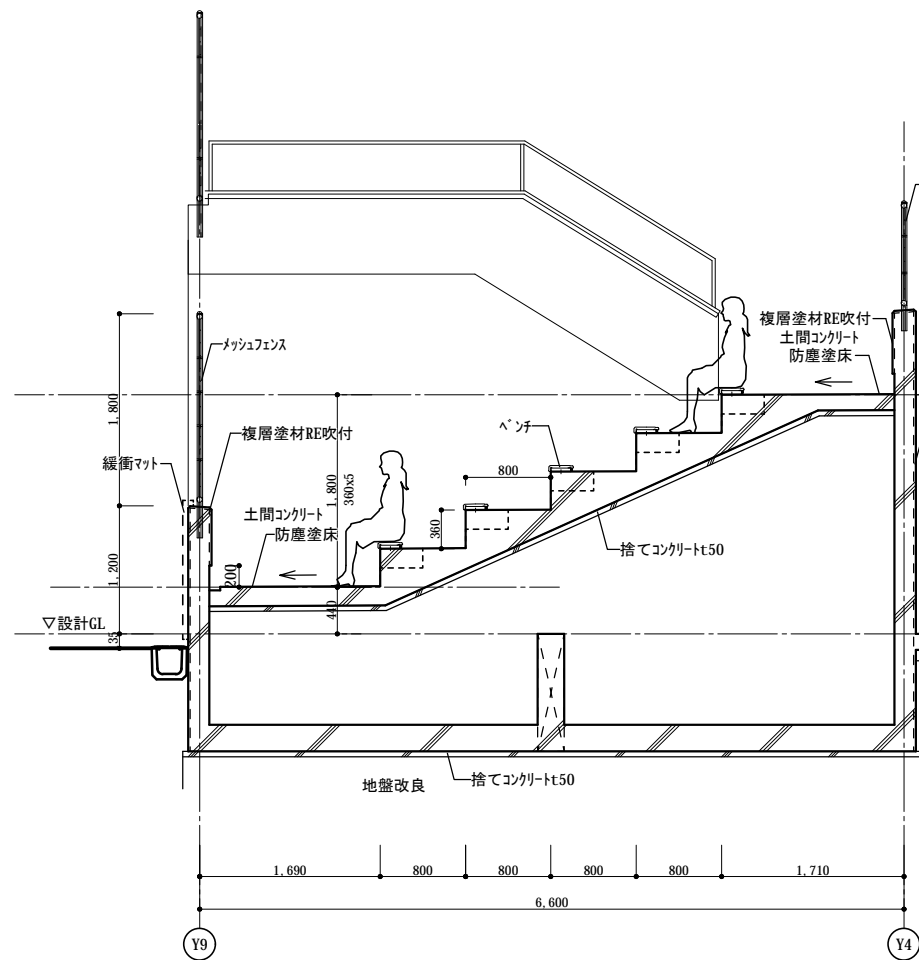
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	天井伏図		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A037号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



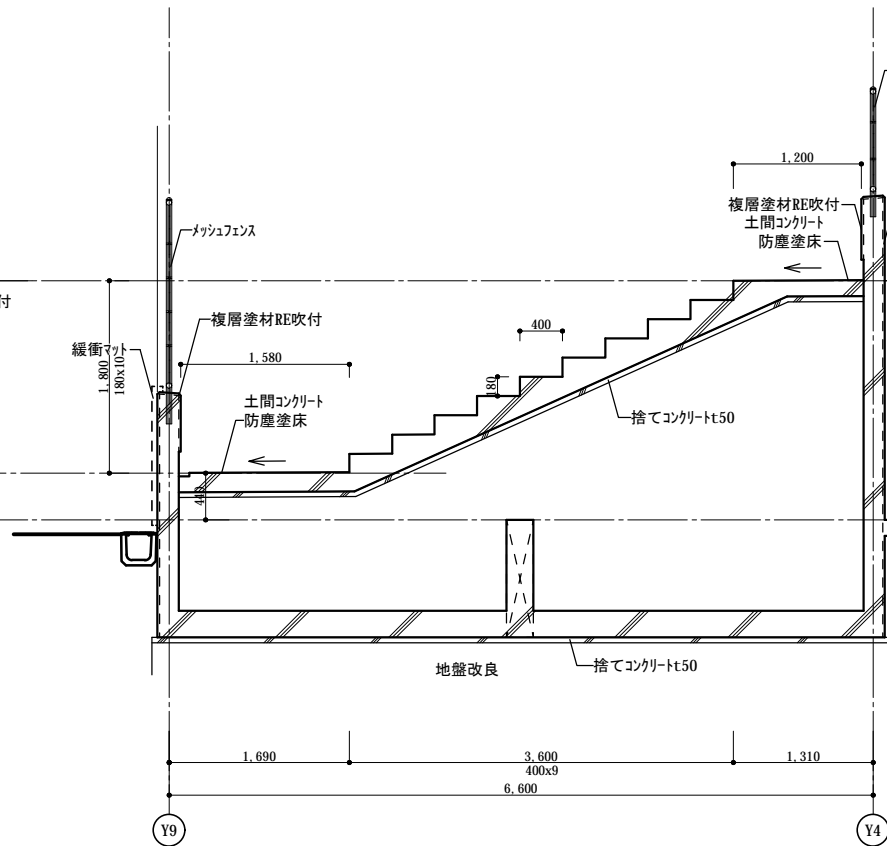
工 事 名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	矩計図－１		
縮 尺	1/50 1/20 1/5	番 号	124 枚の内 A038号
設 計 年 月 日	令和７年１１月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



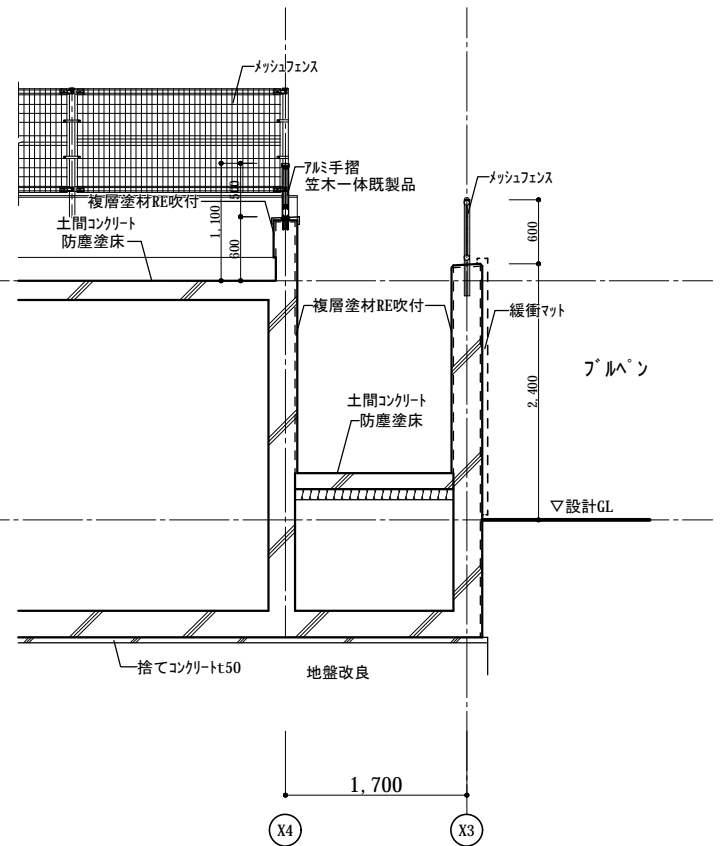
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	矩計図－2		
縮 尺	1/50	番 号	124 枚の内 A039 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



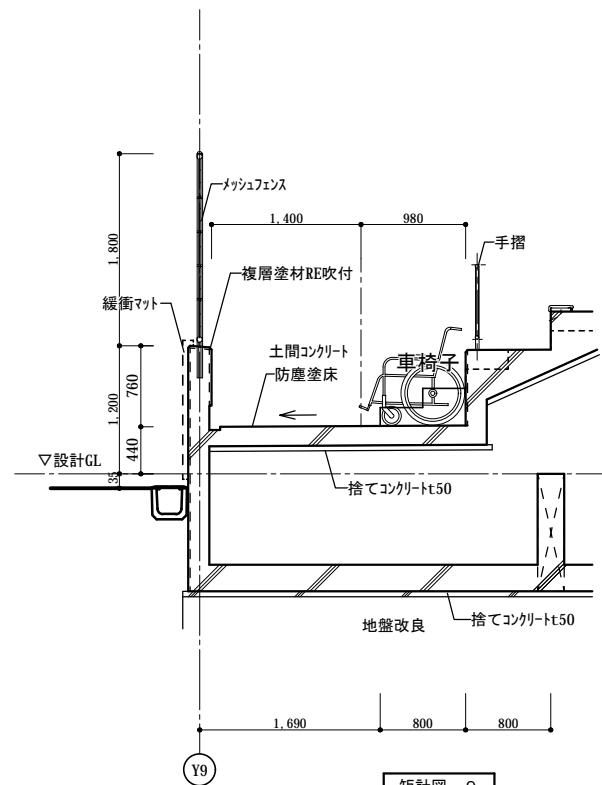
矩計図-6



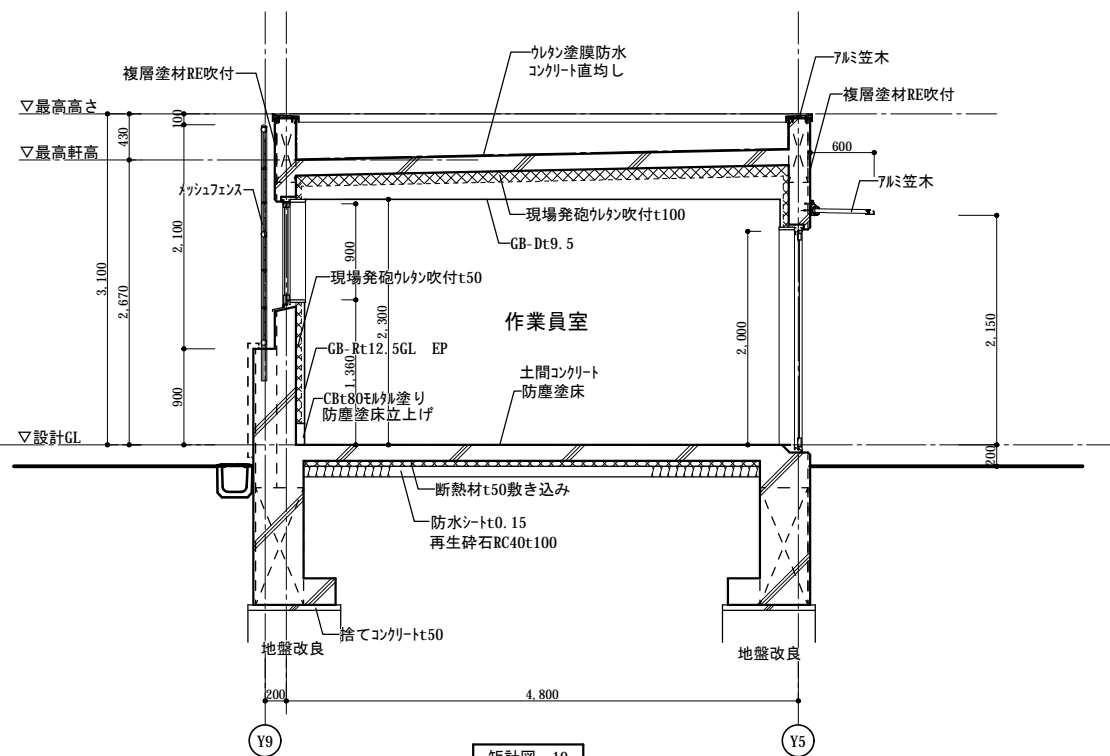
矩計図-7



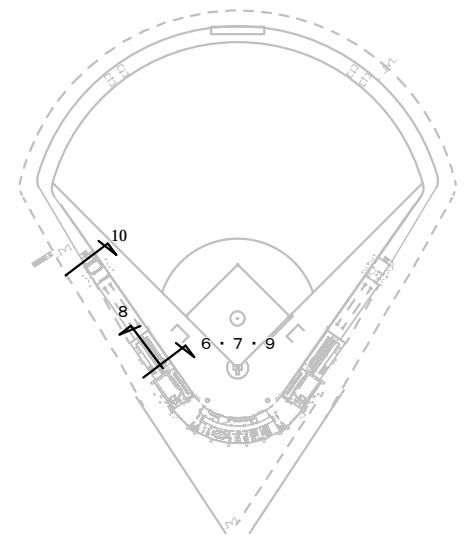
矩計図-8



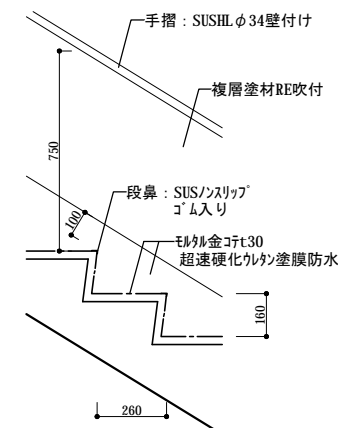
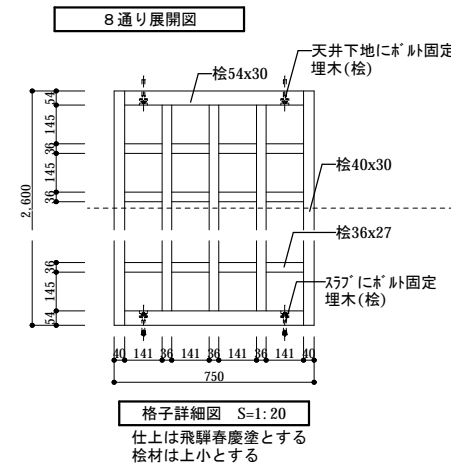
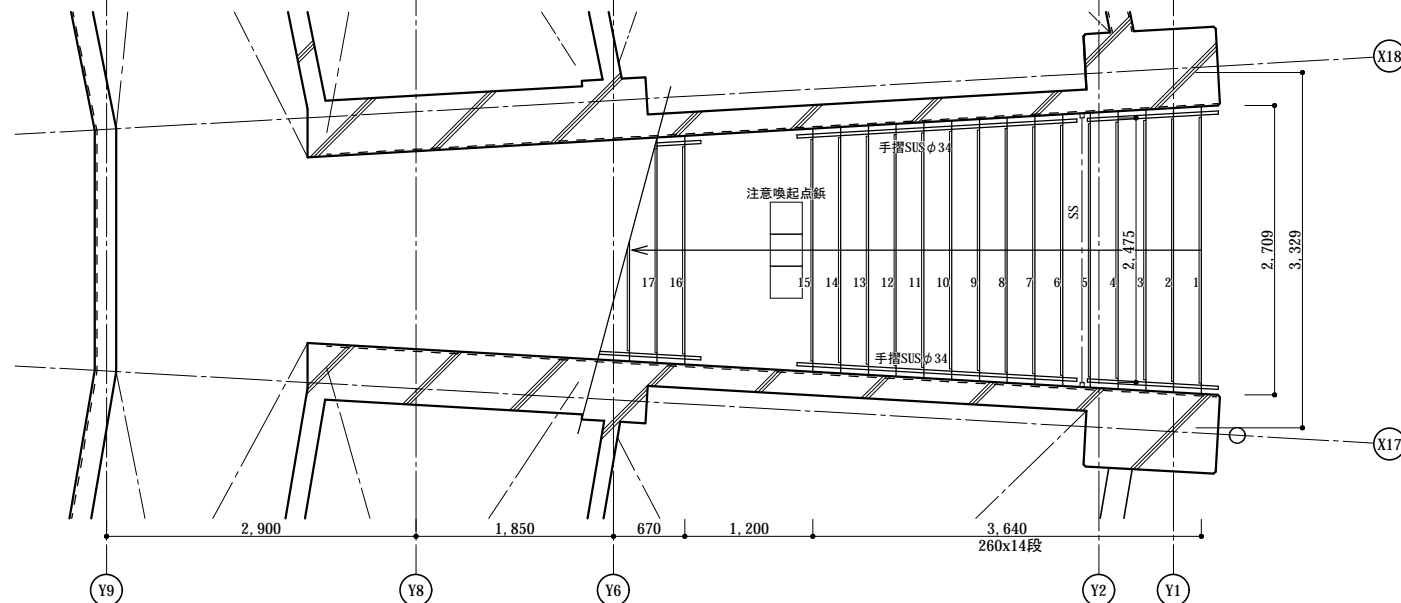
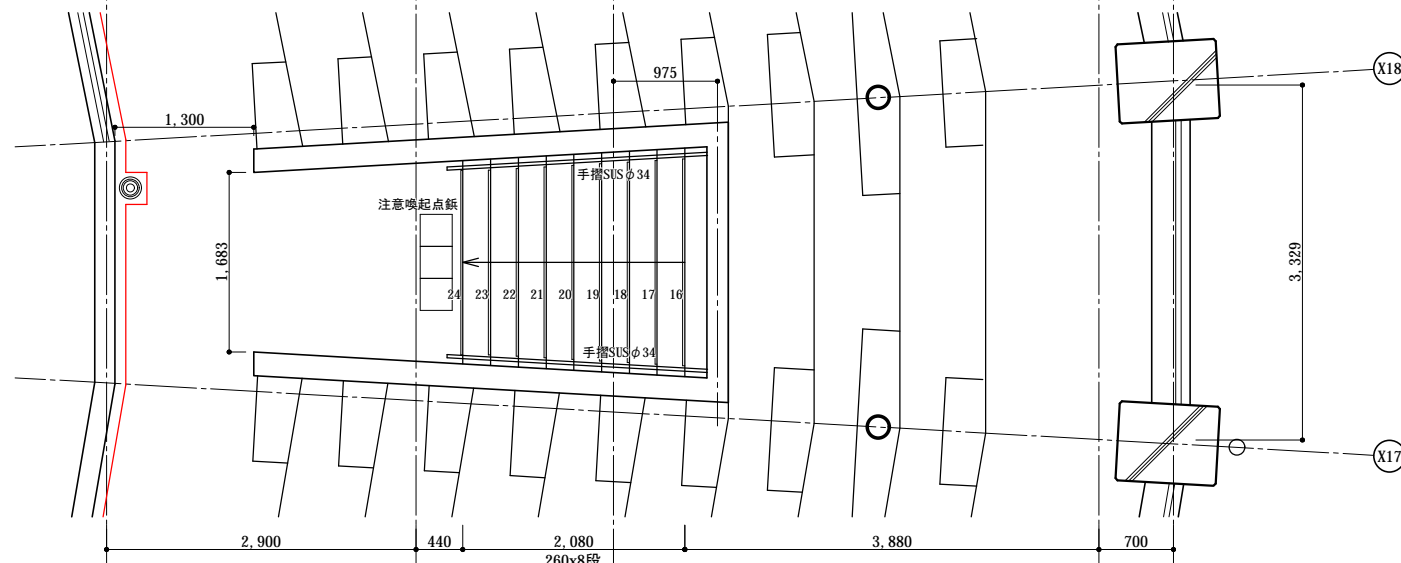
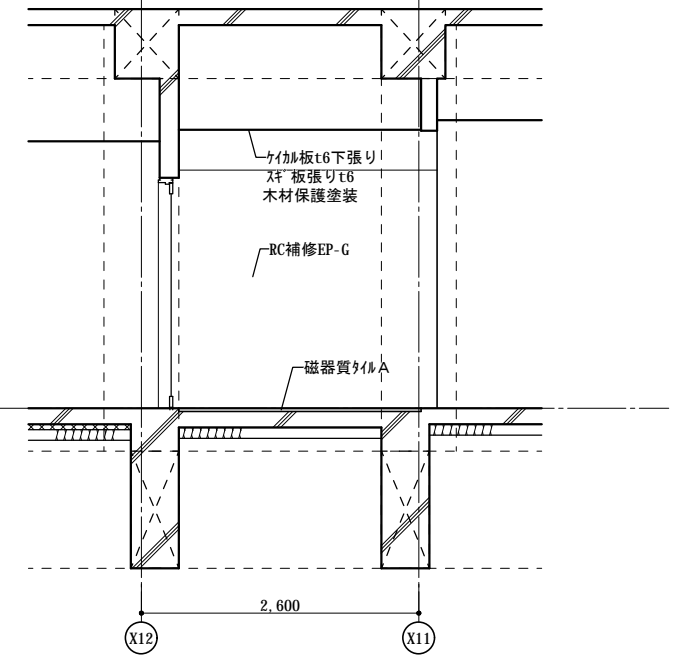
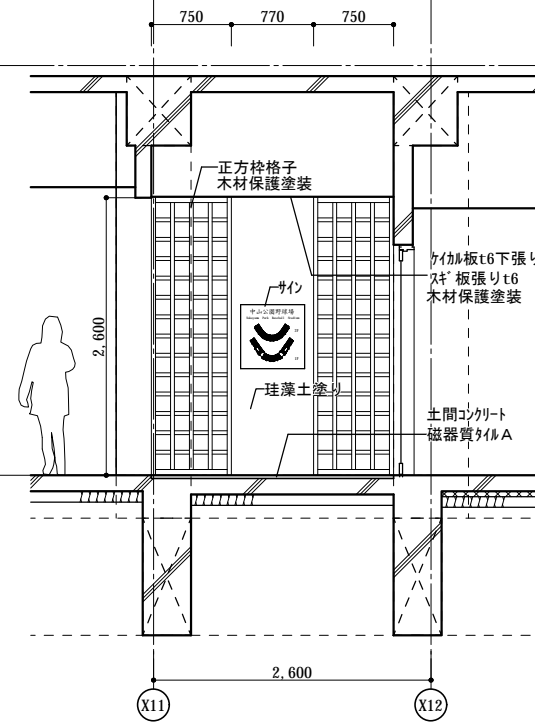
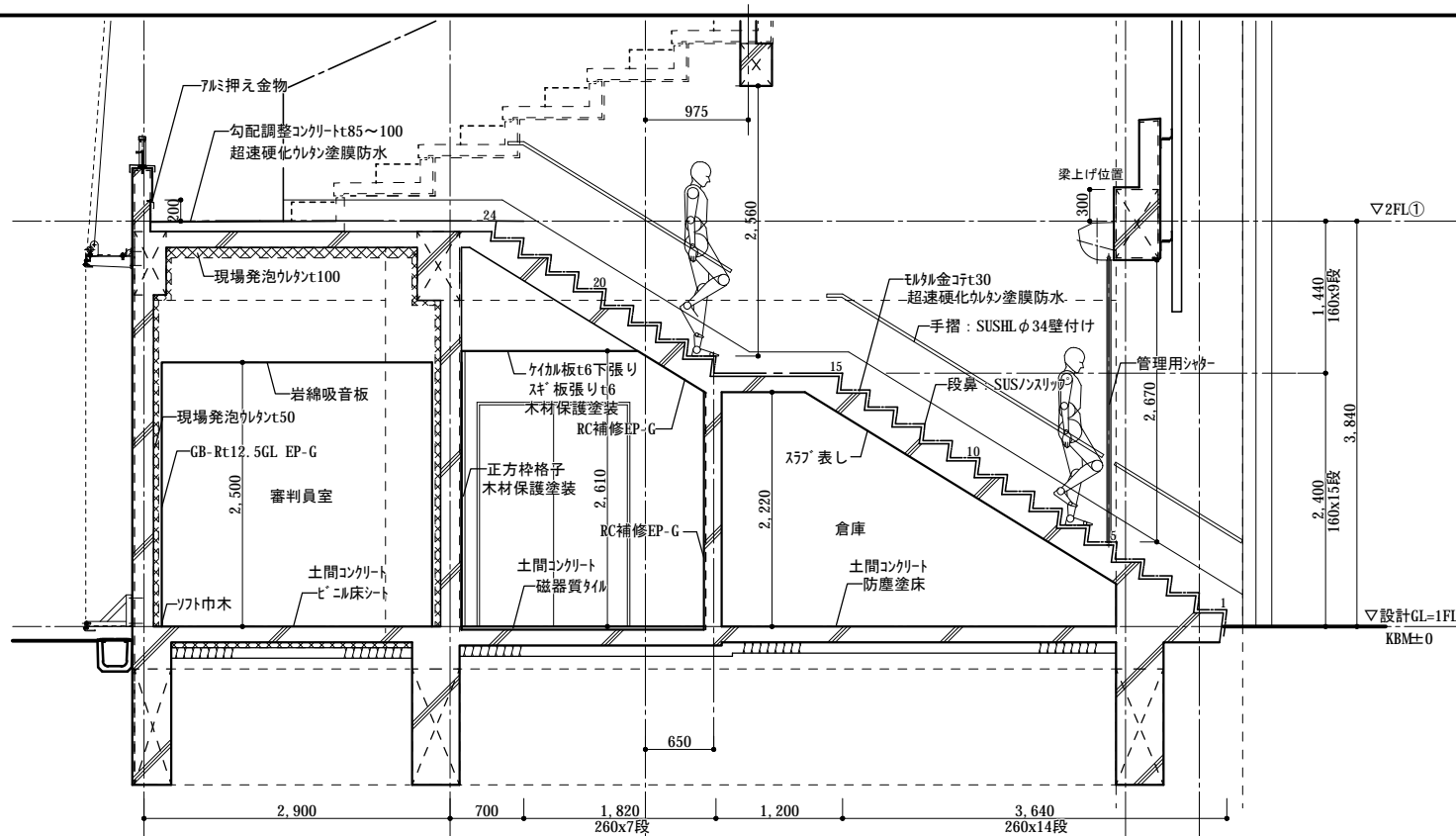
矩計図-9



矩計図-10

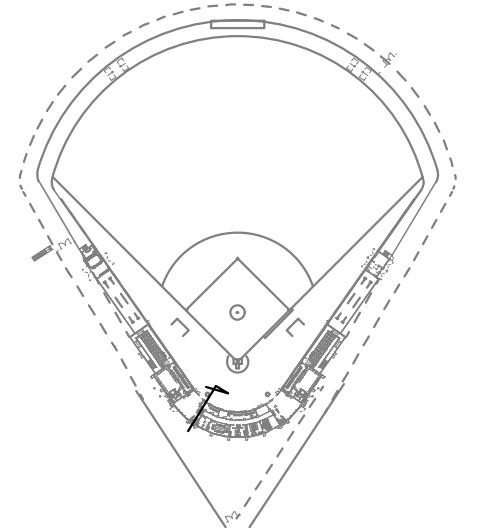


工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	矩計図－3		
縮 尺	1/50	番 号	124 枚の内 A040 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

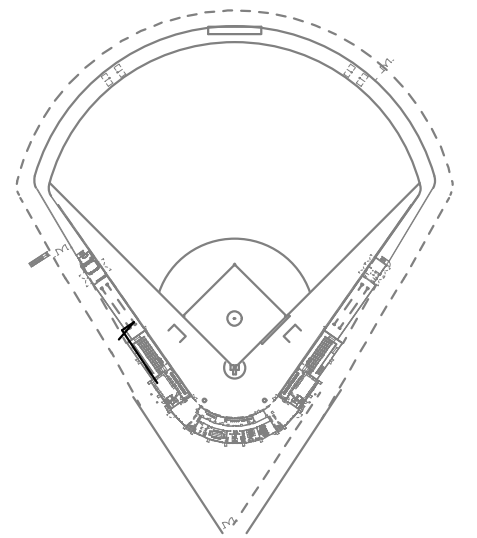
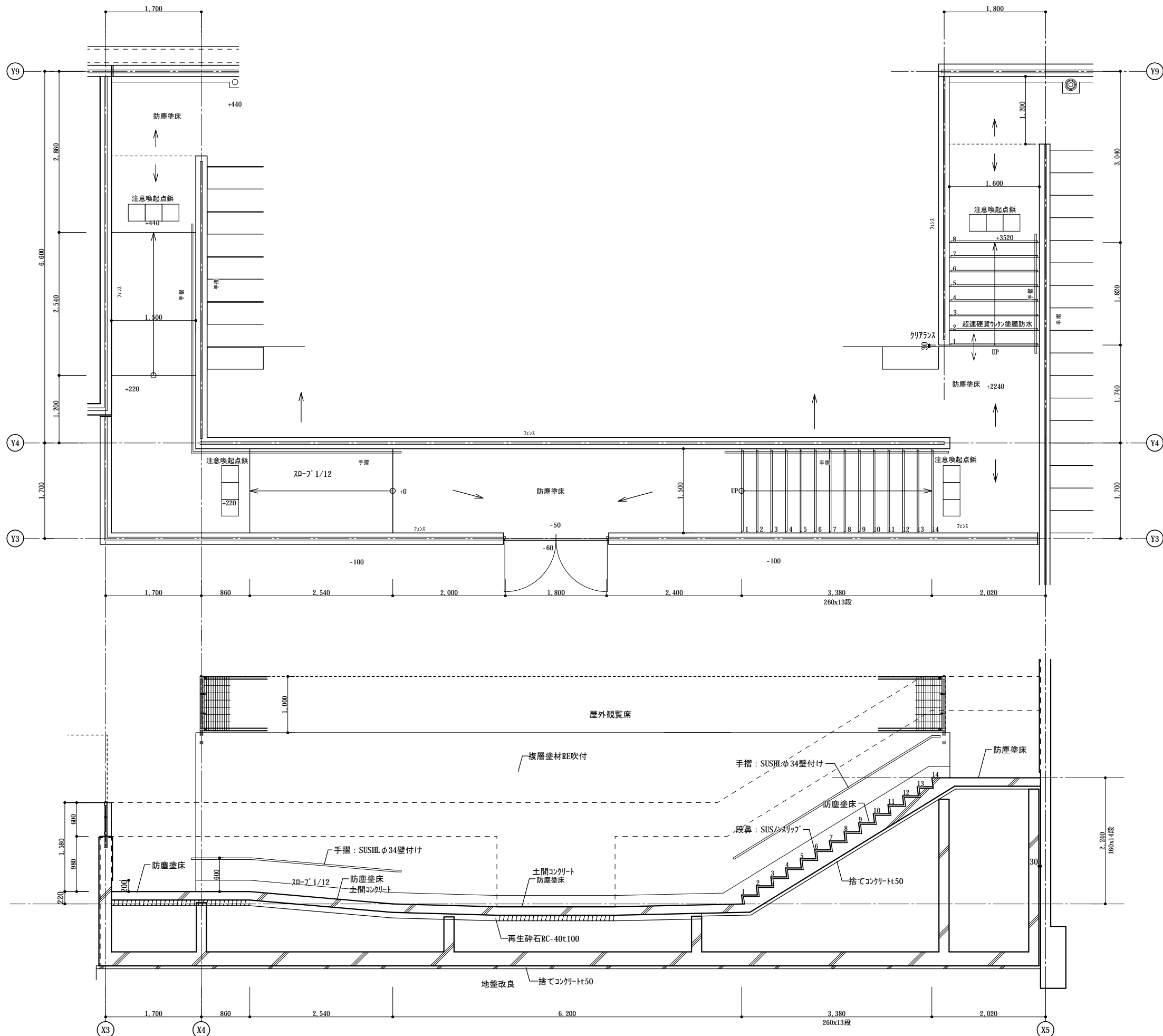


段部詳細図 S=1:20

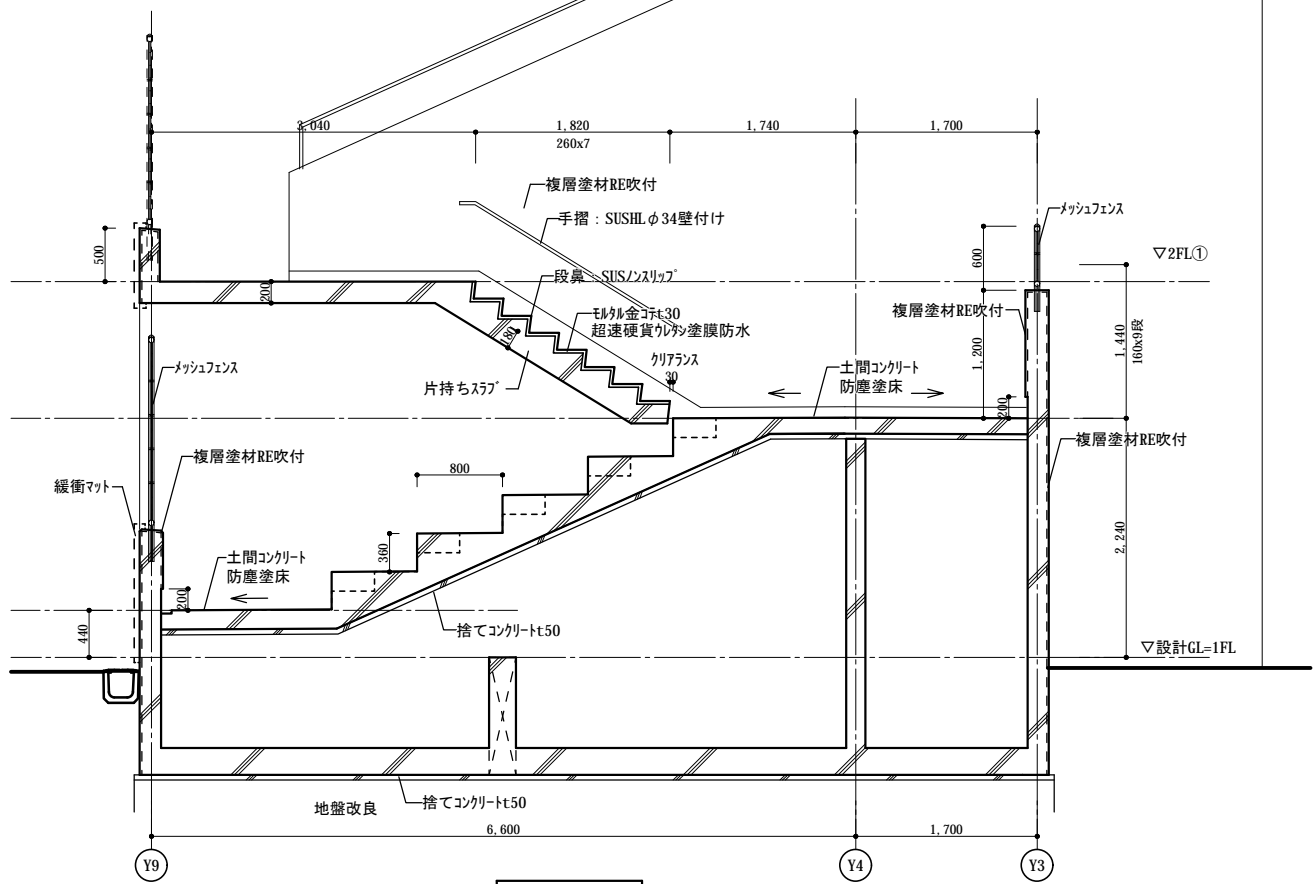
6通り側展開図



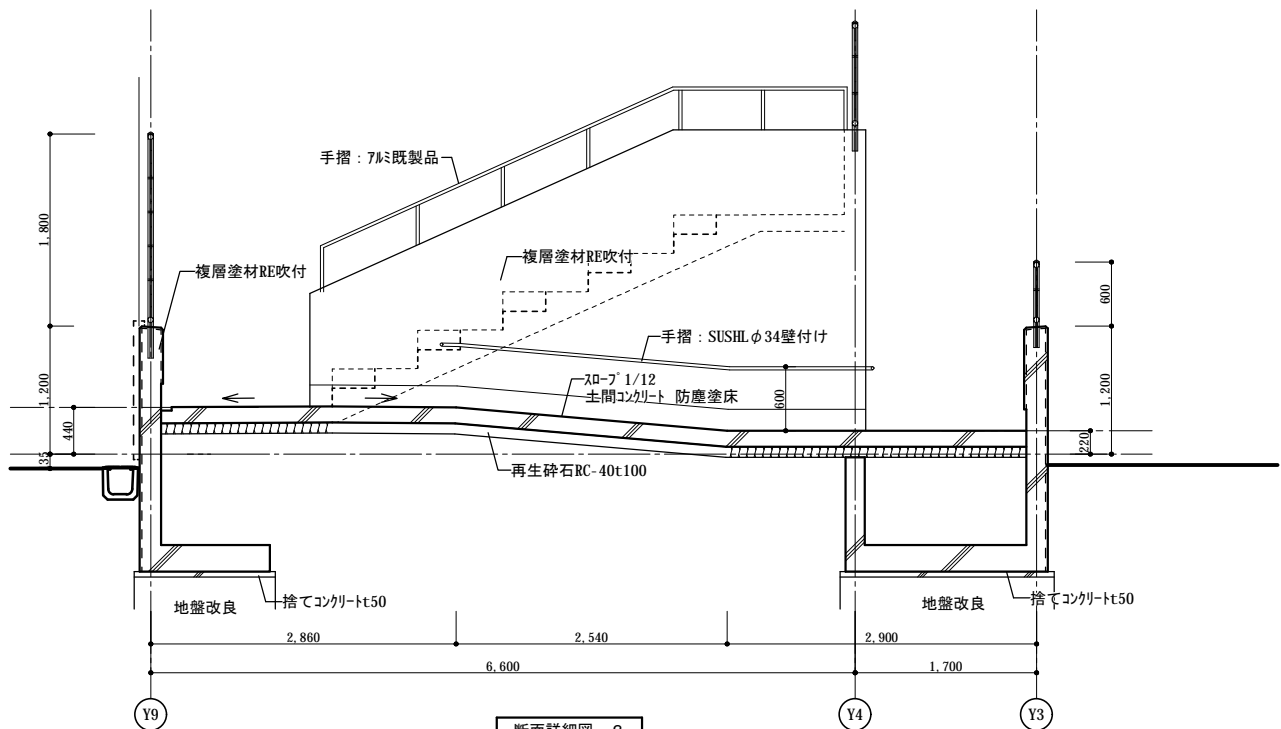
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	階段詳細図 - 1		
縮 尺	1/20, 1/50	番 号	124 枚の内 A041 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)妻太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



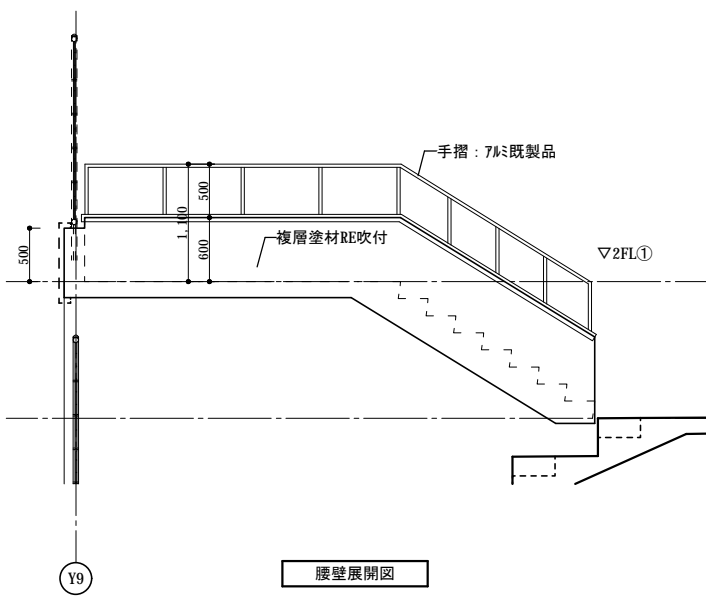
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	階段詳細図－2		
縮 尺	1/50	番 号	124 枚の内 A042号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



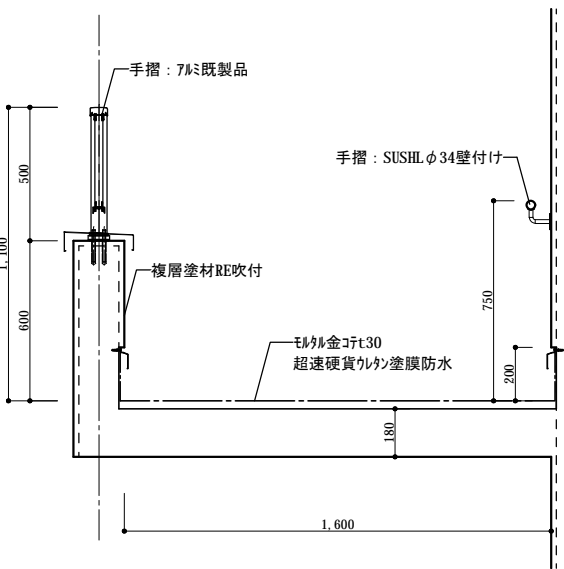
断面詳細図ー1



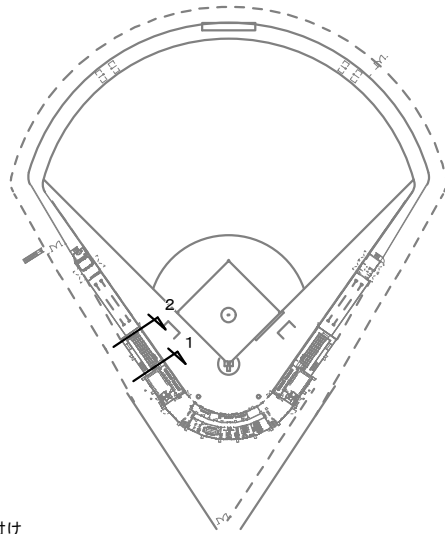
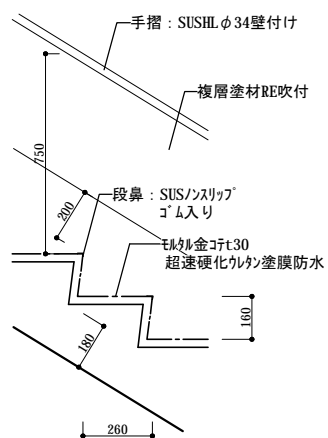
断面詳細図ー2



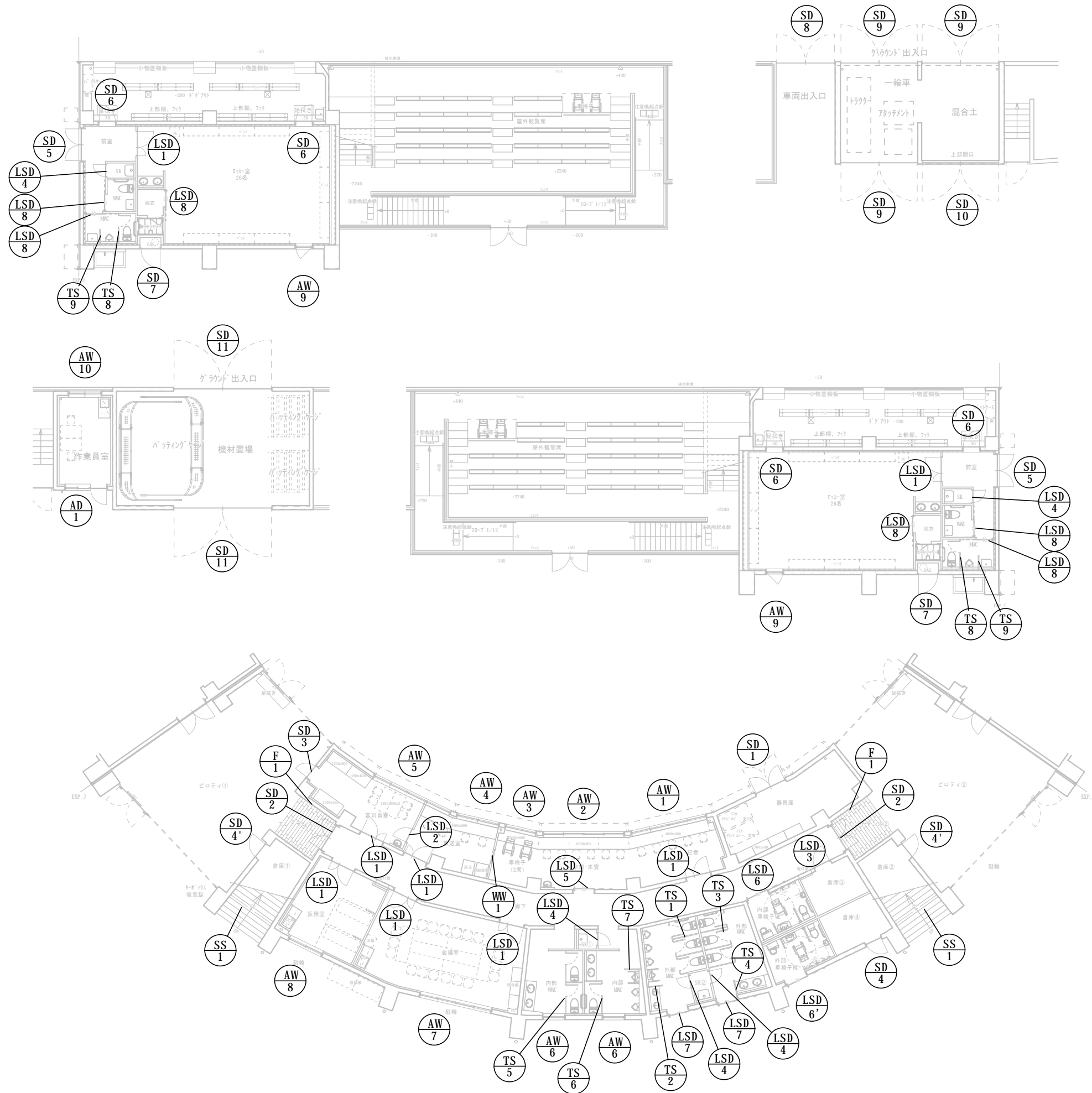
腰壁展開図



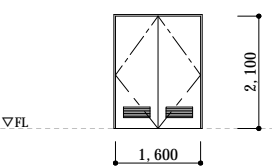
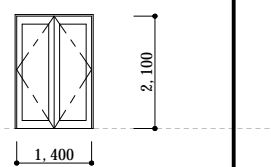
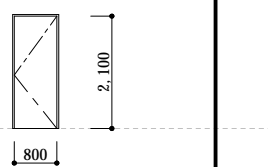
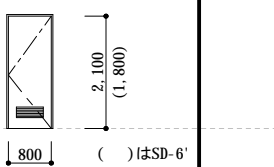
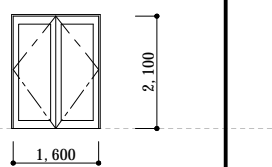
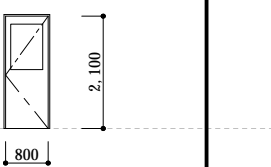
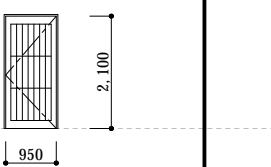
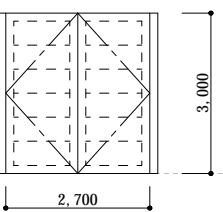
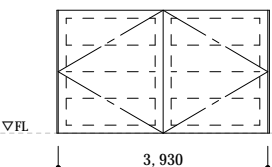
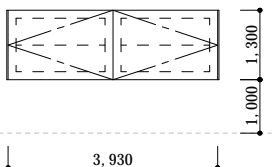
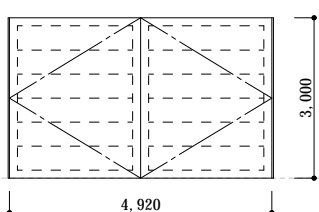
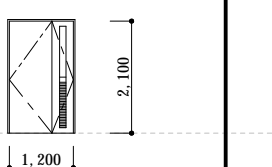
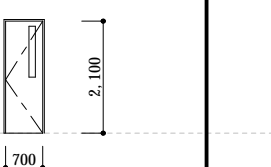
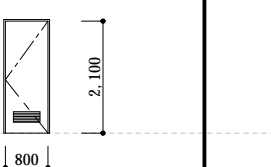
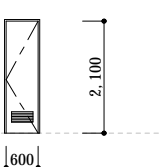
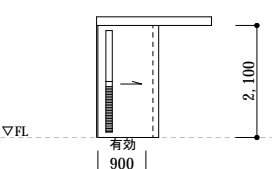
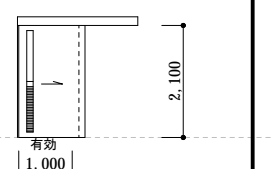
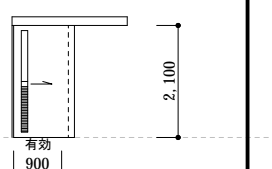
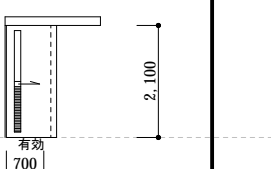
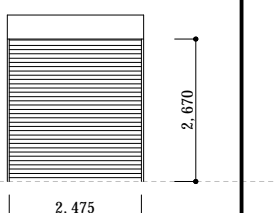
段部詳細図 S=1: 20



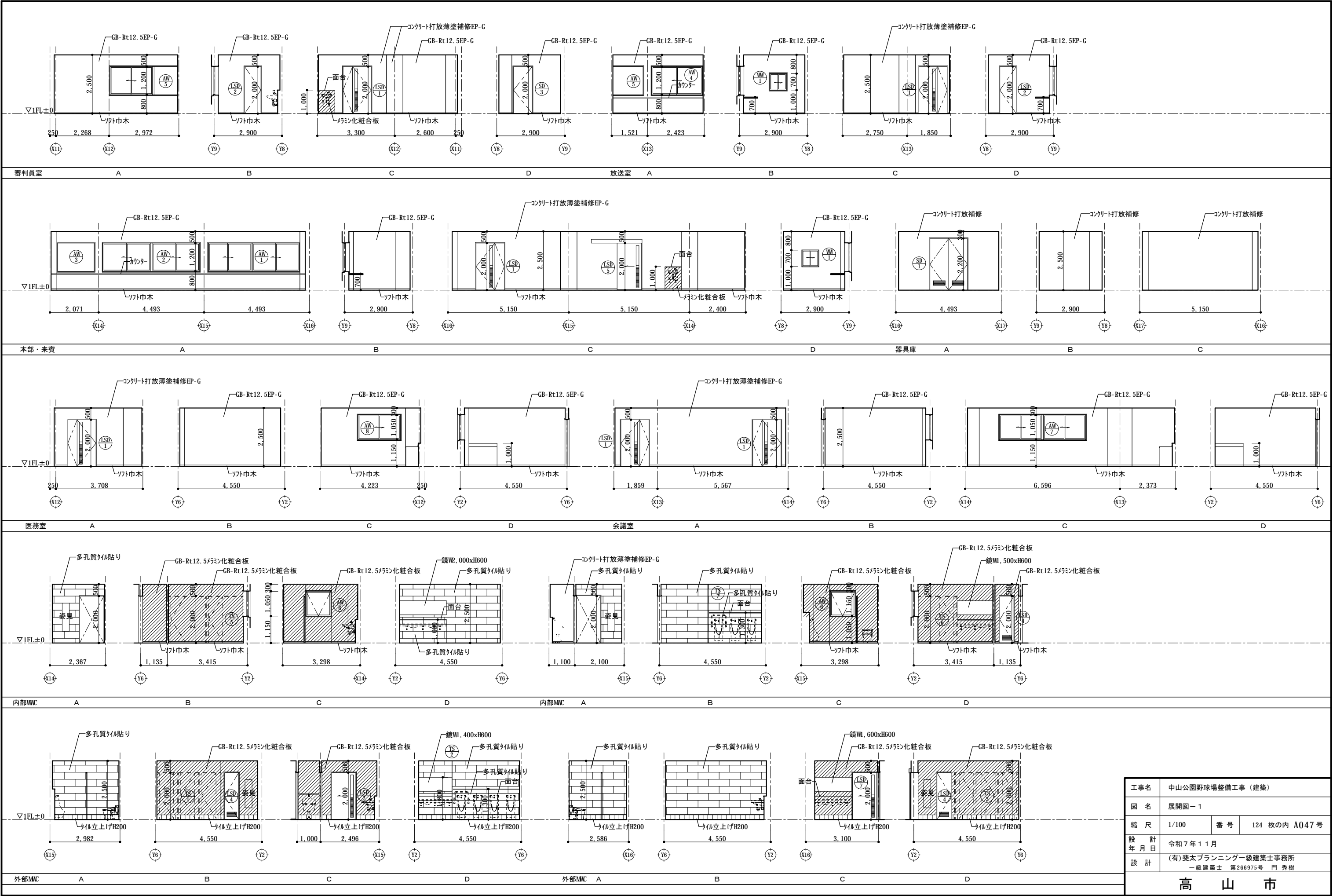
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	階段詳細図－3		
縮 尺	1/20, 1/50	番 号	124 枚の内 A043号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



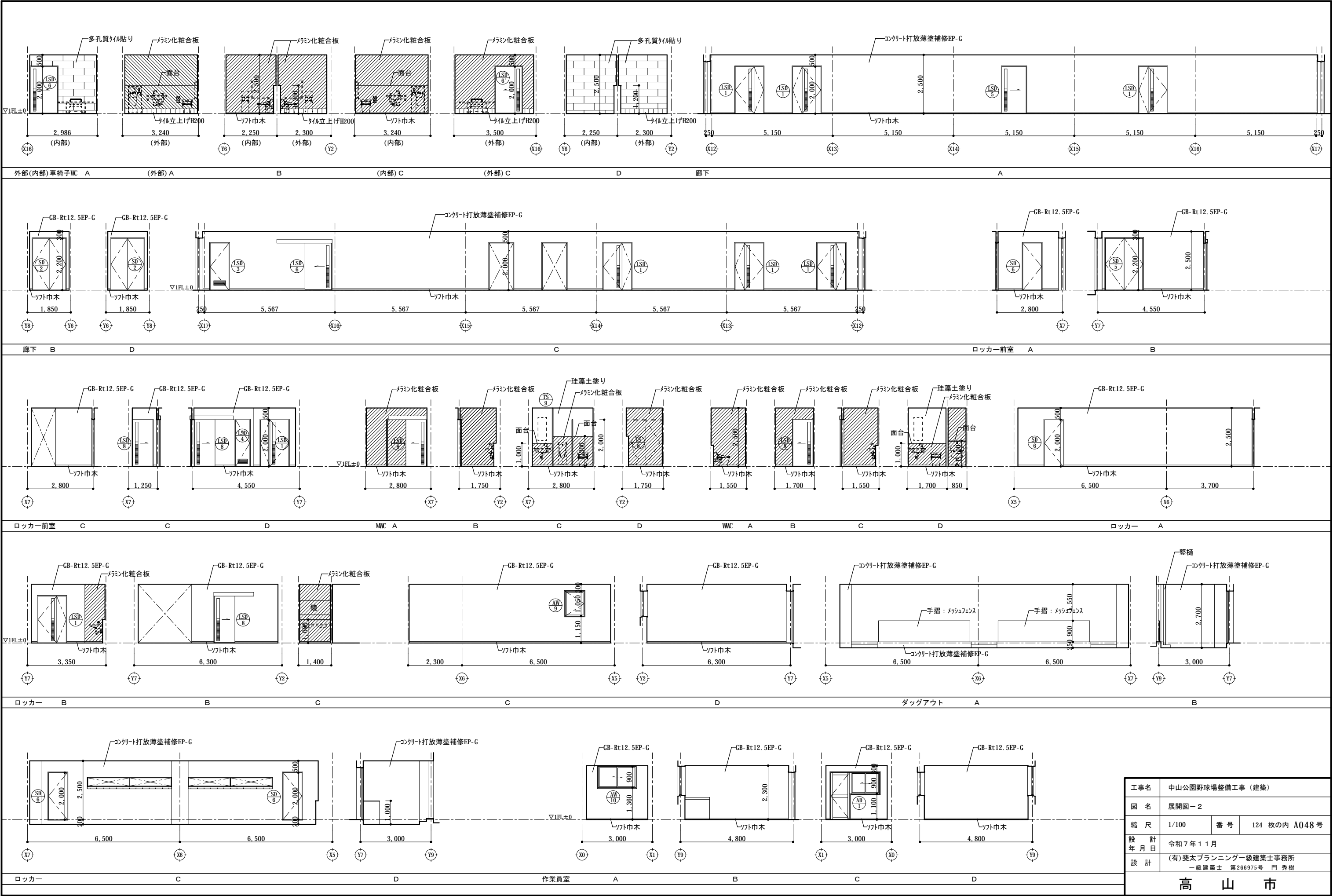
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	建具配置図		
縮 尺	1/150	番 号	124 枚の内 A044 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀 樹		
高 山 市			

符号・名称	SD-1 鋼製両開き戸	SD-2 鋼製両開きかまち戸	SD-3 鋼製片開き戸	SD-4 SD-4' 鋼製片開き戸	SD-5 鋼製両開きかまち戸	SD-6 鋼製片開き戸	SD-7 鋼製片開き格子戸	SD-8 鋼製両開きかまち戸		
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：		
室名・数量	器具庫 1 ヶ所	廊下 2 ヶ所	審判員室 1 ヶ所	倉庫 ④ SD-4 1 ヶ所 倉庫 ①、② SD-4' 2 ヶ所	前室 2 ヶ所	ダッグアウト 4 ヶ所	LPG庫 2 ヶ所	車両出入口 1 ヶ所		
姿 図										
仕上・見込	t1.6亜鉛メッキ鋼板 DP / 扉36：枠100	t1.6亜鉛メッキ鋼板 DP / 扉36：枠100	t1.6亜鉛メッキ鋼板 DP / 扉36：枠100	t1.6亜鉛メッキ鋼板 DP / 扉36：枠100	t1.6亜鉛メッキ鋼板 DP / 扉36：枠100	t1.6亜鉛メッキ鋼板 DP / 扉36：枠100	t1.6亜鉛メッキ鋼板 DP / 扉36：枠100	t1.6亜鉛メッキ鋼板 DP / 扉36		
ガラス	ー	TL4			TL4	F4		カー鉄板t0.4、下地補強アングル		
金 物	レバーハンドル・シリンドー錠、SUS沓摺 フランス落し、丁番、ドアチェック	レバーハンドル・シリンドー錠、SUS沓摺 フランス落し、丁番、ドアチェック	レバーハンドル・シリンドー錠、SUS沓摺 丁番、ドアチェック	レバーハンドル・シリンドー錠、SUS沓摺 丁番、ドアチェック	レバーハンドル・シリンドー錠、SUS沓摺 フランス落し、丁番、ドアチェック	レバーハンドル・シリンドー錠、SUS沓摺 丁番、ドアチェック	レバーハンドル・シリンドー錠、SUS沓摺 丁番、ドアチェック	ケースハンドル・シリンドー錠 重量対応丁番、取付用鉄骨		
備 考	スチール製ガリ(500X200)			スチール製ガリ(500X200)			スチール製ガリ(650X200)	グラウンド側緩衝マット貼り 金属工事制作、板金張り仕様		
符号・名称	SD-9 鋼製両開きかまち戸	SD-10 鋼製両開きかまち戸	SD-11 鋼製両開きかまち戸		LSD-1 鋼製軽量 親子開き扉	LSD-2 鋼製軽量 片開き扉	LSD-3 鋼製軽量 片開き扉	LSD-4 鋼製軽量 片開き扉		
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：		
室名・数量	トロッカー、混合土置場 3 ヶ所	混合土置場 1 ヶ所	機材置場 2 ヶ所	ヶ所	審判員室、医務室、会議室 記者室、放送室、ロッカー 8 ヶ所	放送室 1 ヶ所	倉庫 1 ヶ所	S K 5 ヶ所		
姿 図										
仕上・見込	t1.6亜鉛メッキ鋼板 DP / 扉36：枠100	t1.6亜鉛メッキ鋼板 DP / 扉36：枠100	t1.6亜鉛メッキ鋼板 DP / 扉36：枠100		扉：ハニカマ下地化粧鋼板 アクリル焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 100	扉：ハニカマ下地化粧鋼板 アクリル焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 110	扉：ハニカマ下地化粧鋼板 アクリル焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 100	扉：ハニカマ下地化粧鋼板 アクリル焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 110		
ガラス	カー鉄板t0.4、下地補強アングル	カー鉄板t0.4、下地補強アングル	カー鉄板t0.4、下地補強アングル		F4(120X850)	F4(120X850)				
金 物	ケースハンドル・シリンドー錠 重量対応丁番、RC躯体取付	ケースハンドル・シリンドー錠 重量対応丁番、RC躯体取付	ケースハンドル・シリンドー錠 重量対応丁番、RC躯体取付		レバーハンドル・シリンドー錠、SUS沓摺 フランス落し、丁番、ドアローザー	レバーハンドル・シリンドー錠、SUS沓摺 丁番、ドアローザー	レバーハンドル・シリンドー錠、SUS沓摺 丁番、ドアローザー	レバーハンドル・シリンドー錠、SUS沓摺 丁番、ドアローザー		
備 考	グラウンド側緩衝マット貼り 2ヶ所 金属工事制作、板金張り仕様		グラウンド側緩衝マット貼り 1ヶ所 金属工事制作、板金張り仕様		7ミリ製ガリ (120X850)		7ミリ製ガリ (500X200)	7ミリ製ガリ (400X200)		
符号・名称	LSD-5 鋼製軽量 片引き扉	LSD-6 LSD-6' 鋼製軽量 片引き扉	LSD-7 鋼製軽量 片引き扉	LSD-8 鋼製軽量 片引き扉		SS-1 軽量電動シャッター				
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：		
室名・数量	本部・来賓 1 ヶ所	内部車椅子WC LSD-6 1 ヶ所 外部車椅子WC LSD-6' 1 ヶ所	外部MMC・MMC 2 ヶ所	選手用脱衣・WVC・MMC 6 ヶ所	ヶ所	階段 2 ヶ所	ヶ所	ヶ所		
姿 図										
仕上・見込	扉：ハニカマ下地化粧鋼板 アクリル焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 100	扉：ハニカマ下地化粧鋼板 アクリル焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 100	扉：ハニカマ下地化粧鋼板 アクリル焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 100	扉：ハニカマ下地化粧鋼板 アクリル焼付塗装 / 30 枠：st1.6 SOP / 100		指定色焼付塗装				
ガラス	F4(120X850)	F4(120X850)	F4(120X850)	F4(120X850)						
金 物	ハンガーレール、ハンガー、半自動自閉装置、ガイドローラー シリンドー引戸錠、ステンレス製取手	ハンガーレール、ハンガー、半自動自閉装置、ガイドローラー シリンドー引戸錠（大型表示付）、ステンレス製取手	ハンガーレール、ハンガー、半自動自閉装置、ガイドローラー シリンドー引戸錠（大型表示付）、ステンレス製取手	ハンガーレール、ハンガー、半自動自閉装置、ガイドローラー シリンドー引戸錠（大型表示付）、ステンレス製取手		屋外ボックス、SUSガイドレール、スイッチボックス				
備 考	7ットセット型 7ミリ製ガリ (120X850)	7ットセット型 7ミリ製ガリ (120X850)	7ットセット型 7ミリ製ガリ (120X850)	7ットセット型 7ミリ製ガリ (120X850)						
【凡例】 FL：ポートガラス A12：空気層12mm TL：強化ガラス TF：型板強化ガラス F：型板ガラス PW：網入り磨き板ガラス FW：網入り型板ガラス LE：LowEガラス FTP：耐熱強化ガラス 【特記事項】 樹脂網戸：外れ防止装置付 木製建具枠：特記なきは桧無垢板、WP塗装 特記なき7ミリ製建具は住宅用サツとする。							工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
							図 名	建具表ー 1		
							縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A045 号
							設 計 年 月 日	令和7年11月		
							設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀 樹		
高 山 市										

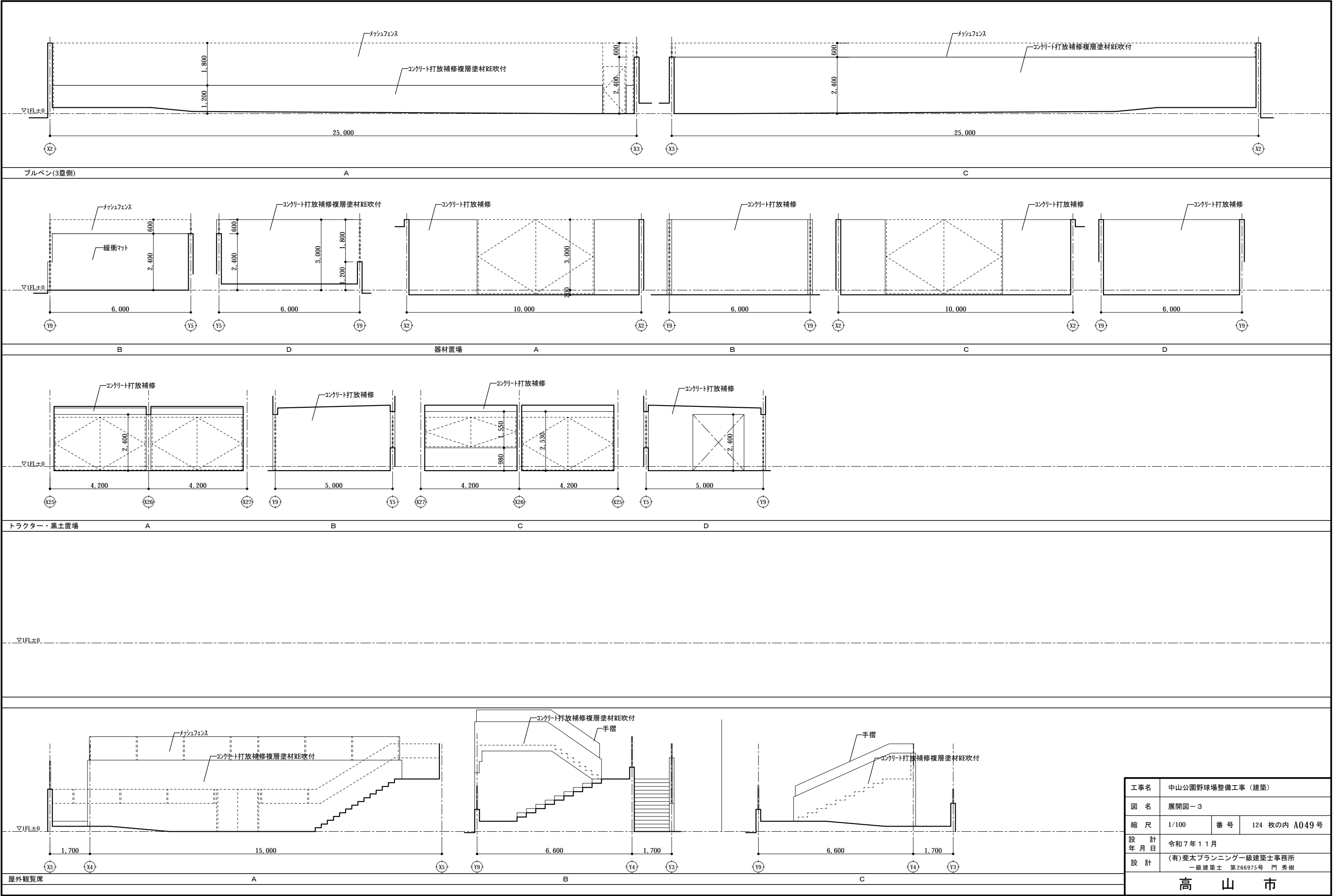
符号・名称	AW-1 アルミ製 引違い連窓	AW-2 アルミ製 引違い連窓	AW-3 アルミ製 FIX窓	AW-4 アルミ製 引違い窓	AW-5 アルミ製 引違い+FIX連窓	AW-6 アルミ製 内倒し窓	AW-7 アルミ製 引違い連窓	AW-8 アルミ製 引違い窓		
防火仕様	番号：		番号：		番号：	番号：	番号：	番号：		
室名・数量	記者 1 ヶ所	本部・来賓 1 ヶ所	車椅子席 1 ヶ所	放送室 1 ヶ所	放送室、審判員室 1 ヶ所	内部MMC・MMC 2 ヶ所	会議室 1 ヶ所	医務室 1 ヶ所		
姿 図										
仕上・見込	7mmﾌﾞﾗｯｸ / 70	7mmﾌﾞﾗｯｸ / 70	7mmﾌﾞﾗｯｸ / 70	7mmﾌﾞﾗｯｸ / 70	7mmﾌﾞﾗｯｸ / 70	7mmﾌﾞﾗｯｸ / 70	7mmﾌﾞﾗｯｸ / 70	7mmﾌﾞﾗｯｸ / 70		
ガラス	Low-E3+A6+FL3（遮熱）	Low-E3+A6+FL3（遮熱）	Low-E3+A6+FL3（遮熱）	Low-E3+A6+FL3（遮熱）	Low-E3+A6+FL3（遮熱）	Low-E3+A6+F4（遮熱） 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼ﾘ	Low-E3+A6+FL3（遮熱） 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼ﾘ	Low-E3+A6+FL3（遮熱） 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼ﾘ		
金 物	7mm額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	7mm額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	7mm額縁、水切り 付属金物一式	7mm額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	7mm額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	7mm額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	7mm額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	7mm額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式		
備 考	取付傾斜4～5°	取付傾斜4～5°	取付傾斜4～5°	取付傾斜4～5°	取付傾斜4～5°		網戸			
符号・名称	AW-9 アルミ製 タテ滑り出し窓	AW-10 アルミ製 引違い窓		AD-1 アルミ製 片開き戸+引違い窓		WW-1 木製 引違いきかまち窓	F-1 木製 正方格子	TS-1 トイレブース		
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：		
室名・数量	ロッカー 2 ヶ所	作業員室 1 ヶ所	ヶ所	作業員室 1 ヶ所	ヶ所	放送室 1 ヶ所	エントランス①、② 4 ヶ所	外部MMC 1 ヶ所		
姿 図										
仕上・見込	7mmﾌﾞﾗｯｸ / 70	7mmﾌﾞﾗｯｸ / 70		7mmﾌﾞﾗｯｸ / 70		ｽﾌﾟﾙsOCL / 30	桧 上小 春慶塗 / 30	ﾌﾗﾐﾆ化粧板		
ガラス	Low-E3+A6+F4（遮熱） 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼ﾘ	Low-E3+A6+FL3（遮熱）		Low-E3+A6+F4（遮熱）、下部ﾊﾞｰﾅﾙ 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼ﾘ		FL3				
金 物	ﾊﾞｰﾚｰﾀｰﾊﾝﾄﾞﾙ、7mm額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式	7mm額縁、水切り、樹脂網戸 付属金物一式		7mm額縁、水切り、樹脂網戸、ﾄﾞｱﾌｨｯｸ 丁番、ﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、付属金物一式		ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ、戸車、引手 付属金物一式		ｽﾃﾝﾚｽ巾木、ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ、支持金物、表示錠、 ｸﾞﾚｲﾄﾞﾚｲﾆﾝｸﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、戸当り帽子掛け		
備 考							壁面取付	扉は常時開とする		
符号・名称	TS-2 トイレブース	TS-3 トイレブース	TS-4 トイレブース	TS-5 トイレブース	TS-6 トイレブース	TS-7 トイレブース	TS-8 トイレブース	TS-9 トイレブース		
防火仕様	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：	番号：		
室名・数量	外部MMC 1 ヶ所	外部WVC 1 ヶ所	外部WVC 1 ヶ所	内部WVC 1 ヶ所	内部MMC 1 ヶ所	内部MMC 1 ヶ所	選手用MMC 2 ヶ所	選手用MMC 2 ヶ所		
姿 図										
仕上・見込	ﾌﾗﾐﾆ化粧板	ﾒﾗﾐﾆ化粧板	ﾌﾗﾐﾆ化粧板	ﾒﾗﾐﾆ化粧板	ﾒﾗﾐﾆ化粧板	ﾌﾗﾐﾆ化粧板	ﾒﾗﾐﾆ化粧板	ﾌﾗﾐﾆ化粧板		
ガラス										
金 物	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、支持金物	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ、支持金物、表示錠、 ｸﾞﾚｲﾄﾞﾚｲﾆﾝｸﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、戸当り帽子掛け	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、支持金物	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ、支持金物、表示錠、 ｸﾞﾚｲﾄﾞﾚｲﾆﾝｸﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、戸当り帽子掛け	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ、支持金物、表示錠、 ｸﾞﾚｲﾄﾞﾚｲﾆﾝｸﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、戸当り帽子掛け	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、支持金物	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ、支持金物、表示錠、 ｸﾞﾚｲﾄﾞﾚｲﾆﾝｸﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、戸当り帽子掛け	ｽﾃﾝﾚｽ巾木、支持金物		
備 考		扉は常時開とする		扉は常時開とする	扉は常時開とする		扉は常時開とする			
【凡例】 FL：ﾌﾛｰﾄﾞｸﾞﾗｽ A12：空気層12mm TL：強化ｸﾞﾗｽ TF：型板強化ｸﾞﾗｽ F：型板ｸﾞﾗｽ PW：網入り磨き板ｸﾞﾗｽ FW：網入り型板ｸﾞﾗｽ LE：LowEｸﾞﾗｽ FTP：耐熱強化ｸﾞﾗｽ 【特記事項】 樹脂網戸：外れ防止装置付 木製建具枠：特記なきは桧無垢板、WP塗装 特記なき7mm製建具は住宅用サツとする。							工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
							図 名	建具表－2		
							縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A046 号
							設 計 年 月 日	令和7年11月		
							設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
							高 山 市			



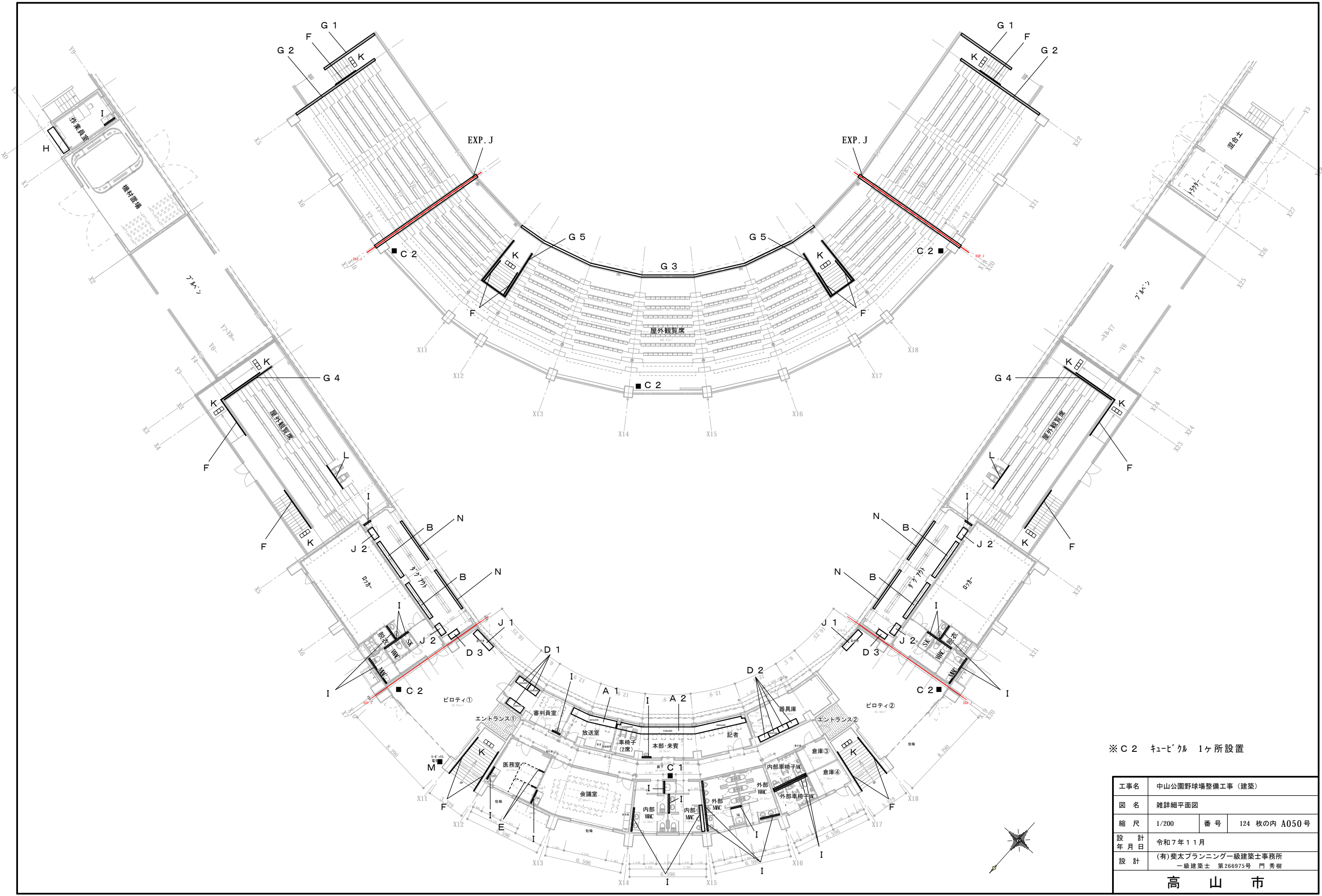
工 事 名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	展開図－ 1		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A047 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



工 事 名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	展開図ー2		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A048 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

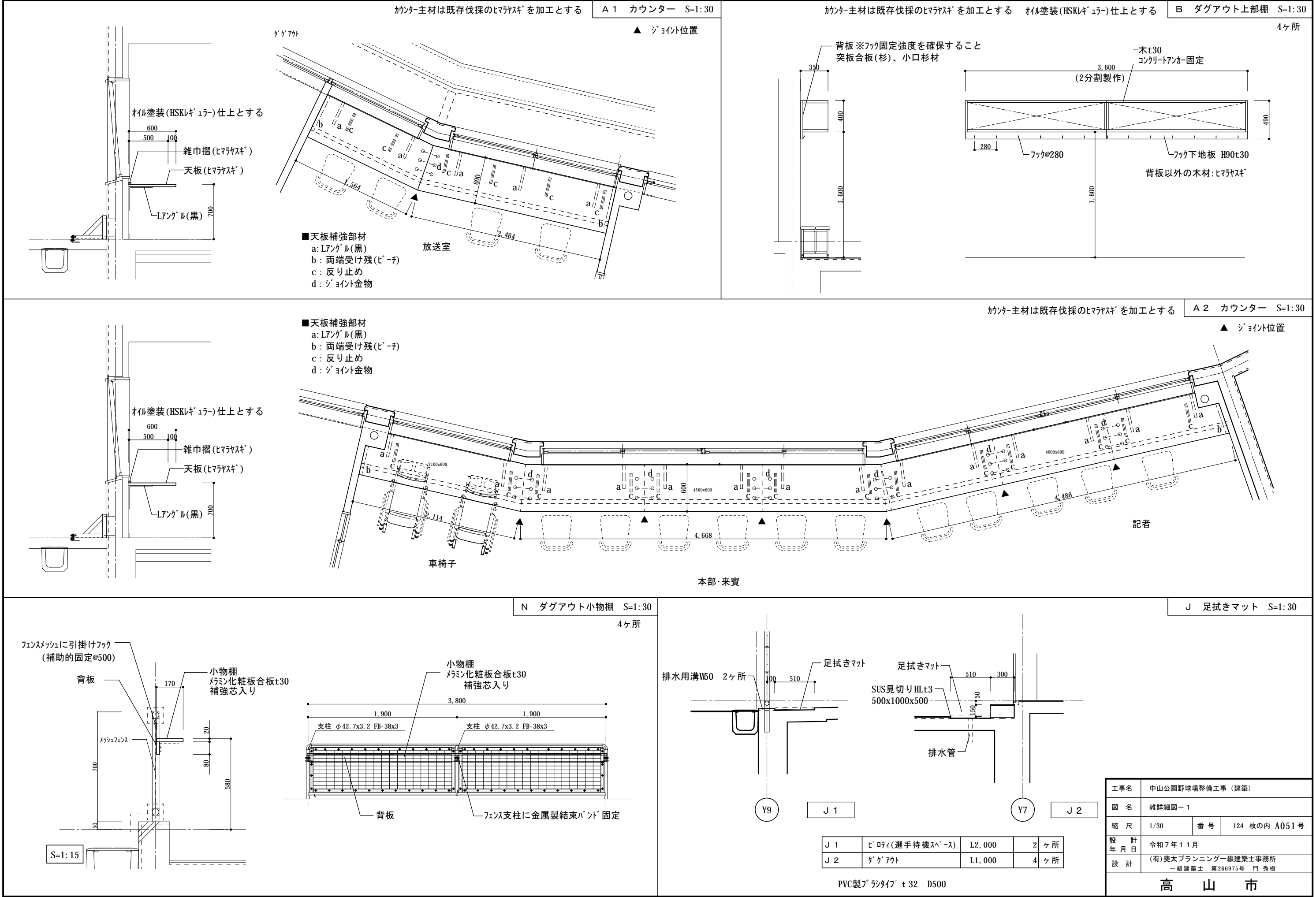


工 事 名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	展開図－3		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A049 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



※ C 2 機械室 1ヶ所設置

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	雑詳細平面図		
縮 尺	1/200	番 号	124 枚の内 A050 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第 266975 号 門 秀 樹		
高 山 市			



F 壁付け手摺 S=1:3

壁取付ねじ
M8固定ブラケット

SUS φ 34HL

SUS φ 34HL

SUS 棒 タンボルト M5x16

SUS φ 14

61.4

60

F 1	外部スロープ	L=7.8m	2	ヶ所
F 2	外部階段	L=4.3m	2	ヶ所
F 3	外部階段	L=2.8m	2	ヶ所
F 4	階段	L=1.4+3.05m	4	ヶ所
F 5	階段	L=2.5m	4	ヶ所

G アルミ手摺 S=1:10

アルミ手摺

アルミタテ格子

アルミ下弦材

アルミ笠木

アルミ横棧

267

500

67

1,200程度

アルミ手摺

アルミタテ格子

アルミ支柱

アルミ下弦材

アルミ笠木

G 1	外部階段	L=5.5m	2	ヶ所
G 2	観客席	L=8.8m	2	ヶ所
G 3	バックネット裏	L=26.9m	1	ヶ所
G 4	観覧席	L=4.9m	2	ヶ所
G 5	階段上部	L=11.0m	2	ヶ所

H アルミ庇 S=1:10

アルミ押出形材

樋

M107ソナー

141

85

80

600

K SUS点錠 S=1:5

ステンレス鍍銅+樹脂
点錠: 5×5 25個/枚
3枚/ヶ所 全12ヶ所

300

30 60 60 60 60 30

300

30 60 60 60 60 30

L SUS手摺 S=1:10

屋外観客席(車いす席) 2ヶ所

SUSHL φ 34

SUSHL φ 19 @≒100

SUSHL φ 34

サイン取付

SUSHL φ 34

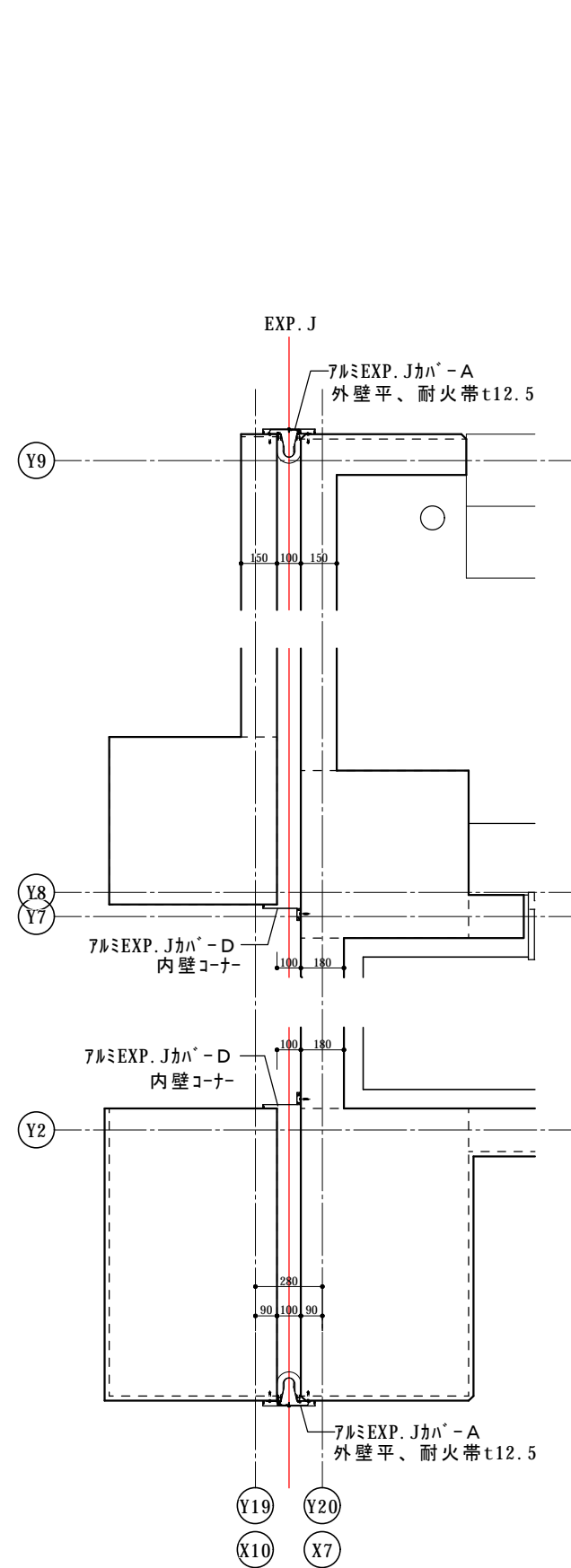
1,175

2,450

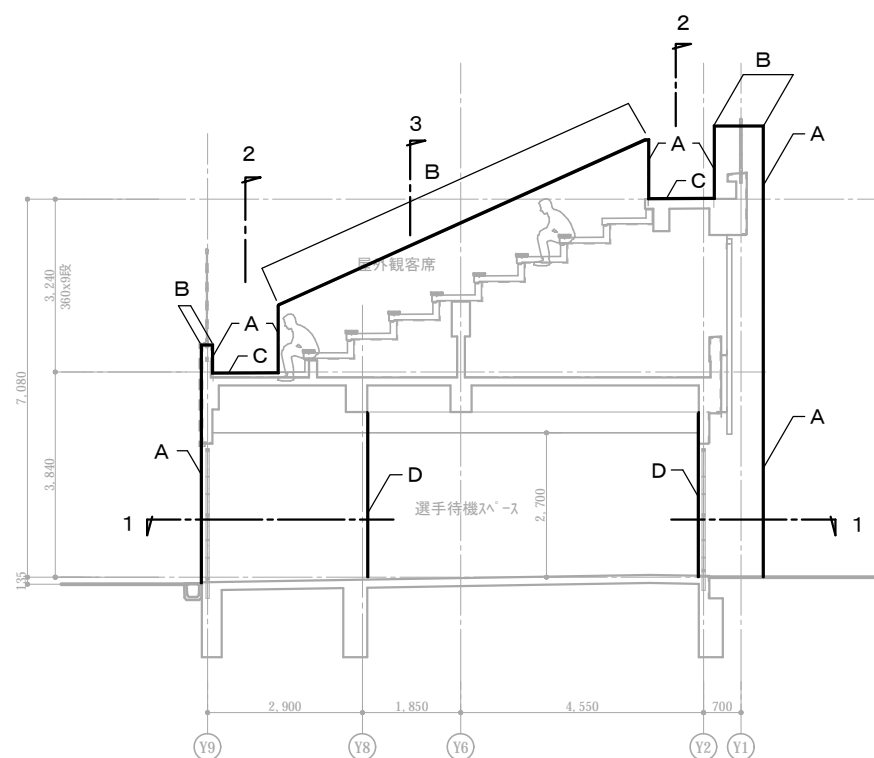
1,175

※メーカーは参考とし同等品とする								既製家具等リスト	
	室名	種類	数量	単位	幅	高さ	奥行き	参考メーカー	備考
C 1	廊下	消火器ボックス	1	ヶ所				ナカ工業 埋込式 NHD-FTM-105	スチール製
C 2	ビロティ、屋外	消火器ボックス	6	ヶ所				ナカ工業 屋外式 NHD-3000N	ステンレス製 キュービクル共
D 1	審判員室	鋼製棚	1	台	900	2,100	450	ITOKI 中量棒トレス	開放型300kg、5段
D 1	審判員室	鋼製棚	1	台	1,200	2,100	450	ITOKI 中量棒トレス	開放型300kg、5段
D 1	審判員室	鋼製棚	1	台	1,500	2,100	450	ITOKI 中量棒トレス	開放型300kg、5段
D 2	器具庫	鋼製棚 (4連)	1	台	3,600	2,100	450	ITOKI 中量棒トレス連結	開放型300kg、5段
D 3	ダゲアウト	鋼製棚	2	台	900	2,100	450	ITOKI 中量棒トレス	開放型300kg、5段
E	医務室	医療用カーテン	2	ヶ所	3,300	2,500	—	上部メッシュ体型	天井付けカーテンレール共
H	作業員室	アルミ既製品	1	ヶ所	2,400	—	600	共和 アルフィン底	
I	ダゲアウト	面台	2	ヶ所	700	25	100		メラミン・ストフォーム
	ロッカ-室洗面	面台	2	ヶ所	1,310	25	100		メラミン・ストフォーム
	ロッカ-室MMC	面台	2	ヶ所	2,585	25	100		メラミン・ストフォーム
	ロッカ-室WVC	面台	2	ヶ所	1,610	25	100		メラミン・ストフォーム
	ロッカ-室SK	面台	2	ヶ所	760	25	100		メラミン・ストフォーム
	内部WVC	面台	1	ヶ所	2,020	25	100		メラミン・ストフォーム
	内部MMC	面台	1	ヶ所	2,200	25	250		メラミン・ストフォーム
	内部MMC	面台	1	ヶ所	1,600	25	100		メラミン・ストフォーム
	内部SK	面台	1	ヶ所	1,010	25	100		メラミン・ストフォーム
	外部MMC	面台	1	ヶ所	2,830	25	100		メラミン・ストフォーム
	外部MMC	面台	1	ヶ所	1,420	25	100		メラミン・ストフォーム
	外部WVC	面台	1	ヶ所	1,660	25	100		メラミン・ストフォーム
	外部SK	面台	1	ヶ所	910	25	100		メラミン・ストフォーム
	マルチVC	面台	2	ヶ所	3,100	25	100		メラミン・ストフォーム
	本部	面台	1	ヶ所	700	25	100		メラミン・ストフォーム
	審判員室	面台	1	ヶ所	700	25	100		メラミン・ストフォーム
	医務室	面台	1	ヶ所	1,200	25	100		メラミン・ストフォーム
	会議室	面台	1	ヶ所	1,200	25	100		メラミン・ストフォーム
	作業員室	面台	1	ヶ所	1,200	25	100		メラミン・ストフォーム
M	ビロティ①	キーボードボックス	1	ヶ所	173	250	122	共立コンピュータサービス	リモートロック5i特性キーボードボックス

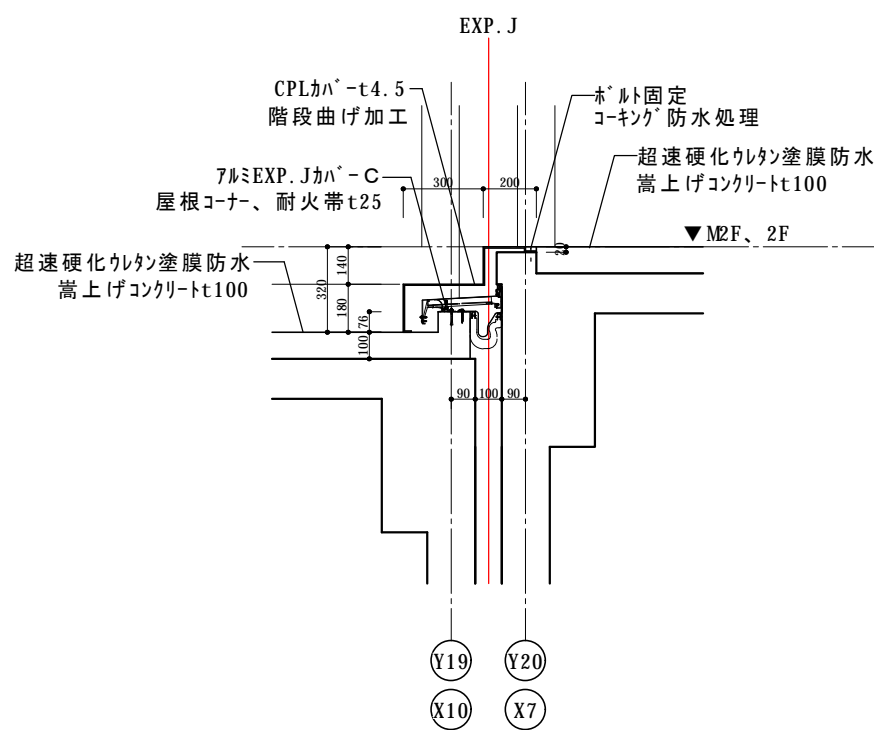
工 事 名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	雑詳細図ー2		
縮 尺	－	番 号	124 枚の内 A052 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



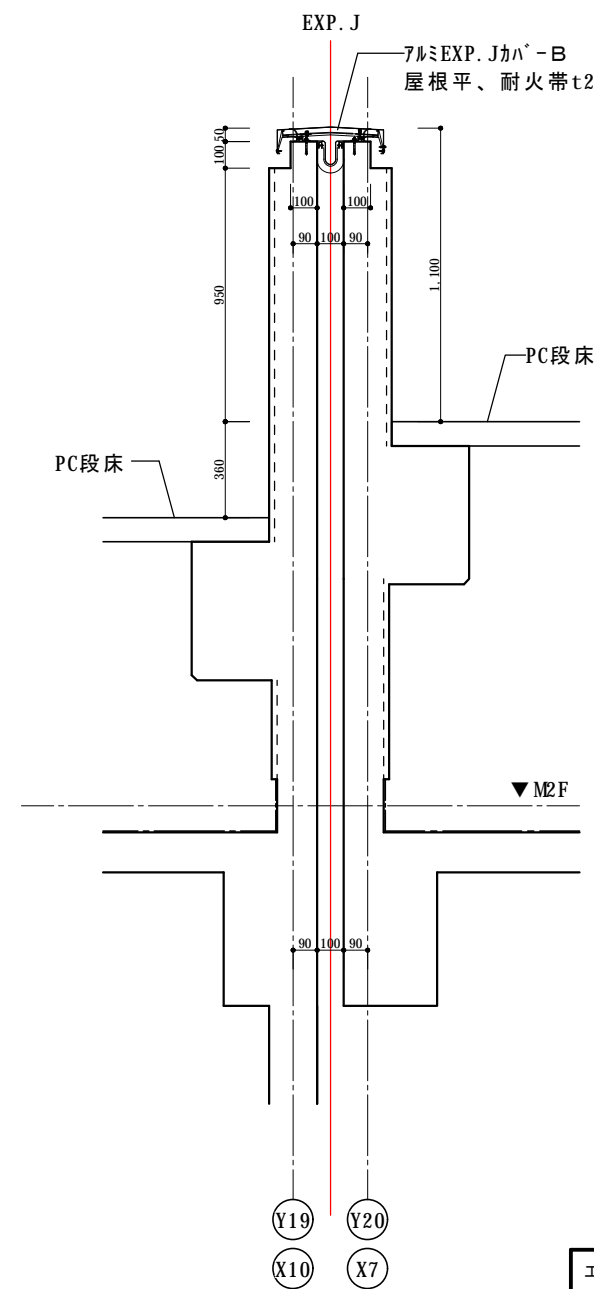
詳細図-1 S=1:20



断面図 S=1:100



詳細図-2 S=1:20



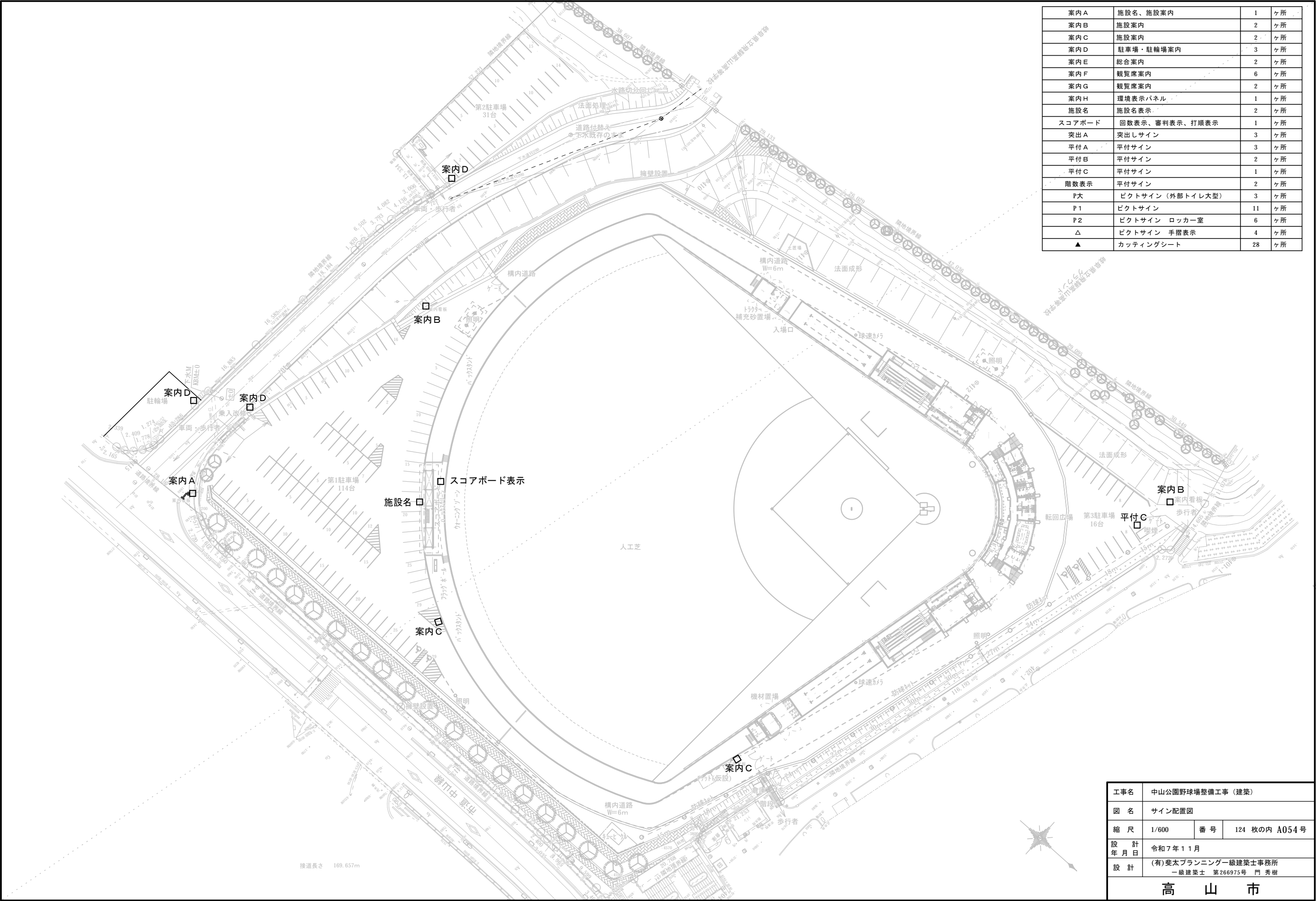
詳細図-3 S=1:20

各2ヶ所設置

A	外部平、耐火帯t12.5	17.19	m
B	屋根平、耐火帯t25	8.81	m
C	屋根コーナー、耐火帯t25	2.42	m
D	壁コーナー	6.12	m

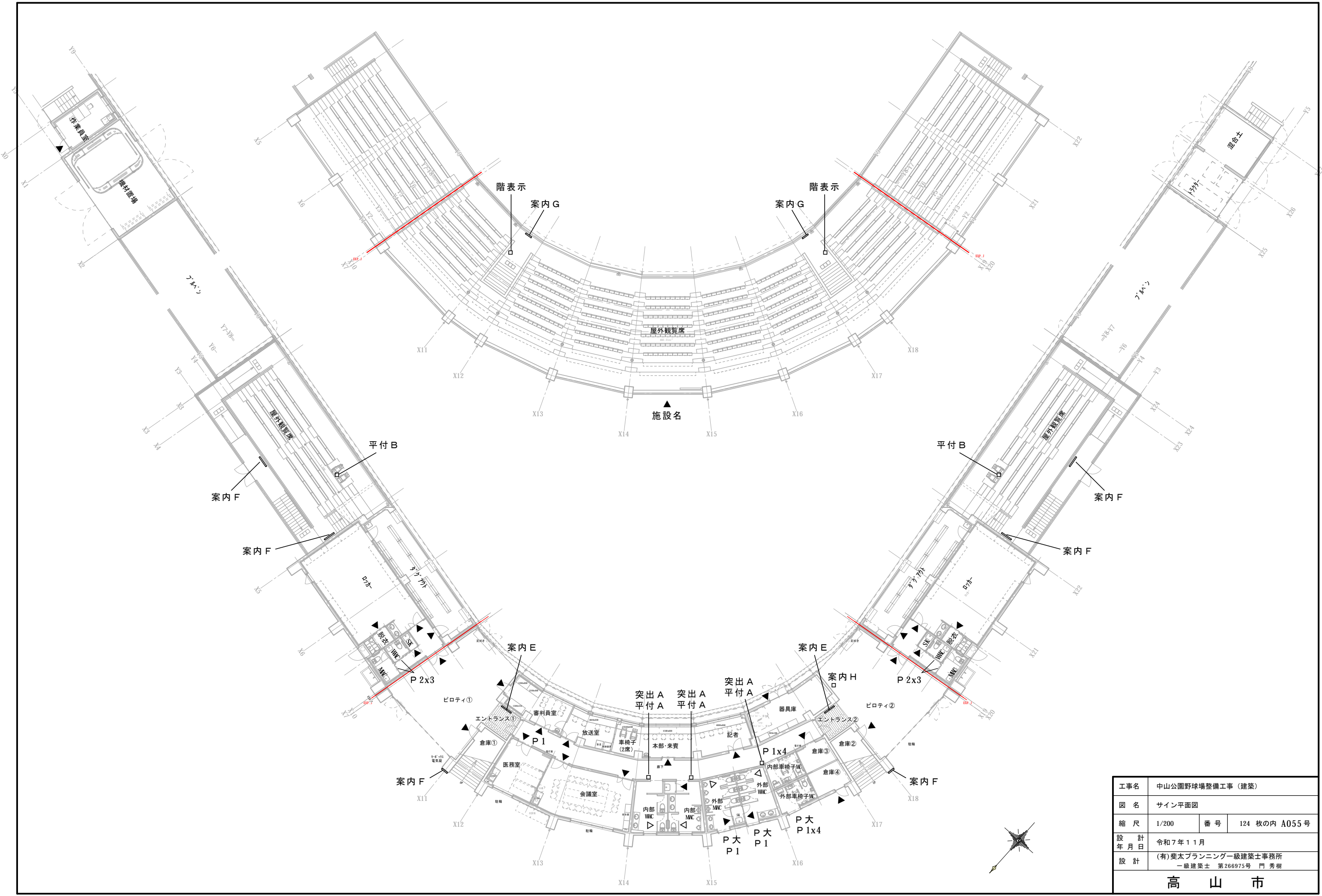
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図名	雑詳細図-3		
縮尺	1/20, 1/100	番号	124 枚の内 A053号
設計年月日	令和7年11月		
設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		

高山市



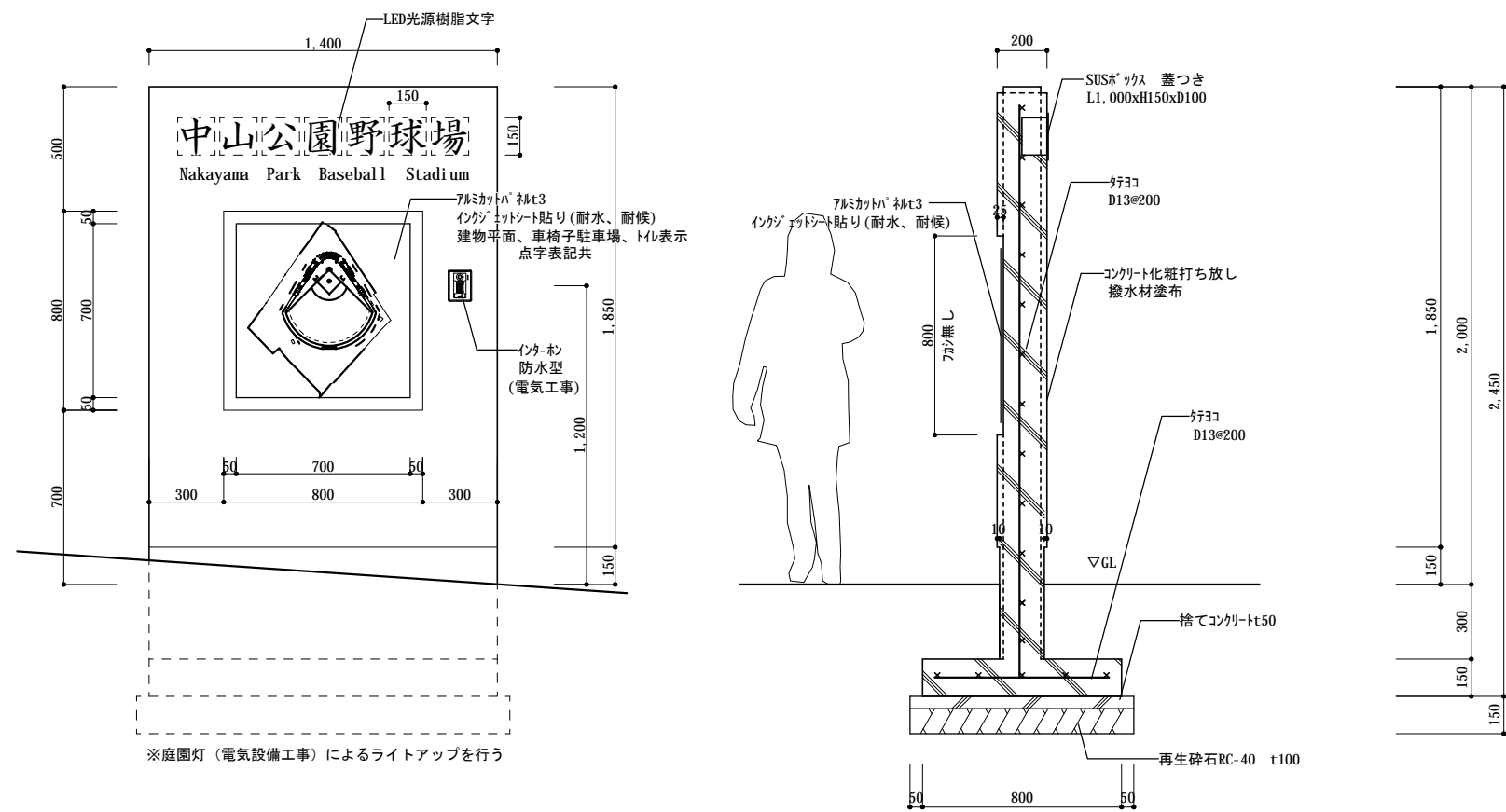
案内A	施設名、施設案内	1	ヶ所
案内B	施設案内	2	ヶ所
案内C	施設案内	2	ヶ所
案内D	駐車場・駐輪場案内	3	ヶ所
案内E	総合案内	2	ヶ所
案内F	観覧席案内	6	ヶ所
案内G	観覧席案内	2	ヶ所
案内H	環境表示パネル	1	ヶ所
施設名	施設名表示	2	ヶ所
スコアボード	回数表示、審判表示、打順表示	1	ヶ所
突出A	突出しサイン	3	ヶ所
平付A	平付サイン	3	ヶ所
平付B	平付サイン	2	ヶ所
平付C	平付サイン	1	ヶ所
階数表示	平付サイン	2	ヶ所
P大	ピクトサイン（外部トイレ大型）	3	ヶ所
P1	ピクトサイン	11	ヶ所
P2	ピクトサイン ロッカー室	6	ヶ所
△	ピクトサイン 手掲表示	4	ヶ所
▲	カッティングシート	28	ヶ所

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	サイン配置図		
縮 尺	1/600	番 号	124 枚の内 A054 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

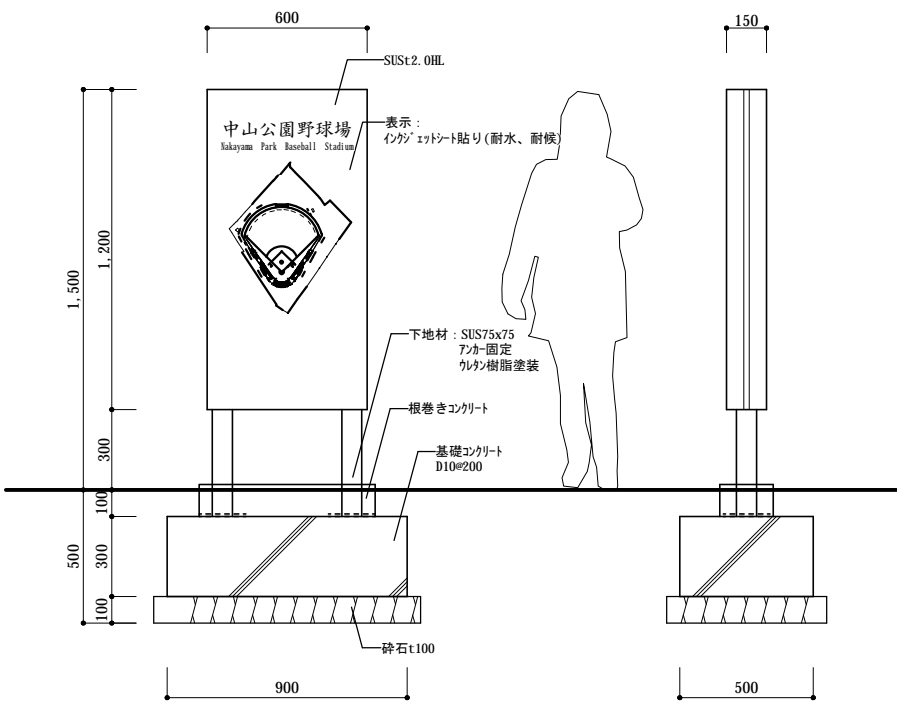


工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	サイン平面図		
縮 尺	1/200	番 号	124 枚の内 A055 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

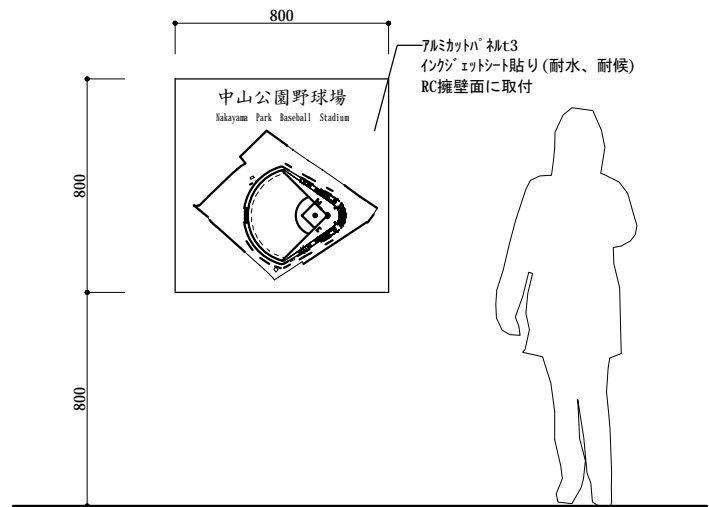
案内 A S=1: 20



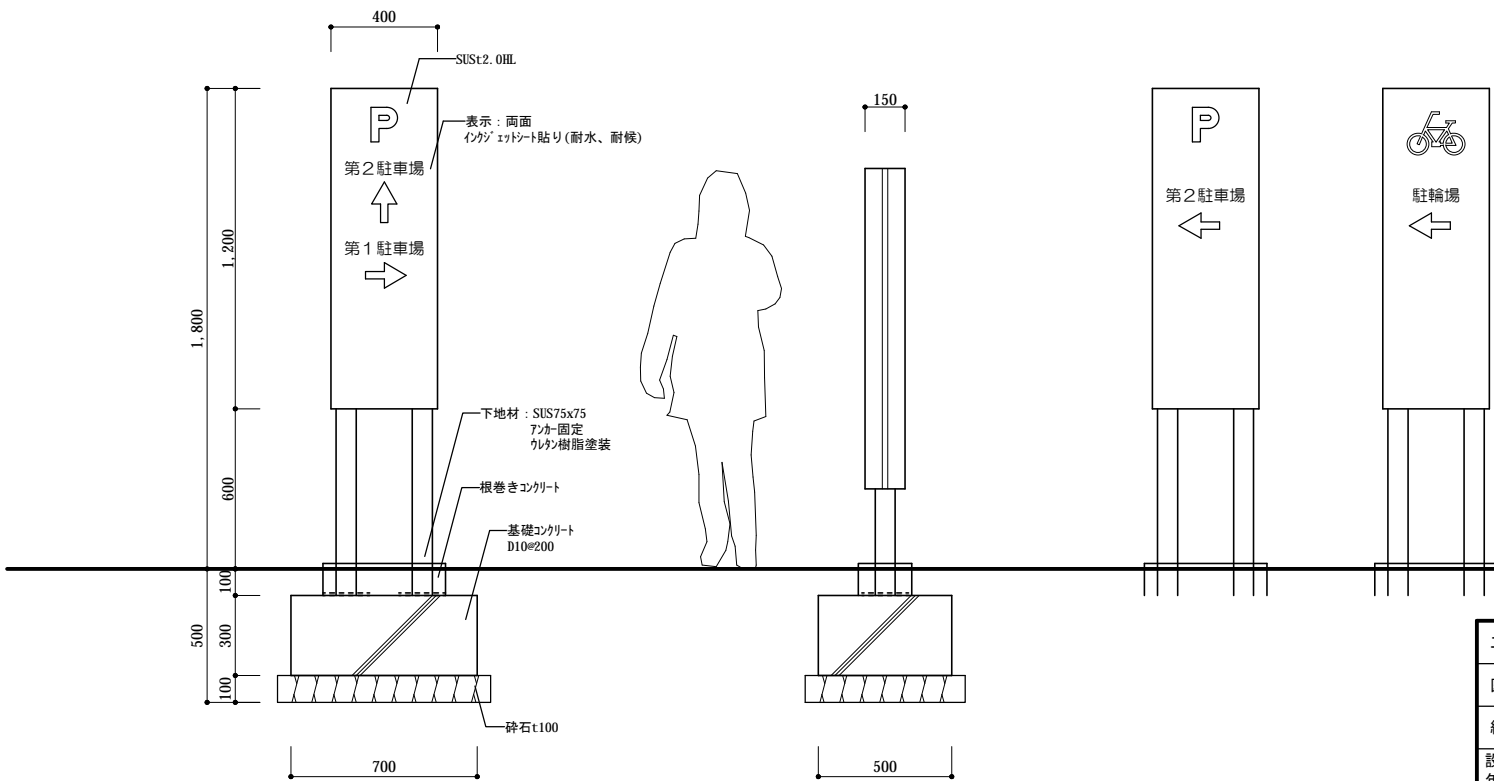
案内 B S=1: 20



案内 C S=1: 20



案内 D S=1: 20



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	サイン姿図－１		
縮 尺	1/20	番 号	124 枚の内 A056 号
設 計 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

案内E S=1: 20

総合案内

中山公園野球場
Nakayama Park Baseball Stadium

2F

1F

7割板t5
インクジェットシート貼り(耐水、耐候)
RC擁壁面に取付
点字表示

600

600

1,000

案内F S=1: 20

観客席案内

1F

2F

1F

7割カットハネt3
インクジェットシート貼り(耐水、耐候)
RC擁壁面に取付

600

400

1,000

案内G S=1: 20

観客席案内

1F

2F

1F

フレーム: SUSFBt9HL
7割カットハネt3
インクジェットシート貼り(耐水、耐候)
RC擁壁面に取付

アンカー固定

400

300

50

500

案内H S=1: 20

環境表示パネル

1,120

40

40

900

820

40

1,120

1,200

文章及び写真、バース等

ヒ/キ40x30
飛騨春慶塗り

アクリルハネt5

印刷シート貼り

ヒ/キ40x30
飛騨春慶塗り

【表示内容】

・県産材使用

・Low-Eガラス

・強化ガラス、飛散防止フィルム

・バリアフリー

・LED照明

・節水型衛生器具(自動水栓、便器、手洗器他)

・その他設計意図及びPR事項

※表示内容のデザイン、色は協議による(各サイン共通)

スコアボード表示 S=1: 100

中山公園野球場

カッティングシート貼り
400x400/文字

回数表示

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 R H E

打順表示

審判表示

打順表示

1 2 3 4 5 6 7 8 9

UMPIRE

1 2 3 4 5 6 7 8 9

B

S

O

H

E

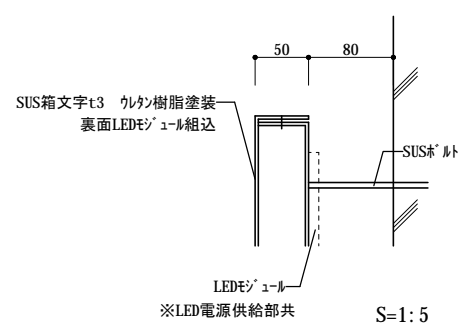
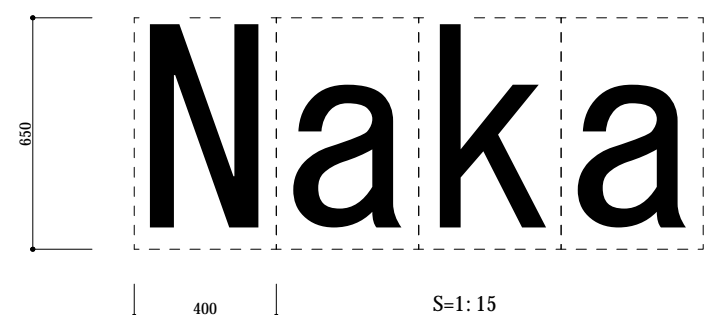
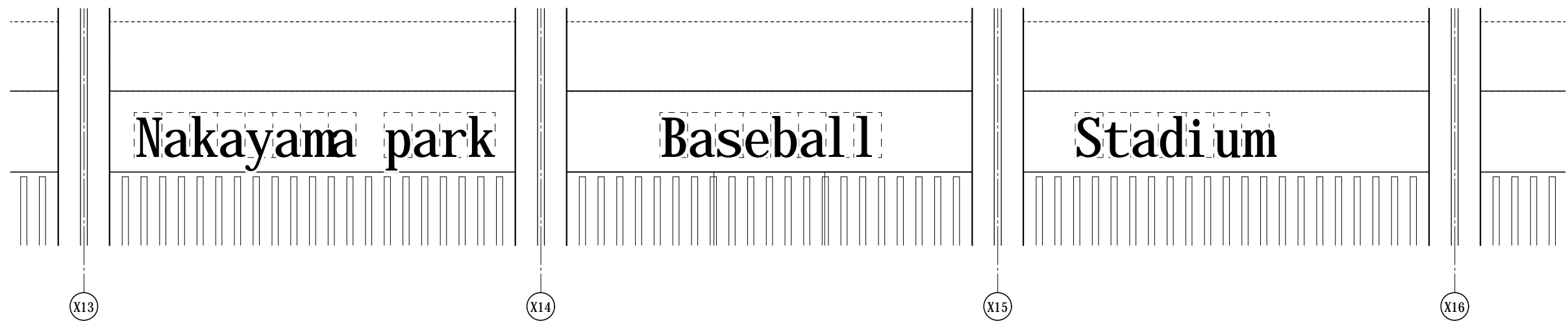
Fc

カッティングシート貼り

350

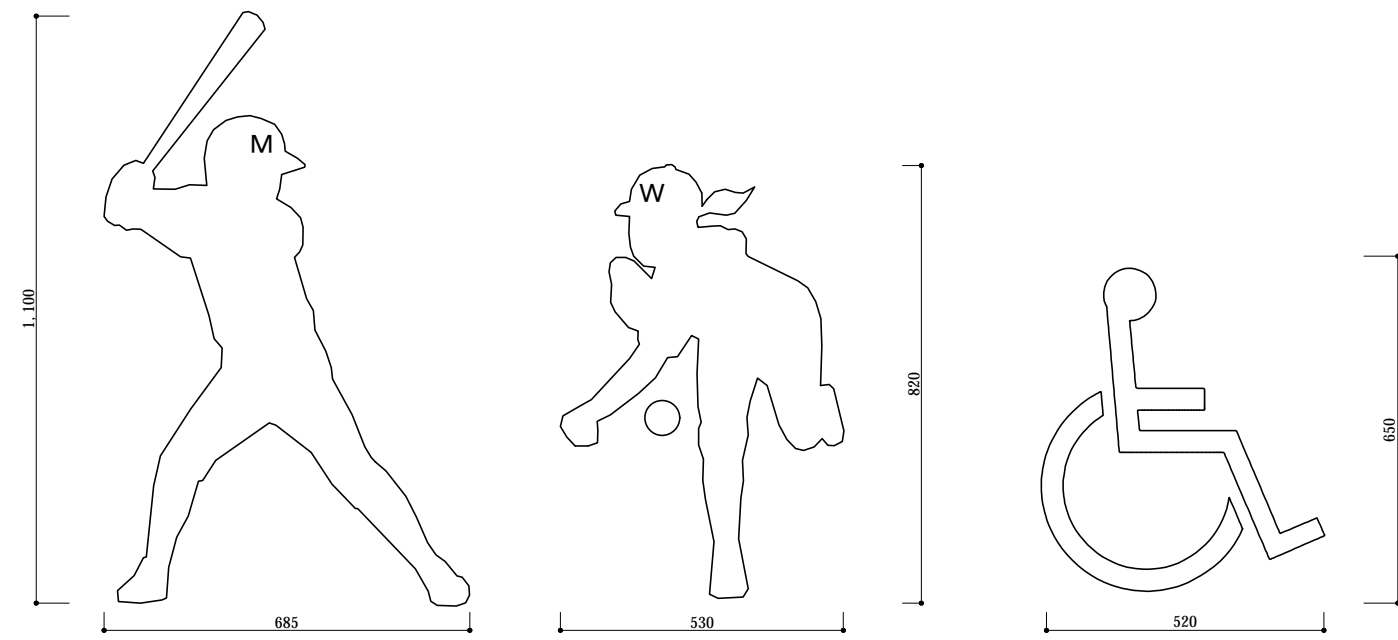
S=1: 10

工事名	中山公園野球場整備工事(建築)		
図名	サイン姿図-2		
縮尺	1/20	番号	124 枚の内 A057号
設計年月日	令和7年11月		
設計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高山市			

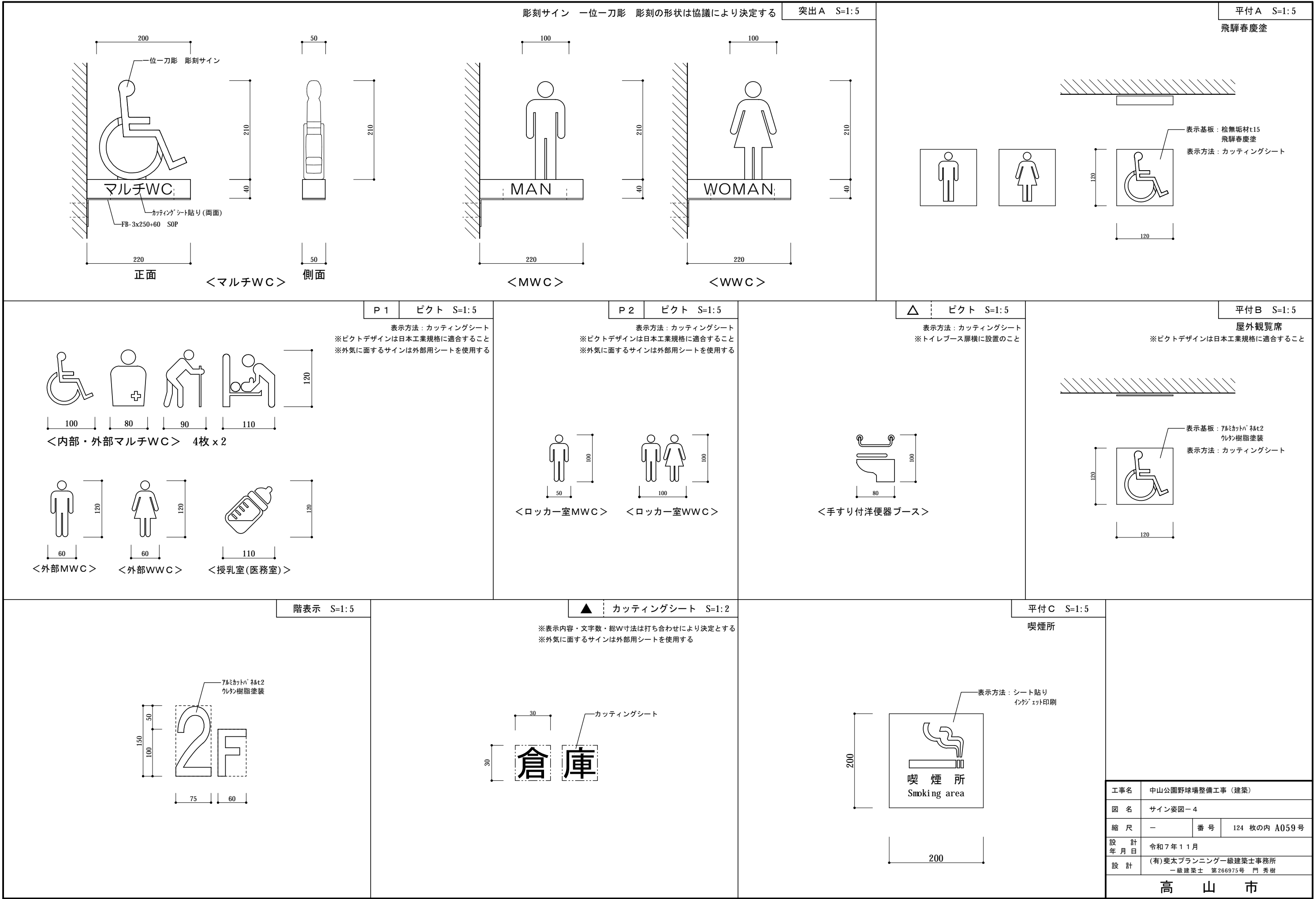


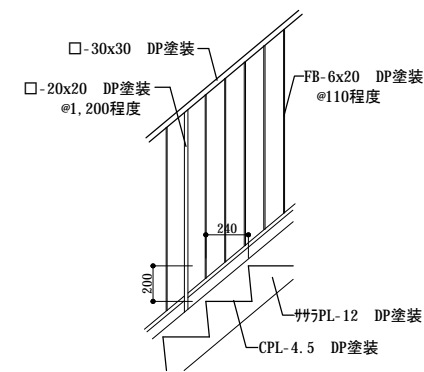
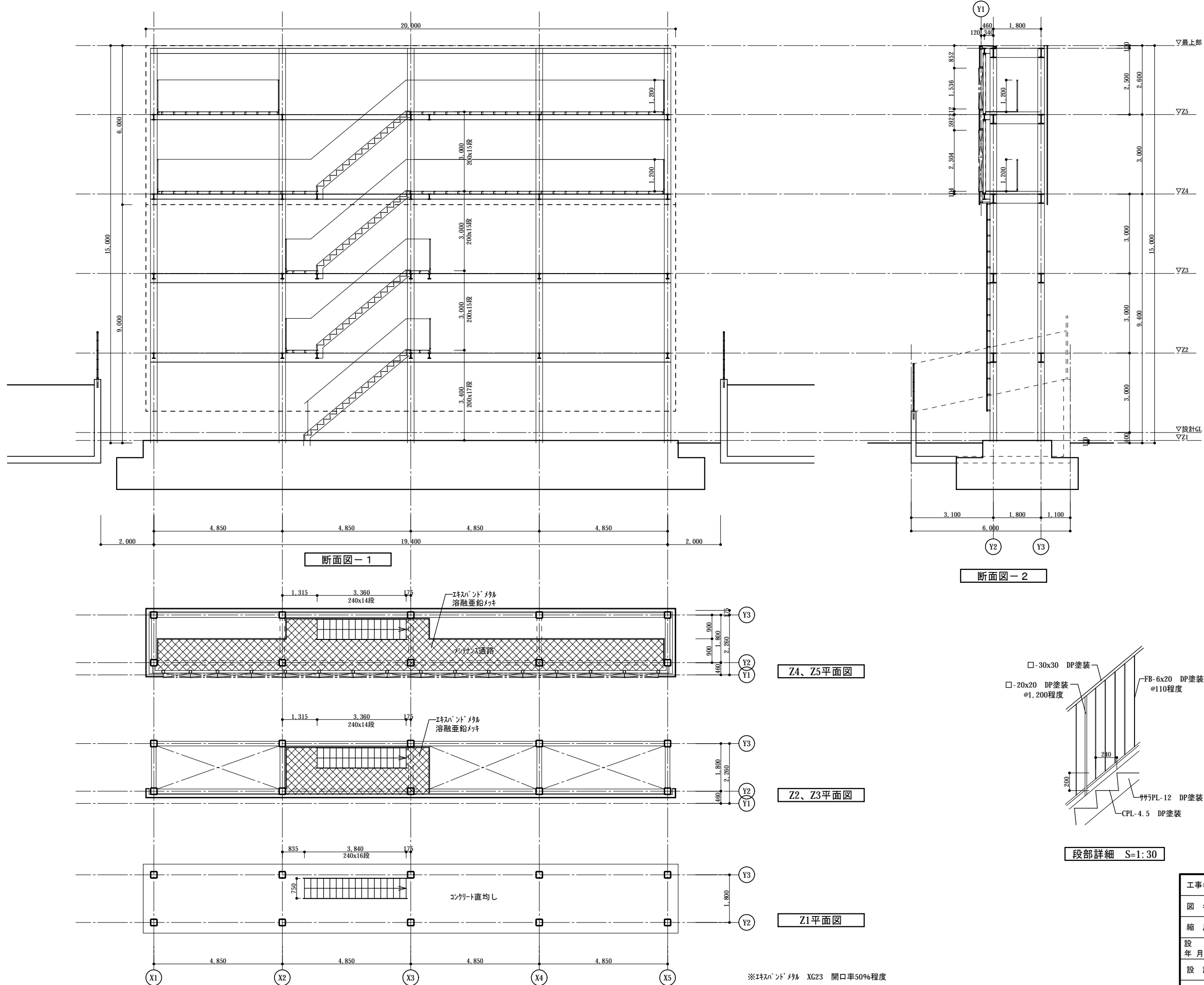
P大 ピクトサイン(大型) S=1: 10

外部トイレ扉 各1ヶ所
表示方法：カッティングシート
(外部用)

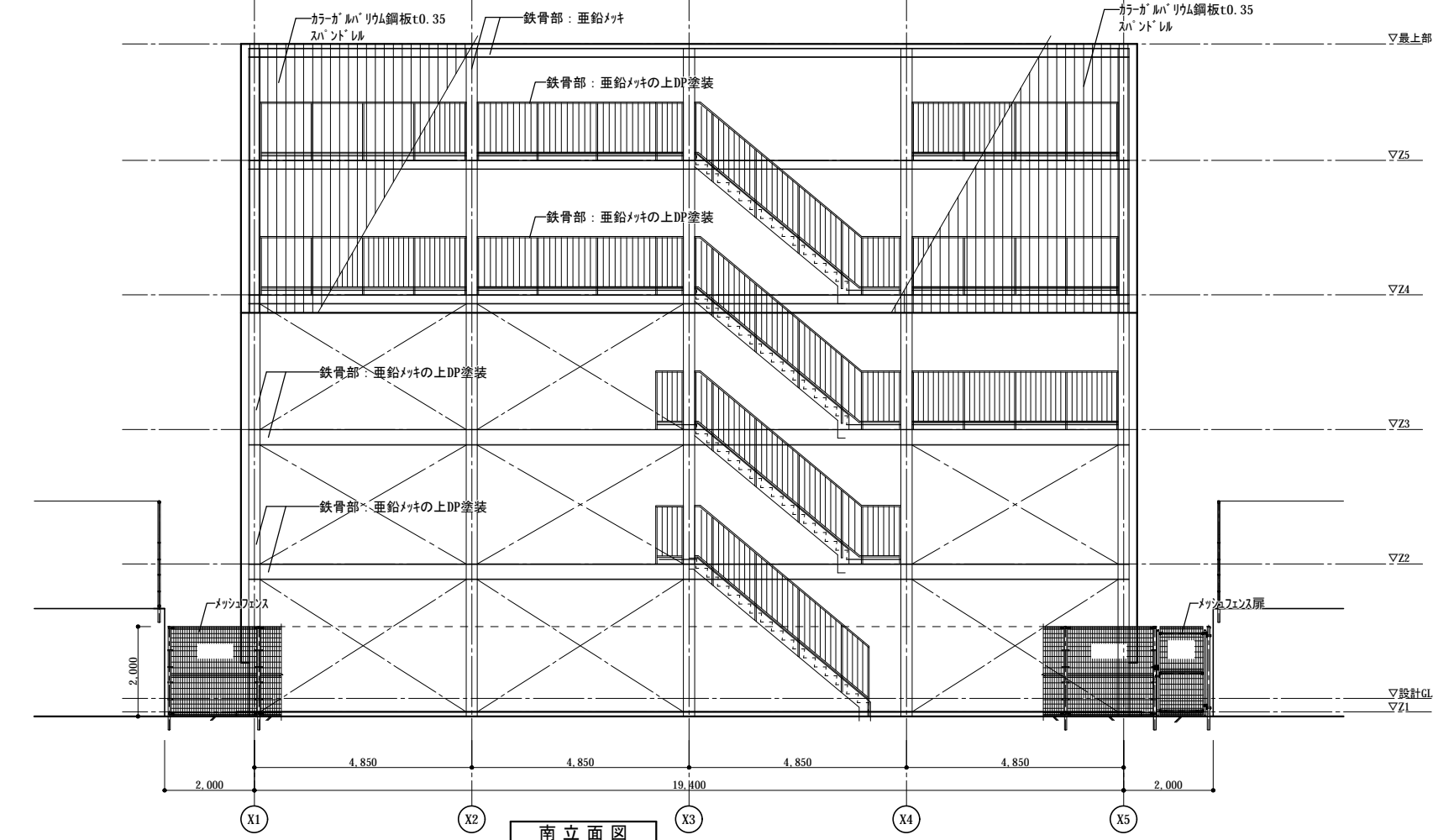
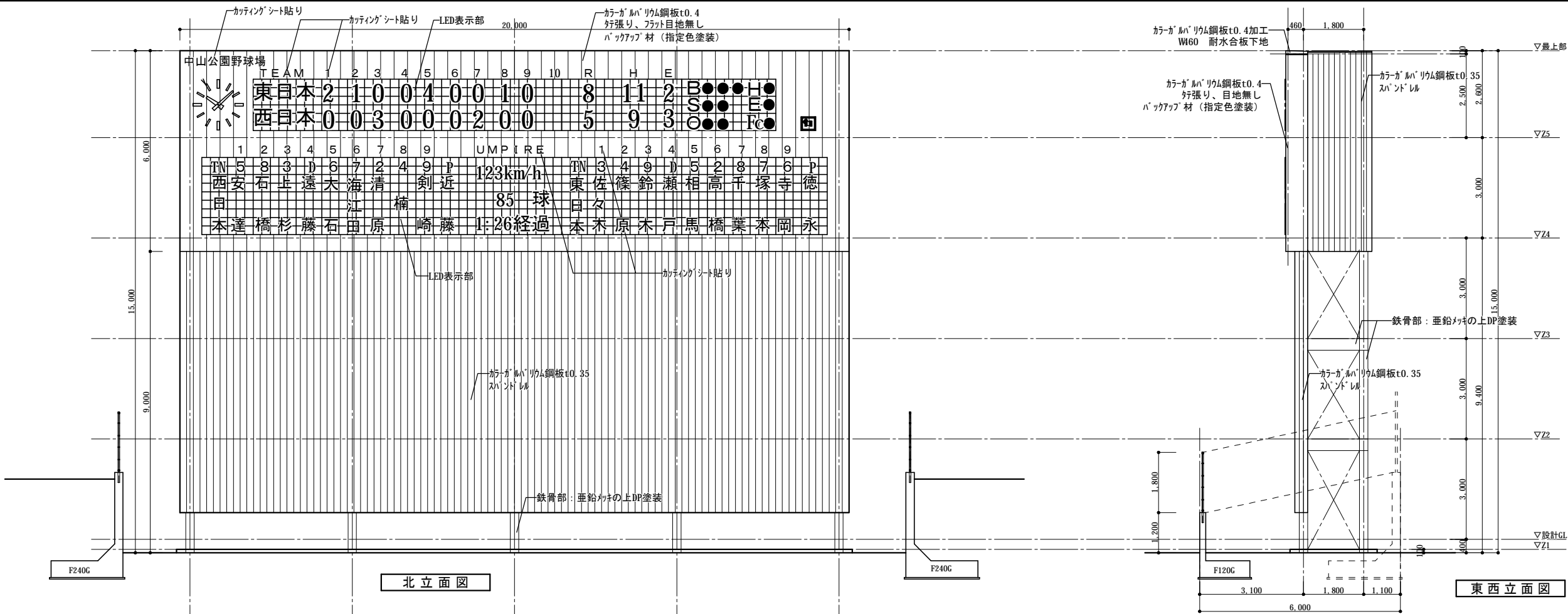


工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	サイン姿図－ 3		
縮 尺	1/10, 1/50	番 号	124 枚の内 A058号
設 計 年 月 日	令和7年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

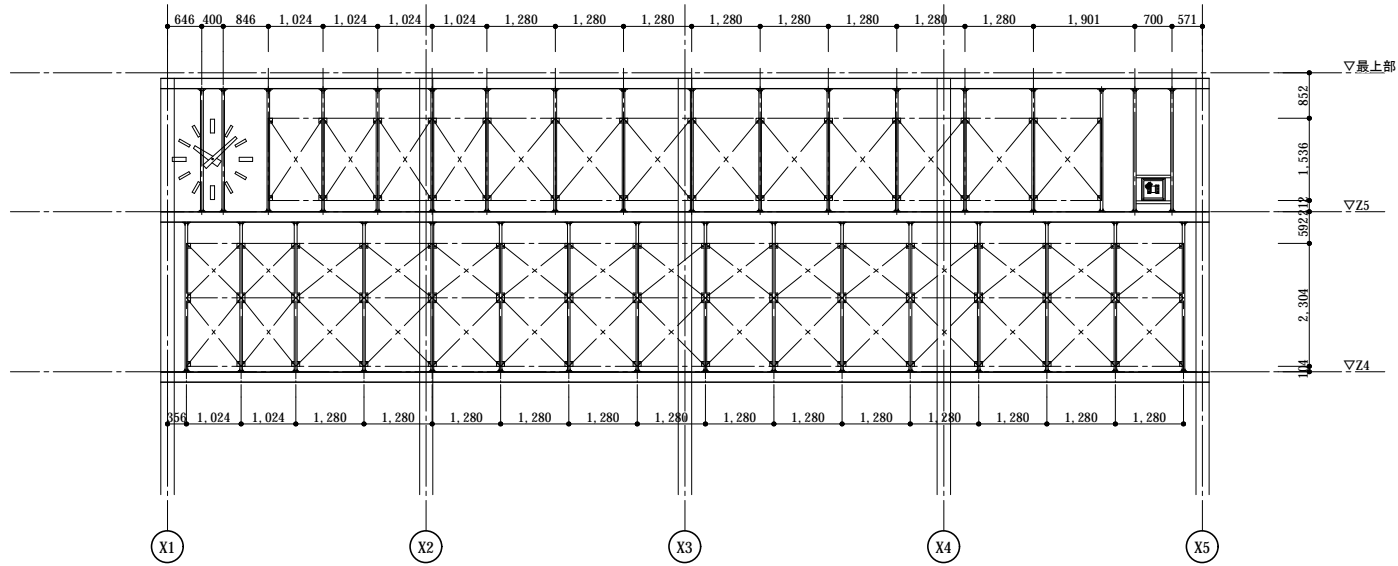




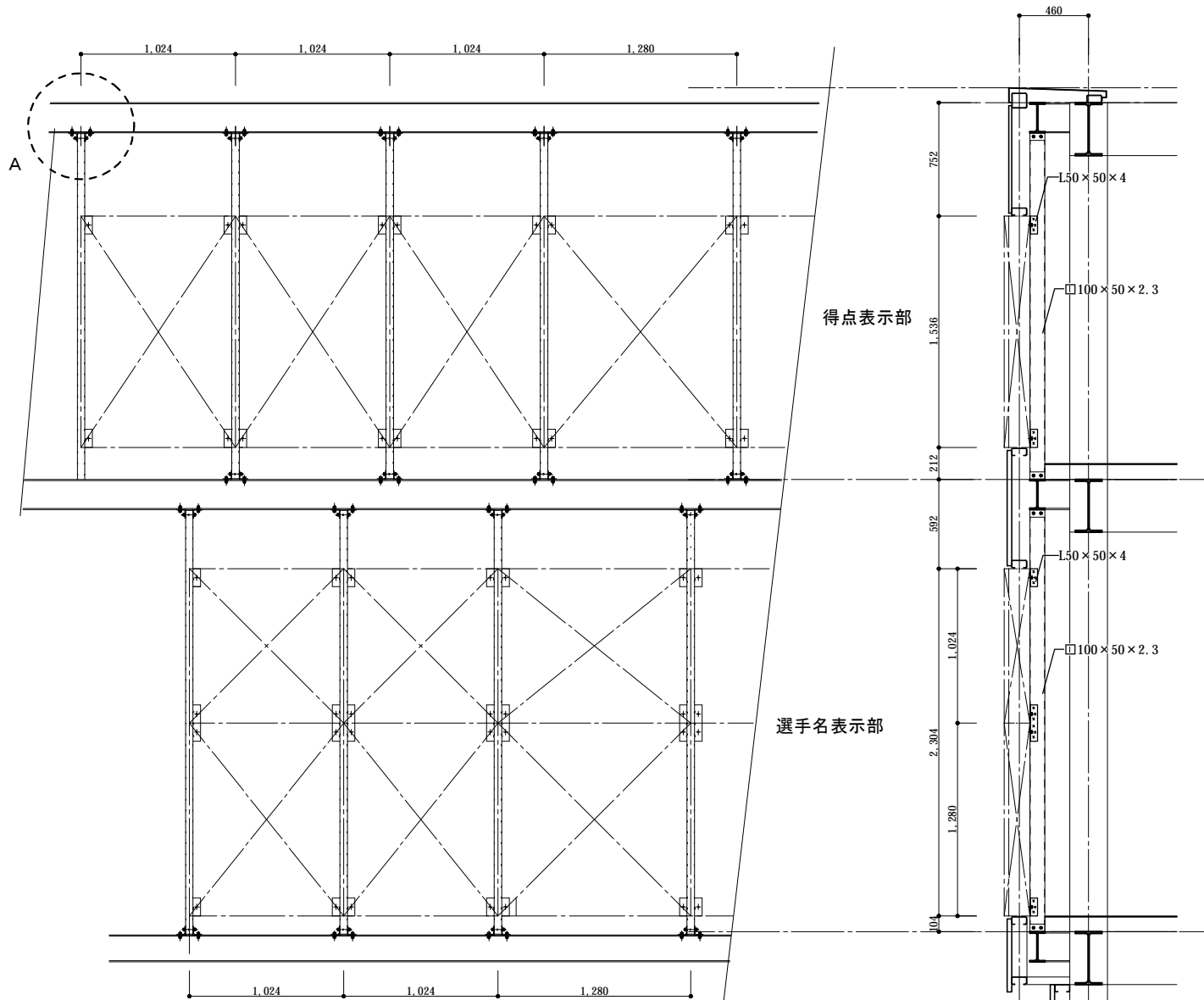
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	スコアボード 平面図・断面図		
縮 尺	1/30, 1/100	番 号	124 枚の内 A060 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有) 斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



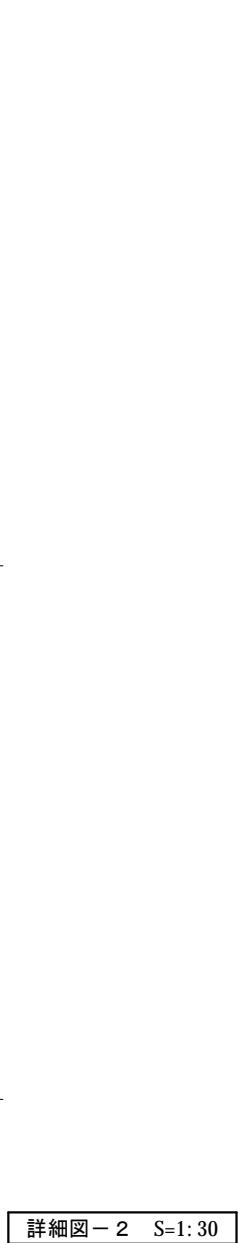
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	スコアボード 立面図		
縮 尺	1/100	番 号	124 枚の内 A061 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



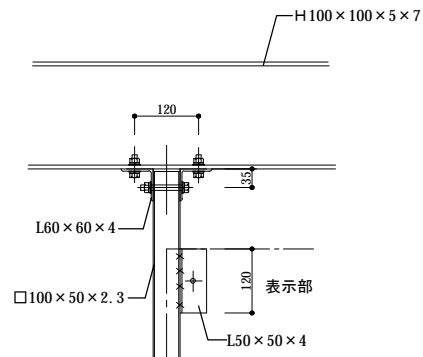
スコアボード下地割付図 S=1: 100



詳細図-1 S=1: 30



詳細図-2 S=1: 30



A部詳細図 S=1: 10

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	スコアボード 雑詳細図		
縮 尺	－	番 号	124 枚の内 A062 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

仕様書

1. 概要

- ・本装置はフルカラーLEDパネルを使用した省電力型のマルチスコアボードシステムである。
チーム名、選手名、得点、合計得点、ヒット数、エラー数及び審判名、判定表示、球速表示を行えるものとし、発光色も任意に選ぶことが可能。
また、メッセージ表示、流し文字、グラフィック、動画も表示することができる事。
動画についてはライブ動画とメッセージ表示を同時表示できる事。

2. 総則

- 2-1 建設業法・電気事業法・建築基準法・消防法・労働安全衛生規則、その他関係法令を遵守する。
- 2-2 本設計図書に疑義が生じた場合は、監督員と協議する。
設計図書の優先順位は、本特記仕様書・図面・共通仕様書の順とする。
尚、本装置の機能上および技術的な必要事項はこれを優先する。
- 2-3 本工事に使用する資材は、メーカー選定表の提出を要する。
- 2-4 日本工業規格に制定されているものについては、これに適合するものを、また、電気用品取締法の適用を受けるものは、形式承認済みのものを使用する。

3. 一般事項

- 3-1 適用
本特記仕様書以外の一般仕様書、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修電気設備工事共通仕様書および建築工事標準仕様書ならびに電気設備工事標準図による。
- 3-2 申請手続と費用
本工事に必要な関係官公庁、事業会社などに対する申請書類の作成、提出および手続きの一切はこれを代行し、これに要する費用は請負者の負担とする。
- 3-3 施工寸法図等
製作図・現場取合い図・施工図等が必要な場合、監督員の承諾を得たる後に製作および施工する。
尚、設計図書に記載なき事項で技術上当然必要と認められたもの並びに場の納まり上必要な変更は監督員と協議の上施工する。
- 3-4 自主検査
施工前には、必ず設計図書等による自主検査、試運転、調整試験を行うものとする。
- 3-5 組立及び出荷試験を 自社国内工場 で実施できる事。

4. 機器構成

本装置は下記の機器より構成される。

4-1 スコアボード 機器

- (1) LED 表示盤(得点表示・ 選手名表示 他) 1 式
- (2) 輝度センサー(判定表示盤に組み込み) 1 式
- (3) 塔時計(GPS 電波式時計) Φ1500 1 式
- (4) サイレン 1 台
- (5) 表示制御装置 1 台
- (6) 表示電源盤 1 台

4-2 操作室機器

- (1) スコア制御装置 1 台
- (2) 得点入力装置 1 台
- (3) チーム名入力装置 1 台
- (4) 判定・ 投球数操作盤 1 台
- (5) 球速計測装置 2 台
- (6) 球速表示コントローラ 1 台

4-3 バックネット 側

- (1) 副判定表示盤 1 台
- (2) 球速計測カメラ 2 台
- (3) 球速計測中継盤 2 台

4-4 その他

- (1) 予備品 1 式

5. 機器仕様

5-1 LED 表示

5-1-1 外形寸法・ 構造・ 質量 屋外型/分割・ 背面取付構造(図中に示す)

- 1 LED 表示盤 表示部寸法 得点表示部(縦1, 536mm×横15, 616mm) 以上
選手名表示部(縦2, 304mm×横18, 688mm) 以上
- 2 表示部寸法 図中に示す

- (1) LED 表示盤材質 アルミ 製
- (2) LED 表示盤塗装 黒 半艶
- (3) 保護等級 前面 IP65 裏面 IP65 以上
- (4) 重量 表示盤 1 式 : 940kg (取付フレーム、銅線重量を除く)
表示盤、取付フレーム、銅線含む 重量
得点表示部 : 23.98m² × 56.25kg ≒ 1,350kg
選手名表示部 : 43.06m² × 59.22kg ≒ 2,550kg 合計 3,900kg

- (5) 動作環境 温度: -20 ~ 50℃
湿度: 10% ~ 95%RH 以下(結露なき事)
- (6) 保守 裏面保守
- (7) 品質 防湿仕様 電子基板上コーティングを施し、基板、部品を保護。

5-1-2 機能・ 特性

- (1) 表示素子・ 画素構成 フルカラーLED
- 1 赤・ 緑・ 青の各素子の砲弾型LEDを 1 個の画素で構成する。
- 2 LED 素子のパネルサイズは縦256 × 横256 (mm)
- (2) ドットピッチ 縦横共 16mmピッチ
- (3) 素子画素数 表示部 : 縦256 × 横1, 152
- (4) 素子画面輝度 6, 000cd/m²以上
- (5) 表示階調 65, 536 階調以上
- (6) 素子寿命 50, 000 時間以上(輝度半減値)
- (7) 視認角度 水平±70° / 垂直±30°
- (8) 輝度調整 手動および光センサーによる自動調整が行える事。
- (9) 入力電源 1φAC200V 50Hz/60Hz
- (10) 防水/防塵 IP65 (前面のみ) 背面 IP65 以上
- (11) 保守 スコアボード 背面より保守対応可能とする。
- (12) 文字種別及び各表示の大きさ等は下記の通りとする。

- ・ 得点表示部
 - 1 チーム名表示 全角3 文字 「 文字高さ 550mm」 以上
(自動圧縮機能により5 文字可能)
 - 2 各回得点表示 0 ~ 99、×、1 × ~ 9 × 「 文字高さ 550mm」 以上
 - 3 合計得点表示 0 ~ 99 「 文字高さ 550mm」 以上
 - 4 ヒット 数表示 0 ~ 99 「 文字高さ 550mm」 以上
 - 5 エラー 数表示 0 ~ 99 「 文字高さ 550mm」 以上
 - 6 球速表示 0 ~ 999 「 文字高さ 500mm」 以上
 - 7 投球数表示 0 ~ 999 「 文字高さ 500mm」 以上
 - 8 B (ボール) 表示色 青緑色 3 灯
 - 9 S (ストライク) 表示色 黄色 2 灯
 - 10 O (アウト) 表示色 赤色 2 灯
 - 11 H (ヒット) 表示色 赤色 1 灯
 - 12 E (エラー) 表示色 赤色 1 灯
 - 13 Fc (フィルダーチョイス) 表示色 赤色 1 灯
- ・ 選手名/審判名表示部
 - 1 チーム名表示 全角3 文字 「 文字高さ 550mm」 以上
(自動圧縮機能により5 文字可能)
 - 2 選手名表示 全角3 文字 「 文字高さ 550mm」 以上
(自動圧縮機能により5 文字可能)
 - 3 審判名表示 全角3 文字 「 文字高さ 550mm」 以上
「 選手名、審判名表示は自動圧縮機能により4 文字表示可能とする。」
 - 4 守備位置表示 1 ~ 9、D、P、H、R 「 文字高さ 400mm」 以上
 - 5 審判位置表示 H、1B、2B、3B 「 文字高さ 400mm」 以上

5-2 塔時計

- (1) 外形寸法・ 構造・ 質量 図中に示す
- (2) 指針、文字板 アナログ式 アルミ 製白色
- (3) 調音器 QPS電波受信自動補正式

- (機能)
 - ・ 塔時計制御器の制御及び操作により、運針又は停止する事。
 - ・ 塔時計制御器は塔時計を1分運針・ 停止・ 調針を可能とする事。
 - ・ GPS 受信アンテナを接続し、電波修正された時刻に同期する事。

5-3 サイレン

- 得点操作盤の操作スイッチにより鳴動するものとする。
鳴動時間の設定ができるものとする。
- (1) 外形寸法・ 構造・ 質量 図中に示す
- (2) 機能 音圧: 125dB 回転数: 6, 000rpm
- (3) 消費電力 330W (定格)
- (4) 入力電圧 1φ2W AC100V 50Hz/60Hz

5-4 表示制御装置

- 本装置は、操作室送出装置から光信号を受信し各表示盤の表示素子を駆動制御するものとする。
操作室送出装置からのリモート信号で電源のON/OFFが可能とする。
- (1) 外形寸法・ 構造・ 処理 図中に示す
- (2) 設置形式 屋外据置型
- (3) 入力電源 単相2 線 AC100V 50Hz/60Hz
- (4) 消費電力 2kVA

5-5 表示電源盤

- AC200Vを受電し、スコアボード本体へAC200Vを各系統へ分配給電し調光ボックスへ1系統給電する事。
表示制御装置、塔時計、サイレン及び駆体照明、コンセントにAC100Vを分配給電する。
放送室側の信号送出装置に連動し、遮断電源ON/OFFを行うものとする。
- 電源入力部に雷サージ対策用保安器を有するものとする。
- (1) 外形寸法・ 構造・ 処理 図中に示す
- (2) 設置形式 屋外据置型
- (3) 入力電源 1φ3W AC200/100V 50/60Hz 45KVA以下

5-6 スコア制御装置

- 得点入力装置、チーム名入力装置、他 操作盤から光信号変換器にて光信号に変換し、光成端箱にてスコアボードへ表示信号を送出するための装置とする。
- 外部よりVIDEO入力し、スコアボード 選手名表示部に映像表示が可能なる事。
表示制御装置とは光メディアコンバータを介して光ケーブルで接続。
LED表示盤の電源異常、温度異常及びLEDカット切れ警報の受信が可能な事。
副判定表示盤とは信号変換装置を介して接続。
信号変換装置より表示電源盤に対して遮断制御でON/OFFが可能。

5-6-1 搭載機器仕様

- ・ モニタ 液晶 17インチ以上 解像度1920×1080
LED表示の出力および接続装置の画面を表示可能とする。
- ・ 画面生成及び表示監視装置(メーカー標準品)
 - 外観 : 本体、キーボード、マウス
 - OS : Windows 11 Pro
 - メモリ : 4GB以上
 - HDD : 250GB以上
 - インターフェイス : USB×1, LAN×1, DVI (HDMI) ×1 以上有する事。
 - 機能 : LEDユニットの監視機能(通信・ 電源・ 輝度変更・ 表示テスト) を有する事。
LED表示ユニットの表示サイズに合わせてスコア画面やメッセージ画面を生成可能とする事。

・ 映像入力装置

- 外観 : ラックマウント 型
- 入力 : DVI (HDMI) ×2, HD-SDI ×1, アナログRGB×1 以上有する事。

・ 信号制御装置

- 入力 : DVI (HDMI)
- 出力 : 光デジタル信号
- 機能 : 入力信号をLED表示ユニット 専用の光デジタル信号に変換し、出力する事。

・ 光成端箱

- 外観 : 据置型、接続部品付(ビッグテール・ 融着部品)
- 機能 : 光ケーブルの成端

・ スwitchングHUB

- 外観 : ラックマウントに取付
- 入力 : 100BASE-T以上

・ 電源リモコン

- 外観 : ラックマウント 型
- 機能1 : 遮断操作で表示電源盤をON/OFF可能とし、以下のモードを用意する事。
 - ①全ての表示部(判定表示含む) のみ使用するモード
 - ②得点表示部(判定表示含む) のみ使用するモード
- 機能2 : 表示電源盤の運用中または、ブレーカのトリップ信号を表示鳴動可能とする事。

・ 電源装置

- 外観 : ラックマウントに取付
- 入力 : AC100V +接地 2KVA以下
- 機能 : 本装置の主電源(ブレーカ) 及び電源分配機能を有する事。

・ 無停電電源装置

- 外観 : 卓上型(メーカー標準品)
- 機能 : 本装置の表示監視及び画面生成PCをシャットダウンするための容量と時間を確保する事。
停電補償時間 5分以上 電源ノイズ、雷サージ保護機能付

5-7 得点入力装置

5-7-1 機器仕様

- (1) 外形寸法・ 構造・ 処理 図中に示す
- 外観 : 本体、キーボード、マウス
- OS : Windows 11 Pro
- メモリ : 4GB以上
- HDD : 250GB以上
- 光ディスク装置 : DVD・ CD
- インターフェイス : LANポート×1, DVI (HDMI) ×1, USB×1 以上有する事。
- モニター : 液晶 15. 6インチ以上
- (2) 入力電源 AC100V 50/60Hz

※参考メーカー
中京スポーツ施設

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	スコアボード 特記仕様書－1		
縮 尺	－	番 号	124 枚の内 A063 号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

仕様書

5-7-2 機能仕様	
(1) 機能	B/S/O/H/E/Fc釦操作により、BSOカウント及びHEFc記録を表示可能とする事。 ・また、HEFc表示は、自動消灯するものとし、消灯までの時間を設定可能とする。 ・得点釦操作により、各イニングの得点を表示し、合計得点は、自動加算される事。 ・イニング釦又は、チェンジ釦操作により、イニングの切替えができ、得点が無入力の場合は、自動で「0」点を表示可能とする事。 ・11回以降のイニング得点表示は、1回から10回までの得点を切り替えて表示可能とする事。 ・チーム名・得点・選手名・審判名・イニング及び守備位置の表示は、反転表示の表示選択可能とする事。 ・あらかじめ登録した固定メッセージをワンタッチで表示可能とする事。 ・競技前、競技中にチーム名入力装置の故障対策として、得点入力装置単体で運用を可能とする事。
5-8 チーム名入力装置	
5-8-1 機器仕様	
(1) 外形寸法・構造・処理	図中に示す 外観 : 本体、キーボード、マウス OS : Windows 11 Pro メモリ : 4GB以上 HDD : 250GB以上 光ディスク装置 : DVD・CD インターフェイス : LANポート×1, DVI (HDMI) ×1, USB×1 以上有する事。 モニター : 液晶 15.6インチ以上
(2) 入力電源	AC100V 50/60Hz
5-8-2 機能仕様	
(1) 機能	チーム名を300チーム以上登録表示可能とする事。 ・チーム名毎に選手登録を100名以上登録表示可能とする事。 ・審判名を100名以上登録表示可能とする事。 ・固定・流動・グラフィックメッセージを100パターン以上登録可能とする事。 ・試合結果や固定メッセージ(テキスト入力)を表示可能とする事。 ・流動メッセージ(テキスト入力)を表示可能とする事。 ・グラフィックメッセージ(bmp、jpg)を表示可能とする事。 ・競技前、競技中にチーム名入力装置の故障対策として、得点入力装置単体で運用を可能とする事。
5-9 判定・投球数操作盤	
(1) 外形寸法・構造・処理	図中に示す
(2) 使用環境	屋内卓上型
(3) 入力電源	AC100V 50/60Hz 50VA以下
(4) 機能	(判定操作機能) カウント(BSO)操作/チェンジ(クリア)操作/BSクリア操作及びランナーアウト操作/ジャッジクリア操作/サイレン操作が行える事。 (投球数操作機能) 投球数加算操作「+1」/減算操作「-1」 投球数クリア操作「クリア」 投球数表示(0~999) 先攻チーム・後攻チームの各投手投球数表示(修正可能)
5-10 球速計測カメラ (2式)	
(1) 形状	屋外ボール取付型
(2) 画像解像度	1920×1080以上
(3) フレームレート	60fps以上
(4) ズーム	光学ズーム
(5) 入力電源	PoE+給電
(6) その他	設置位置・取付方法は、監督員の確認をもって決定するものとする。
5-11 球速計測中継盤 (2式)	
(1) 構造	屋外型/壁面取付型
(2) 材質	鋼板製 t1.6
(3) 塗装	粉体塗装
(4) 塗装色	マンセル5Y7/1 半ツヤ仕上げ
(5) 入力電源	1Φ2W AC100V 50/60Hz
(6) 機能	・球速計測カメラへの給電 ・球速計測カメラ映像のデータの中継

5-12 球速計測装置 (2式)	
(1) 形式	屋内卓上型パソコン
(2) OS	納入時に適切なOSとする。
(3) CPU	納入時に適切なCPUとする。
(4) メモリ	16GB以上
(5) インタフェース	USB, HDMI, LAN, 1000Base
(6) 入力電源	1Φ2W AC100V 50/60Hz
5-13 球速表示コントローラ (1式)	
(1) 形式	屋内型パソコン
(2) OS	納入時に適切なOSとする。
(3) CPU	納入時に適切なCPUとする。
(4) メモリ	4GB以上
(5) インタフェース	LAN, USB, HDMI
(6) 入力電源	1Φ2W AC100V 50/60Hz (ACアダプタ方式)
(7) 機能	・球速計測装置からの球速データを受信し表示システムへ送信する。 ・球速表示のON/OFF制御ができる事。 ・球速表示のモニタができる事。 ・球速の送出時間の設定ができる事。
5-14 副判定表示盤	
(1) 外形寸法・構造・処理	図中に示す
(2) 表示部	表示灯: 310φLED式表示とする。
(3) 使用環境	屋外防雨型(全面背面共 結露なき事)
(4) 入力電源	AC100V 50/60Hz 1kVA以下
(5) 表示色	下記に示す B(ボール) 青緑色×3灯 S(ストライク) 黄色×2灯 O(アウト) 赤色×2灯 H(ヒット) 赤色×1灯 E(エラー) 赤色×1灯 Fc(フィルダーチョイス) 赤色×1灯
5-15 予備品	
LEDパネル	1%
電源ユニット	各種1台
ファンユニット	1台
制御基板	各種1台
リレー	各種1台
収納ケース	1台

※参考メーカー
中京スポーツ施設

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	スコアボード 特記仕様書－2		
縮 尺	－	番 号	124 枚の内 A064 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

TEAM

12345678910

RHE

東日本2100400108112

西日本003000200593

B

S

O

H

E

F

C

123456789

UMPIRE

123456789

TN583D67249P123km/hTN349D52876P

西安石上遠大海清剣近東佐篠鈴瀬相高千塚寺徳

日江楠85球日々

本達橋杉藤石田原崎藤1:26経過本木原木戸馬橋葉本岡永

TEAM

12345678910

RHE

123456789

UMPIRE

123456789

TEAM

12345678910

RHE

東日本2100400108112

西日本003000200593

B

S

O

H

E

F

C

123456789

UMPIRE

123456789

TN583D67249PPL1B2B3BPL1B2B3BTN349D52876P

西安石上遠大海清剣近中沼長東佐篠鈴瀬相高千塚寺徳

日江楠西谷日々

本達橋杉藤石田原崎藤村田川本木原木戸馬橋葉本岡永

TEAM

12345678910

RHE

東日本210040018112

西日本0030002593

B

S

O

H

E

F

C

123456789

UMPIRE

123456789

ホームラン 表示
ファウルボール注意 表示など

TEAM

12345678910

RHE

東日本

西日本

B

S

O

H

E

F

C

123456789

UMPIRE

123456789

TN583D67249PPL1B2B3BTN349D52876P

西安石上遠大海清剣近中沼長石橋大石楠海江田剣崎

日江楠西谷上杉近藤安達

本達橋杉藤石田原崎藤村田川清原遠藤

TEAM

12345678910

RHE

123456789

UMPIRE

123456789

TEAM

12345678910

RHE

東日本2100400108112

西日本003000200593

B

S

O

H

E

F

C

123456789

UMPIRE

123456789

[待機電力0]

TEAM

12345678910

RHE

東日本2100400108112

西日本003000200593

B

S

O

H

E

F

C

123456789

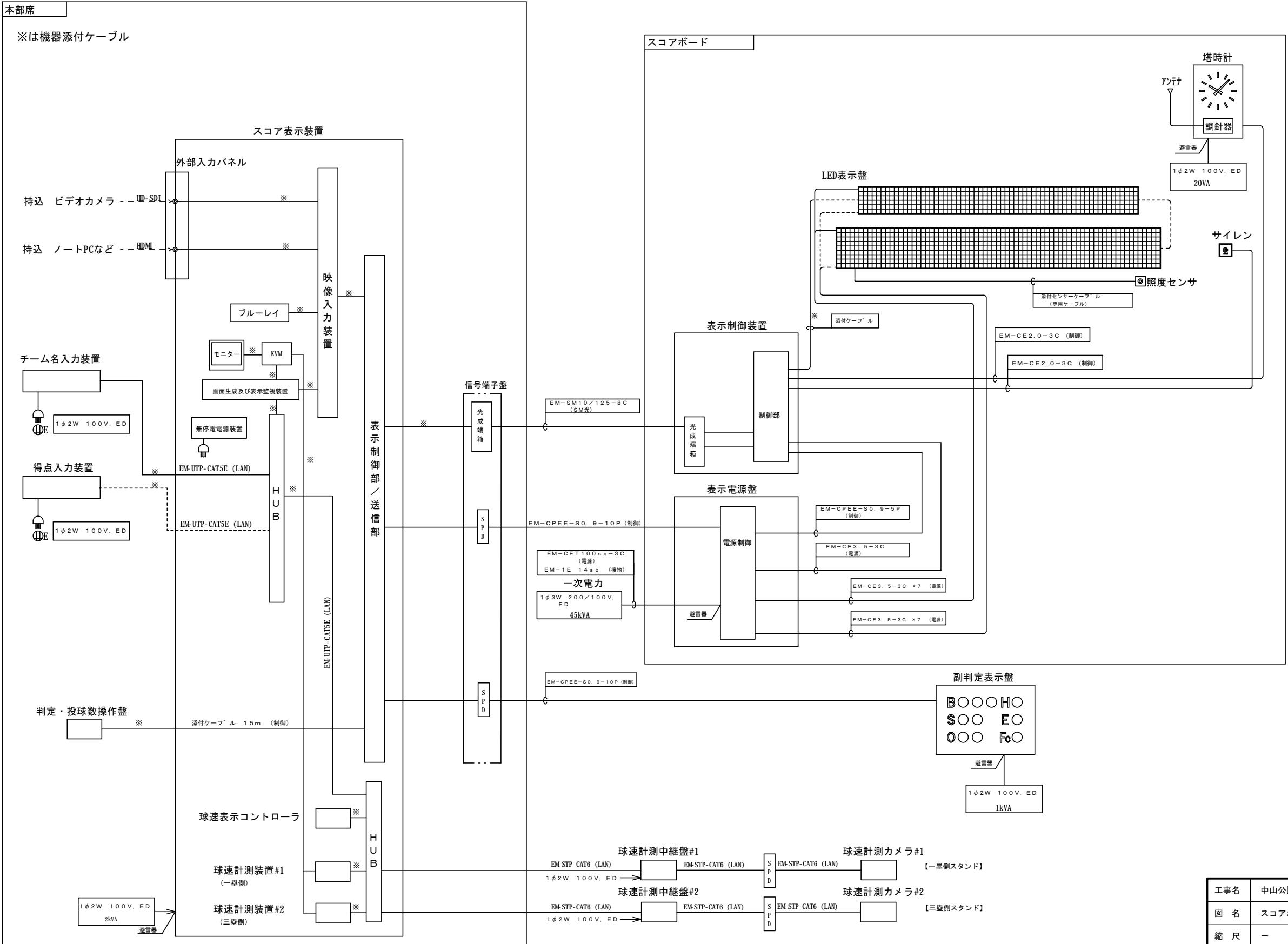
UMPIRE

123456789

映像 表示

※参考メーカー
中京スポーツ施設

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	スコアボード 表示パターン		
縮 尺	－	番 号	124 枚の内 A065 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



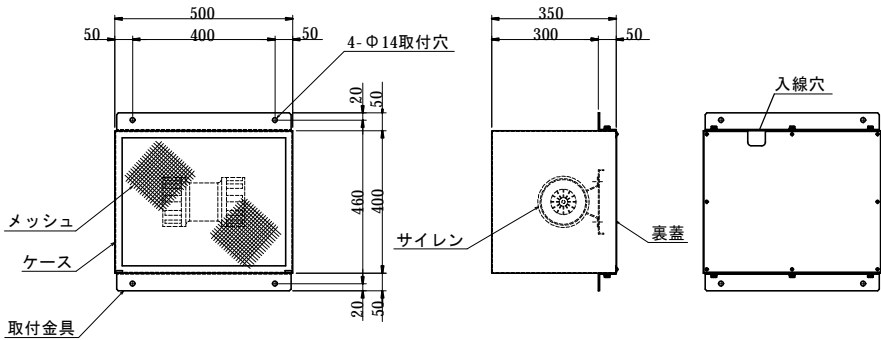
※参考メーカー
中京スポーツ施設

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	スコアボード システム系統図		
縮 尺	－	番 号	124 枚の内 A066 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

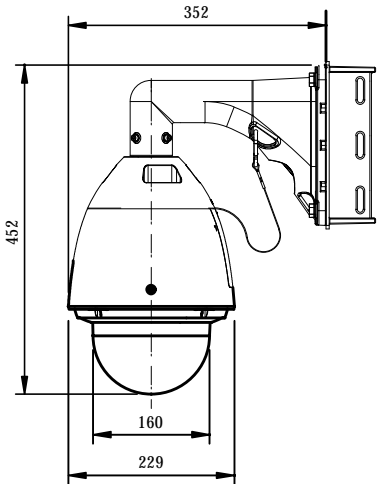
サイレン 1台

球速計測カメラ 2台

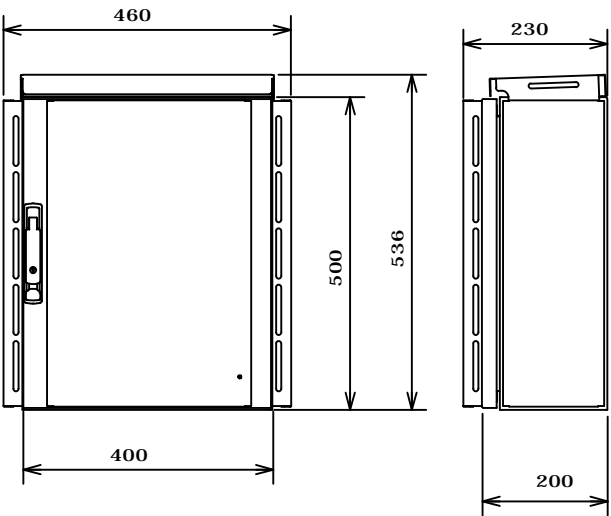
球速中継盤 2台



名 称	材 質 及 仕 上	備 考
メッシュ	SUS	
裏蓋	SUS304 t=1.5 アクリル焼付塗装 2コート2ペーク DN-30ツヤなし	
取付金具	SUS304 t=1.5 アクリル焼付塗装 2コート2ペーク DN-30ツヤなし	ビス止め
ケース	SUS304 t=1.5 アクリル焼付塗装 2コート2ペーク DN-30ツヤなし	ボルト止め

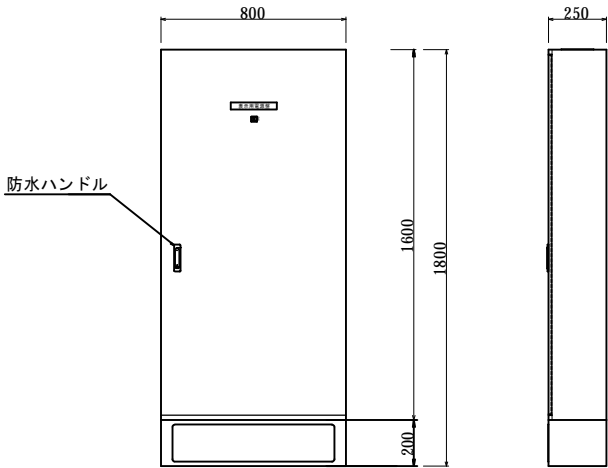


名 称	材 質 及 仕 上	備 考
形状	屋外ポール取付型	
画像解像度	1920×1080 以上	
フレームレート	60fps 以上	
ズーム	光学ズーム	

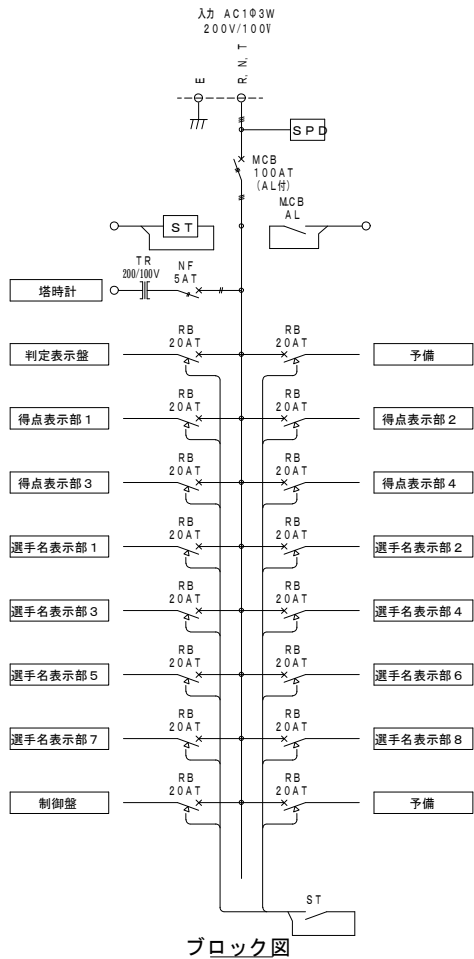


名 称	材 質 及 仕 上	備 考
構造	卓上型	
材質	鋼板製 t1.6	
塗装	メーカー標準屋内塗装（粉体塗装）	
指定色	半ツヤ仕上げ	
機能	球速カメラへの給電、球速カメラのデータの中継	
入力電源	1φ2W AC100V 50/60Hz	

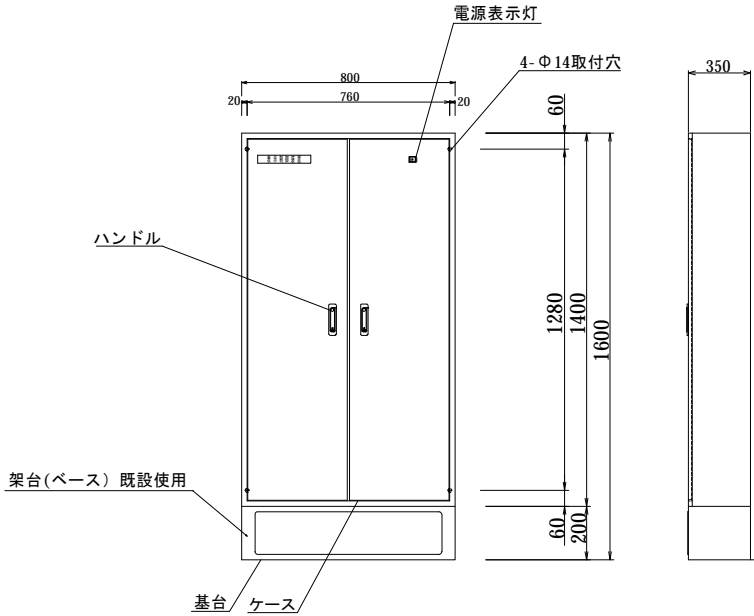
表示電源盤 1台



名 称	材 質 及 仕 上	備 考
入力電源	1φ3W AC200V/100V 50/60Hz 30KVA	
設置場所	スコアボード内	
質量	約110kg	
基台	鋼板 t=3.2 塗装色 5Y7/1 メラミン焼付塗装	
ケース	鋼板 t=2.3 塗装色 5Y7/1 メラミン焼付塗装	



表示制御装置 1台

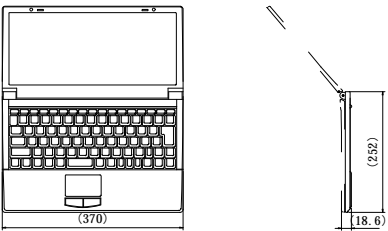


名 称	材 質 及 仕 上	備 考
入力電源	1φ2W AC100V 50/60Hz	
設置場所	スコアボード内	
質量	約170kg	
基台	鋼板 t=3.2 塗装色 5Y7/1 メラミン焼付塗装	
ケース	鋼板 t=2.3 塗装色 5Y7/1 メラミン焼付塗装	

※参考メーカー
中京スポーツ施設

工 事 名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	スコアボード 機器姿図－１		
縮 尺	－	番 号	124 枚の内 A067 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

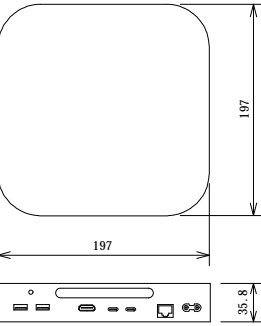
得点入力装置・チーム入力装置 各1台



名称	仕様
OS	Windows11 Pro 64bit版
入力電源	AC100V 50/60Hz
記憶容量	メモリ 4GB以上 SSD256GB以上
CPU	インテル Core i5以上

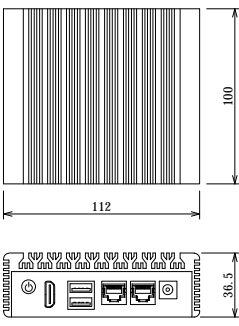
注1. 電源は操作室内の壁コンセントよりAC100V供給とします。
注2. 本図の外形寸法は参考とします。

球速計測装置 2台



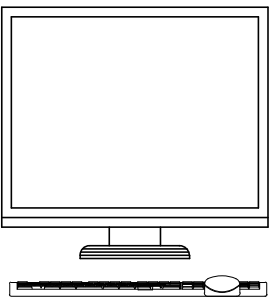
OS	macOS
CPU	Apple Silicon M2以上
ストレージ	SSD 256GB以上
メモリ	16GB以上
インタフェース	Thunderbolt, LAN・1000BASE
電源	AC100V(ACアダプタ)

球速表示コントローラ 1台



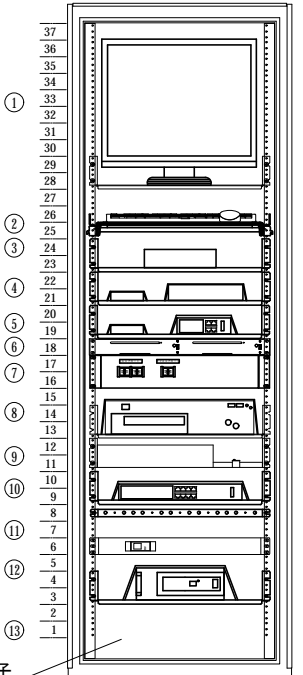
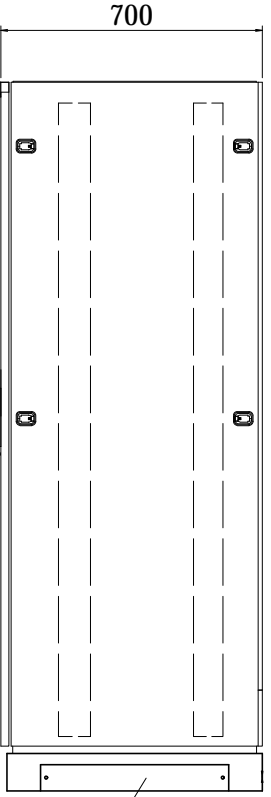
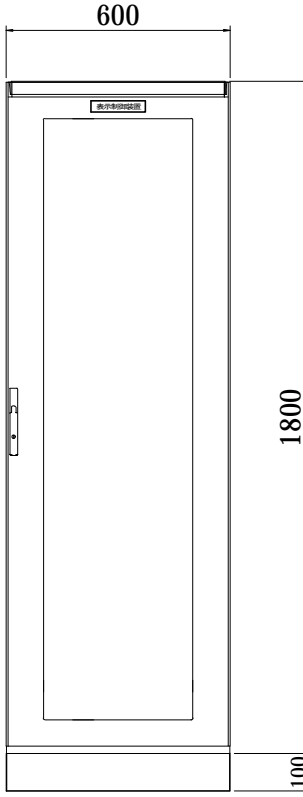
OS	Linux
CPU	Intel Celeron N4000 以上
ストレージ	SSD 64GB以上
メモリ	4GB以上
インタフェース	LAN, USB, HDMI
電源	AC100V(ACアダプタ)

モニタ 1台



モニタ	液晶 17インチ 以上 ※ワイド型
機能	球速計測装置・スコアボード用モニタ
インタフェース	KVM／キーボード／マウス
電源	AC100V 50/60Hz

スコア制御装置 1台



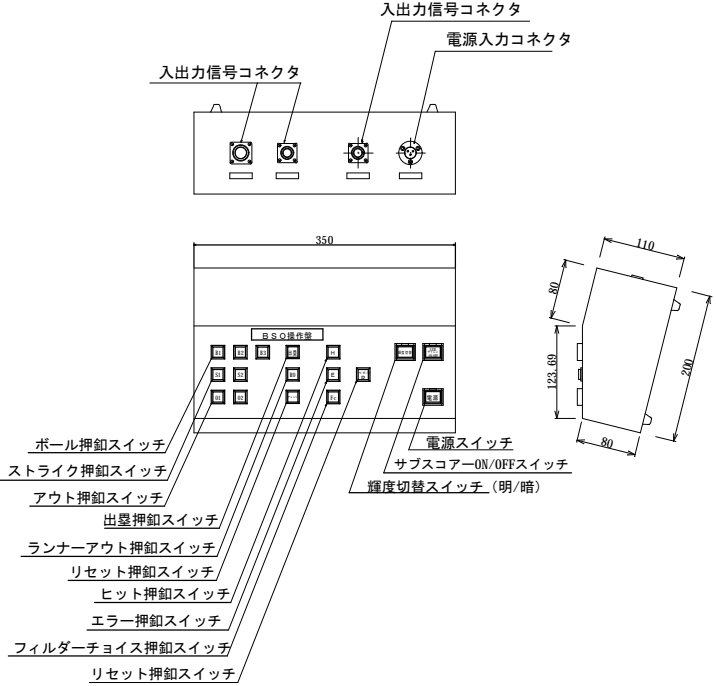
60×440長穴（側面、背面）
（入線口）

4-15×22
据付穴

50 500 50 583

名 称	材 質 及 仕 上	備 考
使用環境	屋内型	
質量	約170kg	
処理	ペールホワイト塗装	
ケース	鋼板製	

判定・投球数操作盤 1台



入出力信号コネクタ
電源入力コネクタ

ボール押釦スイッチ
ストライク押釦スイッチ
アウト押釦スイッチ
出塁押釦スイッチ
ランナーアウト押釦スイッチ
リセット押釦スイッチ
ヒット押釦スイッチ
エラー押釦スイッチ
フィルダーチョイス押釦スイッチ
リセット押釦スイッチ

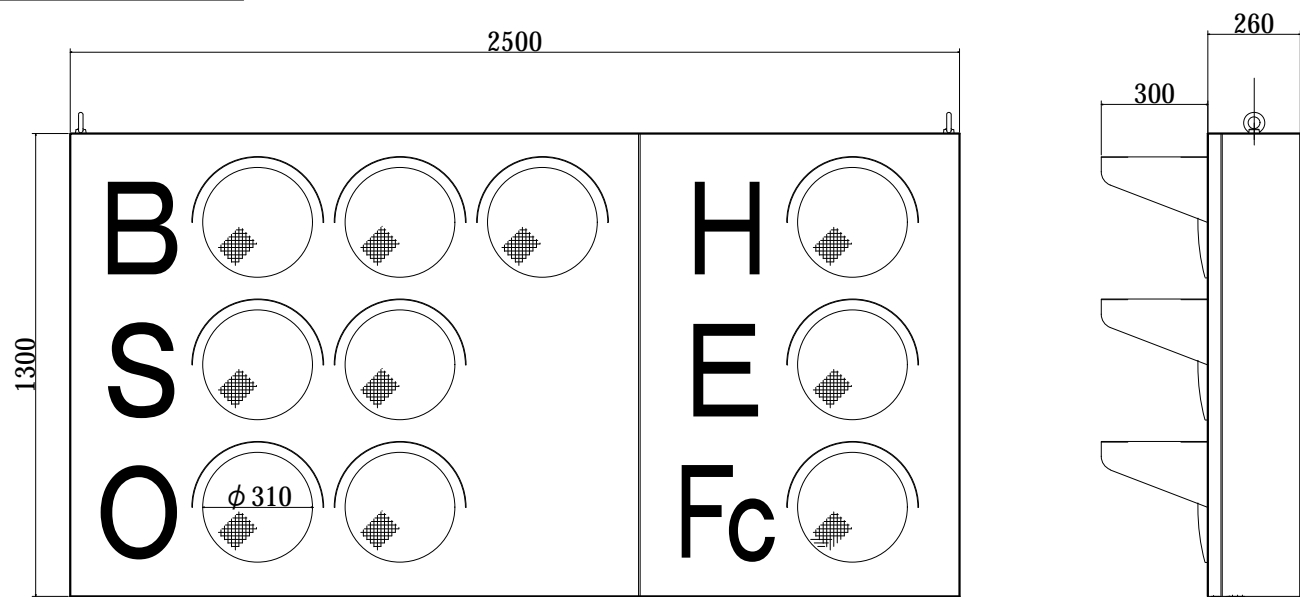
電源スイッチ
サブスコアON/OFFスイッチ
確度切替スイッチ（明/暗）

項 目	仕 様
入力電源	1φ2W100V 50/60Hz
消費電力	50VA
ケース	鋼板 t=1.2
塗装色	(5Y 7/1) 5分艶 メラミン焼付塗装
重量	約4kg

※参考メーカー
中京スポーツ施設

高 山 市

副判定表示盤 各1台

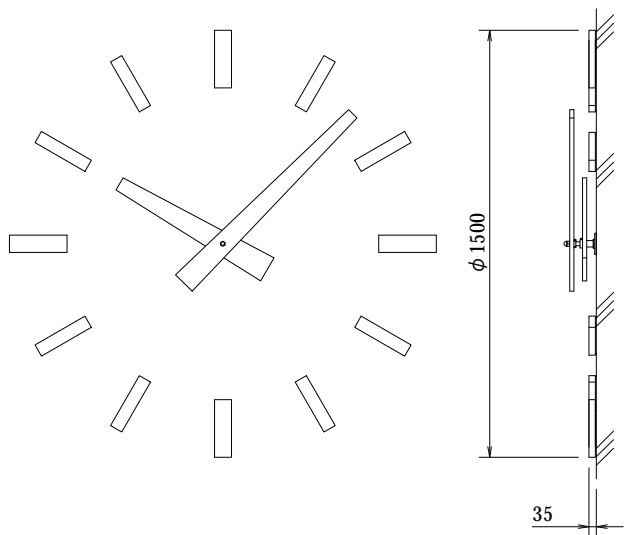


BOS表示板

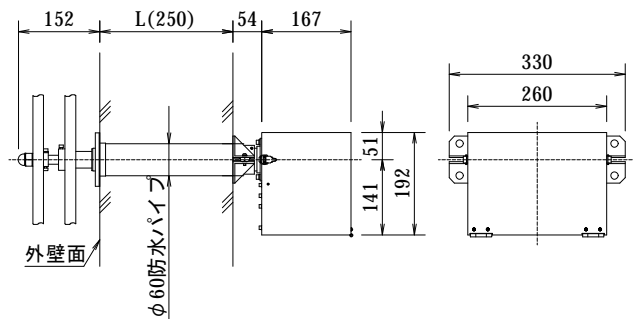
名 称	材 質 及 仕 上	備 考
使用環境	屋外型	
質量	約 1 7 0 k g	
処理	指定色 ウレタン樹脂塗装	
ケース	銅板製 t=2.3	
防水性	I P 5 5 以上	
表示部	310φ 透明ポリカーボネイト	
	B（ボール）青緑色×3灯 S（ストライク）黄色×2灯 O（アウト）赤色×2灯	
	H（ヒット）赤色×1灯 E（エラー）赤色×1灯 Fc（フィルダーチョイス）赤色×1灯	
	カッティングシート 白色切り文字 文字高：300mm	

塔時計 1式

Φ1500AC式塔時計



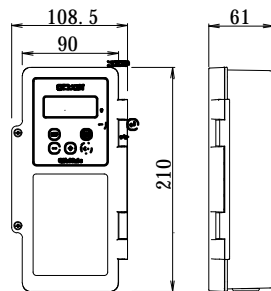
機構部



文字取付面	建物壁面
文字	ステンレス 指定色
指針	耐食アルミニウム 指定色
機体軸	ステンレス
入力電源	AC100V 50／60Hz
入力信号	DC24V 30秒有極信号
出力信号	モニタ返り信号
停電時動作	復帰後自動時刻合せ

塔時計調針器（電波式・アンテナ部含む）

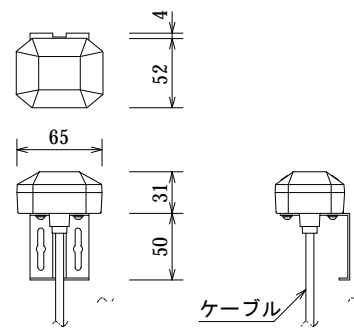
塔時計用パルス発信器



ケース	ABS樹脂製 ライトグレー
基準周波数	32.768kHz
精 度	週差±1.2秒以内（アンテナ接続時積算誤差0秒）
入力電源	AC100V±10% 約4W 50/60Hz
出力信号	DC24V 30秒有極信号 1回路で最大60mA
停電時動作時間	60時間以上 但し塔時計は別電源が必要
サマータイム	サマータイム期間の設定により自動修正
電波修正装置	専用アンテナ（GPS/長波）を接続することで時刻修正が可能

塔時計調針器アンテナ部

G P Sアンテナ



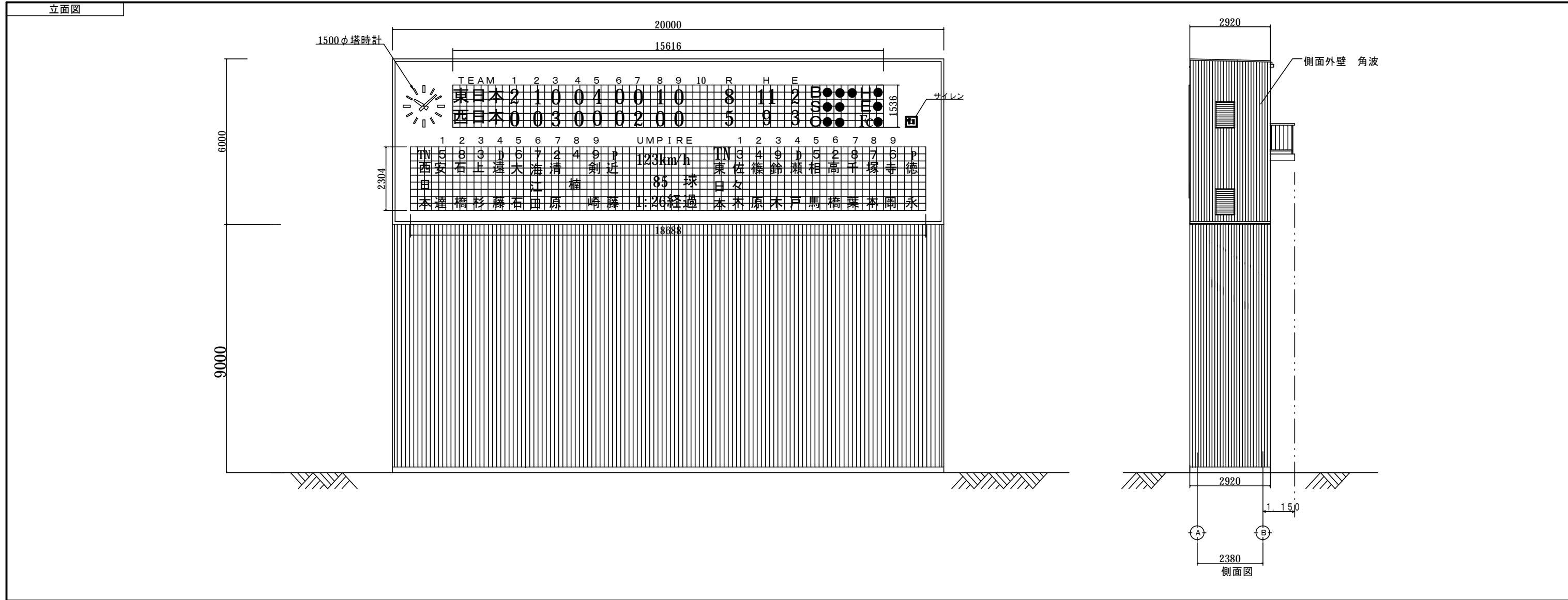
TS-G0Aシリーズ相当

アンテナ部	
ケース	ポリカーボネート樹脂製 グレー色
受信周波数	1575.42MHz
受信感度	-145dBm（コールドスタート時）
取付金具	ステンレス

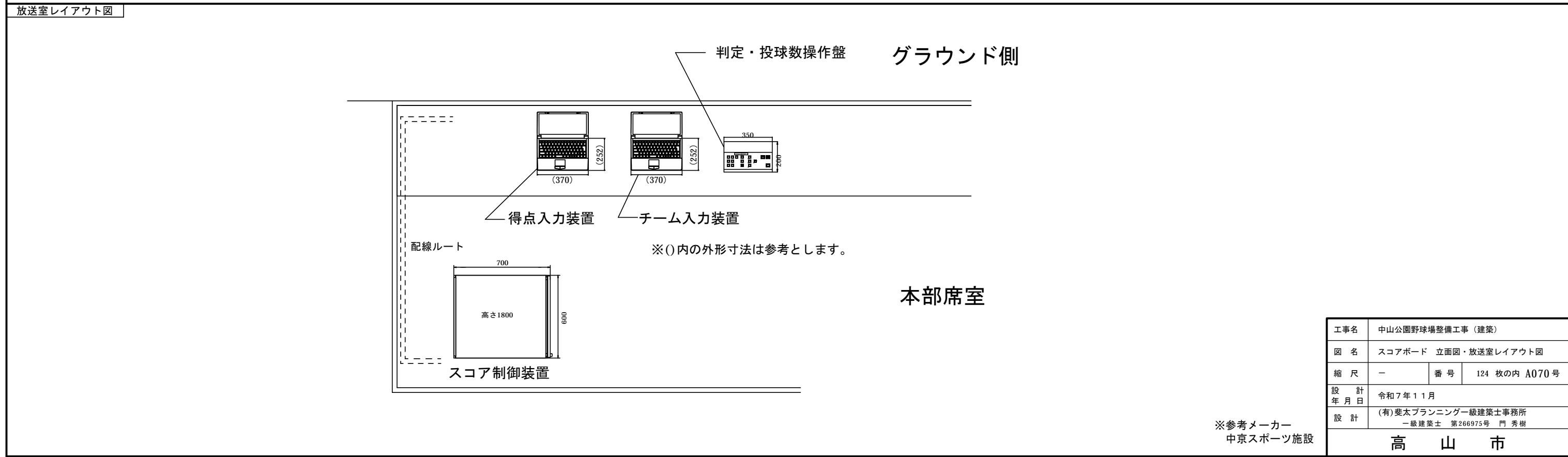
※参考メーカー
中京スポーツ施設

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	スコアボード 機器姿図ー3		
縮 尺	－	番 号	124 枚の内 A069 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

立面图



放送室レイアウト図



※参考メーカー
中京スポーツ施設

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	スコアボード 立面図・放送室レイアウト図		
縮 尺	一	番 号	124 枚の内 A070 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

得点部表示盤

15616																			
TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E						
東日本	2	1	0	0	4	0	0	1	0		8	11	2	B	●	●	●	H	●
西日本	0	0	3	0	0	0	2	0	0		5	9	3	S	●	●		E	●
														O	●	●		Fc	●

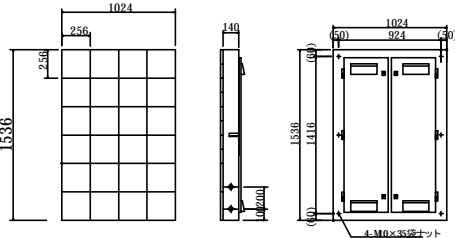
選手名部表示盤

部表示盤

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	UMPIRE				1	2	3	4	5	6	7	8	9		
2304	TN	5	8	3	D	6	7	2	4	9	P	123km/h		TN	3	4	9	D	5	2	8	7	6	P
	西	安	石	上	遠	大	海	清		剣	近			東	佐	篠	鈴	瀬	相	高	千	塚	寺	徳
	日						江		楠			85	球	日	々									
	本	達	橋	杉	藤	石	田	原		崎	藤	1:26経過		本	木	原	木	戸	馬	橋	葉	本	岡	永

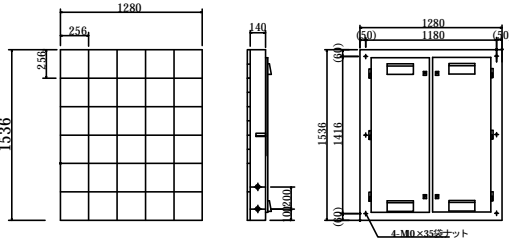
18688

得点部表示盤



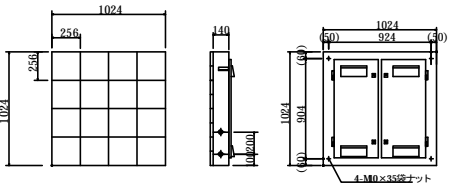
台数

14台



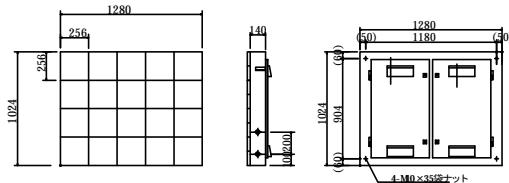
台数

1台



台数

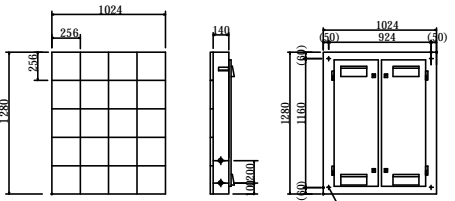
17台



台数

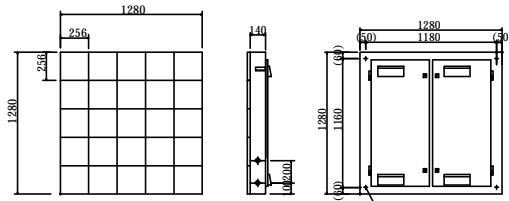
1台

選手名部表示盤



台数

17台



台数

1台

LED素子仕様

RGB 高輝度発光ダイオード
(DIP) 16mmピッチ
モジュールサイズ 縦256×横256(mm)
画面輝度 6000cd/m²
視認角度 H140° /V60°
動作温度 -20℃～50℃

キャビネット材質

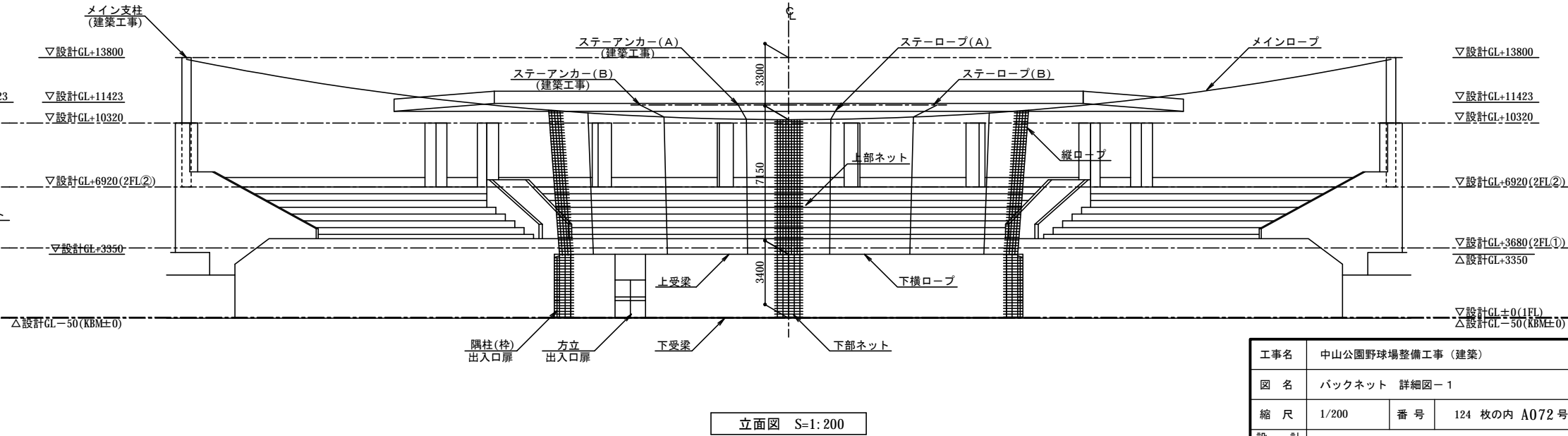
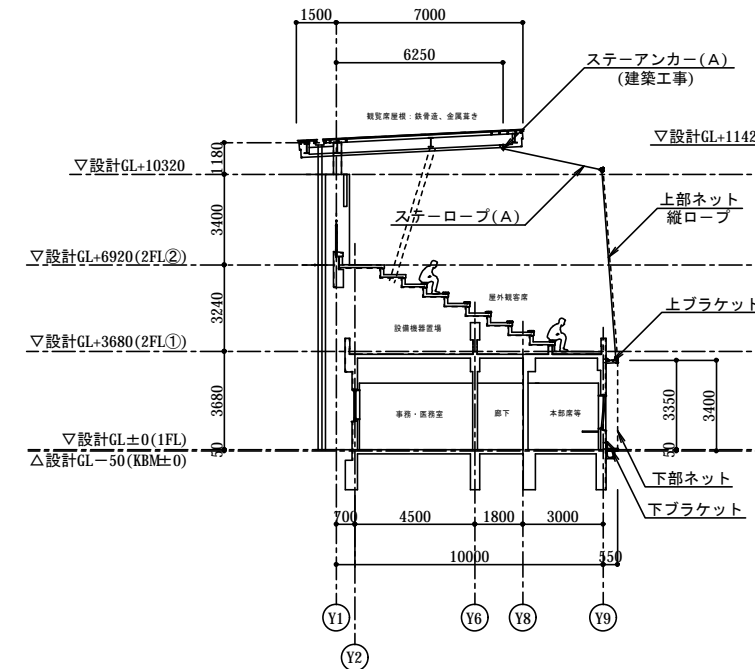
アルミ製 ウレタン樹脂塗装

※参考メーカー
中京スポーツ施設

工 事 名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	スコアボード 表示外観図		
縮 尺	－	番 号	124 枚の内 A071 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

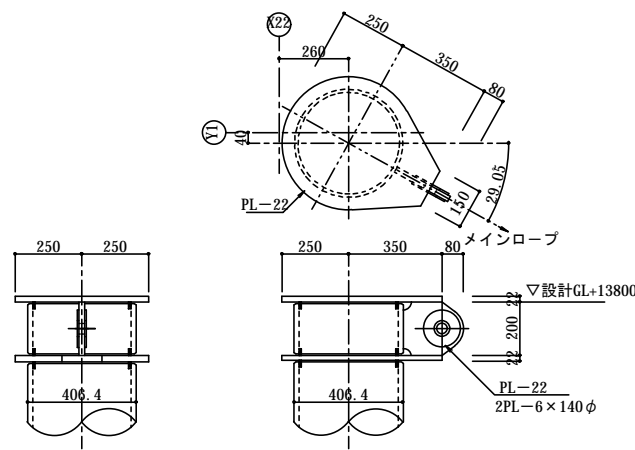
部材表		
名 称	仕 様	
上部ネット	イザナス1760T/8本×40×40	
下部ネット	溶接金網4.0φ×50×100 SUS304(黒色)	
落下防止網	溶接金網4.0φ×50×100 SUS304(黒色)	
メインロープ	22φ-7×7G/0 リギンスクリュー呼24	
ステーロープ(A)・(B)	12φ-7×7G/0 リギンスクリュー呼14 シャックルSC18	
縦ロープ	10φ-7×7G/0 ターンバックル5/8" ×12	
下横ロープ	10φ-7×7G/0 ターンバックル5/8" ×6	
上ブラケット	H-200×100×5.5×8(二つ割), B. PL-16×140×190 PL-9、6、A、B4-MI2(接着系)	
下ブラケット	L-65×65×8, FB-65×6, PL-6、A、B2-MI0(接着系)	
上受梁	[-125×65×6×8, 網押え板FB-38×6ビスMB@≒200 アイナットMI2@≒1500	
下受梁	L-90×90×6, 網押え板FB-38×6ビスMB@≒200	
落下防止受梁	L-65×65×6, 網押え板FB-38×6ビスMB@≒200	
方立	L-90×90×6, 網押え板FB-38×6ビスMB@≒200, PL-6、4.5	
隅柱(枠)	L-65×65×6, 網押え板FB-38×6ビスMB@≒200 PL-6、4.5、7-MI0(接着系)	
出入口扉	L-50×50×6, PL-4.5×200, PL-4.5 網押え板FB-38×6ビスMB@≒200, ケースハンドル錠	
メイン支柱	STK400-406.4φ×12.7(建築工事)	
ステアアンカー(A)・(B)	PL-19.9(建築工事)	

- (注 記)
- 1) 上部ネットは、イザナス1760 T/8本×40×40(UC)とする。
- 2) 下部ネット及び落下防止網は、溶接金網4.0φ×50×100 SUS304 酸化皮膜処理(黒色)とする。
- 3) 鋼材類はSS400とし、溶融亜鉛メッキの上粉体塗装仕上げとする。【指定色】
- 4) ロープ類は、構造用ストランドロープ【JSS II 03】とする。
- 5) ロープ金具類は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

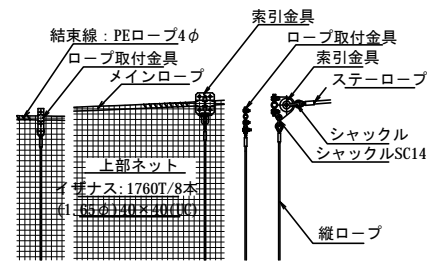


※参考メーカー
J F E 建材

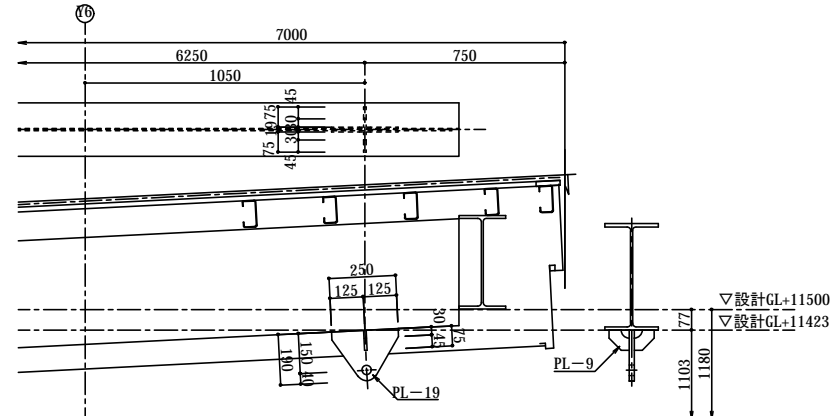
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	バックネット 詳細図-1		
縮 尺	1/200	番 号	124 枚の内 A072 号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



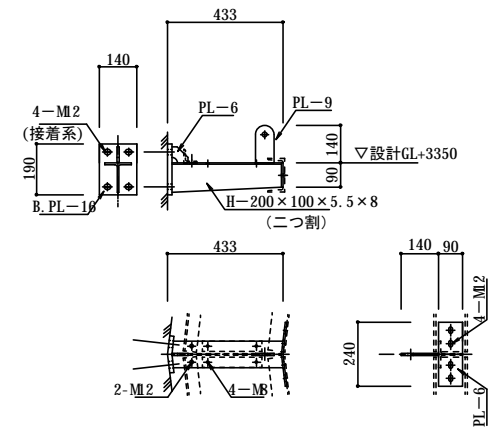
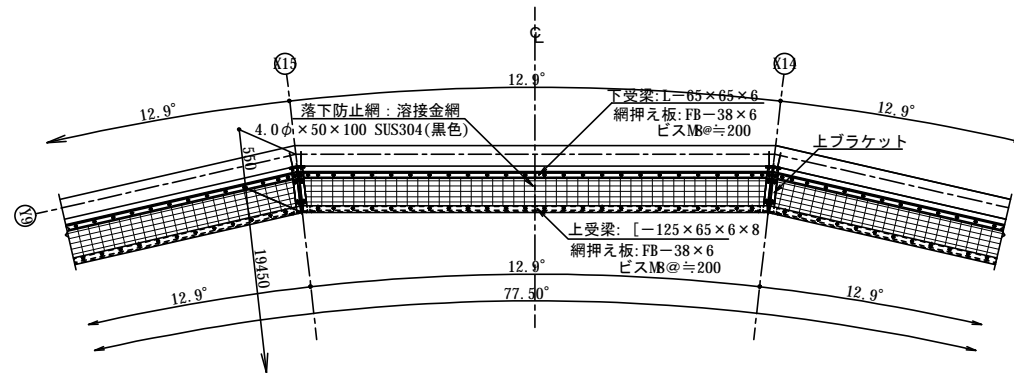
メイン支柱頂部詳細図 S=1:20
(建築工事)



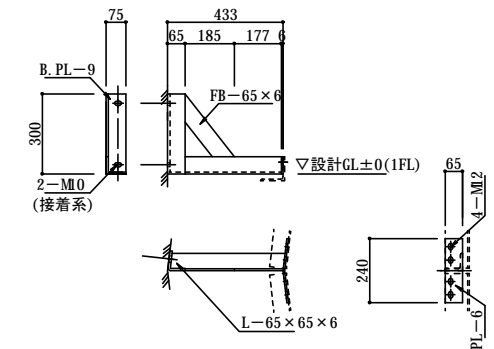
上部ネット詳細図 S=1:20



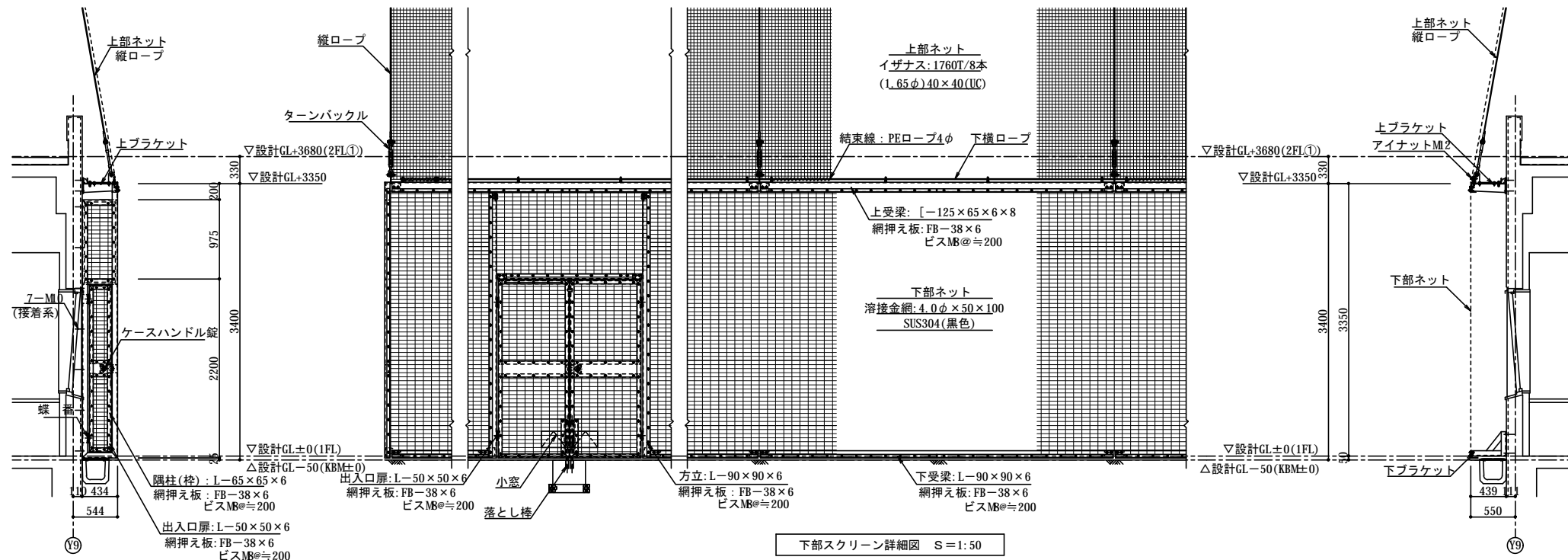
スレーアンカー詳細図 S=1:20
(建築工事)



上ブラケット詳細図 S=1:20



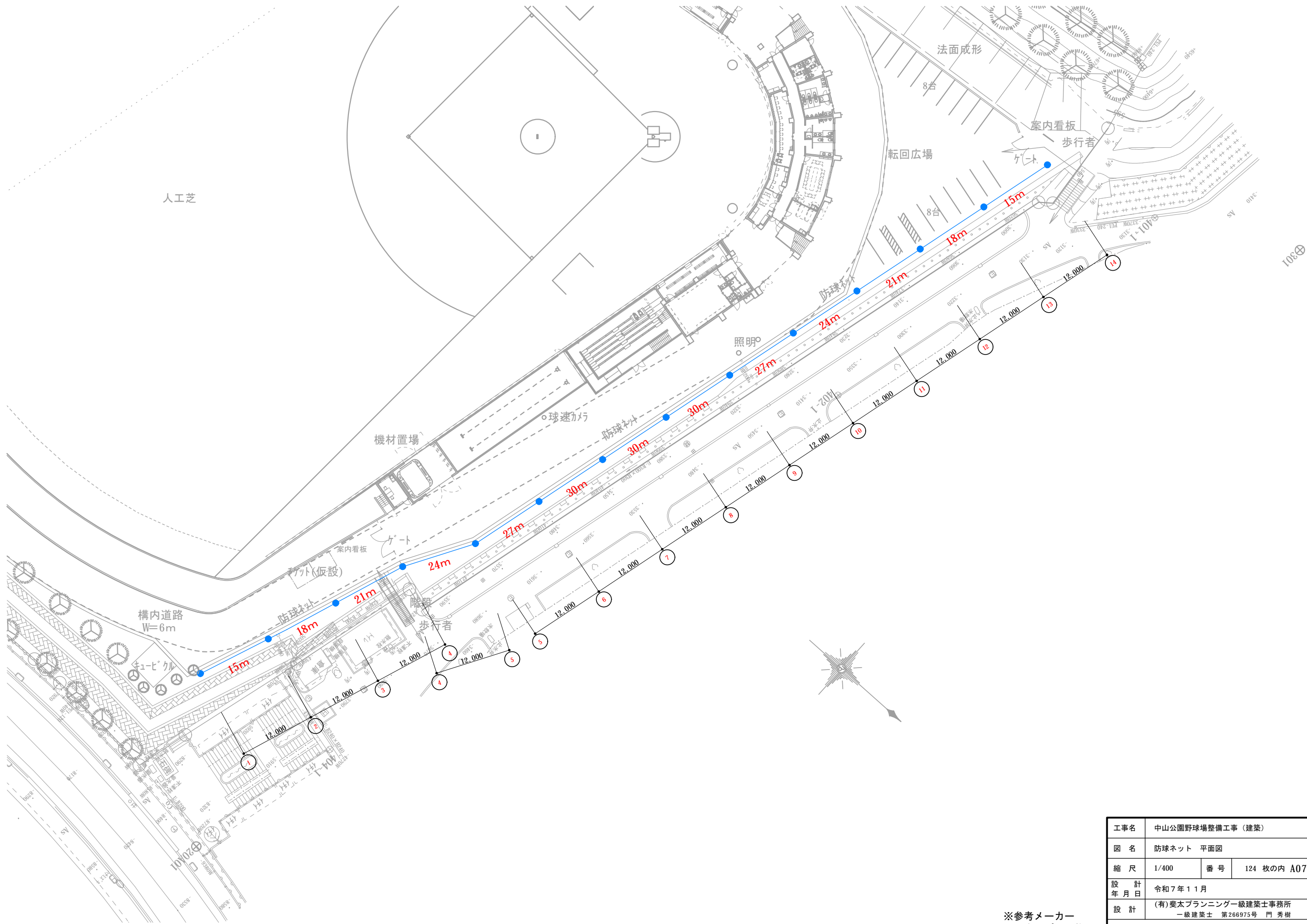
下ブラケット詳細図 S=1:20



下部スクリーン詳細図 S=1:50

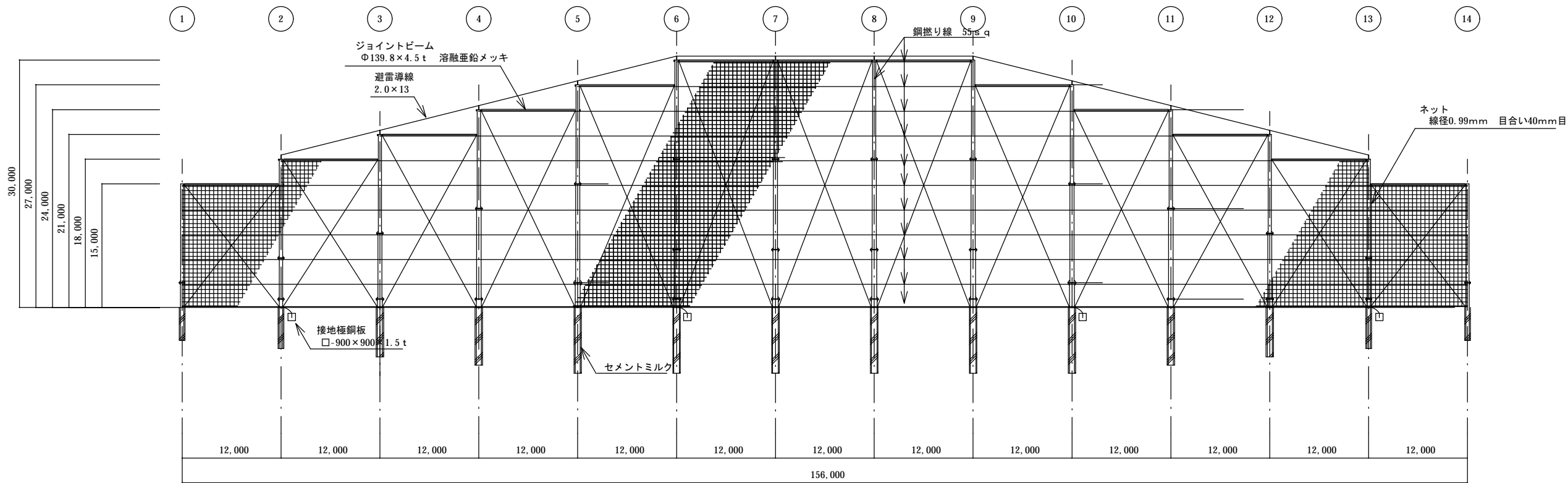
※参考メーカー
J F E 建材

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	バックネット 詳細図-2		
縮 尺	1/20, 1/50	番 号	124 枚の内 A073号
設 計 年 月 日	令和7年11月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



※参考メーカー
中京スポーツ施設

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	防球ネット 平面図		
縮 尺	1/400	番 号	124 枚の内 A074 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



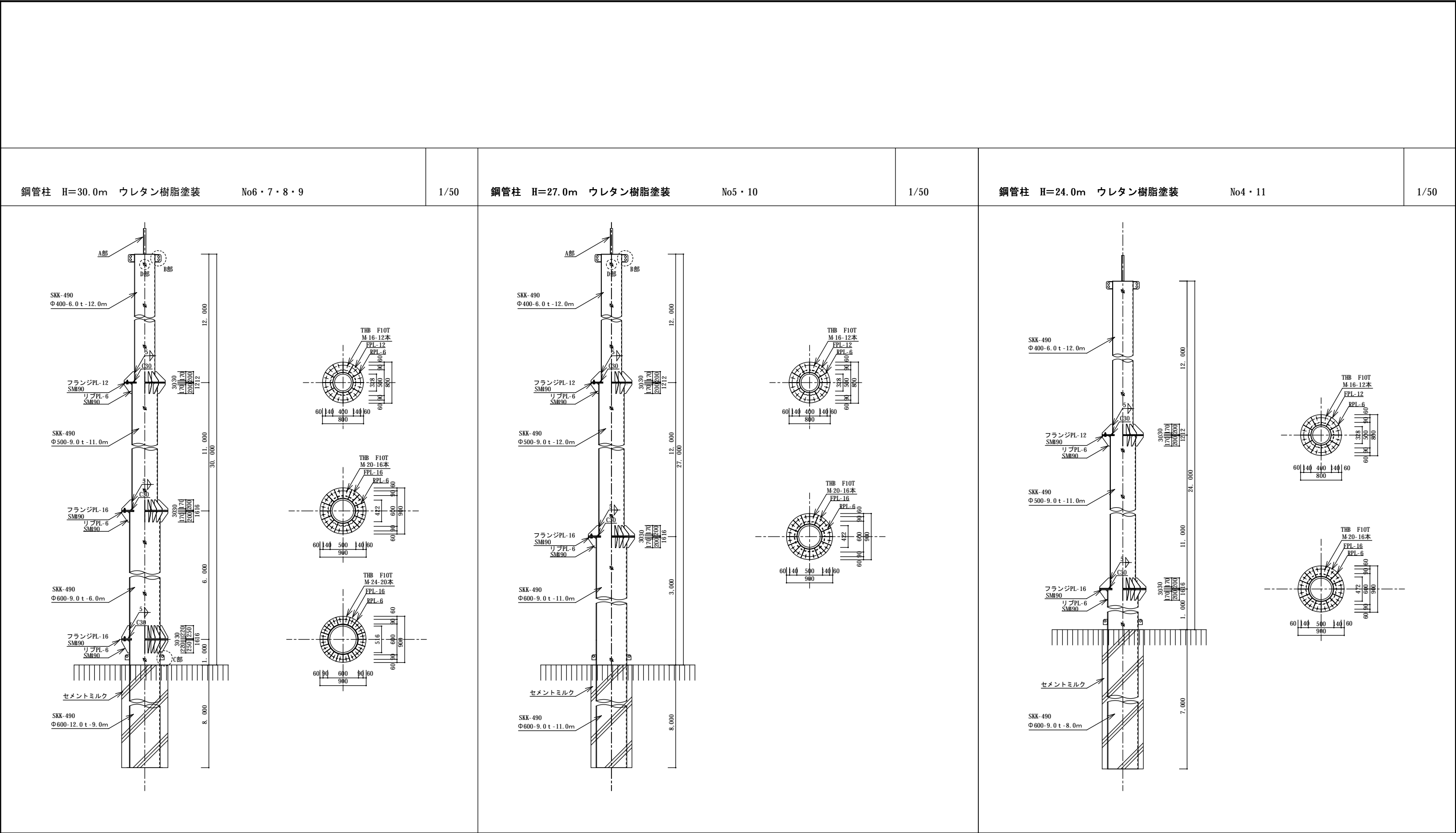
柱番号	地上高さ	根入れ深さ	基礎鋼管	1段目鋼管	2段目鋼管	3段目鋼管
①⑭	15.0m	4.0m	STK-400 Φ355.6-9.5-7.0m	STK-400 Φ318.5-6.0t-12.0m		
②⑬	18.0m	5.0m	SKK-490 Φ400-9.0t-6.0m	SKK-490 Φ400-6.0t-5.0m	SKK-490 Φ400-6.0t-12.0m	
③⑫	21.0m	6.0m	SKK-490 Φ500-9.0t-7.0m	SKK-490 Φ500-9.0t-8.0m	SKK-490 Φ400-6.0t-12.0m	
④⑪	24.0m	7.0m	SKK-490 Φ600-9.0t-8.0m	SKK-490 Φ500-9.0t-11.0m	SKK-490 Φ400-6.0t-12.0m	
⑤⑩	27.0m	8.0m	SKK-490 Φ600-9.0t-11.0m	SKK-490 Φ500-9.0t-12.0m	SKK-490 Φ400-6.0t-12.0m	
⑥⑦⑧⑨	30.0m	8.0m	SKK-490 Φ600-12.0t-9.0m	SKK-490 Φ600-9.0t-6.0m	SKK-490 Φ500-9.0t-11.0m	SKK-490 Φ400-6.0t-12.0m

設計条件

岐阜県 高山市 地表面粗度区分 Ⅲ Vo=3.0m/sec
地質 ボーリングデータ③による
ネット 線径0.99mm 目合い40mm 引張強度 2110N以上（ブラック）
鋼管柱 フランジジョイント式（ウレタン樹脂塗装 錆止・中塗・上塗）フランジ部の構造計算添付
基礎 セメントミルク埋設とする

※参考メーカー
中京スポーツ施設

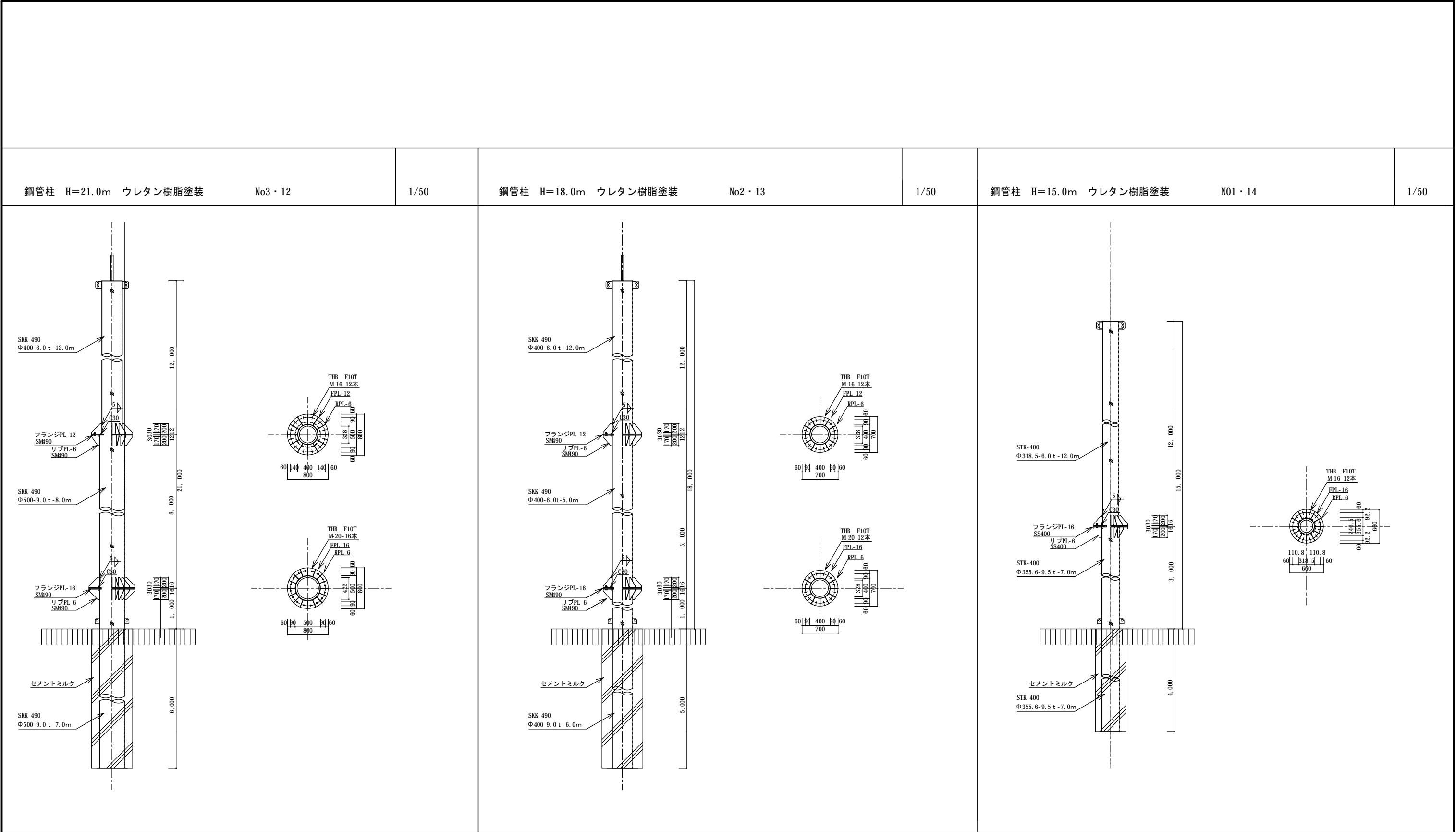
工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	防球ネット 展開図		
縮 尺	1/400	番 号	124 枚の内 A075 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



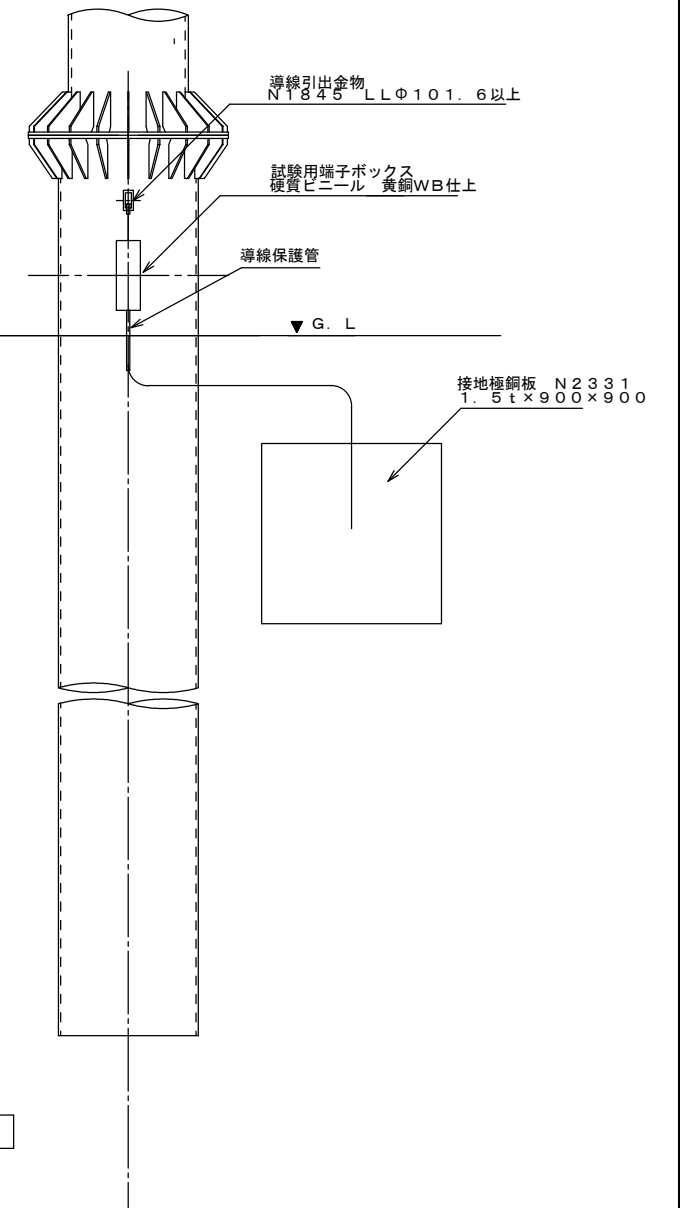
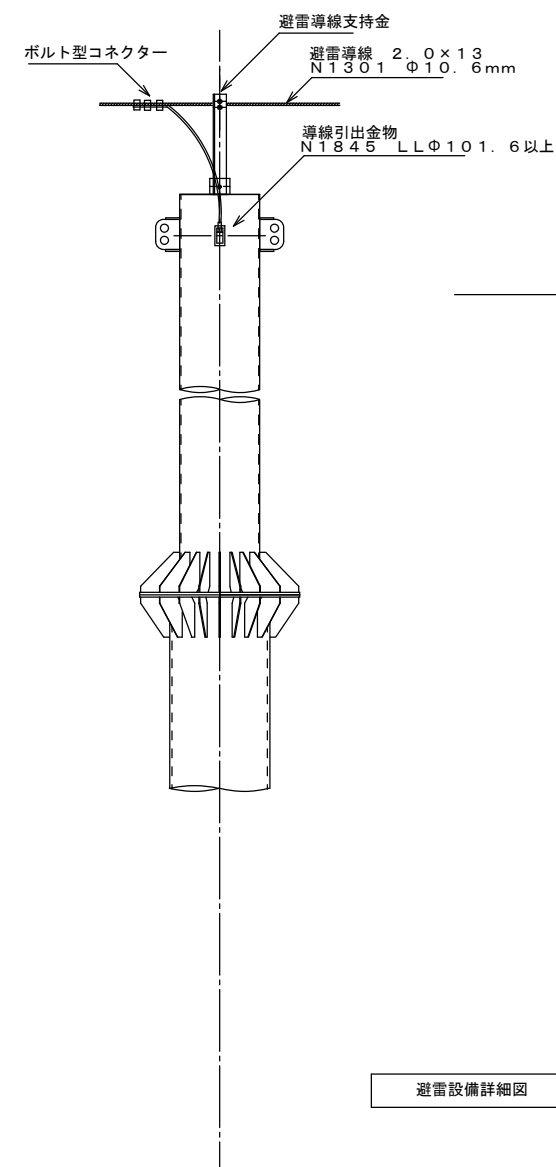
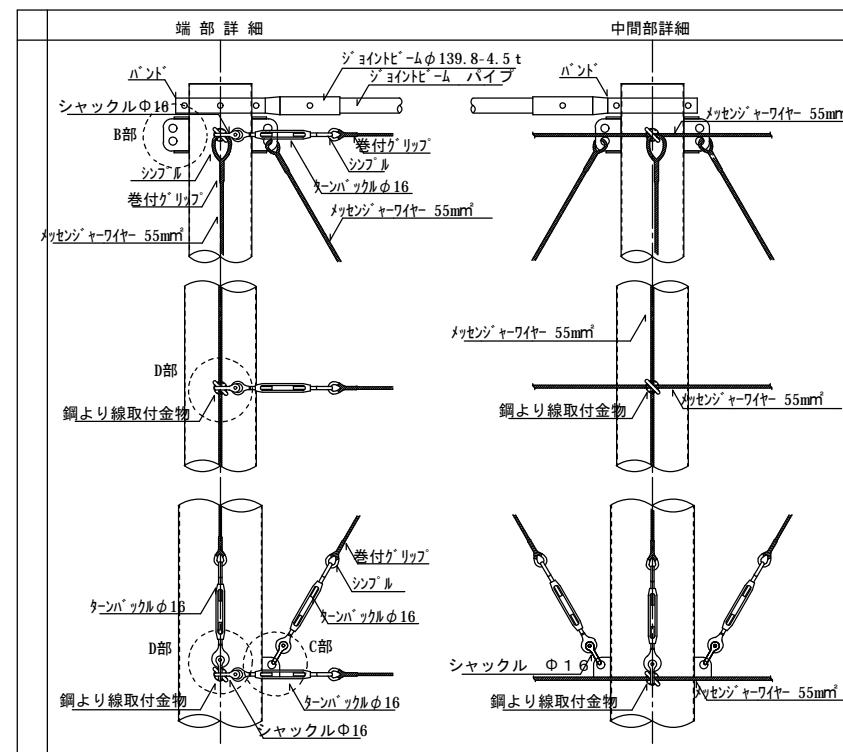
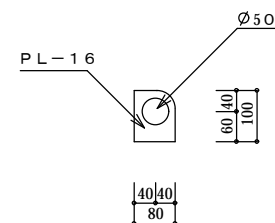
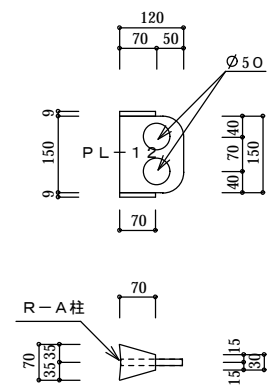
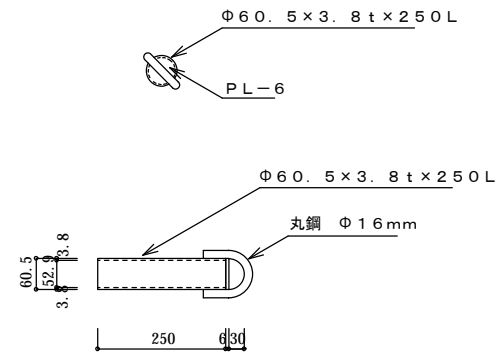
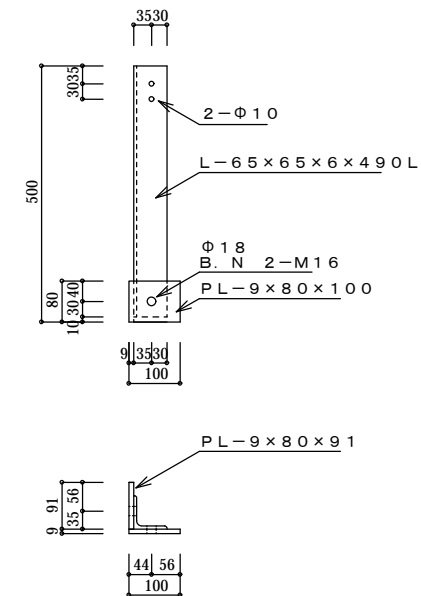
※鋼管柱のウレタン樹脂塗装色は指定色とする

※参考メーカー
中京スポーツ施設

工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	防球ネット 支柱詳細図ー 1		
縮 尺	1/50	番 号	124 枚の内 A076 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



※参考メーカー 中京スポーツ施設		工事名 中山公園野球場整備工事（建築）	
		図 名 防球ネット 支柱詳細図ー2	
		縮 尺 1/50	番 号 124 枚の内 A077号
		設 計 令和7年11月	
		設 計 (有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹	
		高 山 市	



工事名	中山公園野球場整備工事（建築）		
図 名	防球ネット 部分詳細図		
縮 尺	1/10, 1/20	番 号	124 枚の内 A078 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 1 月		
設 計	(有)斐太プランニング一級建築士事務所 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			